

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画

令和5年10月策定



浦添市 市民部経済文化局 文化スポーツ振興課
都市建設部 美らまち推進課・新施設建設室

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画

目 次

1 はじめに			
背景	p.2	4-7 国等の取組	p.69
		4-8 市民等の意向と各調査の関係性	p.70
		4-9 再整備に向けての課題及び解決策	p.76
2 浦添運動公園再整備について		5 再整備の方針	
2-1 浦添運動公園の概要	p.4	5-1 浦添運動公園の将来像	p.80
2-2 新市民体育館整備事業に伴う影響	p.6	5-2 浦添運動公園の再整備の方針	p.82
2-3 浦添運動公園再整備について	p.8		
2-4 基本構想・基本計画策定の流れ	p.10	6 ゾーニング・動線計画	
3 現状及び取り組むべき方向性		6-1 利用者の利用状況・意向	p.86
3-1 アクセシビリティ	p.16	6-2 ゾーニング	p.100
3-2 浦添市の人口と観光客推移	p.17	6-3 動線計画	p.101
3-3 利用者の視点からみた運動公園の現況	p.18	6-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針	p.102
3-4 施設の視点からみた運動公園の現況	p.28	6-5 施設別整備の方針	p.124
3-5 財政・予算の視点からみた運動公園の現況	p.32	7 運営管理計画	
3-6 スポーツ行政の視点からみた運動公園の現況	p.33	7-1 民間活力の活用の方針	p.139
3-7 取り組むべき方向性	p.41	7-2 運営管理手法の検討フロー	p.140
4 再整備に向けての課題及び解決策		7-3 民間企業へのサウンディング調査の実施	p.141
4-1 市民等の意向アンケート調査	p.44	8 パブリックコメント	p.143
4-2 利用者の動向（ビッグデータ分析）	p.50	9 今後のスケジュール	
4-3 関係機関等ヒアリング	p.59	9-1 今後のスケジュール	p.144
4-4 関係部局ヒアリング	p.61	9-2 ロードマップ	p.145
4-5 民間活力の活用に関する先進事例調査	p.63		
4-6 県内類似施設の視察	p.68		

① 浦添運動公園について

浦添運動公園は、平成3年4月の供用開始より、本市のスポーツの拠点として市民の体力増進やレクリエーション活動の場となり、長年にわたって地域住民の方々をはじめ、多くの市民・県民の皆さまから幅広くご利用され親しまれている公園です。

また、プロ野球球団の東京ヤクルトスワローズの春季キャンプ地として活用されており、多くの県外の方々もキャンプの観戦に訪れています。



② ウラオソイ スポーツ・観光交流拠点形成推進事業について

浦添運動公園では、既存市民体育館が抱える課題の解決を図るために役割や機能の分担を図りつつ、更なるスポーツ振興等の推進に向けて（仮称）浦添市多目的運動施設整備事業（新市民体育館）に取り組む中、近接する陸上競技場のメインスタンドの一部解体や園路の改修等の影響が生じています。

ウラオソイ スポーツ・観光交流拠点形成推進事業は、これらの影響箇所や運動公園が抱える課題の解決を図るため、陸上競技場のハード整備や公園・運動施設の運営管理を検討するソフト対策を実施するものです。

③ 浦添運動公園再整備基本構想・基本計画の位置付け

本基本構想・基本計画は、ウラオソイ スポーツ・観光交流拠点形成推進事業の円滑な推進と目標達成のため、浦添運動公園の再整備に関して、基本的な方針を定めたものです。



- 浦添運動公園は平成3年に供用が開始されました。敷地面積は14.6haで公園内には陸上競技場、市民体育館、市民球場、多目的屋内・屋外運動場、相撲場、温水プールまじゅんらんどなどの施設があります。

浦添運動公園概要

施設概要

陸上競技場、市民体育館、市民球場、多目的屋内運動場、相撲場、温水プールまじゅんらんど等の施設がある運動公園。浦添市のほぼ中央に位置し、国道330号に隣接しており道路網としてのアクセス性、路線バスの利便性を活かし、中部圏域におけるスポーツ拠点、地域交流の憩いの場となっており、またてだこまつりやてだこウォーク、沖展等のイベント開催も数多く行われている。

所在地 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間 1 丁目 1 3 - 1

竣工 浦添運動公園：平成3年4月1日（供用開始）

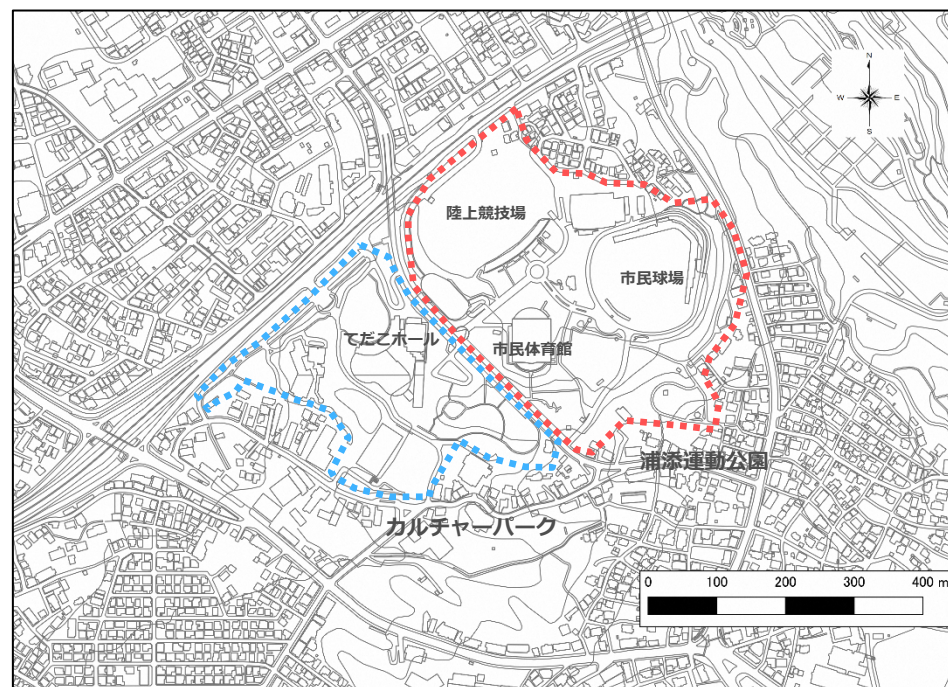
公園種別 都市公園（運動公園）

供用面積 浦添運動公園：14.6ha

交通アクセス バス、モノレール、シェアサイクル等

浦添カルチャーパークについて

- カルチャーパーク内には、浦添市てだこホール、図書館、美術館、てだこ広場等があり、また、隣接してハーモニーセンター、社会福祉センター、保健相談センターがあります。
- 浦添カルチャーパークと浦添運動公園は、広域避難場所となっています。





浦添運動公園・浦添カルチャーパーク 周辺施設

平成25年3月現在



- 既存市民体育館の老朽化や空調設備の未整備等の様々な課題を解決するため、新たに多目的運動施設（新市民体育館）の整備が進められています。

○新市民体育館の整備計画の方向性

- 「する」スポーツだけでなく、「観る」スポーツの場を意識した施設整備
- 既存市民体育館との役割分担
- プロスポーツやトップリーグ等の開催・観戦ニーズに応えた機能整備
- MICEイベントやeスポーツ等のイベントへの対応
- アリーナや観客席、トイレ等の運動・便益施設のバリアフリー化
- 地形の高低差を利用した施設整備（陸上競技場利用者用のスペース整備等）

○新市民体育館等の整備方針

- 二つの拠点機能の相互補完による多様な利用シーンへの対応
- 競技場スタンドと新市民体育館の一体化による効果的・効率的な施設整備
- 多様な屋内スポーツ・大会ニーズ等に対応できるアリーナ・観客席の整備
- 誰にでもやさしい施設環境の整備
- 災害時避難所としての機能の充実

施設概要（建築概要）

計画地	浦添市仲間地内
用途地域	第一種低層住居専用地域※
延べ面積・ 建築面積	延べ面積：約12,500㎡、建築面積：約6,700㎡
高さ・階数	約28m、地下2階・地上3階建て
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
配置計画	陸上競技場、既存市民体育館等の各施設との機能の相互補完や効率的な土地利用を図るため、老朽化が進む陸上競技場の観覧席部分と一体化
平面計画	- 地下2階は陸上競技場と同レベルとし競技場の形態を保持 - 地下1階は競技場観覧場と同レベルで計画、本施設建設に伴い現在の観覧席が解体されることから一部屋外観覧席を配置計画 - 市民体育館の解体等を考慮し機能回復の観点から武道場を計画 1階は46m×60mのアリーナのほか、メインエントランスホール、会議室等、2・3階には固定席を約2,000席設置、観客席は、1階アリーナの仮設席を含め、約3,000席を整備予定



陸上競技場側からのイメージCG

アリーナ内部のイメージCG

南側・西側立面図

- ・新市民体育館整備事業に伴い、周辺の施設等に影響が生じます。
(陸上競技場メインスタンド（一部を除く）、中央園路及び立体駐車場の連結路の解体・撤去など)

【陸上競技場】

- ・新体育館整備に伴い減少する陸上競技場の観客席の確保
- ・新体育館整備に伴い減少する緑の保全、創出



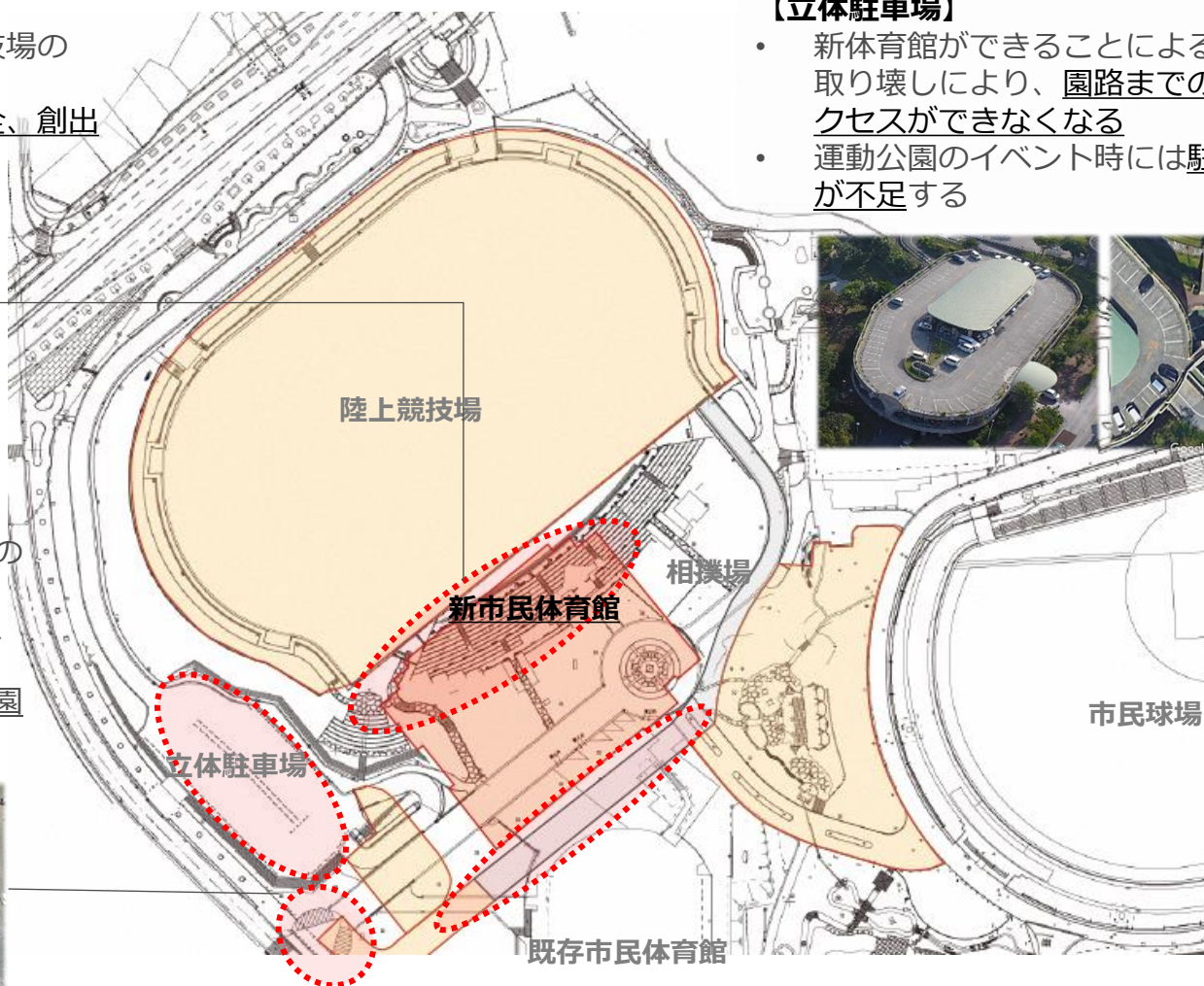
【正面入口・中央園路】

- ・園路の付け替えによる正面入口の位置
- ・正面入口から中央噴水広場までの軸線の喪失による園内の分かりやすさの低下
- ・道の勾配やバリアフリーへの配慮など、地形的な制約
- ・広域避難場所として、機能充足出来る園路構成の確認



【立体駐車場】

- ・新体育館ができることによる連結部分の取り壊しにより、園路までの物理的なアクセスができなくなる
- ・運動公園のイベント時には駐車スペースが不足する

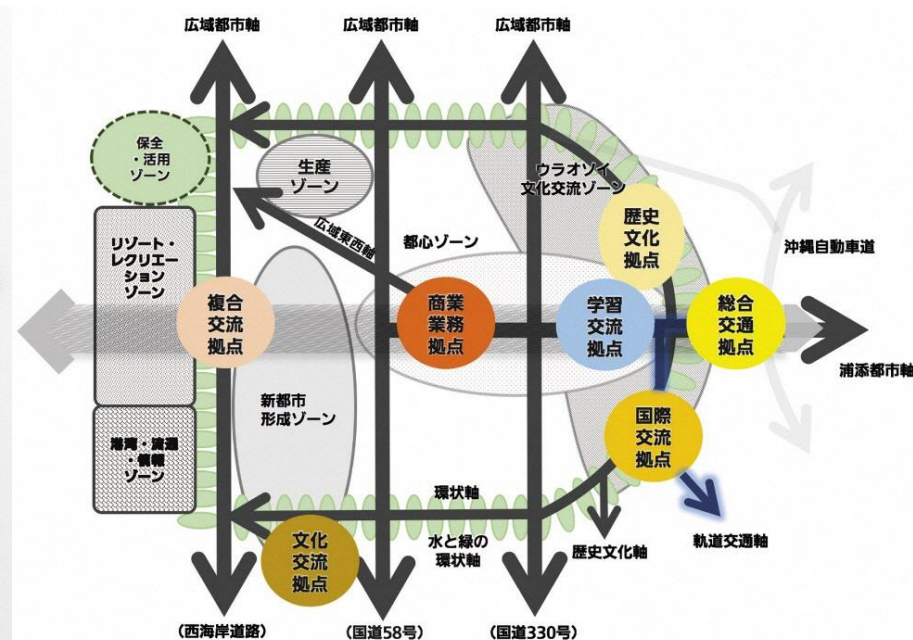


① 浦添運動公園再整備事業の目的

ウラオソイ文化交流ゾーンの学習交流拠点である浦添運動公園（ANA SPORTS PARK浦添）の再整備を行い、スポーツ・観光等を通じた市民や事業者、来訪者等の多様な交流・賑わいを促すための観光交流拠点形成を図り、観光誘客数の増大等による運動施設利用者数の増を図る。



浦添市 土地利用計画図



浦添市 都市空間図

② 事業等の取組内容

那覇空港や県内各地からのアクセス性に優れた浦添運動公園（ANA SPORTS PARK浦添）内において、スポーツを通じた観光交流拠点の形成に向けた機能強化を図るため、体育館施設等の整備を実施する。

【ソフト面の取組】

- ・浦添運動公園再整備に関する基本構想・計画策定業務
- ・浦添運動公園の運営管理手法検討業務

【ハード面の取組】

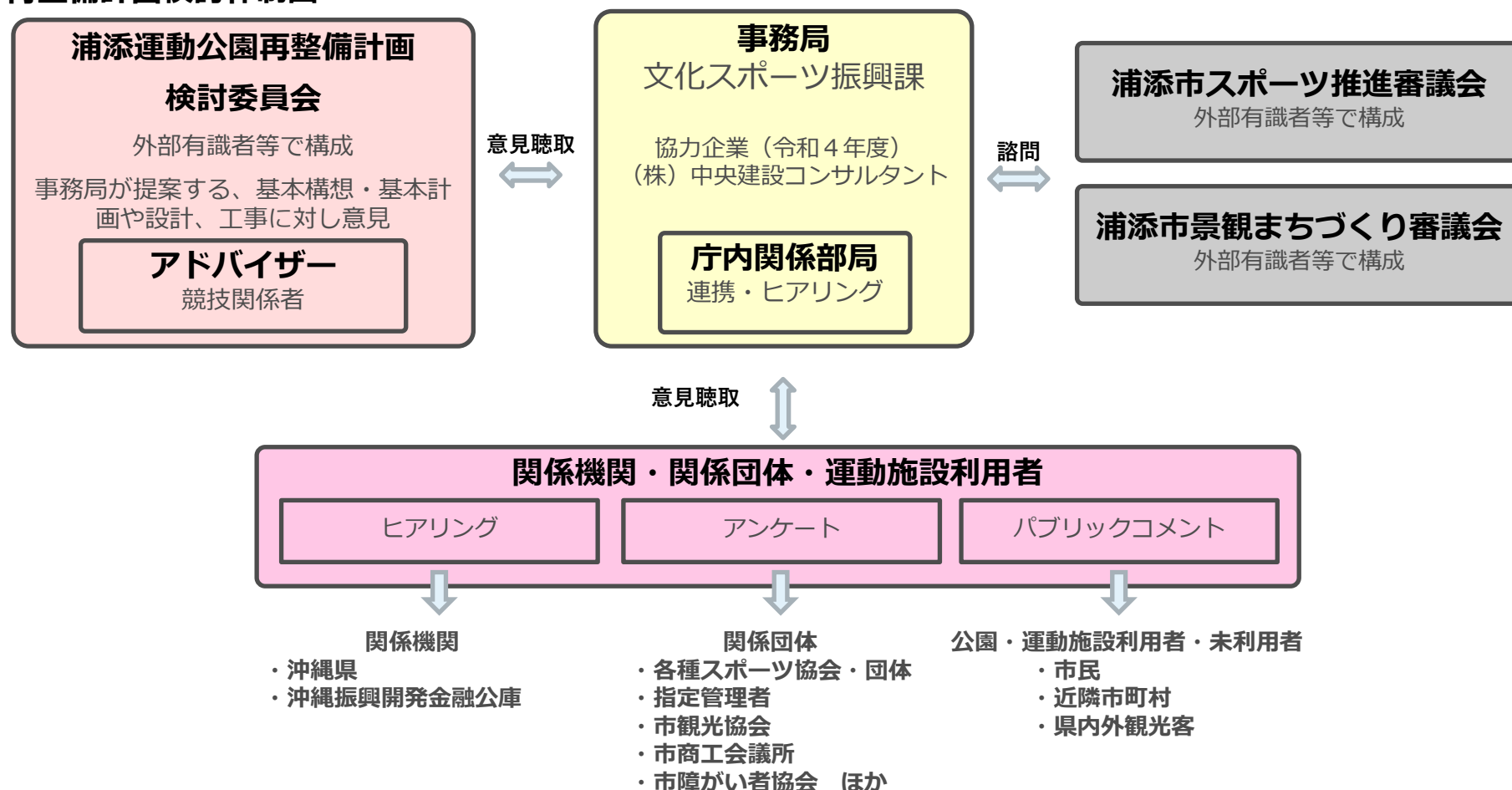
- ・「観るスポーツ」の施設整備に関する実施設計、工事
- ・陸上競技場の整備に関する基本設計、実施設計、工事
- ・周辺環境（園路等）の整備に関する基本設計、実施設計、工事



① 基本構想・基本計画策定の体制

- 浦添運動公園の再整備を行うにあたり、その指針となる基本構想・基本計画を策定します。浦添運動公園の再整備にあたっては庁内の関係部局で検討、協議を行うとともに、外部有識者で構成する「浦添運動公園再整備計画検討委員会」からの意見を踏まえながら、市民や関係団体等からのニーズを聴取し、再整備を進めます。

図 再整備計画検討体制図



② 浦添運動公園再整備計画検討委員会の組織

浦添運動公園再整備計画検討委員会				
委員 (有識者)	氏名	所属等	役職	分野
	神谷 大介	国立大学法人 琉球大学	工学部 准教授	都市計画・交通・防災
	友寄 孝	一般社団法人 沖縄しまたて協会	技術環境研究所 アドバイザー	景観・まちづくり
	大石 智弘	内閣府 沖縄総合事務局	開発建設部 公園・まちづくり調整官	公園・まちづくり
	平良 貴洋	沖縄振興開発金融公庫	調査部 地域連携情報室 室長	PPP・PFI
	金城 孝	一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー	国内事業部長 兼 東京事務所長	観光・経済
	下地 浩之	一般社団法人 沖縄県造園建設業協会	会長	緑環境・造園
	照屋 満	浦添市スポーツ協会	理事（浦添市陸上競技協会副会長）	スポーツ
	田前 学	社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会	事務局長	福祉
	玉城 英吉	浦添自治会長会	小湾自治会長（浦添市スポーツ協会理事）	地域市民
	関戸 塩	浦添市PTA連合会	会長	地域市民
アドバイザー	高原 直泰	沖縄SV株式会社	代表取締役CEO	サッカー
	荻堂 盛助	一般社団法人 浦添市身体障がい者福祉協会	副会長	障がい者スポーツ
	譜久里 武	一般社団法人 アスリート工房	代表	陸上競技
部 関 局 係	総務部（防災）、財務部（事業費、PFI）、企画部（まちづくり計画）、福祉健康部（福祉、健康）、こども未来部（保育・こども）、都市建設部（公園）、教育部（社会教育、放課後活動）、指導部（部活動、青少年健全育成）、市民部（市催事・スポーツ・観光）			

③ 検討委員会での意見聴取事項・論点など

- 検討委員会では、下記の意見聴取事項等について外部有識者の委員や競技関係者のアドバイザーから意見を聴取し、検討内容に反映します。

検討作業の流れ

現状把握

- 既存調査等の整理
- 上位関連計画
- 現地踏査



骨子案作成

- ヒアリング・意向調査等
- 課題及び解決策の検討 等



素案作成

- 各施設の整備方針、規模
- ゾーニング、動線計画 等

開催日：令和4年12月26日

■第1回検討委員会でご意見を聴取したい事項・論点など

浦添運動公園再整備計画の基本構想・基本計画の策定にあたり、
現状の把握及び**取り組むべき方向性（案）**について、ご意見を聴取したい。

開催日：令和5年4月28日

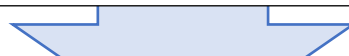
■第2回検討委員会でご意見を聴取したい事項・論点など

浦添運動公園再整備計画の基本構想・基本計画の策定にあたり、
課題（案）及び**解決策（案）**について、ご意見を聴取したい。

開催日：令和5年8月21日

■第3回検討委員会でご意見を聴取したい事項・論点など

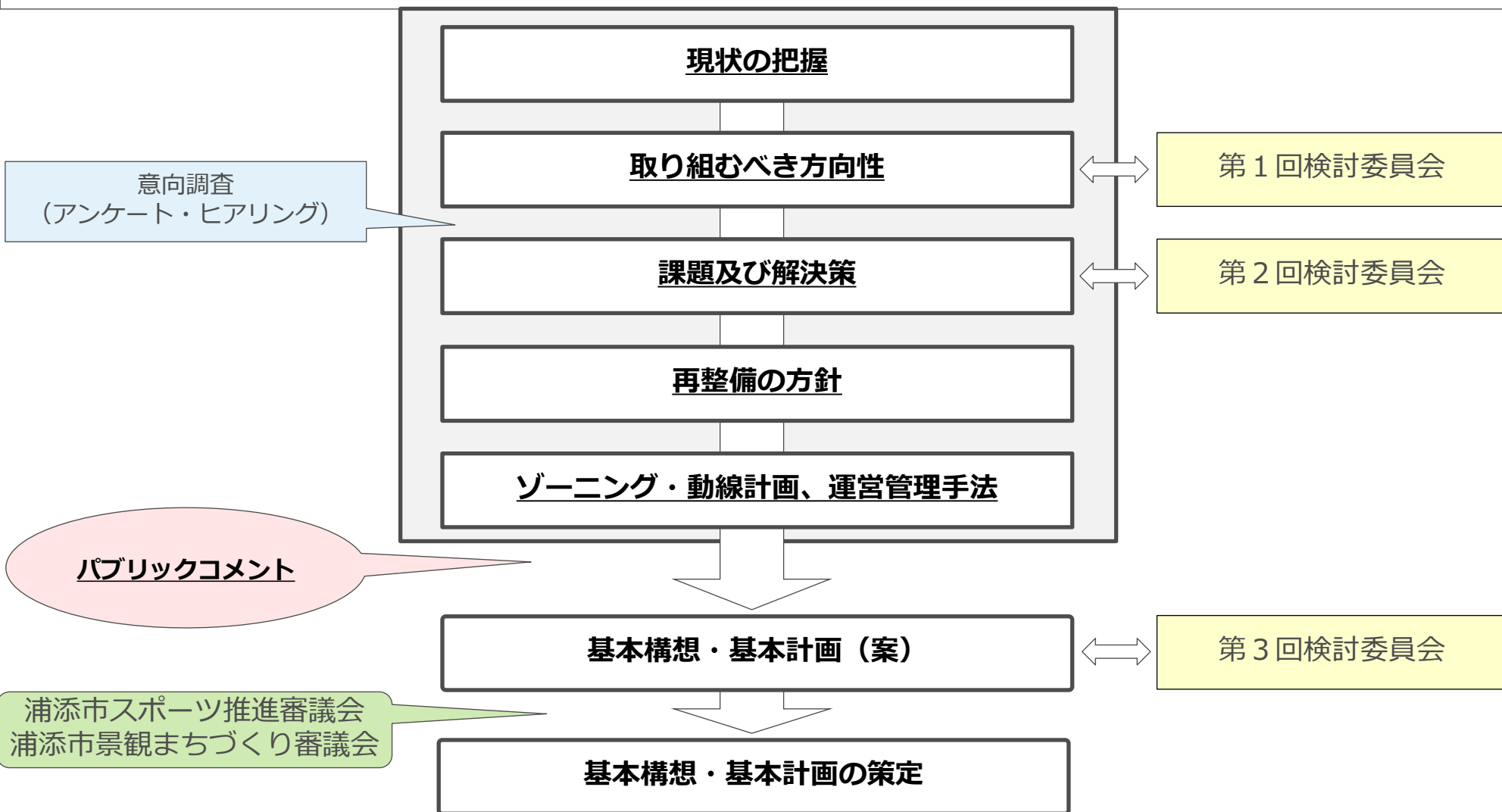
浦添運動公園再整備計画の基本構想・基本計画の策定にあたり、
これまで確認してきた「**現状**」「**方向性**」「**課題**」「**解決策**」を踏まえた**基本構想・基本計画**について、ご意見を聴取したい。



再整備計画の基本構想・基本計画の策定

④ 基本構想・基本計画策定の流れ

- 基本構想・基本計画の策定にあたっては、再整備計画に関する諸条件の整理を始め、現状の把握や施設利用者等のニーズ調査、課題及び解決策の検討を行い、これら調査・検討結果を踏まえ、施設利用者の需要予測やゾーニング・動線計画等により、公園及び運動施設の整備方針などを取りまとめます。

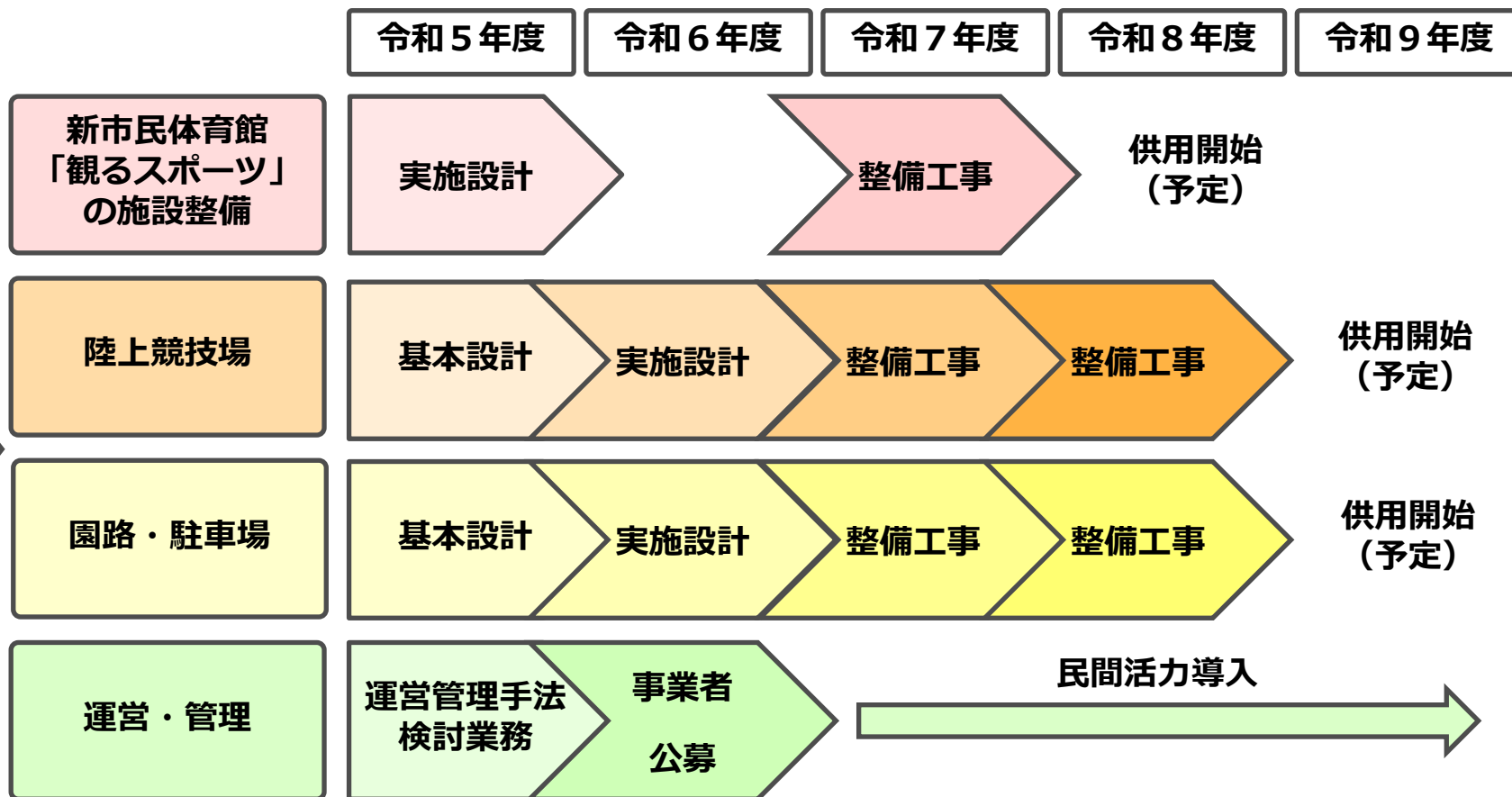


⑤ 基本構想・基本計画策定後の流れ

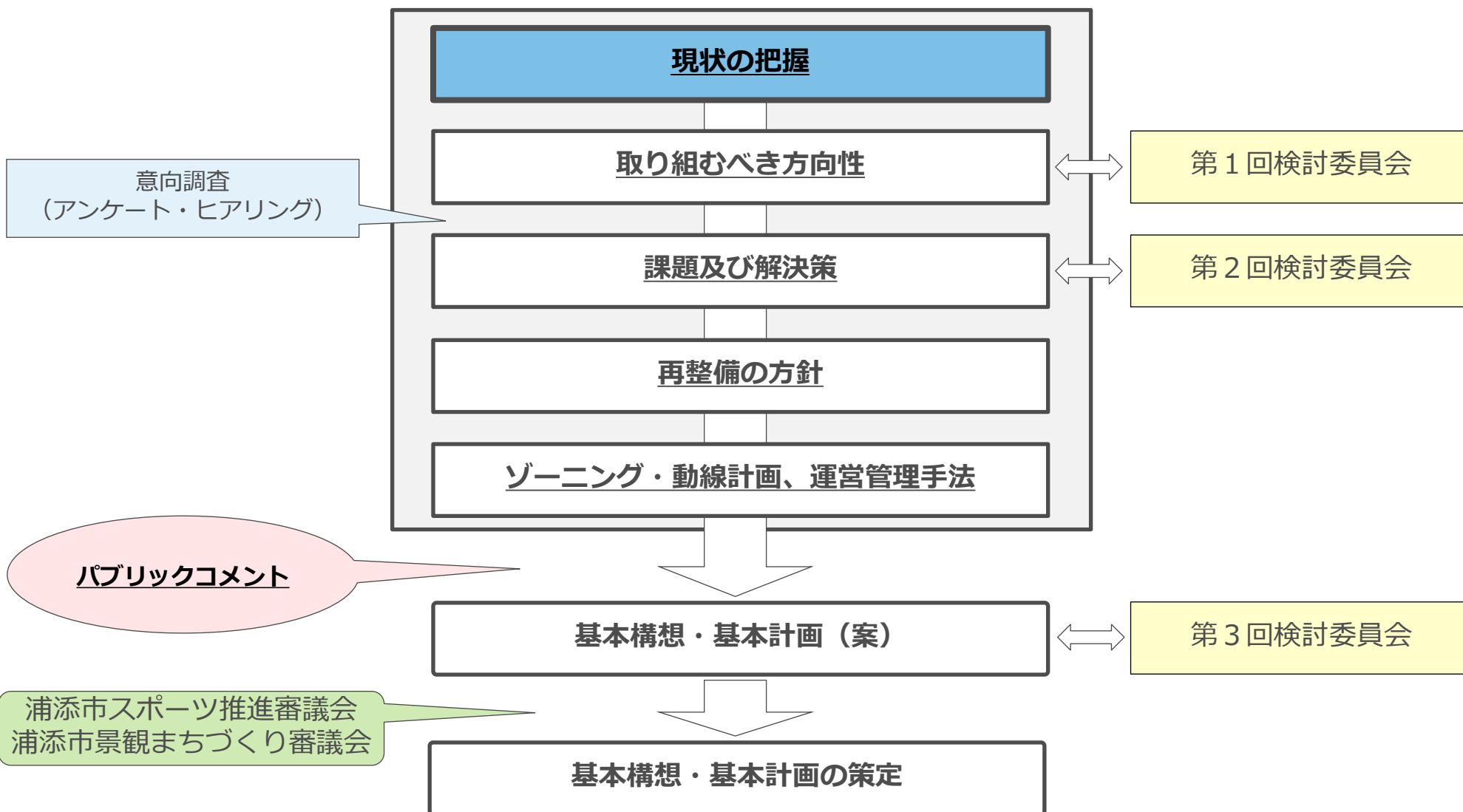
- 策定した基本構想・基本計画は、今後の再整備の方針となります。
- 基本構想・基本計画に基づき、「観るスポーツ」の施設や陸上競技場、園路・駐車場の整備、運営・管理手法の検討などを行います。

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画策定

方針



- 上位計画及び関連する計画、施策等の把握、整理を行うとともに、現場踏査及び既往資料などにより、現状を把握します。（アクセス性、利用実態等）



- 浦添運動公園は県内の運動公園施設でも那覇空港からのアクセス性が高い場所です。また、周辺の運動公園からもアクセスしやすい場所に立地しており、他施設でキャンプしている団体との練習試合など組みやすい特性があります。

那覇空港からのアクセス時間

車

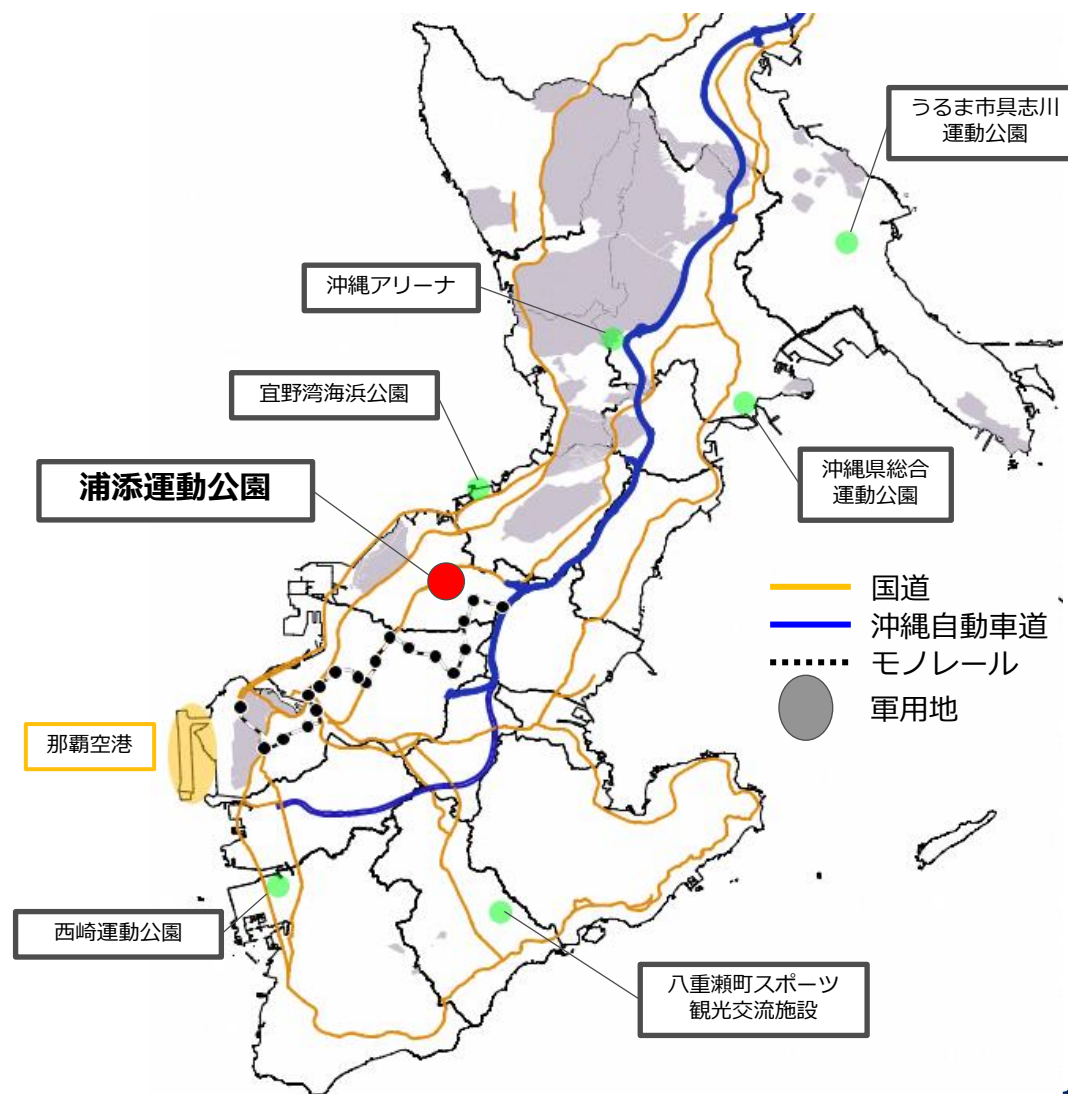
- ・ 国道58号を利用：約30分
- 他の都市公園（アリーナ・競技場）と比較**
- ・ 西崎運動公園：約13分
- ・ 宜野湾海浜公園：約30分
- ・ 八重瀬町スポーツ観光交流施設：約40分
- ・ 沖縄アリーナ：約40分（有料区間）
- ・ 沖縄県総合運動公園：約50分（有料区間）
- ・ うるま市具志川運動公園：約50分（有料区間）

バス

- 那覇空港～那覇BT～浅野浦バス停～浦添運動公園**
- ・ 那覇空港～那覇BT：約11分
 - ・ 那覇BT～浅野浦バス停
(21,88,90,98,112,190番) 約30分
 - ・ 浅野浦バス停～浦添運動公園：徒歩約5分

モノレール

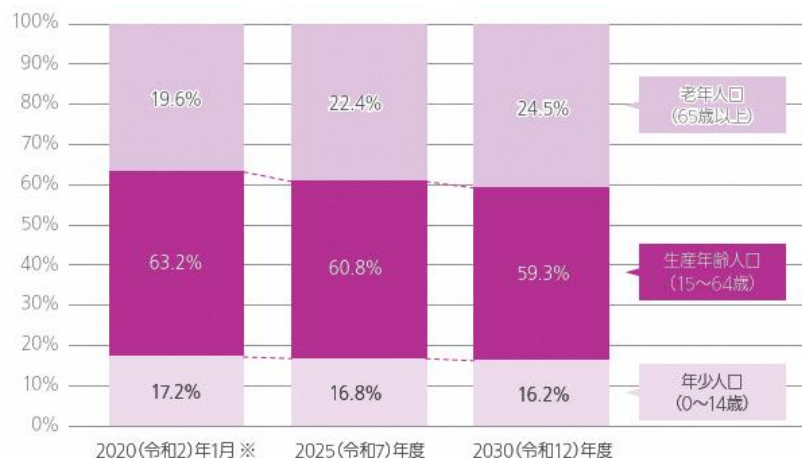
- ①那覇空港駅～浦添前田駅～浦添運動公園**
- ・ 那覇空港駅～浦添前田駅：約35分
 - ・ 浦添前田駅～浦添運動公園：徒歩約15分、シェアサイクル約5分
- ②那覇空港駅～おもろまち駅～仲間入口バス停～浦添運動公園**
- ・ 那覇空港駅～おもろまち駅：約21分
 - ・ おもろまち駅～仲間入口バス停：約28分
 - ・ 仲間入口バス停～浦添運動公園：徒歩約3分
- ③那覇空港駅～おもろまち駅～浅野浦バス停～浦添運動公園**
- ・ 那覇空港駅～おもろまち駅：約21分
 - ・ おもろまち駅～浅野浦バス停：約9分
 - ・ 浅野浦バス停～浦添運動公園：徒歩約5分



① 浦添市の人口推移

- 全国的に人口減少下にある中で、本市の人口は増加傾向が続いており、2030（令和12）年には、概ね12万1千人を見込みます。
- 一方で、年齢3区分別人口は、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15歳～64歳）は減少し、老年人口（65歳以上）が増加をしていく見通しであり、2030年に24.5%になる見通しです。

《将来人口推計》



出典：浦添市「第五次浦添市総合計画」

② 入域観光客推移

- 新型コロナウイルス感染症流行の令和2年1月以降は観光客数が激減しましたが、令和4年になり回復傾向にあります。
- 令和4年度上半期の入域観光客数は、299万7,600人となり、対前年同期比で163万3,400人、119.7%の増加となっています。

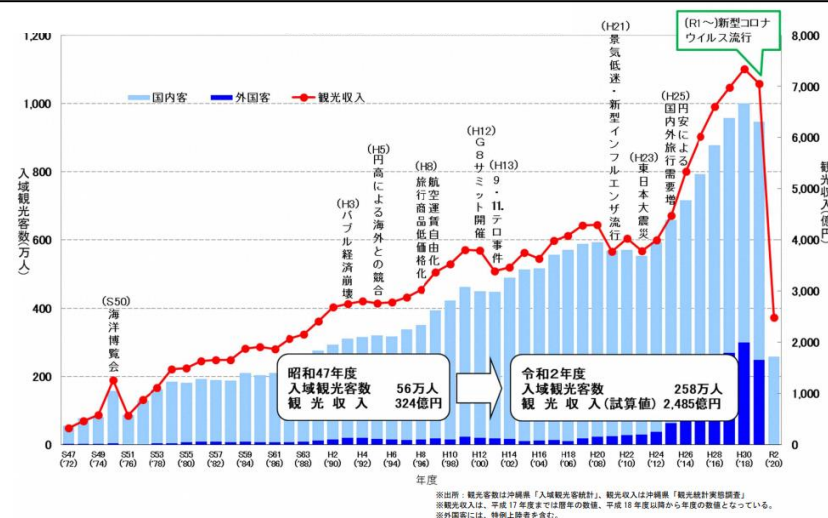


図 月別入域観光客数の推移 (令和元年度～令和4年度)

出典：沖縄県「令和2年版観光要覧」

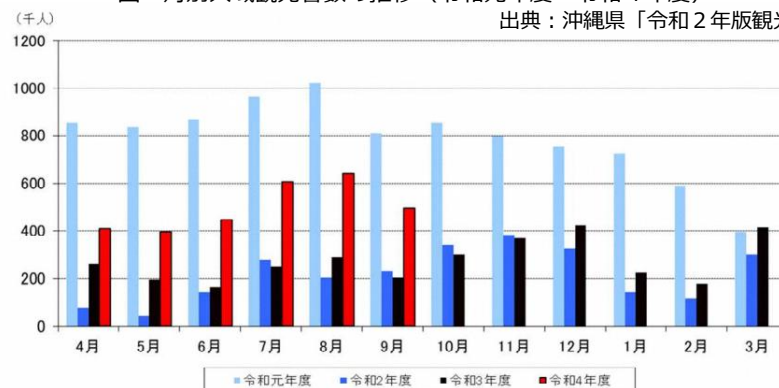


図 月別入域観光客数の推移 (令和元年度～令和4年度)

出典：沖縄県「令和4年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況」

① 浦添運動公園の利用者数推移

- 施設全体の利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行前のH30年度では97万人の利用でした。令和2年1月以降の新型コロナウイルス感染症流行により、利用者数は減少し、R2年度およびR3年度は30万人まで減少しています。利用者数の回復に向けた取組が必要。
- 最も利用の多い施設は陸上競技場であり、次に市民体育館、まじゅんらんど、屋内運動場、市民球場の順で続きます。

表 利用件数及び人数

施設名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
陸上競技場	505,595	498,804	655,517	427,085	250,618	101,331	90,954
市民体育館	172,199	168,547	165,868	192,068	151,142	73,294	72,938
まじゅんらんど	92,014	95,776	90,367	84,196	86,508	51,753	41,425
屋内運動場	74,052	75,431	76,166	83,058	74,463	43,894	37,014
市民球場	79,996	54,697	58,764	83,169	61,239	19,276	35,972
武道場	60,795	81,592	67,597	81,541	57,524	38,214	30,826
屋外運動場	18,125	14,704	17,918	16,300	16,254	10,142	8,421
相撲場	3,621	3,349	3,697	3,356	3,027	1,566	2,943
施設全体	1,006,397	992,900	1,135,894	970,773	700,775	339,470	320,493

利用割合

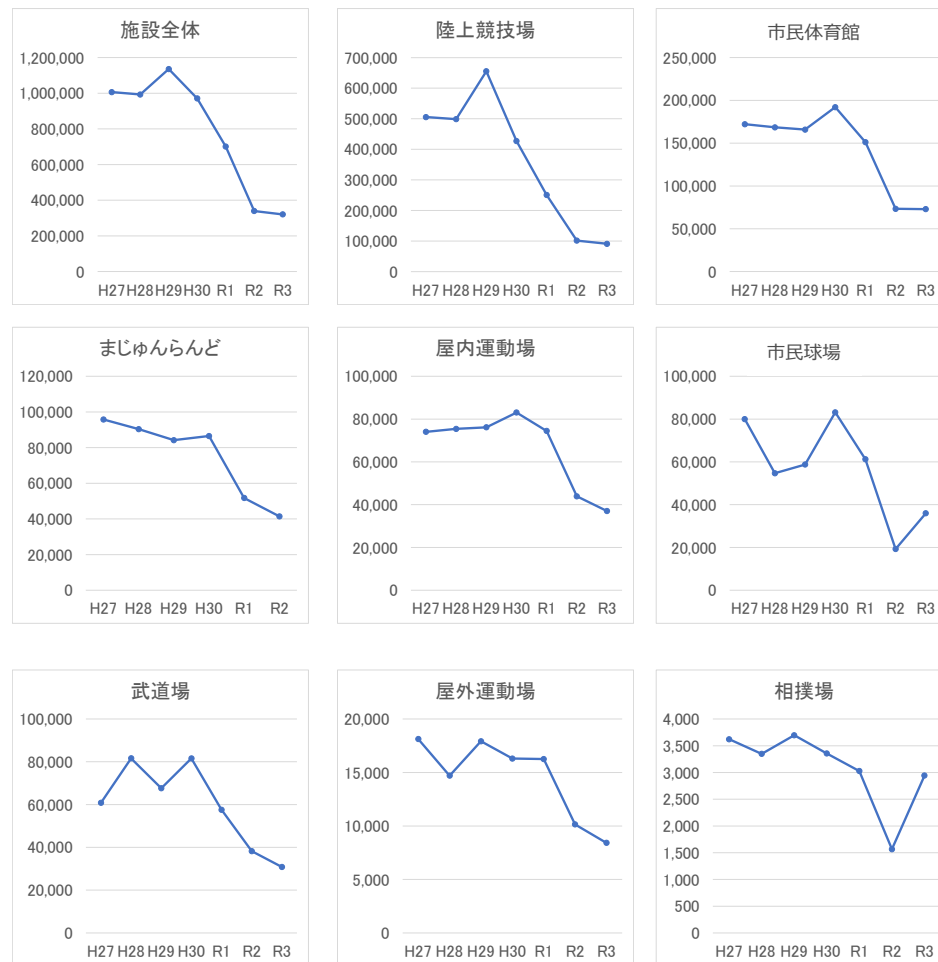
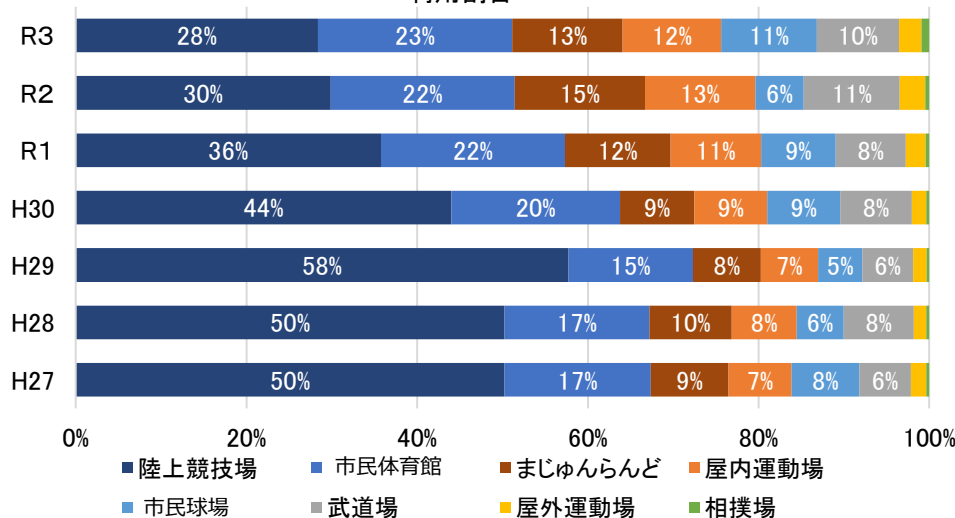
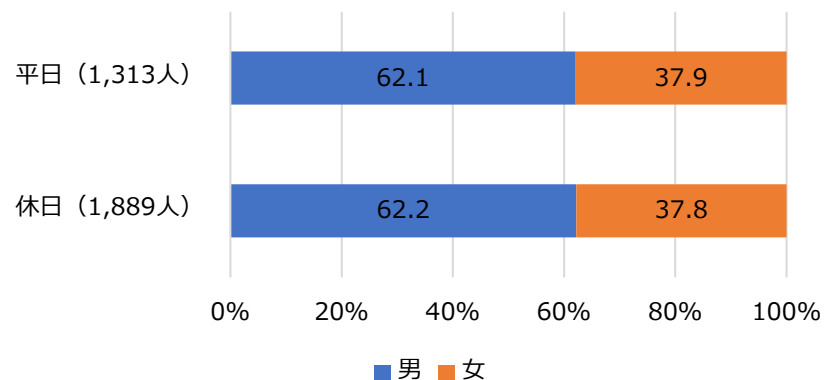
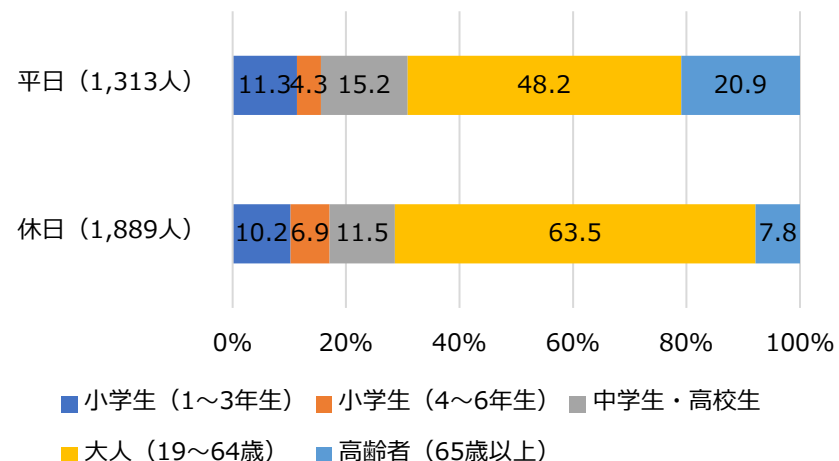


図 施設別利用件数及び人数の推移

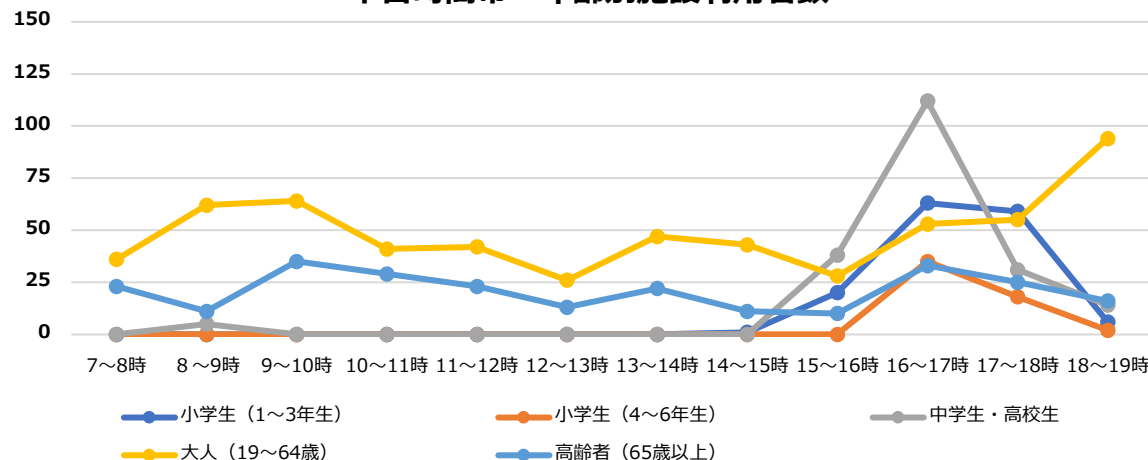
出典：浦添市資料より作成

② 利用者実態（年齢層、滞在時間、交通手段等）（令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」（国土交通省）の結果より）

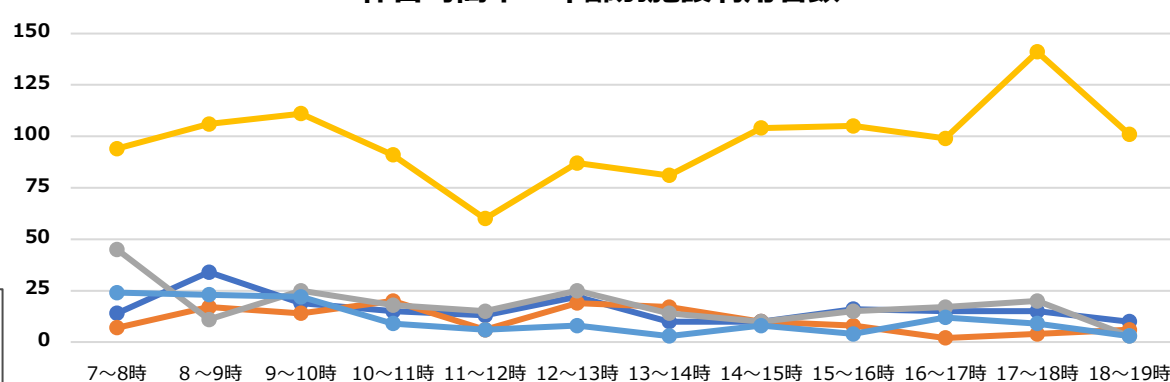


- ・ 平日の利用者数は約1,300人、休日の利用者数は約1,900人で平日の約1.4倍の利用になります。
- ・ 年齢別利用では、大人の利用が最も多く、平日では高校生以下の利用が約3割、高齢者が約2割です。高齢者は平日の利用割合が多くなっています。
- ・ 男女別利用状況は男性が6割、女性が4割となっています。
- ・ 割合の低い高校生以下や高齢者、女性の利用も考慮した施設整備が必要です。

平日時間帯・年齢別施設利用者数



休日時間帯・年齢別施設利用者数



- ・ 平日は、午前中には大人・高齢者の利用が主であり、15時以降から学校を終えた小・中・高校生の利用者が増え、18時以降に大人の利用が増えています。
- ・ 休日は、特に大人（19～64歳）の利用が多くなっています。
- ・ 利用時間帯を考慮した施設運営等が必要です。

③ 利用実態（居住地、主な交通手段等）（令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」（国土交通省）の結果より）

概要：浦添運動公園及び拠点施設の利用者へのアンケート調査

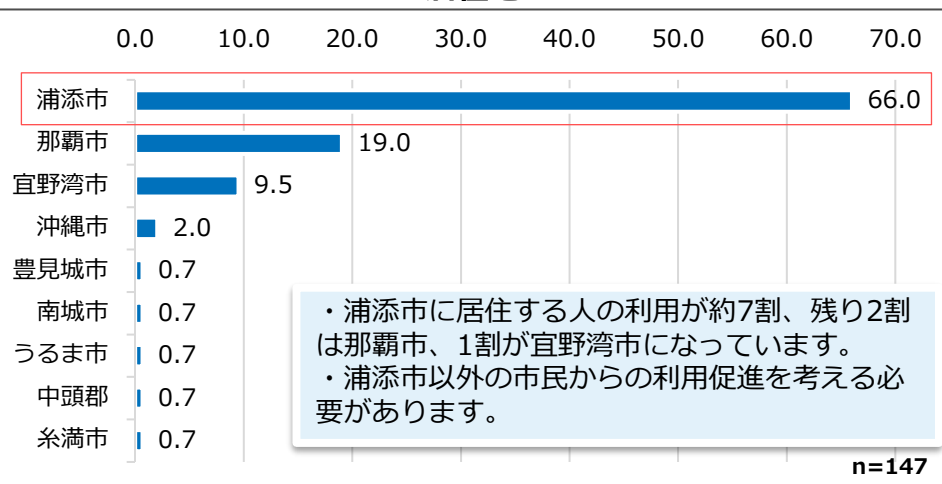
実施日：令和3年10月17日

対象者：小学生以上

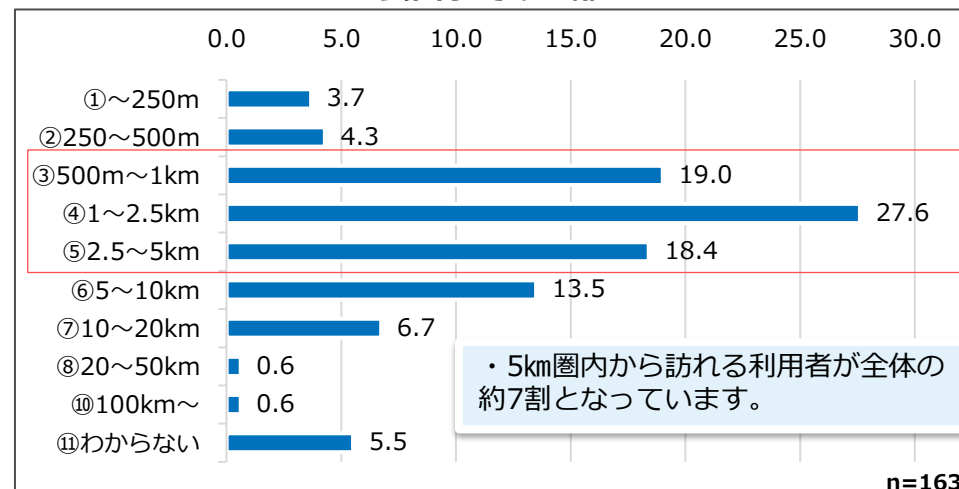
実施方法：公園の出入り口で退園者に回答（紙方式とWeb方式）

アンケート回答者：178名

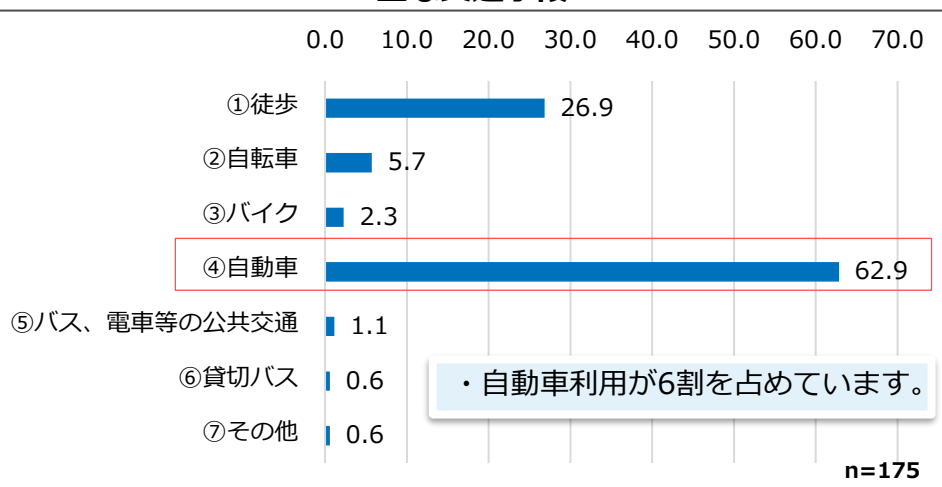
居住地



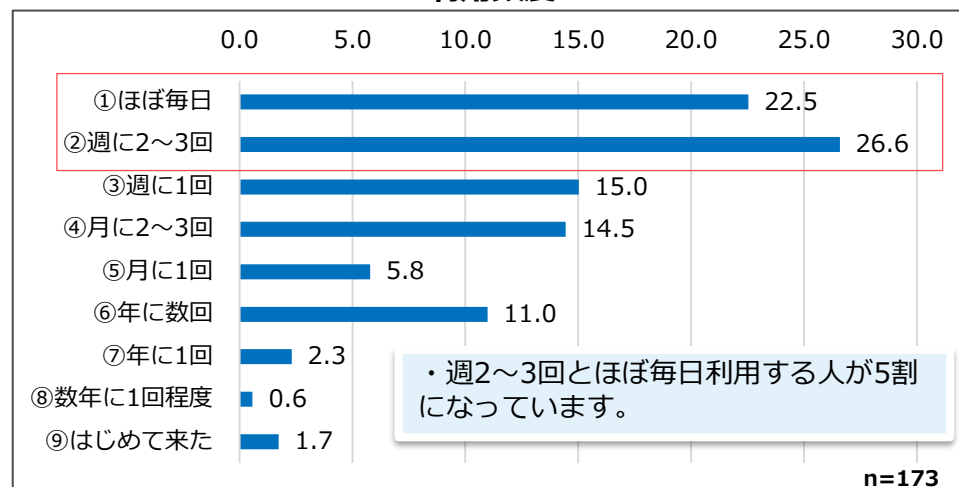
公園までの距離



主な交通手段



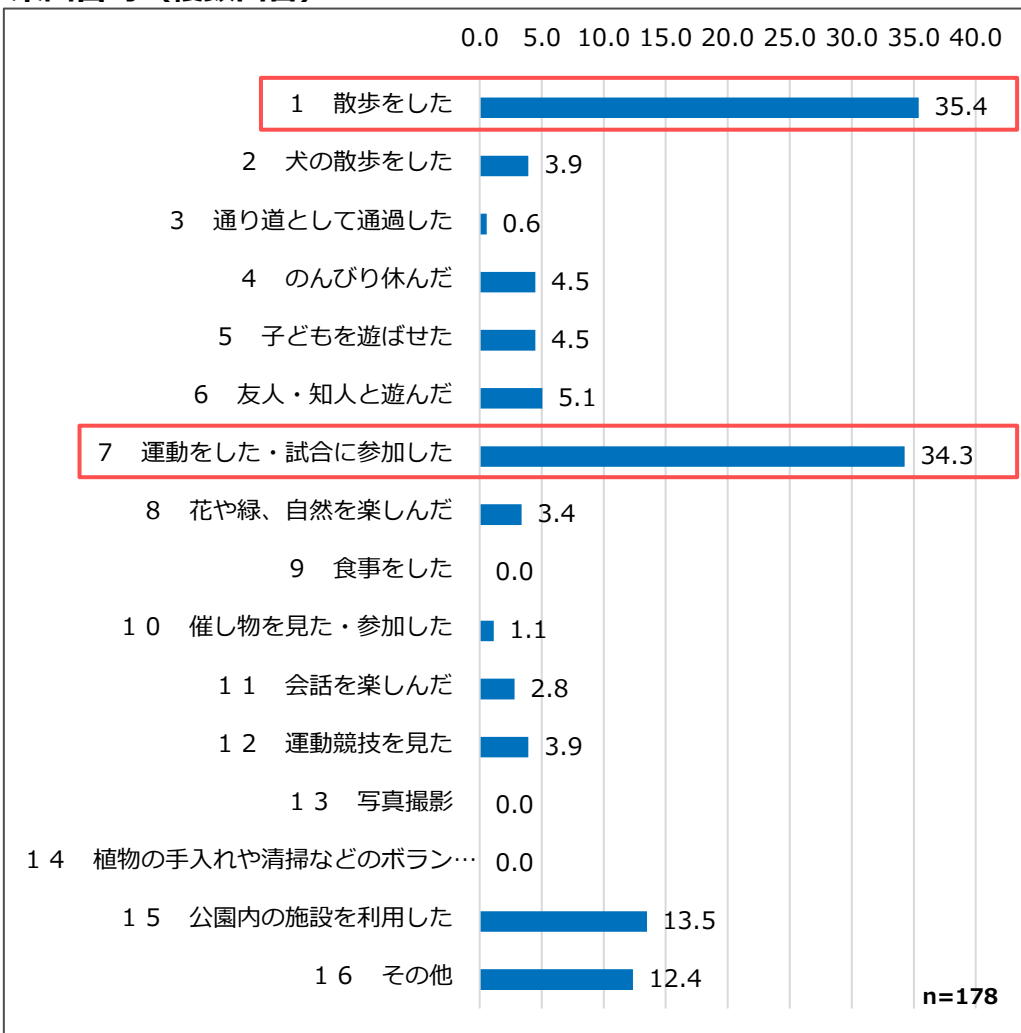
利用頻度



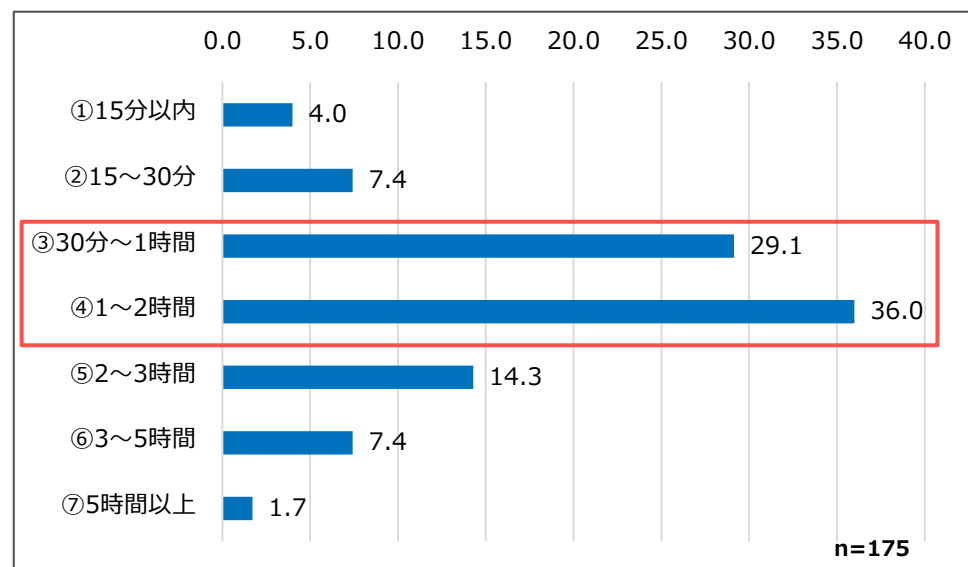
④ 利用実態（来園目的、滞在時間）（令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」（国土交通省）の結果より）

- 運動公園の来園目的は、**散歩や運動・試合参加での利用**の回答が多くなっています。また、滞在時間は**30分～2時間の滞在が約7割**を占めています。
- 運動競技を観るために来園した人が少ないため「観る」スポーツの促進や多様な活動を行えるような柔軟な公園の利用が考えられます。

来園目的（複数回答）



滞在時間



⑤ 年齢別の来園目的、滞在時間等（令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」（国土交通省）の結果より）

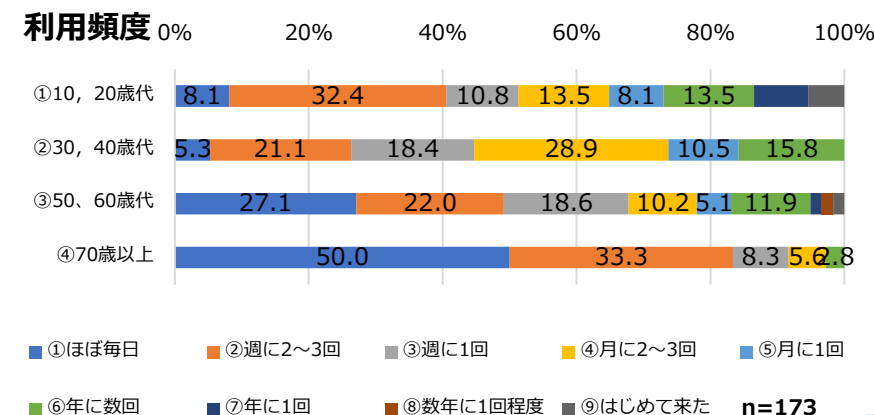
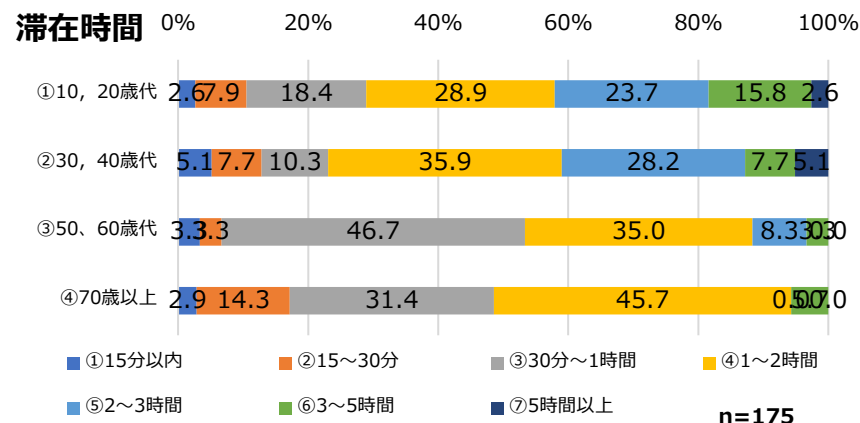
- 年齢別・来園目的をみると50、60歳代と70歳以上の主な目的が散歩での利用となっています。70歳以上では、会話や自然を楽しむ目的での来園も見られます。
- 10、20歳代と30、40歳代の約4割は、運動・試合参加での利用となっています。
- 10、20歳代では、友人・知人と遊ぶ目的での来園も見られます。
- 滞在時間をみると50歳以上の来園者は2時間以内の使用が多く、10～40歳代では2時間以上の利用者が多くなっています。
- 利用頻度は、特に50～70歳代でほぼ毎日、週2～3回の利用が多く、高頻度で利用されています。

- 散歩や運動、試合への参加を目的にリピートでの利用者が多いことから、観るスポーツの開催や交流の場としての施設利用など多様な目的での来園を促進する取組等が考えられます。

来園目的（複数回答）

問7 来園目的	①10、20歳代	②30、40歳代	③50、60歳代	④70歳以上
1 散歩をした	7.9	15.4	42.6	73.0
2 犬の散歩をした	5.3	5.1	1.6	2.7
3 通り道として通過した	0.0	0.0	0.0	2.7
4 のんびり休んだ	7.9	0.0	4.9	5.4
5 子どもを遊ばせた	2.6	10.3	4.9	0.0
6 友人・知人と遊んだ	18.4	2.6	0.0	2.7
7 運動をした・試合に参加した	44.7	48.7	34.4	10.8
8 花や緑、自然を楽しんだ	0.0	0.0	1.6	10.8
9 食事をした	0.0	0.0	0.0	0.0
10 催し物を見た・参加した	0.0	0.0	3.3	0.0
11 会話を楽しんだ	0.0	0.0	1.6	10.8
12 運動競技を見た	5.3	10.3	1.6	0.0
13 写真撮影	0.0	0.0	0.0	0.0
14 植物の手入れや清掃などのボランティア活動に参加した	0.0	0.0	0.0	0.0
15 公園内の施設を利用した	13.2	25.6	11.5	5.4
16 その他	10.5	10.3	13.1	13.5

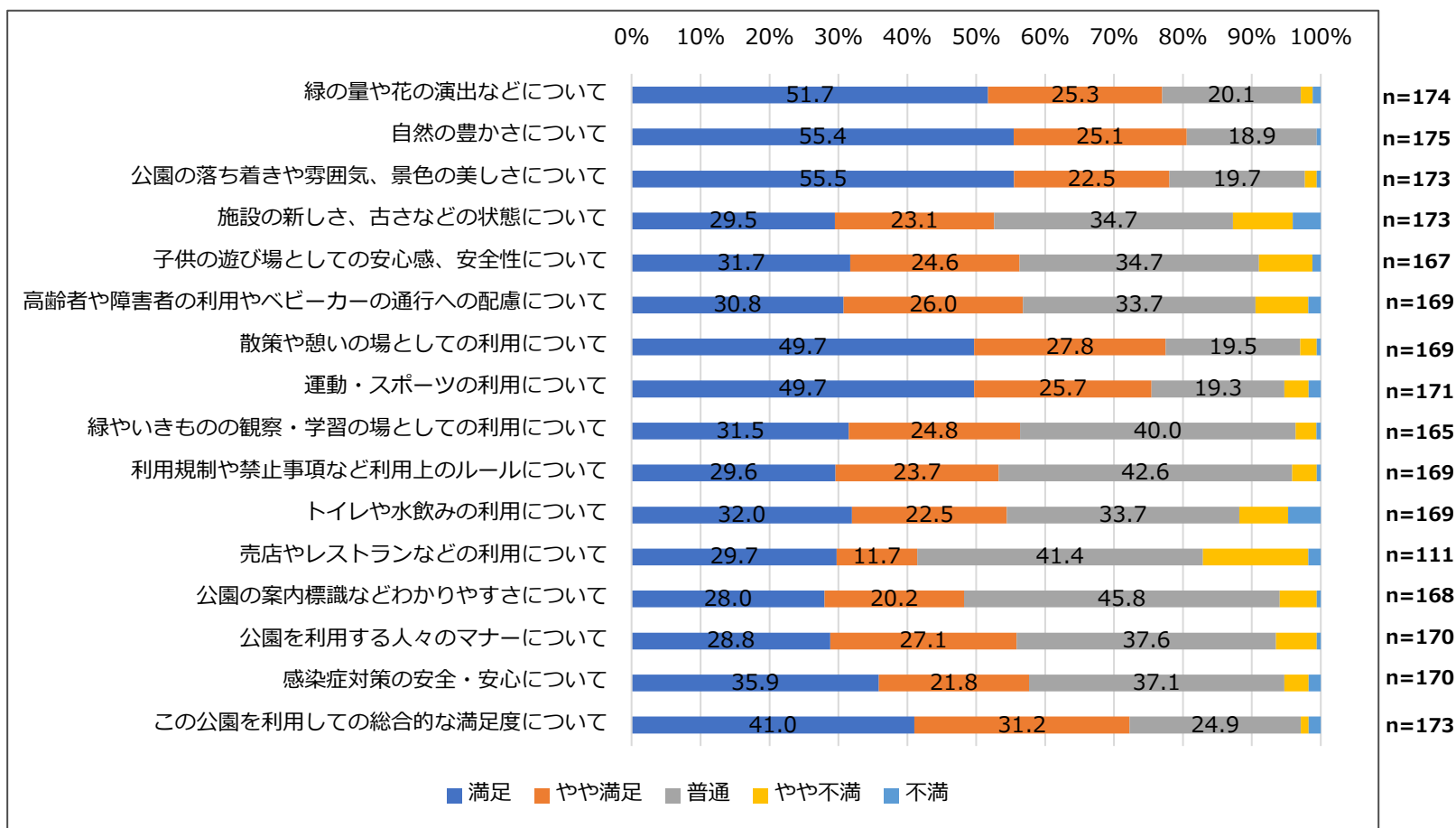
n=178



⑥ 公園の満足度（令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」（国土交通省）の結果より）

- 運動公園利用者は運動公園の自然の豊かさ、みどりの量や花の演出等の自然を感じることができることに高い満足度を示しています。また、憩いの場としての利用や運動・スポーツ施設として利用することも満足度が高い結果になっています。
- 逆に満足度が低い項目は、売店・食事処の利用やトイレ・水飲み場の利用に関して挙げられます。さらに施設の状態や、高齢者・障がい者の利用に対して満足度が低い結果となっています。施設では売店や水回りの整備のほか、バリアフリー整備を行う必要があります。

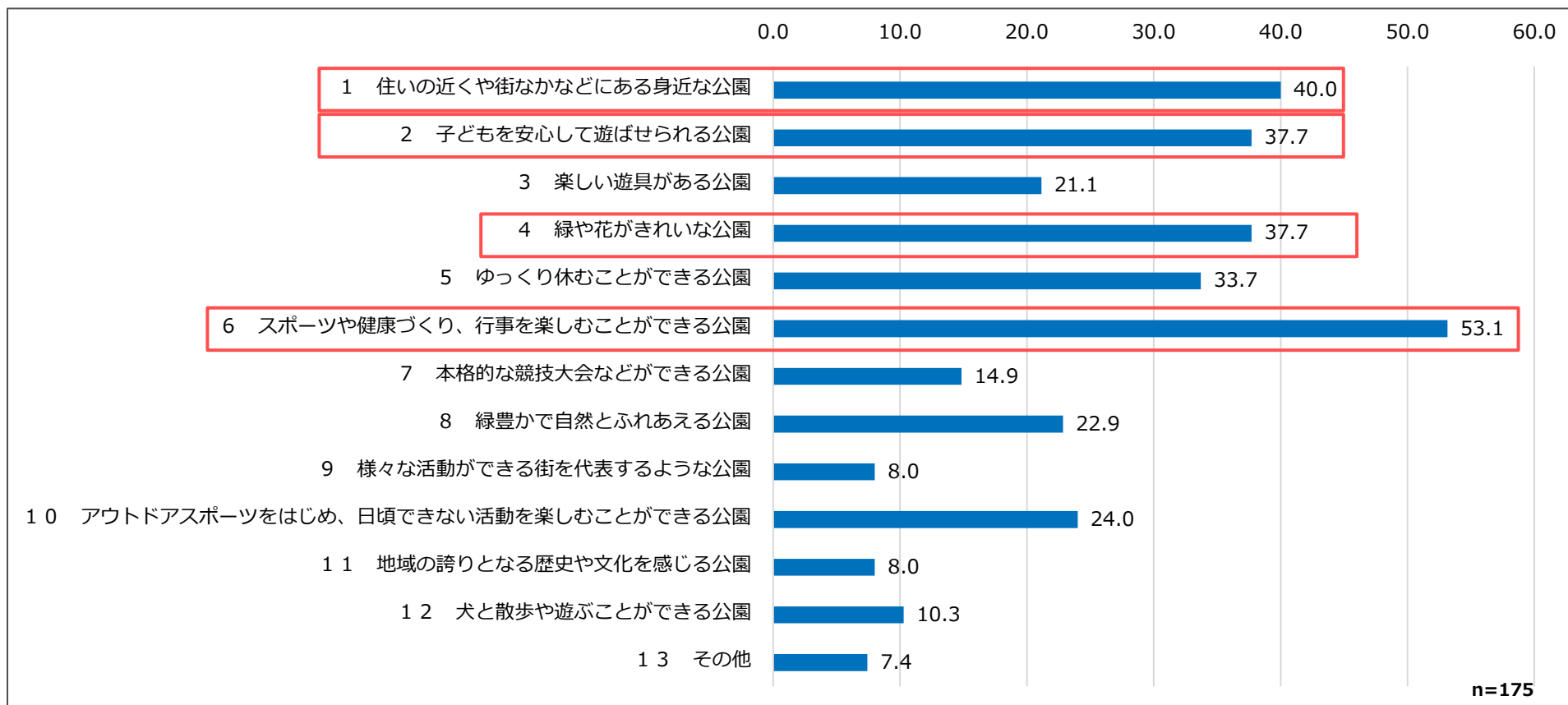
公園の満足度



⑦ 公園への希望（令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」（国土交通省）の結果より）

- 今後の運動公園への希望では、スポーツ・健康づくり・行事ができる運動公園の回答が多くなっています。
- さらに、緑や花がきれいで、子どもや近隣の住民が使い易いような運動公園であってほしいと希望されていることから、新体育館整備で運動公園全体のみどりや景観を損なわないように注意する必要があります。

公園への希望



⑧ 公園への希望（年齢別）（令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」（国土交通省）の結果より）

- ・ 年齢別では、どの世代からも、**スポーツ・健康づくり・行事が楽しめる公園**が希望されています。
- ・ 30歳以上の来園者からは**緑や花がきれいな運動公園であってほしい**と希望されています。
- ・ 30～60歳代までの子育て世代では、**子どもが安心して遊べる公園が希望**されています。
- ・ 10～40歳代では、アウトドアスポーツをはじめ、日頃できない活動を楽しむことができる公園の希望もあります。
- ・ 全体の回答から、運動公園は今よりもさらに利用者にとって**身近な公園を目指し子どもから大人まで年齢層広く利用出来る公園を目指す**必要があります。

公園への希望（年齢別）

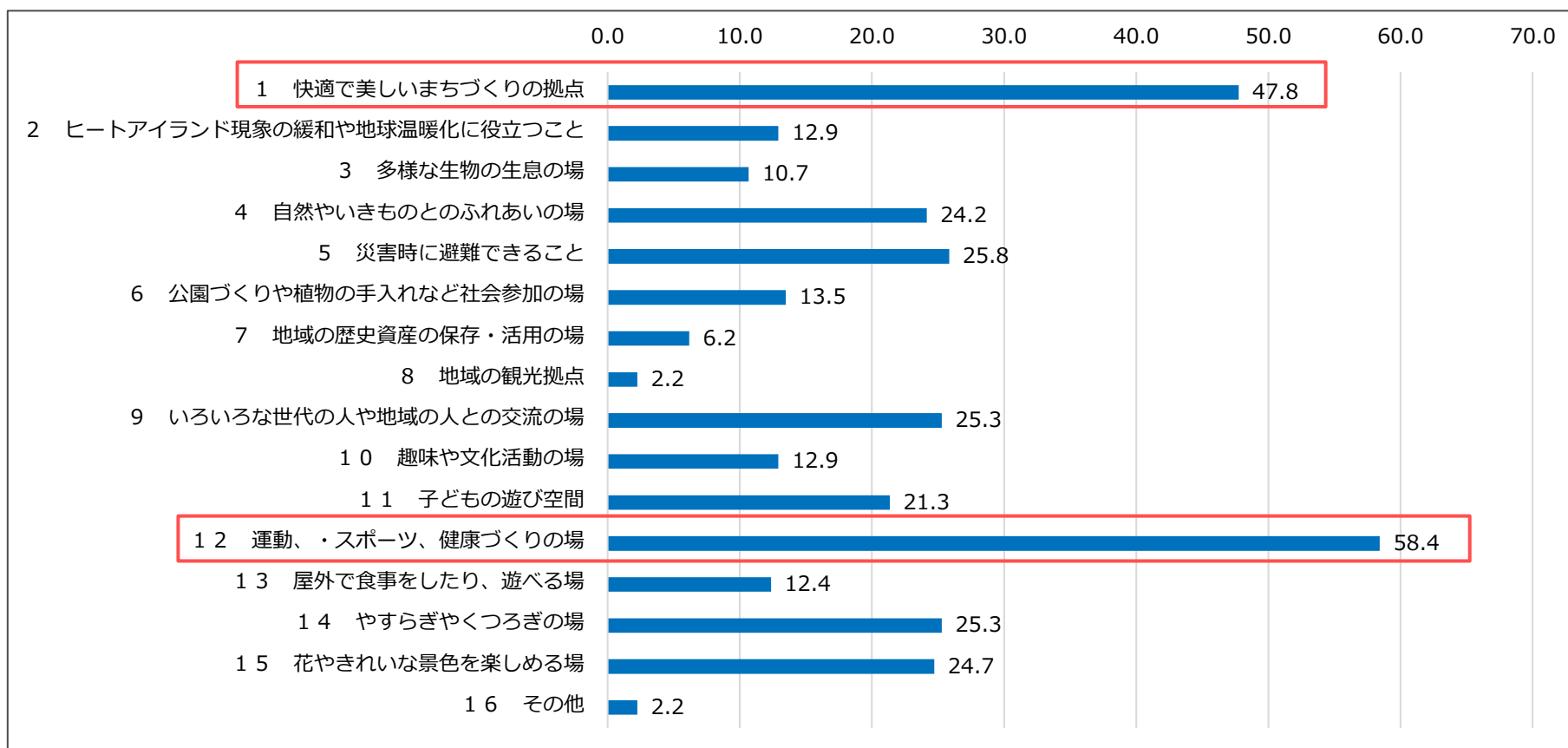
問 1 2 公園への希望	①10, 20歳代	②30, 40歳代	③50, 60歳代	④70歳以上
1 住いの近くや街なかなどにある身近な公園	24.3	44.7	40.0	54.1
2 子どもを安心して遊ばせられる公園	21.6	52.6	46.7	24.3
3 楽しい遊具がある公園	10.8	28.9	26.7	13.5
4 緑や花がきれいな公園	13.5	34.2	45.0	56.8
5 ゆっくり休むことができる公園	13.5	36.8	48.3	29.7
6 スポーツや健康づくり、行事を楽しむことができる公園	59.5	52.6	56.7	45.9
7 本格的な競技大会などができる公園	18.9	18.4	15.0	8.1
8 緑豊かで自然とふれあえる公園	8.1	18.4	25.0	40.5
9 様々な活動ができる街を代表するような公園	5.4	7.9	11.7	5.4
1 0 アウトドアスポーツをはじめ、日頃できない活動を楽しむことができる公園	32.4	28.9	25.0	10.8
1 1 地域の誇りとなる歴史や文化を感じる公園	8.1	0.0	11.7	10.8
1 2 犬と散歩や遊ぶことができる公園	10.8	10.5	11.7	5.4
1 3 その他	8.1	5.3	8.3	8.1

n=175

⑨ 公園の役割への期待（令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」（国土交通省）の結果より）

- 運動公園来園者の多くが運動・スポーツ・健康づくりの役割や快適で美しいまちづくりの拠点となることを期待しています。
- 公園を核に周辺まちづくりへの波及を考慮する必要があります。

公園の役割への期待



⑩ ライフステージに応じた利用形態（令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」（国土交通省）の結果より）

- どの年齢層からも、運動・スポーツ・健康づくりのための役割を持った場であることが望まれるとともに、快適で美しいまちづくり拠点の役割を持つことが期待されています。
- 今後、観るスポーツの導入により、運動・スポーツ・健康づくりのための役割の拡充が期待されています。
- 30, 40歳代では子どもの遊び空間、50, 60歳代では災害時に避難できること、70歳以上ではやすらぎやくつろぎの場、花やきれいな景色を楽しめる場としての役割として期待されています。

公園の役割への期待

問 1 3 公園の役割への期待	①10, 20歳代	②30, 40歳代	③50, 60歳代	④70歳以上
1 快適で美しいまちづくりの拠点	31.6	48.7	57.4	51.4
2 ヒートアイランド現象の緩和や地球温暖化に役立つこと	5.3	5.1	23.0	13.5
3 多様な生物の生息の場	7.9	7.7	14.8	10.8
4 自然やいきものとのふれあいの場	21.1	25.6	24.6	27.0
5 災害時に避難できること	7.9	20.5	39.3	29.7
6 公園づくりや植物の手入れなど社会参加の場	10.5	5.1	19.7	16.2
7 地域の歴史資産の保存・活用	0.0	0.0	9.8	13.5
8 地域の観光拠点	2.6	0.0	3.3	2.7
9 いろいろな世代の人や地域の人との交流の場	18.4	28.2	29.5	18.9
10 趣味や文化活動の場	7.9	12.8	18.0	10.8
11 子どもの遊び空間	15.8	30.8	19.7	21.6
12 運動・スポーツ・健康づくりの場	57.9	64.1	60.7	54.1
13 屋外で食事をしたり、遊べる場	10.5	17.9	13.1	8.1
14 やすらぎやくつろぎの場	21.1	23.1	24.6	32.4
15 花やきれいな景色を楽しめる場	13.2	17.9	27.9	40.5
16 その他	5.3	2.6	1.6	0.0

① 施設の老朽化・陳腐化

- 運動公園内の各拠点施設の利用について、市民の日常の健康増進や地域団体のイベント利用など多様に利用されています。
- また、ヤクルトスワローズのキャンプ地としての利用や琉球コラソンの試合会場などプロスポーツによる利用もあります。

No	施設名 (供用年)	愛称名	延床面積		観客席・収容人数	利用状況	課題
1	陸上競技場 (昭和59年)	ANA FIELD 浦添	26,000 m ²	トラック：全天候ウレタン舗装（3種公認400m・8レーン） 各種助走路：全天候ウレタン舗装	6,254人 (メインスタンド 1,806人、サブスタン ド502人、芝スタンド 3,946人)	・ウォーキングやジョギングといった市民の健康増進のために利用されているとともに、陸上競技大会をはじめ、プロ野球キャンプ期間中は選手のウォームアップにも利用されている。	・事務室・男子更衣室及びシャワー室・会議室については、老朽化による雨漏りがみられ諸室の半数近くが現在使用できていない。
2	市民体育館 (昭和62年)	ANA ARENA 浦添	7,700 m ²	1 階部分の浦添市武道場面積（2,094 m ² ）を含む 2 階部分 3,000 m ² (60×50m) ※ハンドボールコート2面が確保可能	876 席 (うち2階 680 席、 3階 196席)	・スポーツ利用として、ハンドボールやバレーボール、バスケットなどの練習や大会、年2回程度、日本ハンドボールリーグのリーグ戦が開催されており、多くの観客を集めている。	・貸し館として市民・団体の利用ニーズが高いことから、大会・イベント等の大幅な利用増を見込むことが難しい。
3	武道場 (平成9年)		2,094 m ²	トレーニング室：307.3428 m ² 柔道場：307.3428 m ² 剣道場：298.9714 m ² 空手道場：298.9714 m ² ホール・通路等 881.8066 m ²		・柔道や剣道といった武道に加え、体操や卓球、創作ダンスまで多様な利用が行われており、稼働率も高い。	・剣道の利用者からは、床面が固いという声も聞かれる。
4	多目的 屋内運動場 (平成10年)	ANA SPORTS HALL 浦添	3,692.14 m ²	メインアリーナ 2,220m ² (56×45m) サブアリーナ 510 m ² (17×30m) ※共に人工芝		・テニス、フットサル、ドッジボール、3 on 3、野球練習等に利用されており、専用利用としては、ハンドボール大会、フットサル大会、また、保育園や幼稚園の運動会としても利用されている。プロ野球のキャンプ時には内野練習等でも利用されている。また、人工芝のある貴重な屋内空間として多種目に利用されており稼働率も高い。	・稼働率が高く飽和状態である。 ・人工芝やネット等の経年劣化による更新等が必要である
5	相撲場 (平成16年)	ANA どすこい パーク浦添	491.84 m ²	補助相撲場（屋根なし）・シャワー更衣室含む	観客席約 250 席	・わんぱく相撲や高校総体等に利用されており、本島中南部において、大会で利用できる相撲場は貴重で市内外からの利用がある。	・屋外施設であることから、犬・猫の糞尿等の被害があり、対処に苦慮している。
6	多目的 屋外運動場 (平成9年)	ANA てだこ サブグラウンド	3,450 m ²	※黒土 ※両翼：約 45m		・野球やソフトボールの内野練習、グラウンドゴルフに利用されている。プロ野球キャンプでも利用されている。 ・バッティング練習や試合での利用はできないものの、練習用としてプロ野球キャンプ時や市民の利用がみられる。	・雨天時に水が溜まりやすく、その後の排水に時間がかかり、施設の使用に支障をきたすことがある。
7	市民球場 (平成8年)	ANA BALL PARK 浦添	21,469 m ² (グラウンド 13,284.8 m ²)	両翼 98m、中堅 122m	メインスタンド 3,461 席、内野スタンド 4,943 席、外野芝スタン ド約 6,095 人分	・市民や県民大会クラスの大会も定期的に開催されている。 ・プロ野球のキャンプ利用施設としても定着しており、オープン戦等も開催されている。	・経年劣化による施設修繕等を適切に実施し、維持保全を図っていく必要がある。
8	温水プール まじゅんらんど (平成16年)	ANA まじゅん らんど 浦添	3,543.05 m ²	プール トレーニングルーム 会議室		・温水プールやジャグジーなどが整備されており、市民等の健康増進やリラクゼーションに活用されている。 ・指定管理者が無料送迎バスの運行を行っている。	・設備関係の修繕等があることから、適切な修繕を図り維持保全をする必要がある。

② バリアフリーへの対応

- ・ 運動公園全体及び拠点施設で、誰にでも利用しやすい施設としてのバリアフリー等の環境づくりが必要です。

○第五次浦添市地域福祉計画における位置づけ

○誰にでも利用しやすい施設としてバリアフリー対応の推進

- ・ 障がい者スポーツを普及、推進するために、様々な障がいに対応できるバリアフリーな施設、設備とするとともに、スペシャルオリンピック等障がい者イベントを開催する。また、外国人、LGBTQ 等多様性社会に対応した施設の整備を推進する。

(具体的な提案)

- ・ 点字ブロック、館内移動スロープ、音声案内等
- ・ 多言語案内版の設置
- ・ 多目的トイレ、誰でもトイレの整備
- ・ 障がい者用駐車場の確保 等

○沖縄県福祉のまちづくり条例への対応

○公園について

- ・ 公園では基本的な場面で、出入り口、園路、便所、駐車場、案内板、附帯設備、転落防止のための措置など高齢者や障がい者用に対しての配慮を考える必要がある。

○建築物について

- ・ 高齢者、障がい者等が円滑に利用できる経路、案内設備までの経路、視覚障がい者誘導用ブロックや音声誘導装置などのその施設の利用円滑化経路の整備を行う。

③ 防災機能

- ・ 浦添運動公園の防災機能の確保を図る必要があります。

○浦添市地域防災計画における位置づけ

◆浦添市地域防災計画内での言及（平成 30 年 3 月修正）

○広域避難場所の定義と指定

- ・ 大地震時に周辺地域から避難者を収容し、地震発生後、市街地火災や危険物、建物崩壊等から避難者の生命を保護するために必要な面積を有し、ボランティア等の活動拠点となる公園等の広場をいう。
- ・ 浦添カルチャーパーク・浦添運動公園の2箇所

○食料と生活必需物資の備蓄

- ・ 生活必需品については、災害発生後 3 日以内を目標に調達体制を確立することとする。市は、十分な量の備蓄を行うほか、物資の性格、地震・津波の危険性及び避難場所の分布等を考慮して、集中備蓄、分散備蓄、備蓄拠点の設置など、効果的な体制を選定する。

○災害対策本部の設置場所

- ・ 原則として、市役所本庁内に設置する。災害により市役所庁舎が使用できない場合は、以下の順により使用可能を調査し設置する。また、状況によっては災害対策本部に属する現地対策本部を設置する。
(1) 市消防本部 (2) 市民体育館 (3) てだこホール

○浦添カルチャーパークとともに災害時の広域避難場所に指定されており、最大で避難受け入れ可能面積が 44,000 m²で、収容人員は 44,000 人となっている。

○浦添市市民体育館防災機能に係る調査業務では既存市民体育館の抱える諸課題が指摘されている

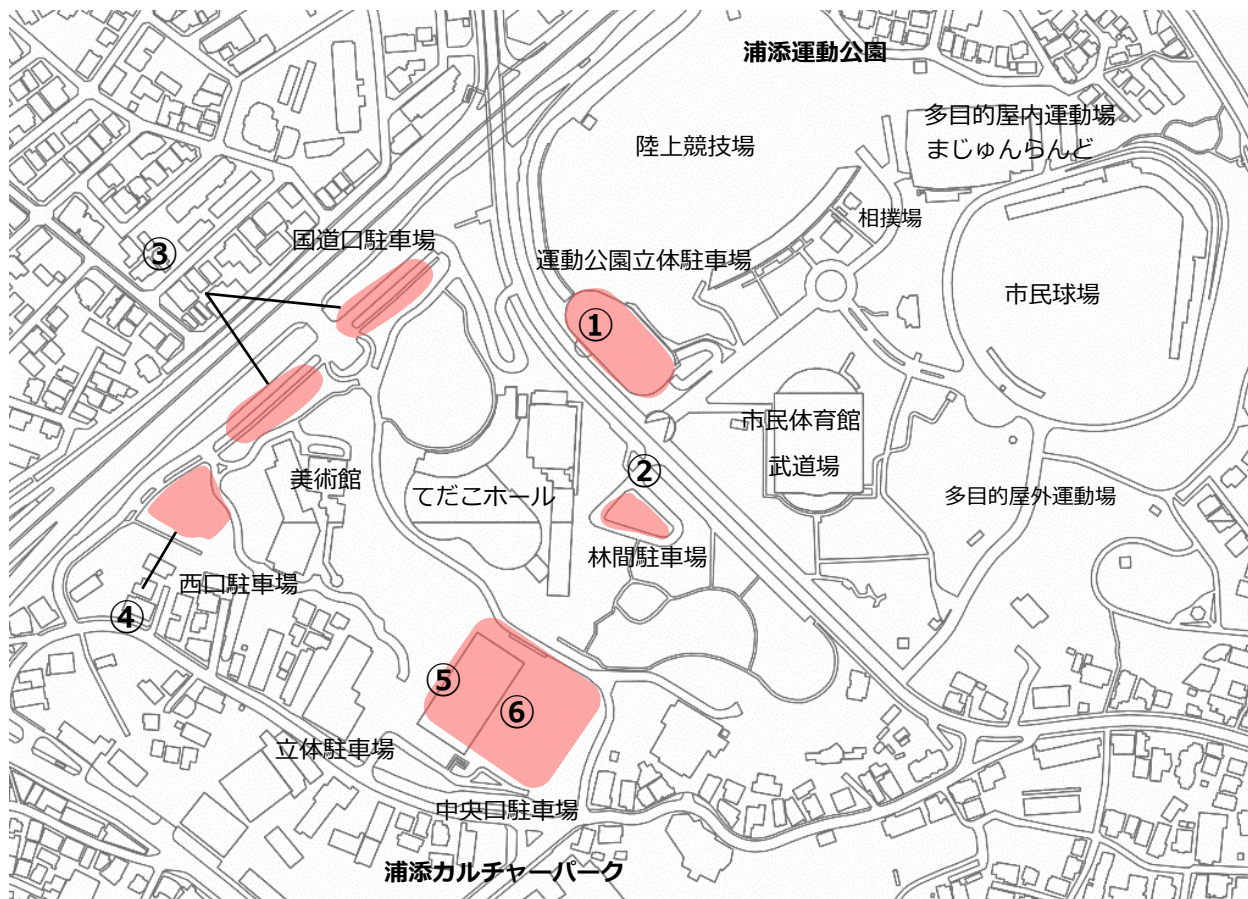
- ・ 非常用備蓄物資の確保が出来ていない
- ・ バリアフリー対策が不十分
- ・ 非常時の水源確保が不十分
- ・ 炊事設備がない
- ・ 空調設備がない
- ・ 非常用電源が不十分など

④ イベント時駐車スペース

- 浦添運動公園には282台分の立体駐車場があり、隣接するカルチャーパークの駐車場と合わせると約900台分整備されています（浦添市役所駐車場約60台分は含まない）。
- 運動公園立体駐車場以外の駐車場は市道を挟んだ南側のカルチャーパーク内に整備されています。

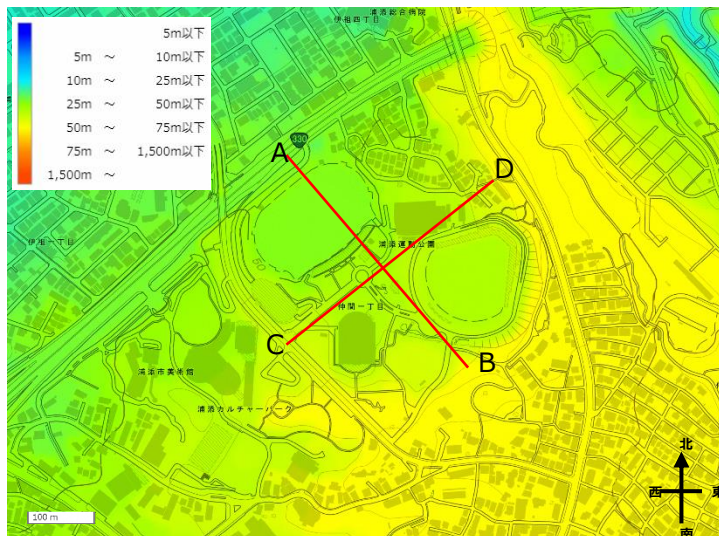
駐車場名		駐車台数
①運動公園立体駐車場		約280台
カルチャーパーク	②林間駐車場	約60台
	③国道口駐車場	約120台
	④西口駐車場	約80台
	⑤立体駐車場	約190台
	⑥中央口駐車場	約160台

出典：新浦添市民体育館整備基本計画



⑤ 地形的特徴への対応

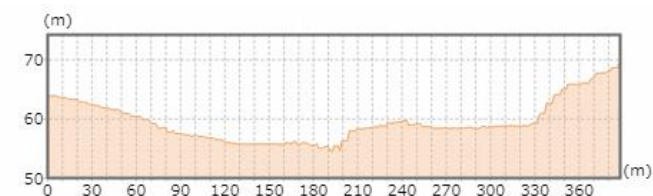
- ・運動公園内は高低差があり、国道330号側から南東方向（図中A→B方向）に標高が高くなっています。
- ・運動公園内は緑に覆われており、豊かな緑地空間を提供しています。また、隣接する浦添大公園やカルチャーパークと連続する緑のネットワークを形成しており、貴重な緑地空間となっています。



色別標高図



A-B断面図



C-D断面図

出典：地理院地図より作成



運動公園及び周辺の緑地

出典：国土地理院「地理院地図（航空写真）」

3 現状及び取り組むべき方向性【3-5 財政・予算の視点からみた運動公園の現況】

① 指定管理者制度費用（公園・運動施設・まじゅんらんど）

- 現在、本公園の管理は、指定管理者制度に基づいて、温水プールを要するまじゅんらんどを「てだこ生き活き共同企業体」と、それ以外の各施設及び公園部分を「てだこサンサン共同企業体」の2団体が管理を行っています。
- 管理運営費について、陸上競技場や体育館は一体的な管理が行われていることから、費目ごとの管理支出も一本化されています。そのため、既存市民体育館の管理費は全体に占める割合を推計し、算定されています（（仮称）新浦添市民体育館整備基本計画（R2.7））

表 管理運営費（新浦添市民体育館整備基本計画（令和2年））

費目	公園全体 （まじゅんらんど除く）	既存市民体育館 （推計値）	新市民体育館
一般事務費	約7,000万円	約5,000万円	約3,000万円
水道光熱費	約3,000万円	約2,000万円	約4,000万円
外注費	約4,000万円	約1,000万円	約2,000万円
合計	約14,000万円	約8,000万円	約9,000万円

- てだこ生き活き共同企業体（代表団体：株式会社フォスタ、構成団体：株式会社トラステック）
- てだこサンサン共同企業体（代表団体：株式会社トラステック、構成団体：美津濃株式会社、株式会社ケイ・ライナー）

表 収支（令和3年度 指定管理者の実績より）

費目	公園全体	備考
収入	約20,200万円	
施設利用料	約3,900万円	体育館、屋内運動場、陸上競技場等
自主事業等	約2,700万円	スポーツ教室、備品レンタル・販売 等
指定管理料	約13,600万円	基本及び修繕費
支出	約20,200万円	
人件費	約7,500万円	
その他	約12,700万円	需用費、役務費、委託費等
ネーミングライツ	約1,000万円	全日本空輸（株）と市の3年契約



図 施設配置図

① ニューノーマルへの対応

- ・ 新型コロナ危機を契機に人々の生活様式が大きく変化（ニューノーマル）し、都市に対するニーズも変化・多様化する中、既存ストックを最大限に活用して市民ニーズに応えていくことが求められています。
- ・ **多様な機能を有する公園のポテンシャルを最大限に発揮し、使われ活きる公園を目指す方向性**が示されています。

都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言

- ・ 「使われ活きる公園」の実現に向けた重点戦略と取組が示されている

重点戦略【1】新たな価値創出や社会課題解決に向けたまちづくりの場とする 施策の方向性

- ①グリーンインフラとしての保全・利活用
- ②居心地が良く、誰もが安全・安心で、快適に過ごせる空間づくり

重点戦略【2】しなやかに使いこなす仕組みをととのえる

施策の方向性

- ③利用ルールの弾力化
- ④社会実験の場としての利活用

重点戦略【3】管理運営の担い手を広げ・つなぎ・育てる

施策の方向性

- ⑤担い手の拡大と共創
- ⑥自主性・自律性の向上

出典：国土交通省「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言」（令和4年10月）

② 脱炭素化への取り組み

- ・ 2020年10月に、国として2050年までに「温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」カーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。
- ・ 2021年6月には2030年までの地域脱炭素の行程と具体策を示した「地域脱炭素ロードマップ」が策定されています。
- ・ 脱炭素化に向けた都市公園・緑地に関する取組として、**CO2吸収量を確保するための整備・保全やウォークアブルな都市空間の形成、都市公園への再生可能エネルギー導入等**が示されています。

都市公園における再生可能エネルギー導入の推進

- ・ 災害発生時に避難地や防災拠点となる防災公園を中心に、自立分散型エネルギー確保の観点も考慮しつつ、再生可能エネルギー施設の導入を推進。
- ・ 公募設置管理制度（Park-PFI）を活用した官民連携による都市公園への太陽電池発電施設の導入も推進。



独立型の太陽光発電による照明灯の例



供給型の太陽光発電施設の例
（屋内型運動施設の屋根に設置）

出典：ニューノーマルに対応した公園利活用の問題
内閣府「再生可能エネルギー等に関する規制等の総点検タスクフォース 会議資料」

③ 持続可能性の確保

- SDGsの実現に向けて運動公園の再整備の検討にあたり、以下のような内容を考慮する必要があります。

SDGsの目標	目標のターゲット（一部抜粋）	運動公園で考慮すべきこと
目標6：安全な水とトイレを世界中に 	- だれもが安全な水を、安い値段で利用できるようにし、だれもがトイレを利用できるようにして、屋外で用を足す人がいなくなるようにする。女性や女の子、弱い立場にある人がどんなことを必要としているのかについて、特に注意する。 - 山や森林、湿地、川、地下水を含んでいる地層、湖などの水に関わる生態系を守り、回復させる。	- 誰もがトイレを利用出来るようにするために、女性や女の子、障がい者などの目線で問題を見つける。 - 利用者実態アンケートの結果ではトイレや水飲み利用についての満足度が低い結果になっているため考慮すべき。
目標11：住み続けられるまちづくりを 	- だれも取り残さない持続可能なまちづくりをすすめる。すべての国で、だれもが参加できる形で持続可能なまちづくりを計画し実行できるように能力を高める。 - 特に女性や子ども、お年寄りや障がいのある人などをふくめて、だれもが、安全で使いやすい緑地や公共の場所を使えるようにする。	運動公園内を女性や子ども、お年寄りや障がいのある人を含めて、誰もが安全安心に使いやすい緑地や交流の場所を提供する。
目標13：気候変動に具体的な対策を 	- 気候に関する災害や自然災害が起きたときに、対応したり立ち直ったりできるような力を、すべての国でそなえ、気候変動への対応を、それぞれの国が、国の政策や、戦略、計画に入れる - 気候変動が起きるスピードをゆるめたり、気候変動の影響に備えたり、影響を減らしたり、早くから警戒するための、教育や啓発をより良いものにし、人や組織の能力を高める。	- 緑地はヒートアイランド現象に対応出来るほか、温暖化や災害防止等にも対応可能なため、運動公園内のみどりを保全・創出する必要がある。 - その際に、周辺の緑のネットワーク形成も考慮する。
目標15：陸の豊かさを守ろう 	- 森林、湿地、山地、乾燥地など陸上の生態系と、内陸の淡水地域の生態系、および、それらがもたらす自然の恵みを、守り、回復させ、持続可能な形で利用できるようにする。さらにあらゆる種類の森林の、持続可能な形の管理をすすめ、森林の減少をくいとめる。 - 砂漠化に対応し、砂漠化、干ばつ、洪水の影響を受けておとろえてしまった土地と土壌を回復させ、持続可能な開発のために欠かせない山地の生態系の能力を強めるため、多様な生物が生きられる山地の生態系を確実に守る。	- 公園内の植物の保全を行うことで、土地・土壌の回復を図り、公園内の生態系や生物多様性を守る。 - 利用者実態アンケートでは公園内の自然の豊かさや、緑や花の量に対しての満足度が高い結果になっているため、今後も緑と花の保全・管理を行っていく必要がある。

③ 持続可能性の確保

SDGsのモデル事業として公園を核にしたまちづくりの展開 (東京都豊島区)

- 国際アートカルチャー都市構想の基本コンセプトである「まち全体が舞台の、誰もが主役になれる劇場都市」の実現に向け、**まちの価値を高めていくための起爆剤として、池袋駅周辺の4つの公園を整備**
- 4つの公園をつなぐ新たな移動手段**として電気バスである「IKEBUS」を導入し、まち全体の回遊性を向上

令和2年度自治体SDGsモデル事業②

165

東京都豊島区 国際アート・カルチャー都市 実現戦略推進事業

東アジア文化都市等を通じて強化されたレガシーを最大限に活用しながら、本区の強みを活かした文化を基軸とした施策を推進するとともに、経済面、社会面、環境面の取り組みを多様な主体との協働により総合的に展開することで、持続発展可能な都市を目指していく。



出典：内閣府地方創生推進室「SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業 事例集」(R4年1月)

公園におけるSDGsの取り組み(万博記念公園(大阪府吹田市))

- 豊かな自然環境を維持し、美しい地球環境の保全を図るとともに、サステナビリティに配慮した誠実で責任ある公園の管理運営を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献することを目指し、公園の多様な機能を活かしたSDGsに貢献する取組が行われている。



自然×運動による健康維持

花や生き物など自然とふれあう場や機会の提供、花壇植え替えや清掃のボランティア活動を通じての社会貢献、INWA・JNFA公認のノルディックウォーキングコースで健康維持の推進を図る。



“ほんもの”に触れる

太陽の塔をはじめ、園内のアート作品や周辺文化施設との連携イベントなど本物の芸術や多様な文化に触れる機会を創出する。



循環型エネルギーの利用

間伐材を燃料として園内カフェのピザ窯での再利用、地下水から供給される池の水を川などの園内水路に循環利用、また太陽光発電パネルによって作り出した電力を一部の園内街路灯に利用するなど、循環可能なエネルギーを作り出す。



防災拠点としての役割

地震で大火が起こった時など、いざという時に命を守るための「広域避難場所」に指定。また、災害時には自衛隊などが活動する防災拠点としての機能も担う。



森の循環と再生

園内の間伐材や伐採木から作成したチップや堆肥を利用して木々や草花を育成するとともに、森林の育成を50年かけて実現。



平和について考える

1970年大阪万博当時、国連本部にある「平和の鐘」が国連館パビリオンで展示。現在もその姉妹鐘が当時の鐘楼と共にあり、平和を考える機会を創出。

出典：万博記念公園HP

③ 持続可能性の確保

- 持続可能で柔軟な公園運営に向けた手法の一つとしてPPP/PFIを活用した取組が行われています。

PPP (Public Private Partnership)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を**行政と民間が連携して行う**ことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。

PFI (Private Finance Initiative)

PFI法に基づいて公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

公共施設等運営権制度を活用したPFI事業（コンセッション事業）

収益施設の併設・活用など事業収入で費用を回収するPFI事業（収益型PFI事業）

公共が支払うサービス購入料で費用を回収するPFI事業（サービス購入型PFI事業）

指定管理者制度

包括的民間委託

公的不動産利活用事業

- 官民連携（PPP/PFI）により、良質な公共サービスの提供やコスト削減、地域活性化など、様々な効果が期待できます。今後の地域経済の持続的な発展に向けて、このような官民連携手法の積極的な導入検討が求められています。

出典：国土交通省 PPP/PFI（官民連携）HP

公募設置管理制度（Park-PFI）の特徴

- 都市公園において**飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を公募により選定する**手続き
- 事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される
→条件は**園路、広場等の公園施設（特定公園施設）の整備を一体的に行うこと**

出典：国土交通省 都市局「公募設置管理制度（Park-PFI）について」

岡山県津山市 スポーツ施設「Globe Sports Dome」

- 2021年3月末に営業を終了した市のスポーツ施設「グラスハウス」を改修作業し、プールの大部分を埋め立て、スポーツリズムトレーニングを導入した新たなスポーツ施設にリノベーションした。



写真：津山市提供

沖縄県那覇市 歴史文化と触れる「クニンダテラス」

- かつて沖縄で栄えた琉球王国時代の歴史を「楽しみながら」学んでもらう交流の場として松山公園と連携して出来た。歴史展示室、レストラン、交流室からなる複合施設。



出典：那覇市「クニンダテラス 松山公園連携施設概要」

④ 上位関連計画

■ 第五次浦添市総合計画(令和3年3月策定)

- 浦添運動公園の位置するエリアは「ウラオソイ文化・交流ゾーン」として、国内外交流、市民活動が展開する交流空間として整備することが示されています。

運動公園及び施設に関する方針等



ウラオソイ文化・交流ゾーン

・浦添城跡、伊祖城跡、浦添大公園一帯の歴史・文化拠点、国際協力機構沖縄センター（JICA沖縄）を中心とした人的交流の拠点である国際交流拠点及び運動公園やカルチャーパークが立地する学習交流拠点が位置するゾーンです。
このゾーンを浦添市の過去から現在に至る国内外交流をはじめ、さまざまな市民活動が展開する交流空間として整備します。そのためには、浦添グスクの復元などによる歴史的環境を創出するとともに、遊歩道を含めたアクセスを整備します。また、水と緑の環状軸と一体となった豊かな緑地の保全・育成を図ります。

主要都市機能の配置

・市役所をはじめ、浦添市立中央公民館、浦添市立図書館、浦添市美術館、浦添市でこホール等が立地するカルチャーパークと、浦添市民体育館や浦添市民球場等を備えた運動公園は、行政・文化・スポーツ機能が集積した本市の拠点です。各種行政サービスや文化活動、スポーツ・レクリエーション活動など、快適で利便性の高い学習交流環境を整備します。

■ 浦添市ティードヌファみどり計画（令和2年5月改定）

- 浦添カルチャーパーク、浦添運動公園一帯を浦添の自然を豊かにするみどりの拠点として整備を図ることが示されています。

中央南地区
計画テーマ：「ティードヌファ」の森と水に抱かれた未来を見つめるみどりのまち



「浦添市の顔となるみどり」である浦添運動公園、浦添カルチャーパークをはじめ、沖縄都市モノレール経塚駅、浦添前田駅を有し、市外から訪れた人が車窓から浦添の魅力を感じられるような眺望づくりなど、市の新たな玄関口としての期待が寄せられる地域です。

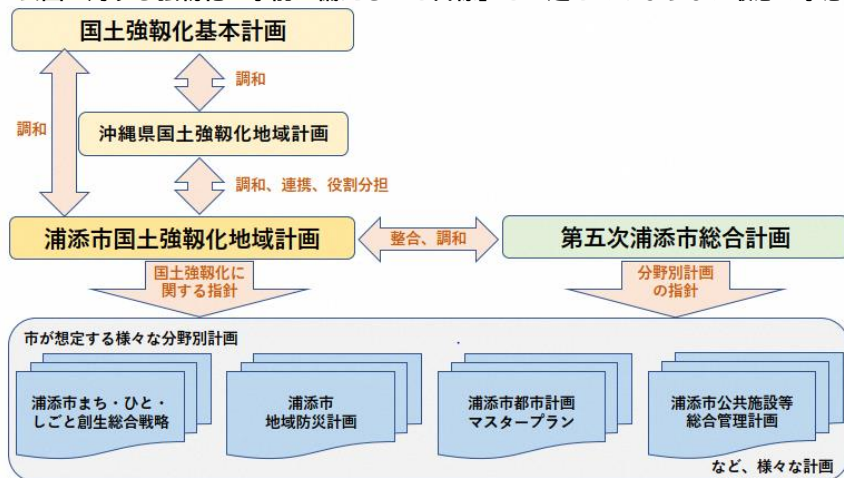
運動公園及び施設に関する方針等

- 本市のほぼ中央に位置する浦添大公園、浦添運動公園及び浦添カルチャーパーク、そして近隣の前田公園等のエリアをティードヌファのみどりの顔として位置づけそこから全市域へみどりの効用を波及させていきます。
- まちづくりの視点から、みどり（浦添カルチャーパーク・浦添運動公園・浦添大公園・前田公園等）のポテンシャルをさらに引き出し、その活用を充分に図り、公園緑地の整備を促進、市域全体にみどりのネットワークを形成していく。
- 都市の安全性を高めるために、浦添カルチャーパーク、浦添運動公園一帯を安全なまちづくりを推進するみどりの拠点としての整備を図ります。また、防災性を高めるみどりの推進エリアとして、牧港や城間、屋富祖等の密集市街地でのみどりの創出を図ります。
- 浦添大公園・浦添運動公園・浦添カルチャーパークの整備推進を行います。浦添運動公園は、市民のレクリエーション及び地域の防災拠点として充実を図るため、引き続き公園内施設の整備を推進するとともに、公園部分の維持管理に努めます。
- 地域に親しまれる公園づくりとして公園緑地は、みどり豊かな安全で快適なまちづくりに欠かせないものです。本市はこれまで浦添運動公園等の大きな公園から街区公園等の小さな公園まで様々な公園を鋭意整備してきました。しかし、まだまだ身近な公園等の設置には地域的な偏りが見られるため、今後バランス良く公園を配置していく必要があります。

■ 浦添市国土強靱化地域計画（令和4年3月策定）

- ・災害時における「避難地・避難路の確保」を念頭に、都市基幹公園等の広域避難地、住区基幹公園の一時避難地を計画的に配置・整備し、避難地及び避難路を確保します。

公園に対する強靱化「事前に備えるべき目標」と「起きてはならない最悪の事態」



① 直接死を最大限防ぐ

② 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

③ 必要不可欠な行政機能は確保する

④ 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する

⑤ 経済活動を機能不全に陥らせない

⑥ ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

⑦ 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない

⑧ 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する

避難地・避難路の確保

都市基幹公園等の広域避難地、住区基幹公園の一時避難地を計画的に配置・整備し、避難地及び避難路を確保する。

■ 浦添市地域防災計画（平成31年3月修正）

- ・浦添運動公園及び浦添カルチャーパークは広域避難場所に指定されています。

・災害対策基本法（昭和36年・法律第223号）第42条及び浦添市防災会議条例第2条の規定に基づいて、浦添市の防災対策に関し、概ね次の事項を定め、もって総合的かつ計画的な防災行政の推進を図り、防災の万全を期するものである。

運動公園に対する対応

広域避難場所

都市基幹公園等の広域避難地、住区基幹公園の一時避難地を計画的に配置・整備し、必要に応じ下水処理場等のオープンスペースを利用した避難地及び避難路を確保するとともに、誘導標識等の設置を推進し、消防・避難活動等の対策を強化する。

災害時の食料供給活動

（1）食料の集積（保管）場所及び管理・輸送

食料の集積（保管）場所は、浦添運動公園内屋内運動場とし、管理及び輸送は総合総務対策部物資班が行う。

（2）食料の配給

配給する食料は、災害発生第1～2日目は、備蓄食料等を基本とし、第3日以降は、炊出し、救援物資等により行う。配給は避難所担当班が主導し、避難者、地域住民、自主防災組織等の協力をもって行う。配給の際は、物品受払い簿を作成するものとする。

■浦添市公共施設個別計画（長寿化計画）（令和3年3月改訂） ■新浦添市民体育館整備基本計画（仮称）（令和2年7月策定）

- 全てのスポーツ・レクリエーション系施設の一次評価は「維持継続」となっています。再配置方策においても全ての施設は「長寿命化」となっています。

・平成28年度に公共施設等の状況を客観的に把握・分析し、今後の更新費用の見込みを明らかにするとともに、公共施設マネジメントの基本方針等を示した浦添市公共施設等総合管理計画を策定。総合管理計画に示された方針に則り、「品質」「供給」「財務」の3つの観点から施設整備の具体方針を検討し、浦添市公共施設個別計画を策定。

スポーツ・レクリエーション系施設

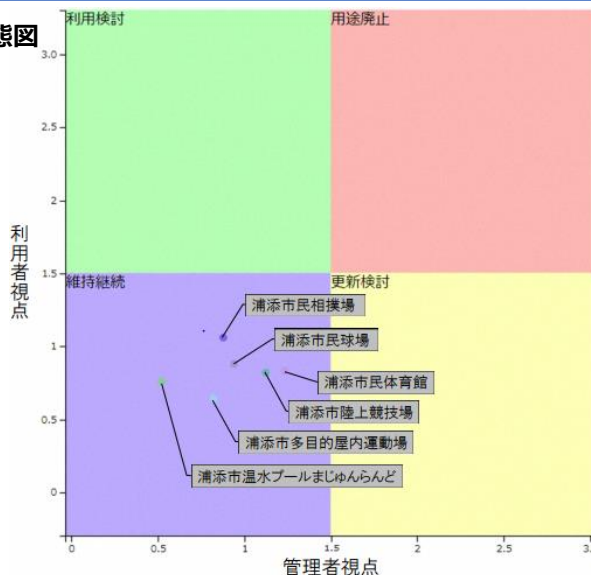
品質	・将来的にも存続が必要とされる施設は予防保全による計画的な改修等を実施し、施設の長寿命化を推進します。
供給	・スポーツ・レクリエーション系施設は、地域住民だけでなく広域での利用が想定される施設であるため、周辺自治体や国・県保有の施設、あるいは民間施設との機能連携や相互利用など広域的な視点で配置を検討します。
財務	・受益者負担の観点から使用料の見直しを検討し、また維持管理の適正化を図ることでライフサイクルコストの縮減を図るとともに、民間資金を活用した運営方法等についても検討します。

例	施設名	延床面積 (㎡)	建築 年度	築年 数	管理者 視点	利用者 視点	建物 劣化度	優先 度	一次 評価	再配 置方 策
	浦添市民体育館	7700	1996	34	1.23	0.83	C	高	維持 継続	長寿 命化

■施設の状態図

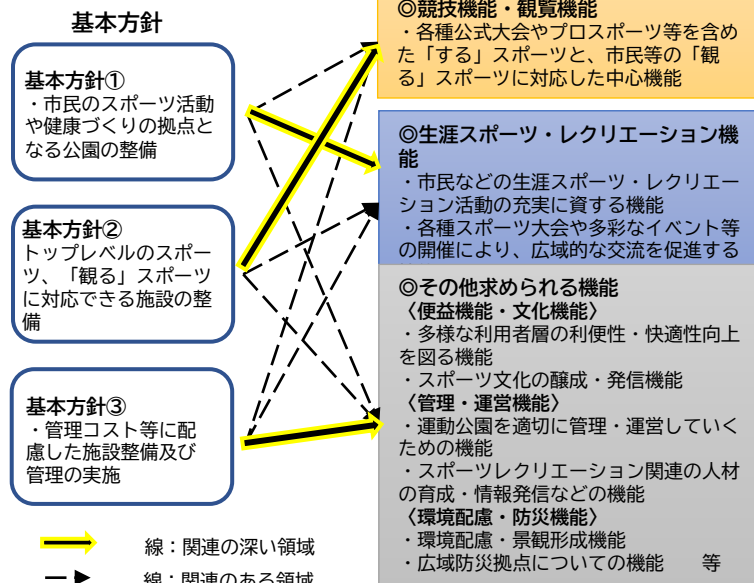
■施設の状態

- 全てのスポーツ・レクリエーション系施設の一次評価は「維持継続」となっています。再配置方策においても全ての施設は「長寿命化」となっています。
- 建物劣化度は浦添市陸上競技場、浦添市民体育館、浦添市民球場が「C評価」となっており、浦添市陸上競技場と浦添市民体育館の築年数が30年経過しています。



- 既存市民体育館の老朽化や空調設備の未整備等の様々な課題を解決するため、新たに多目的運動施設（新市民体育館）の整備が計画されています。

求められる機能とその概要



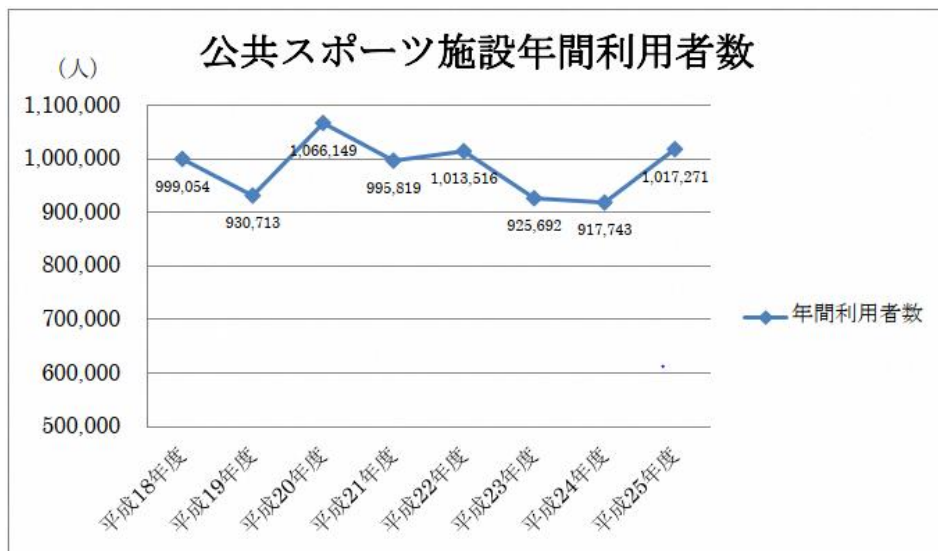
新市民体育館	新規整備	市民のスポーツ・レクリエーションニーズへの対応や「みる」スポーツ機能充実を図るため、新市民体育館の新規整備により、 既存市民体育館との役割分担を図ります。
陸上競技場スタンド	再整備	老朽化がみられる陸上競技場スタンド（階下の諸室機能含む）について、 新市民体育館との一体化による再整備 を図ります。
市民相撲場	移転整備	新市民体育館を陸上競技場スタンドと一体的に整備することで現位置の相撲場の維持が難しくなることから、 移転・再配置 を行います。
駐車場	拡充	現状でも駐車場が不足しており、 新市民体育館の整備による駐車場ニーズの増加に対応するため、一定量の確保を検討 します。

■浦添市スポーツ推進計画（平成27年3月策定）

- ・本市のスポーツ活動拠点である浦添運動公園の整備・充実に取り組むとともに、新たな施設の設置に向け関係機関と連携し検討することが示されています。

○スポーツ施設の整備推進

- ・浦添市立体育施設や浦添市温水プールまじゅらんどの施設老朽化に対し計画的に改築・修繕を進めるなどし、本市のスポーツ活動拠点である浦添運動公園の整備・充実に取り組むとともに、新たな施設の設置に向け関係機関と連携する。



- ・浦添市の公共スポーツ施設は浦添運動公園以外に、ゲートボール場、伊奈武瀬球場、市民テニスコートなどがある。
- ・公共スポーツ施設の週末や休日の利用は、各種大会やイベントで飽和状態にあります。平日昼間の利用は比較的に少ない状況にある。

■浦添市観光振興計画（平成30年3月策定）

- ・ヤクルトキャンプの観戦者をはじめとする各種スポーツの参加者・観戦者を対象に、競技前後の時間を浦添市内で滞在してもらうための取組の充実と消費機会の創出により、商店街や飲食店の活性化を図っていくことが示されています。

施策：スポーツツーリズム・MICE観光等の推進

魅力ある新たなスポーツイベントの創出



- ・スポーツツーリズムを推進し、多くの競技者・観戦者が訪れ、あらゆる人が楽しめる場所にしていくために、魅力ある新たなスポーツイベントを創出していきます。

スポーツ環境の整備・充実



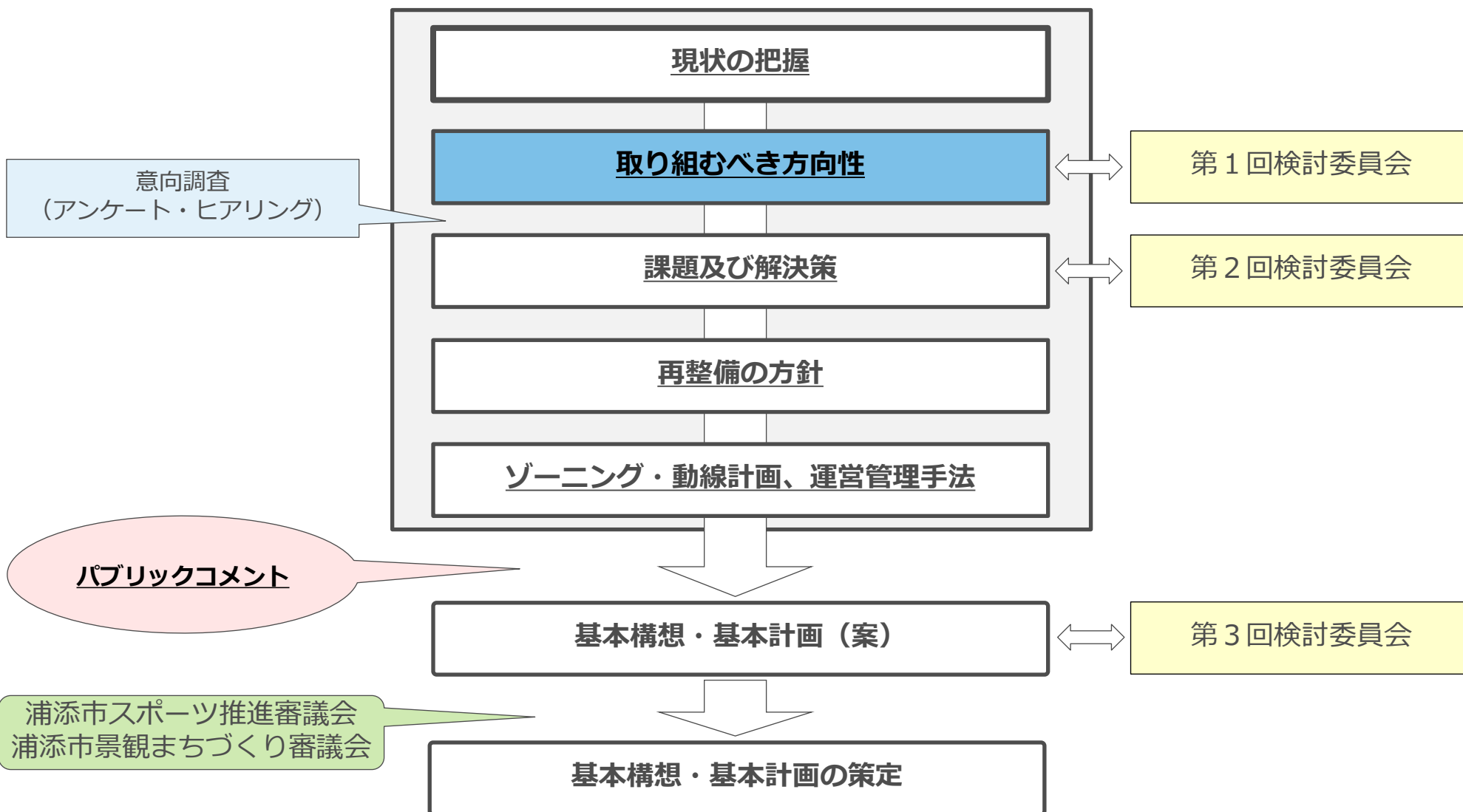
- ・スポーツ施設の整備や充実を図り、積極的にスポーツチーム等の合宿や大会などの受入を行い、魅力的なスポーツツーリズムを推進していきます。

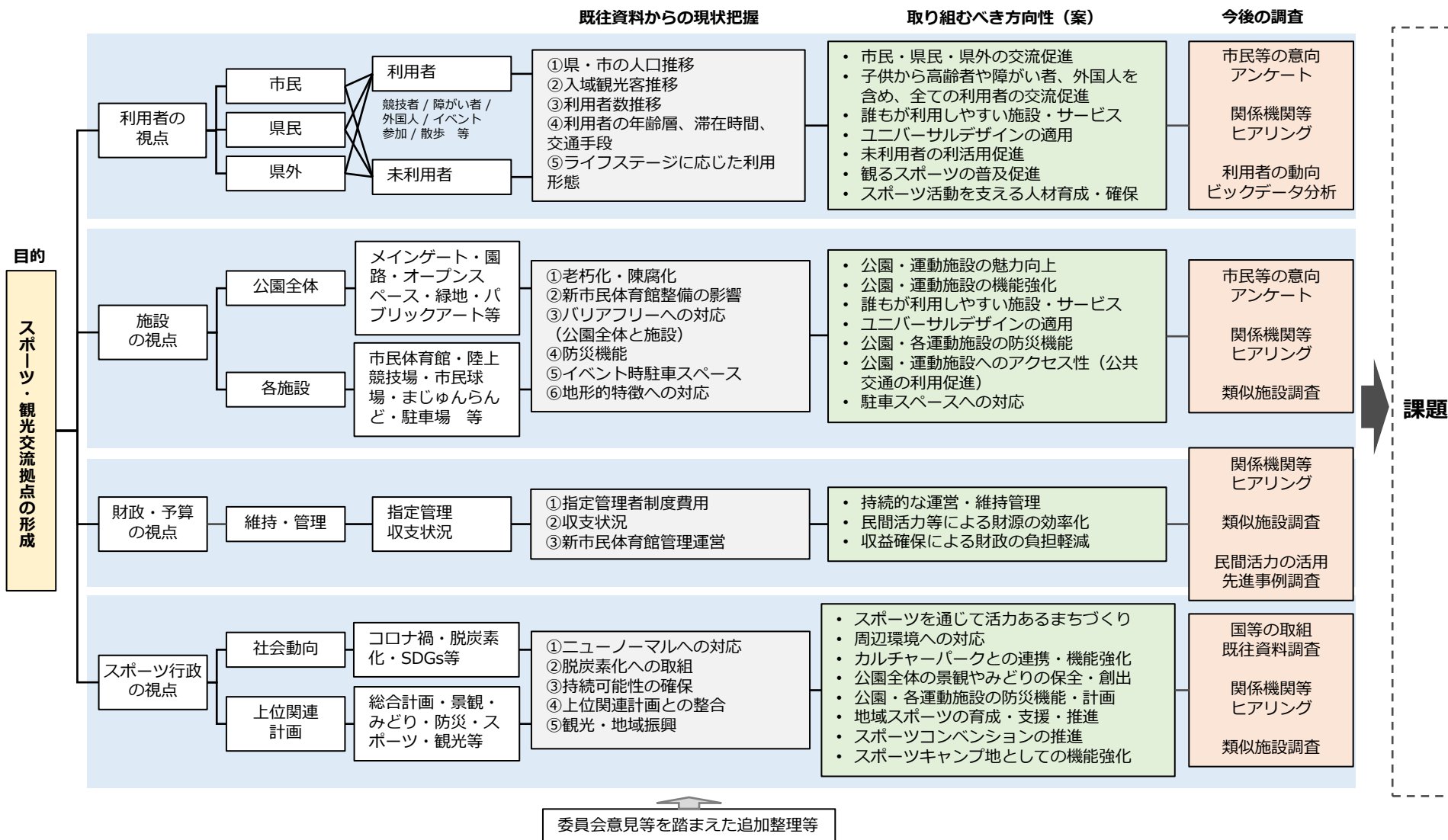
スポーツツーリズムの充実



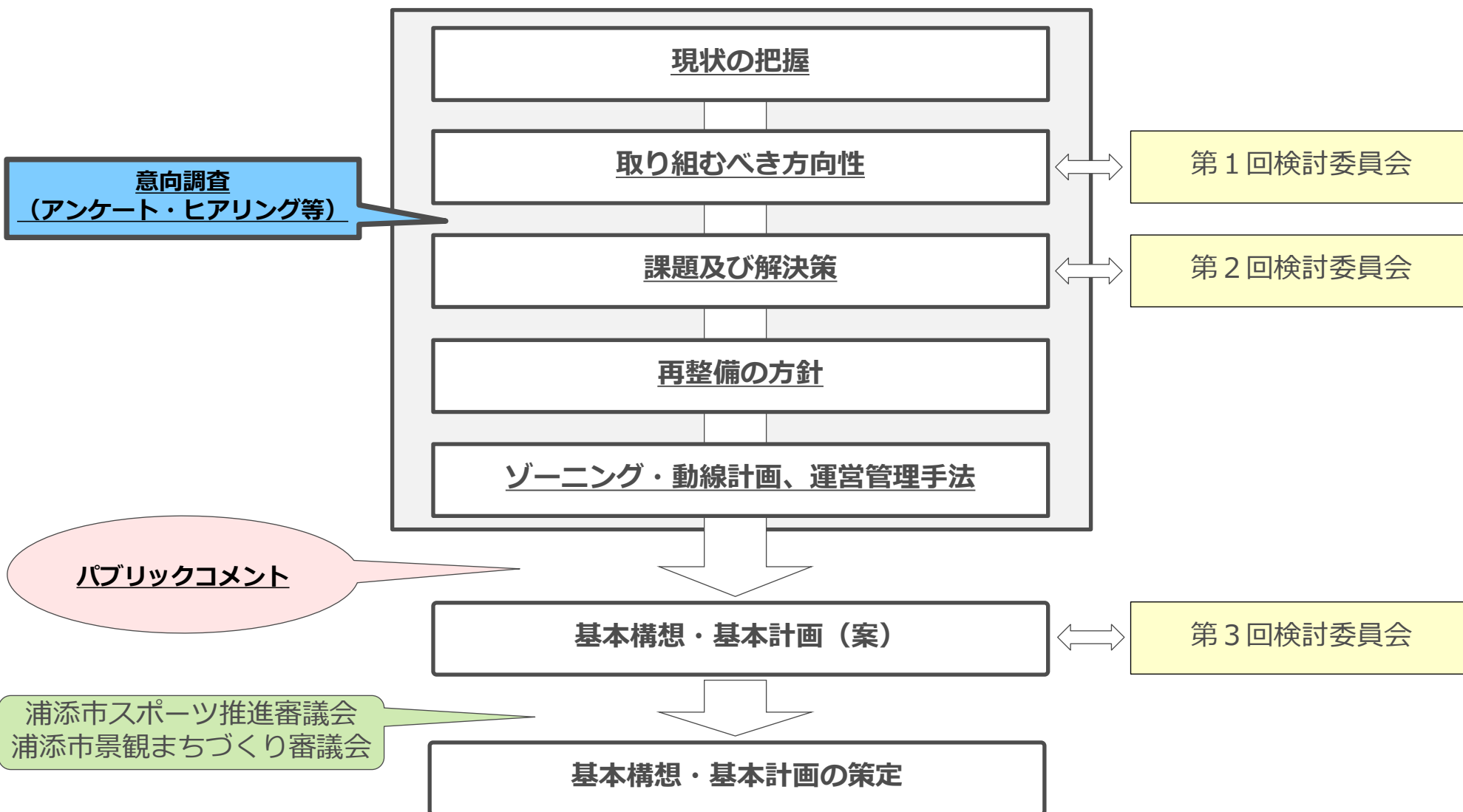
- ・ヤクルトキャンプの観戦者をはじめとする各種スポーツの参加者・観戦者を対象とし、競技前後の時間を浦添市内で滞在してもらうための取組を充実させ、消費機会を創出し、商店街や飲食店の活性化を図る。
- ・浦添市は、平成16年にハンドボール王国を宣言し、多くの選手、指導者を輩出してきました。市民だけではなく、市外の方々に対してもその認知度を高めていくために、ハンドボールと触れる機会を創出し、積極的にPRを図ります。

- ・ 上位計画・関連計画や現場踏査及び既往資料の結果から取り組むべき方向性を示します。





- 現状の把握と取り組むべき方向性を踏まえ、関係機関、関係団体、利用者等の意向調査を実施します。
(関係機関・関係団体ヒアリング、市民、県民、観光客アンケート、庁内関係部局ヒアリング、先進事例調査等)



① アンケート調査実施概要

	県民		観光客		
	市民	周辺市町村住民	てだこウォーク参加者	ヤクルトキャンプOP	観光施設
調査対象	・ 利用者/未利用者		・ 県外 ・ 利用者	・ 県内/県外 ・ 利用者/未利用者	
調査目的	・ 利用者の満足度の向上につなげるためのニーズ把握 ・ 未利用者の利用につなげるためのニーズ把握		・ 観光客の満足度の向上につなげるためのニーズ把握 ・ 新規観光客の利用につなげるためのニーズ把握		
実施期間	3/1（水）～3/17（金）	3/1（水）～3/6（月）	1/30（月）～2/28（火）	2/23（木）、2/25（土）、2/26（日）のオープン戦及び平日実施	ブルーシール（3/16、17聞き取り） 他施設（3/20～3/31調査票設置）
調査方法	市広報誌にアンケート票を同封 ・ 市役所、市民体育館、まじゅんらんど、各自治会事務所に回収箱設置 ・ WEB回答 ・ 紙回答：133票 ・ WEB回答：395票	・ インターネット調査会社 ・ WEBアンケート ・ 運動公園にアンケート票設置	てだこウォーク参加者に送付する資料に同封 ・ てだこウォーク会場に回収箱設置 ・ WEB回答	運動公園来場者に聞き取りアンケート	・ 施設に調査票設置 宿泊施設（ホテルアラクージュ） 文化施設（浦添大公園エントランス） ・ 調査員による聞き取り 飲食店（ブルーシールアイスクリーム）
対象	・ 全世帯 世帯数52,961世帯、 10歳以上103,543人	・ 隣接市町村 那覇市、宜野湾市、西原町	・ 県外/県内観光客（運動公園利用者）		・ 県外/県内観光客（運動公園未利用者）
目標数と回答票	目標数：500票 回答数：528票 内：市民494票、市外 34票	目標数：300票 回答数：343票 WEBアンケート 309票	目標数：400票 回答数：791票 (内訳：てだこウォーク 16票 ヤクルトキャンプ 705票 観光施設 70票)		

(市外34票は、周辺市町村住民の回答に加えて集計・分析する)

4 再整備に向けての課題及び解決策【4-1 市民等の意向アンケート調査】

② アンケート調査の設問及び設問の意図

設 問	県 民 (市民、市民以外)	設問の意図	観光客 (県外・県内)	設問の意図
基本属性	○	性別、年齢、居住地、家族構成を把握する。	○	性別、年齢、居住地を把握する。
利用頻度	○	利用者と未利用者に区分し、利用頻度を把握する。	—	—
交通手段	○	利用者の主な交通手段を把握する。未利用者からは公園利用を想定して回答を得る。	○	観光客の主な交通手段を把握する。
公園を知っているか	—	—	○	観光客の運動公園の情報の取得方法を把握する。
知ったきっかけ	—	—	○	—
利用経験	—	—	○	利用者と未利用者を把握する。
利用回数	—	—	○	利用者の利用回数を把握する。
利用している理由	○	利用者の主な利用理由を把握する。	—	—
利用しない理由	○	未利用者の利用しない主な理由を把握する。	—	—
どのようなことをしたか（するか）	○	利用者の主な利用目的を把握する。	○	利用者の主な利用目的を把握する。
利用した施設	○	利用者の主に利用する施設を把握する。	○	利用者の主に利用する施設を把握する。
公園内にあれば利用しやすい施設	—	—	○	利用者の公園内施設のニーズを把握する。
公園の良い所	○	利用者・未利用者共に、当該公園で良いと感じているところを把握する。	—	—
公園の悪い所	○	利用者・未利用者共に、当該公園で悪いと感じているところを把握する。	—	—
どんな公園であれば利用したいか	○	利用者・未利用者共に、当該公園への主な利用ニーズについて把握する。	○	利用者・未利用者共に、当該公園への主な利用ニーズについて把握する。
公園の役割としての期待	○	利用者・未利用者共に、当該公園に期待する主な役割について把握する。	—	—
自由意見	○	市民・他市町民の再整備へのアイディア等を把握する。	○	観光客の再整備へのアイディア等を把握する。

※「○」：調査した事項 「—」：調査していない事項

4 再整備に向けての課題及び解決策【4-1 市民等の意向アンケート調査】

③ 調査結果のまとめ

※各設問の回答数が多い上位3項目を記載しています

設問 ※複数回答	浦添市民		周辺市町村住民		観光客			まとめ
	利用者 (463人)	未利用者 (30人)	利用者 (148人)	未利用者 (195人)	利用者(県外) (581人)	利用者(県内) (138人)	未利用者 (50人)	
①基本属性 (性別・年齢・居住地・家族構成) 二世帯(子)：子どもと同居 二世帯(親)：親と同居	1. 40代 2. 30代 3. 50代 1. 二世帯(子) 2. 夫婦のみ 3. 一人暮らし	1. 30代 70代 2. 40代 3. 50代 1. 二世帯(子) 2. 夫婦のみ 3. 一人暮らし	1. 50代 2. 40代 20代 3. 30代 1. 二世帯(子) 2. 一人暮らし 3. 二世帯(親)	1. 20代 2. 50代 3. 40代 1. 二世帯(子) 2. 一人暮らし 3. 二世帯(親)	1. 40代 2. 30代 3. 50代	1. 50代 2. 40代 3. 20代	1. 20代 2. 10代 3. 30代	
②利用頻度	1. 年に1,2回 2. 月に1,2回 3. 週に1,2回	利用したことがない	1. 年に1,2回 2. 月に1,2回 3. 週に1,2回	利用したことがない	-	-	-	市民・他市町民は共に、利用頻度は少ない回答。
※③交通手段	1. 車(レンタカー含) 2. 徒歩 3. バイク	1. 車(レンタカー含) 2. 徒歩 3. バイク	1. 車(レンタカー含) 2. バス 3. 徒歩	1. 車(レンタカー含) 2. バス 3. 徒歩	1. 車(レンタカー含) 2. バス 3. モノレール	1. 車(レンタカー含) 2. 徒歩 3. バス	-	市民・他市町民・観光客は共に、車の来園が最も多い。利用者の殆どは車で来園。
※④知ったきっかけ	-	-	-	-	1. キャンプ関連 2. マスメディア 3. SNSでみて	1. キャンプ関連 2. いつもきている 3. たまたま	たまたま SNSでみた 町や市の広報 知っているが未利用	プロ野球キャンプ時の回答が最も多かったため、観光客の情報収集方法はキャンプ関連が多い。
※⑤利用している理由	1. 近い 2. 費用がかからない 3. スポーツ施設	-	1. 費用がかからない 2. 広い 3. 緑が多い	-	-	-	-	近い、費用がかからないことが、利用する主な理由となっている。
※⑥利用しない理由	-	1. 用事がない 2. 家から遠い スポーツをしない 3. 他公園を利用	-	1. 家から遠い 2. 用事がない 3. スポーツをしない	-	-	-	用事がなく、家から遠い、スポーツをしないことが、利用しない主な利用となっている。
※⑦どのようなことをしたか(するか)	1. 運動試合に参加 2. 散歩をした 3. 催し物に参加	-	1. 散歩をした 2. 子供と遊んだ 3. 運動試合に参加	-	-	-	-	運動・スポーツ、散歩が利用する主な目的となっている。
※⑧利用した施設	1. 園路(散歩等) 2. 陸上競技場 3. 立体駐車場	-	1. 園路(散歩等) 2. トイレ 3. 休憩スペース	-	1. 市民球場 2. 売店 3. トイレ	1. 市民球場 2. 売店 3. トイレ	-	市民・他市町民は主に散歩等で園路を利用。観光客はキャンプ時の回答が多いため、市民球場の利用。
※⑨公園内にあれば利用しやすい施設	-	-	-	-	1. 飲食店 2. 売店 3. ホテル・宿泊所	1. 飲食店 2. 子供の遊び場 3. ホテル・宿泊所	-	観光客は公園内への飲食店の設置を最も多く回答。

③ 調査結果のまとめ

※各設問の回答数が多い上位3項目を記載しています

設問 ※複数回答	浦添市民		周辺市町村住民		観光客			まとめ
	利用者 (463人)	未利用者 (30人)	利用者 (148人)	未利用者 (195人)	利用者(県外) (581人)	利用者(県内) (138人)	未利用者 (50人)	
※⑩公園の良い所	1. 緑や花が多い 2. 運動スポーツ利用 3. ゴミが少ない	1. 緑や花が多い 2. イベントの実施 プロスポーツ観戦 3. 運動スポーツ利用	1. 緑や花が多い 2. 駐車場が多い 3. 散歩や憩いの場	1. 駐車場が多い 2. 日陰木陰が多い 3. 子供が楽しめる	-	-	-	市民・他市町民の利用者は、緑や花が多いことを良いところとして最も多く回答。市民未利用者も同様な回答。
※⑪公園の悪い所	1. 駐車場不足 2. 運動施設が古い 3. 売店不足	1. 駐車場不足 2. 売店不足 運動施設が古い 3. トイレ・水飲み場不足	1. 駐車場不足 2. 公共交通でアクセスしにくい 3. 売店不足	1. 公共交通でアクセスしにくい 2. 駐車場不足 3. 売店不足	-	-	-	市民・他市町民の利用者は、駐車場の不足を悪いところとして最も多く回答。市民未利用者も同様な回答。
※⑫どんな公園であれば利用したいか	1. スポーツ健康づくり 2. 緑や花がきれい 3. 子どもを安心して遊ばせられる公園	1. ゆっくり休める 2. スポーツ健康づくり 街なかにある身近 3. 緑や花がきれい カフェやレストランで食事が出来る	1. ゆっくり休める 2. 緑や花がきれい 3. 子どもを安心して遊ばせられる公園	1. ゆっくり休める 2. 街なかにある身近 3. 緑や花がきれい	1. 試合やキャンプを見ることができる 2. 子どもを安心して遊ばせられる公園 3. 緑や花がきれい	1. 試合やキャンプを見ることができる 2. 子どもを安心して遊ばせられる公園 3. 楽しい遊具がある	1. 食事ができる 2. スポーツ健康づくり 緑や花がきれい 3. 犬と散歩できる	市民の利用者はスポーツ・健康づくり・行事を楽しむニーズが多く、市民未利用者や周辺市町民はゆっくり休める利用のニーズが多い。観光客は試合やキャンプを見るが多い。
※⑬公園の役割としての期待	1. 運動スポーツ健康づくり 2. 災害時に避難 3. 快適で美しいまちづくりの拠点 子どもの遊び空間	1. 運動スポーツ健康づくり 2. 災害時に避難 3. 快適で美しいまちづくりの拠点	1. 子どもの遊び空間 2. やすらぎ・くつろぎ 3. 運動スポーツ健康づくり	1. やすらぎ・くつろぎ 2. 花やきれいな景色を楽しめる場 3. 子どもの遊び空間	-	-	-	市民は運動・スポーツ・健康づくりの場となることが望まれている。他市町民は子どもの遊び空間、やすらぎ・くつろぎの場となることが望まれている。
⑭自由意見	駐車場についての意見が最も多い	子どもの遊び場についての意見が多い	子どもの遊び場についての意見が多い	駐車場についての意見が最も多い	公園までのアクセスについての意見が多い	駐車場とトイレについての意見が多い	-	市民と観光客共に駐車場不足の意見が多い。
ニーズ等	市民利用者のニーズは、 駐車場不足、運動施設老朽化、売店不足 等である。公園への要望は、 運動・スポーツ・健康づくりの場の整備 が求められている。期待する公園の役割も同様である。	市民未利用者のニーズは、 駐車場不足、運動施設老朽化、売店不足 等である。公園への要望は、 ゆっくり休める場の整備 が求められている。期待する公園の役割は、 運動・スポーツ・健康づくりの場の整備 である。	他市町民利用者のニーズは、 駐車場不足、公共交通のアクセス性、売店不足 等である。公園への要望は、 ゆっくり休める場の整備 が求められている。期待する公園の役割は、 子どもの遊び空間の整備 である。	他市町民未利用者のニーズは、 公共交通のアクセス性、駐車場不足、売店不足 等である。公園への要望は、 ゆっくり休める場の整備 が求められている。期待する公園の役割は、 やすらぎ・くつろぎ場の整備 である。	県外観光客利用者のニーズは、 飲食店、売店、ホテル等の整備 である。公園への要望は、 試合やキャンプを見ることへの整備 が求められている。	県内観光客利用者のニーズは、 飲食店、子どもの遊び場、ホテル等の整備 である。公園への要望は、 試合やキャンプを見ることへの整備 が求められている。	観光客未利用者の公園への要望は、 食事ができることへの整備 が求められている。	

④ 市民の回答

①駐車場について

- ・ 駐車台数が少ないので増やしてほしい
- ・ 駐車場を利用する人のマナー改善
- ・ 駐車場の有料化

②アクセス・公共交通機関について

- ・ 公共交通を利用したアクセスが悪い
- ・ 公園内にシャトルバスを整備して、イベント時に運行してほしい
- ・ シェアサイクルの数を増やしてほしい

③園路について

- ・ 園路の高低差があるので移動が難しい
- ・ ジョギングコース・ウォーキングコースみたいにコースの道分けを行ってほしい
- ・ クッション性のある園路にしたり、照明を明るくするなど園路の整備を行ってほしい

④陸上競技場について

- ・ サッカーの試合ができるような整備を行ってほしい
- ・ 競技場内に洋式トイレを増やしてほしい

⑤体育館について

- ・ 観戦場所が狭いので観客席の整備を行ってほしい
- ・ 運動器具の老朽化、数、種類など
- ・ 施設が利用しづらい

⑥バリアフリー・福祉について

- ・ 車いす利用者やベビーカーの利便性を考慮してほしい
- ・ エレベーターを設置するなど、バリアフリー設備の導入を検討してほしい

⑦自然環境について

- ・ 公園内の緑や花についての整備をしてほしい
- ・ みどりが多いのがとても良いので、木陰で休めるようなスペースがあれば嬉しい
- ・ 池の安全面に配慮してほしい

⑧市民球場について

- ・ 球場内のトイレの整備を行ってほしい
- ・ ナイター観戦がしたいので整備してほしい

⑨売店・食事処について

- ・ 日頃利用できるような売店がほしい
- ・ コンビニが公園内にあるととても便利
- ・ スターバックスのようなカフェやレストランを設置してほしい

⑩トイレ・授乳室について

- ・ 公園内のトイレの増設
- ・ 綺麗で安心して利用することができるトイレにしてほしい
- ・ 授乳室やおむつ替えできるスペースがほしい

⑪まじゅんらんどについて

- ・ プールをもっと色んな人が利用できるような大きさにしてほしい
- ・ 計画が進むとまじゅんらんどの利用が難しくなる

⑫休憩所について

- ・ 自然と対応できるような休憩所を整備してほしい
- ・ 公園内に座れるところが少ないので、ベンチなど増設してほしい
- ・ 公園の全面禁煙を求める

⑬運営・管理について

- ・ 浦添市民が快適に利用できる公園にしてほしい
- ・ ピクニックやアウトドアスポーツなど、日頃できないようなことが出来るような公園にしてほしい
- ・ 施設利用者に対して、運動着や靴などの貸し出しを行ってほしい
- ・ 防犯カメラの設置

⑭新施設について

- ・ 25mのプールの整備
- ・ 犬が遊べるような施設、ドッグラン
- ・ 子供たちが遊べるような遊具の整備

⑮観光・交流について

- ・ 観光客誘致より地域住民の利便性を考えた整備を行ってほしい
- ・ 姉妹都市やプロスポーツ選手との交流ができる公園にする

⑯アーバンスポーツについて

- ・ スケートボードパークの充実・拡充
- ・ バスケットリングを新設してほしい
- ・ 他の市町村にはないスポーツによる魅力づくりを行う必要がある

⑰イベント・催し物について

- ・ 市民が参加出来るようなイベントを増やしてほしい
- ・ プロスポーツやコンサートなどのイベント開催
- ・ 老若男女問わず参加できるようなイベントを増やしてほしい

4 再整備に向けての課題及び解決策【4-1 市民等の意向アンケート調査】

⑤ 観光客の回答

① 駐車場について

- ・ 駐車台数が少ないので増やしてほしい
- ・ 駐車場内の動線を分かりやすくしてほしい
- ・ 障がい者用の駐車スペースの確保

② アクセス・公共交通機関について

- ・ 公園までのアクセスが悪いので良くしてほしい
- ・ モノレールやバス停から公園までの周知
- ・ シャトルバスを出して欲しい
- ・ タクシー乗り場が欲しい

③ 園路について

- ・ 坂が多くて移動が大変
- ・ 段差が多くてつまづく

④ 陸上競技場について

- ・ トイレを増やしてほしい
- ・ キャンプ時に選手との交流が出来る

⑤ 市民球場について

- ・ 球場内のトイレの整備を行ってほしい
- ・ 球場内の動線を決める

⑥ バリアフリー・福祉について

- ・ 車いす利用者が利用しやすい環境にしてほしい
- ・ エレベーターやエスカレーターを設置するなど、バリアフリー設備の導入を検討してほしい

⑦ 売店・食事処について

- ・ スターバックス等のカフェやレストランが欲しい
- ・ 公園内にコンビニが欲しい
- ・ 公園周辺に店が欲しい
- ・ 自動販売機が少ない

⑧ 自然環境について

- ・ 沖縄ならではの緑や花が欲しい
- ・ ゴミ箱が少ないので設置してほしい

⑨ トイレ・授乳室について

- ・ 公園内のトイレの増設
- ・ 綺麗なトイレにしてほしい
- ・ 授乳室やおむつ替えできるスペースがほしい

⑩ 休憩所について

- ・ 暑いので屋根付きの休憩所が欲しい
- ・ 公園内に座れるところが少ないので、ベンチなど増設してほしい
- ・ 雨や風が強いので、凌げるような休憩所がほしい

⑪ 運営・管理について

- ・ 公園内でのイベント等をもっと周知した方がいい
- ・ 公園内の案内板や標識が少ない
- ・ 荷物を預ける場所がほしい

⑫ 観光・交流について

- ・ キャンプ時にプロスポーツ選手との交流ができる公園にする
- ・ キャンプを活かした交流を増やす

⑬ 新施設について

- ・ 子供たちが遊べるような遊具の整備

① ビッグデータ分析の概要

- ・ 携帯電話の位置情報データなどのビッグデータを活用し、観光客や住民の流動を可視化・分析することにより、各種政策立案や地域の課題解決が可能になることが期待されています。
- ・ 今回、携帯電話の位置情報から得られるデータ（人流データ）を活用して、利用者の滞留状況や移動状況の把握を行います。

データの概要

- ・ 人流データ（Agoopポイント流動型データ）を利用
- ・ 平時とイベント時（主要イベントの開催時期）を含む4ヶ月分のデータ
 - ・ ヤクルトキャンプ（約1ヶ月）のある2月、てだこ祭りのある10月。
 - ・ 10月については祭りの期間以外は平時のデータとして扱う
- ・ 2019年12月以降コロナによる影響（コロナ禍前のデータは2019年12月以前）
- ・ データは位置情報をもとに県民と県外観光客の属性が区分されている

分析について

- ① 公園内の滞留箇所の把握
公園内の滞留の状況を把握する
- ② 公園内の移動の把握
公園利用者の園内の動線を可視化する
- ③ 浦添運動公園へのアクセスの把握（どこから）
公園利用者がどこから来ているのか（出発地）を把握

人流データを活用した集計方法等

- **カウントデータ**
 - ある地点を通過する人数を把握した、いわゆる通行量データ。
 - 時間別、移動方向別や属性別に取得・算出される場合があります。
- **滞留データ**
 - ある地点や特定空間内に一定時間留まっている人数を把握したデータで、密度や混雑を示す場合に利用されます。
 - 人流カウントデータと同様、時間別、属性別に取得・算出される場合があります。



● 移動軌跡データ

- 人の移動軌跡を把握したデータ。
- 来訪者の周遊ルートや店舗での来店分析や観光地における周遊ルートなど人が移動したルートを示す場合に利用されます。



② 現場調査による現状整理



4 再整備に向けての課題及び解決策【4-2 利用者の動向（ビッグデータ分析）】

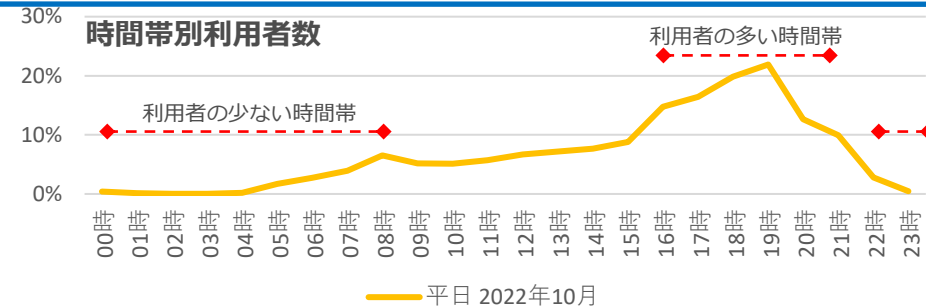
③ ビッグデータ分析のまとめ

年月	平日 休日	滞留・移動		アクセス
		利用者の多い時間帯	利用者の少ない時間帯	
2022年10月 (平時)	平日	- 夕方の時間帯で利用者が最大 - 施設や園路など、公園全体で利用 - 利用の少ないオープンスペース有	- 夜間から早朝の時間帯 - 施設周辺の園路等で利用	- 県民のアクセスは、平日、休日共に、那覇市、宜野湾市、西原町等の周辺市町村など、広域からとなっている。 - 県外観光客のアクセスは、那覇市など、特定エリアからとなっている。
	休日	- 夕方の時間帯で利用者が最大 - 施設や園路など、公園全体で利用 - 利用の少ないオープンスペース有 - 平日より、午前・昼間の利用が多い	- 夜間から早朝の時間帯 - 施設周辺の園路等で利用	
2022年10月 (イベント時： てだこ祭り)	休日	- 午後から利用者が増加、19時台で最大 - 露店のある中央園路等で滞留 - 平時に利用の少ないオープンスペースでの滞留が見られる	- 夜間から早朝の時間帯 - 施設周辺の園路等で利用	- 県民のアクセスは、10月（平時）より、中部地域からが多い。 - 県外観光客のアクセスは、那覇市、宜野湾市等からが多い。
2022年2月 (イベント時： ヤクルト キャンプ)	平日	- 平時より、午前の利用者が多い - 球場周辺やイベント広場となる既存市民体育館前での滞留が見られる	- 夜間から早朝の時間帯 - 施設周辺の園路等で利用	- 県民のアクセスは、10月（平時）同様、周辺市町村からが多い - 県外観光客のアクセスは、10月（平時）より、広域からとなっている。
	休日	9-13時台で利用者が最も多い - 球場周辺やイベント広場となる既存市民体育館前での滞留が見られる	- 夜間から早朝の時間帯 - 施設周辺の園路等で利用	
まとめ		- 平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化している箇所はない。しかし、イベント時は、露店の設置等で、中央園路や既存市民体育館前での滞留・移動が確認される。 - 平時とイベント時共に、利用者の多い時間帯でも、利用の少ないオープンスペース（遊具広場）がある。 - 立体駐車場での滞留・移動が確認されるため、アンケート結果と同様、車での来園が想定される。	- 夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 - 利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 - 立体駐車場での滞留・移動が確認されるため、アンケート結果と同様、車での来園が想定される。	- 県内の利用者は、本市を中心に周辺市町村（運動公園を中心に半径 2 km 範囲）からのアクセスが多い。 - 県外の利用者は、主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は、北部地域からのアクセスも見られ、より広域的となっている。（他球団キャンプからの来園など、県外観光客の流動が想定される）

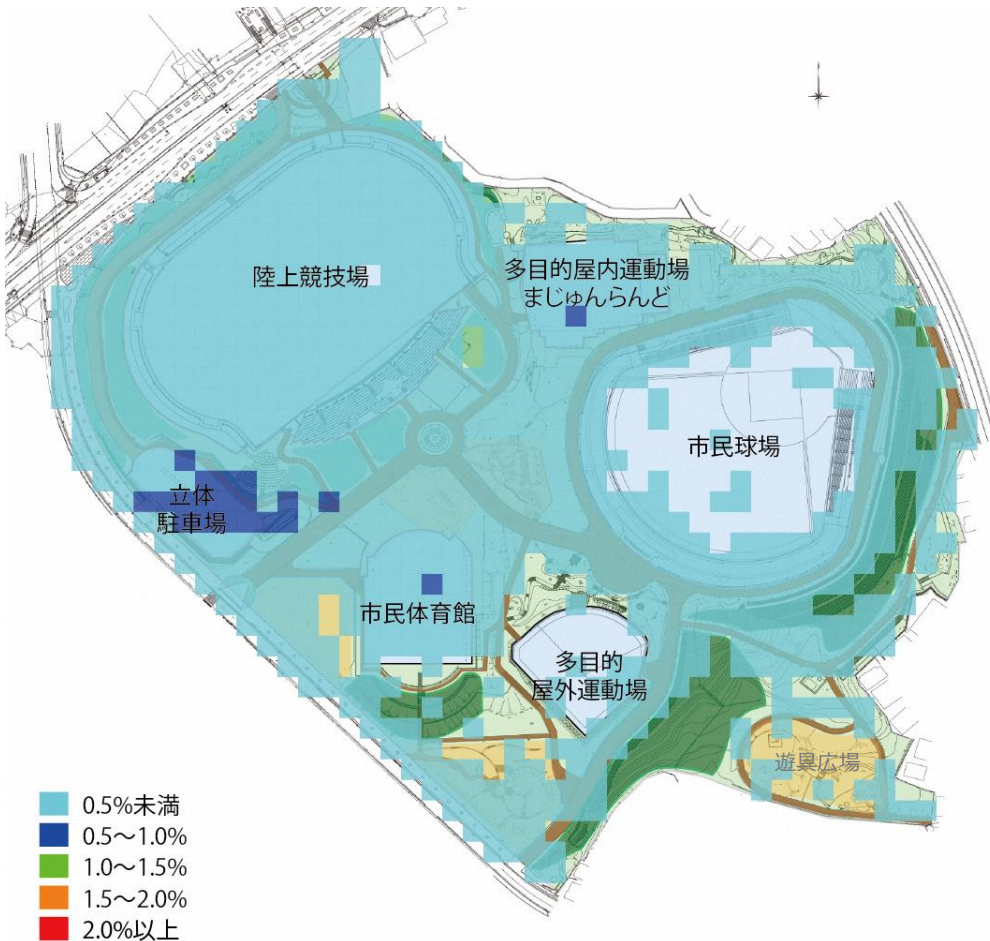
4 再整備に向けての課題及び解決策【4-2 利用者の動向（ビッグデータ分析）】

④ 利用者の滞留・移動（2022年10月（平日））

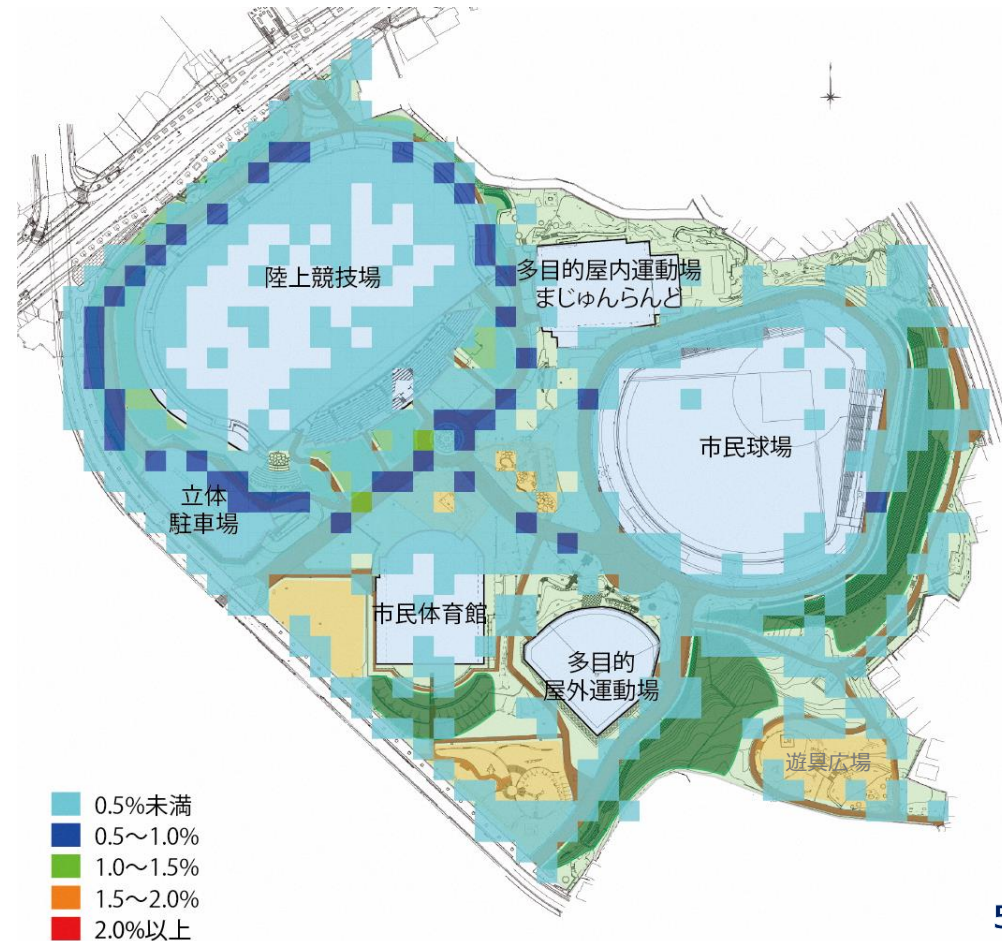
- ・ 利用者は15時から増加し19時で最大となる
- ・ 施設や園路など公園全体で利用されている
- ・ 利用の少ないオープンスペースが一部ある



利用者の多い時間帯（16-21時）



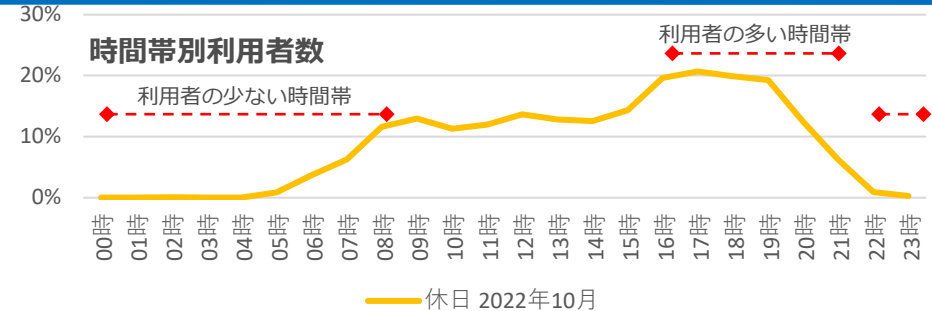
利用者の少ない時間帯（22-8時）



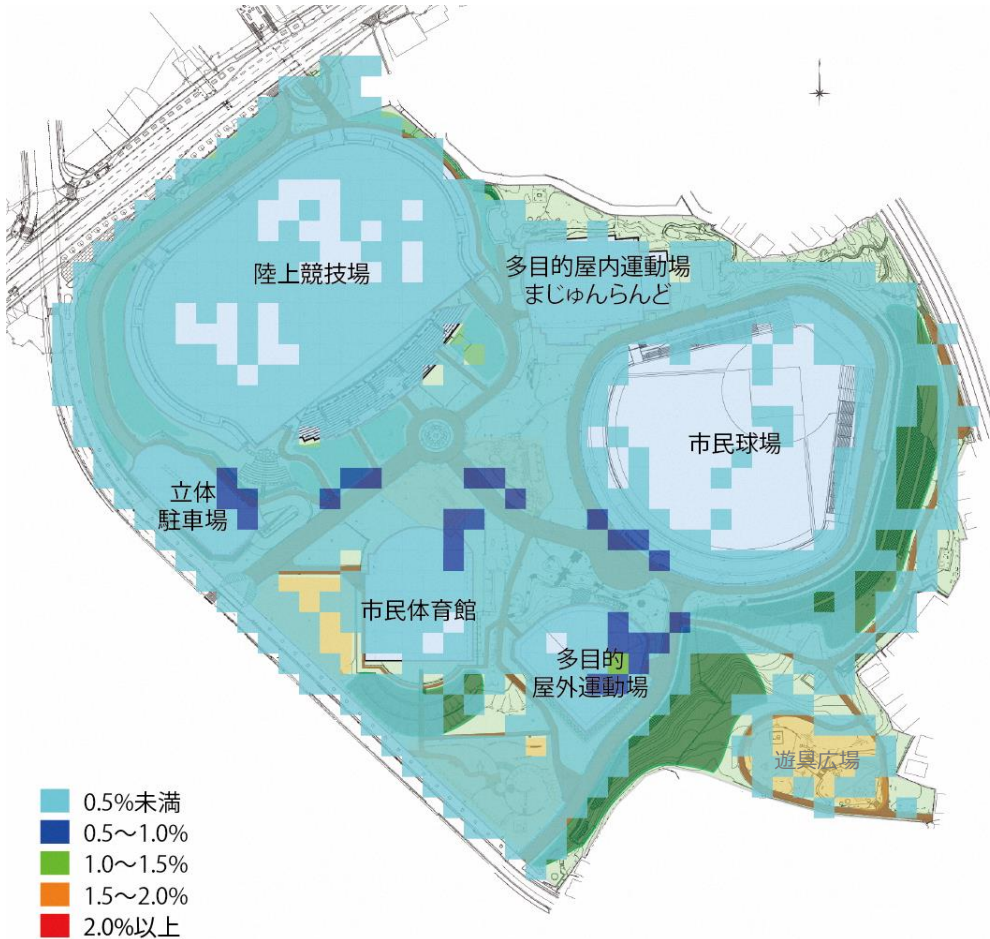
4 再整備に向けての課題及び解決策【4-2 利用者の動向（ビッグデータ分析）】

④ 利用者の滞留・移動（2022年10月（休日））

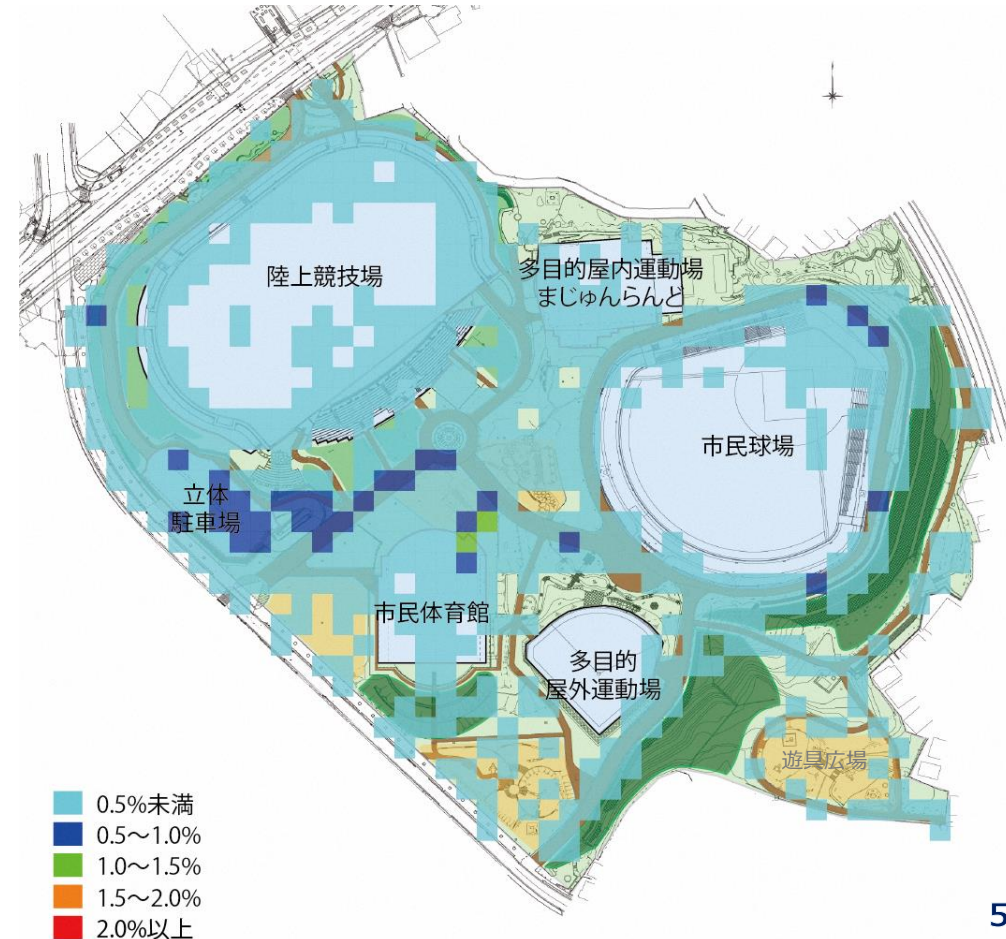
- ・ 夕方の時間帯で利用者が最大
- ・ 平日と比較して午前、昼間の時間帯の利用が多い
- ・ 施設や園路など公園全体で利用されている
- ・ 利用の少ないオープンスペースが一部ある



利用者の多い時間帯（16-21時）

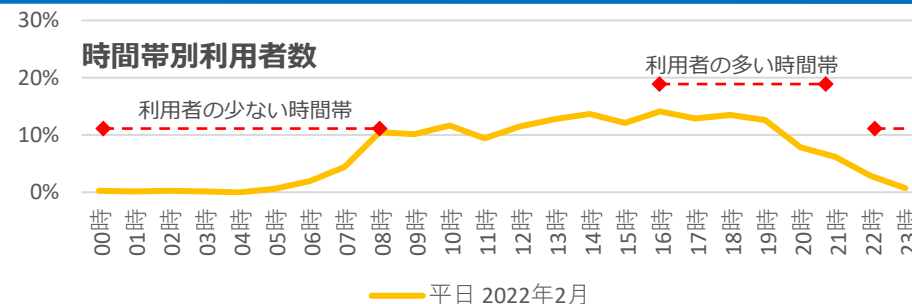


利用者の少ない時間帯（22-8時）

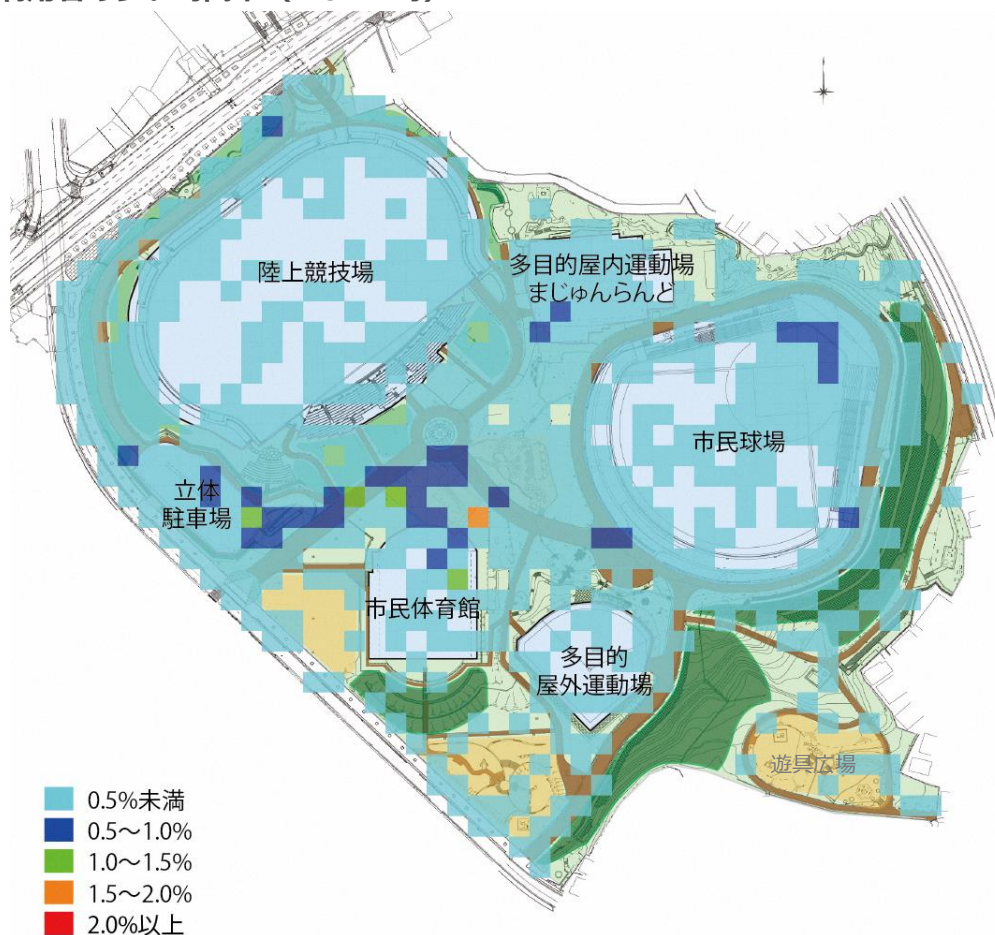


④ 利用者の滞留・移動（2022年2月（平日））

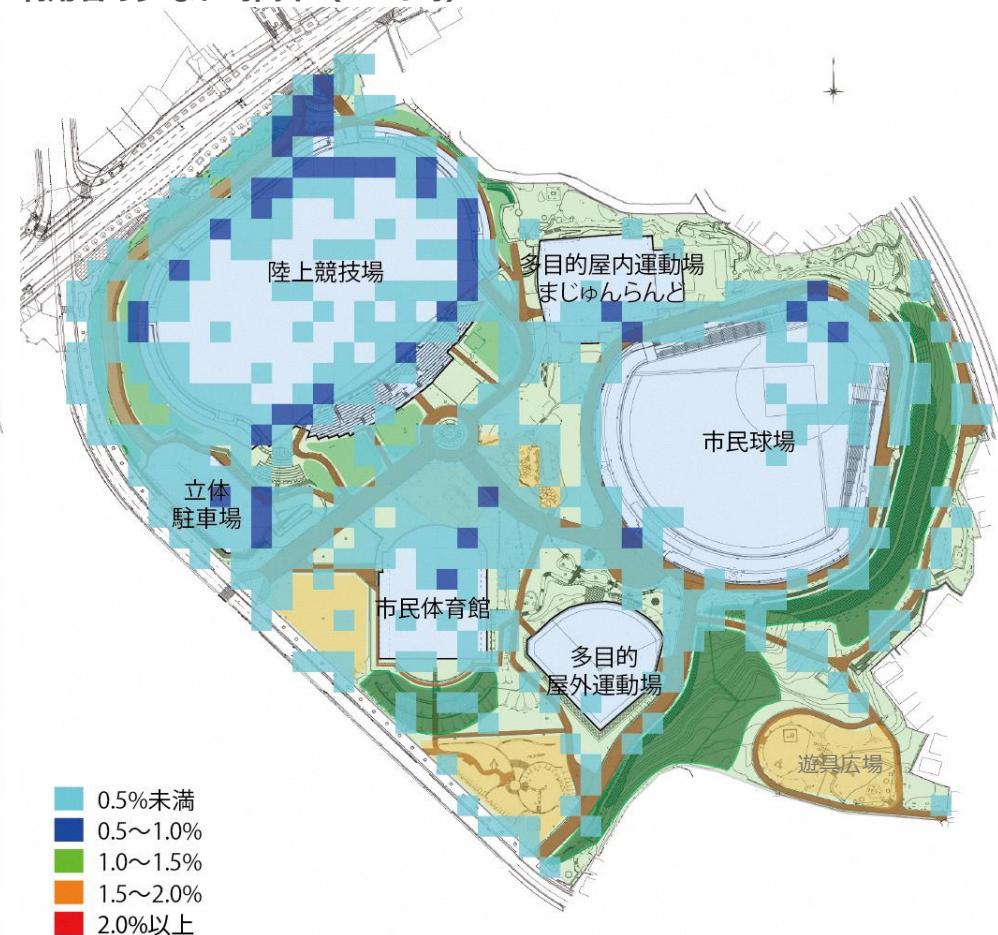
- ・ 平時と比較して、午前の利用者が多い
- ・ 球場周辺や体育館前のオープンスペースで滞留が多い



利用者の多い時間帯（16-21時）

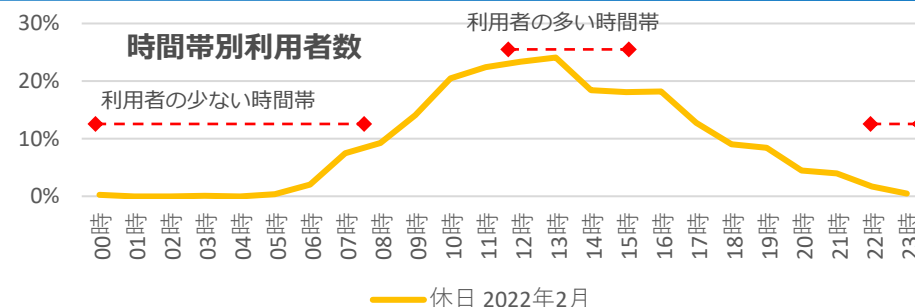


利用者の少ない時間帯（22-8時）

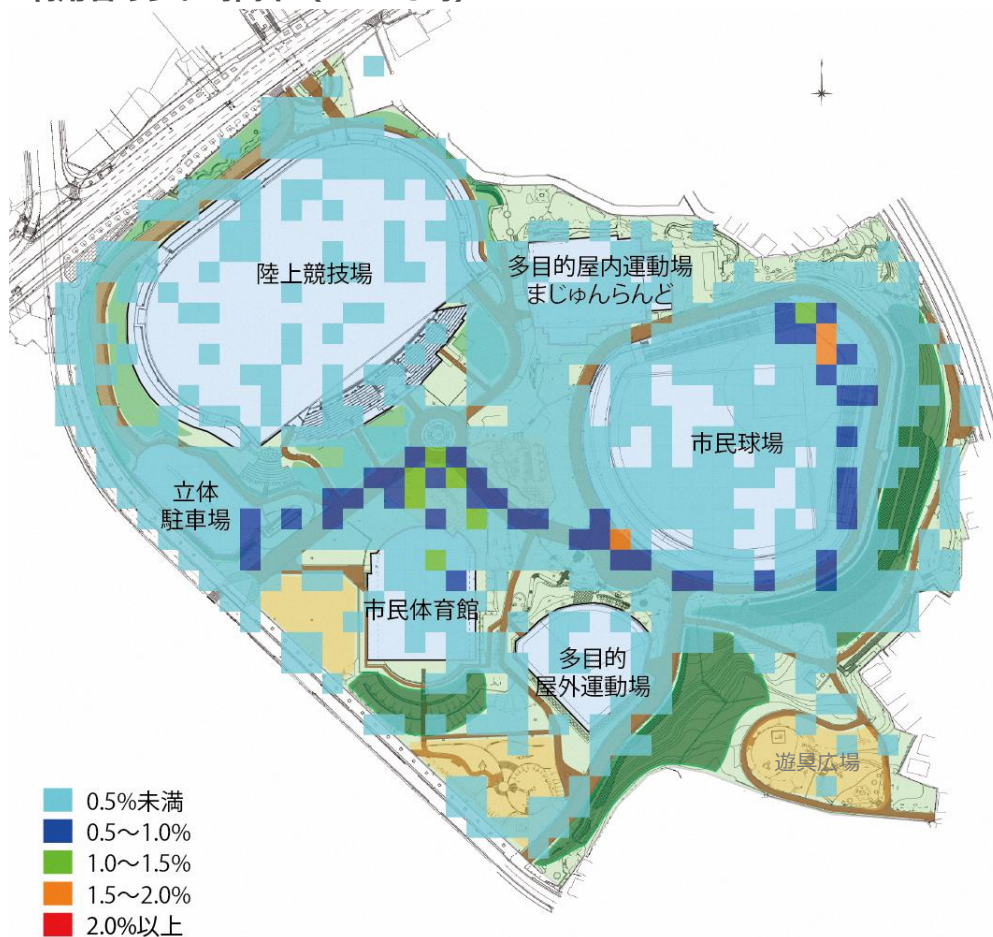


④ 利用者の滞留・移動（2022年2月（休日））

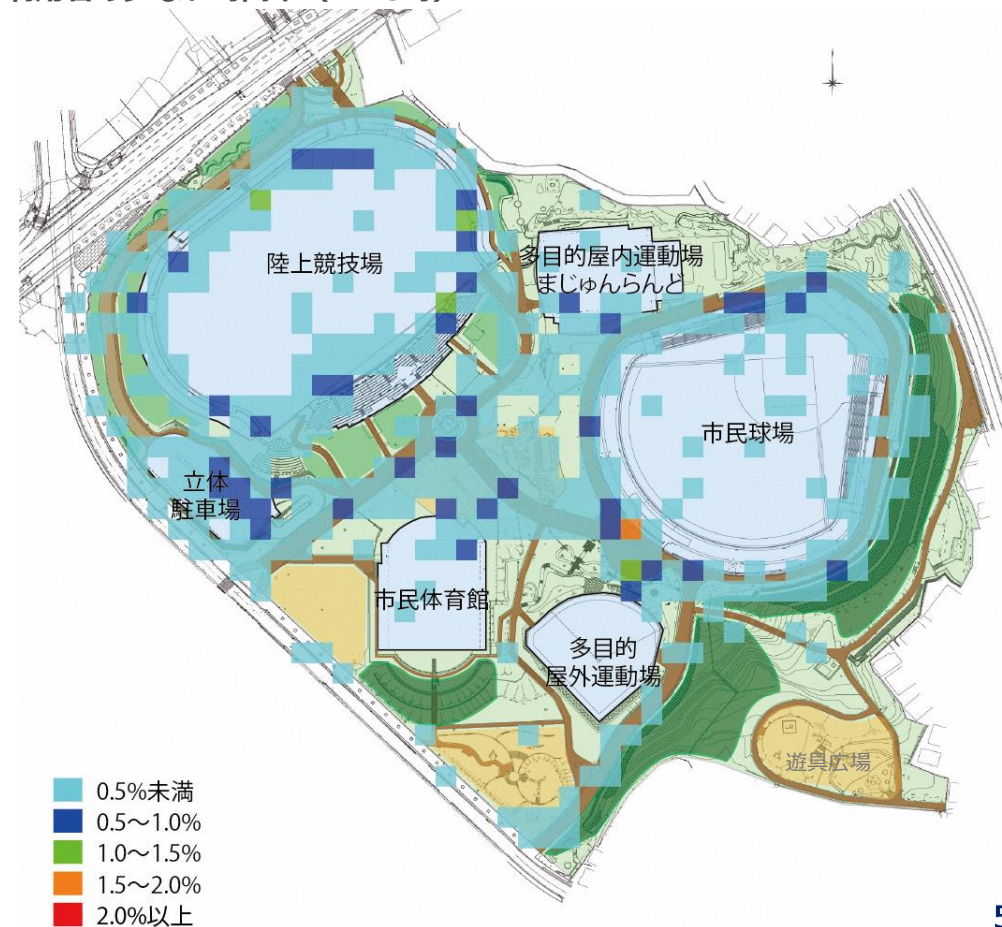
- 9-13時台で利用者が多い
- 球場周辺や体育館前のオープンスペースで滞留が多い



利用者の多い時間帯（12-15時）



利用者の少ない時間帯（22-8時）

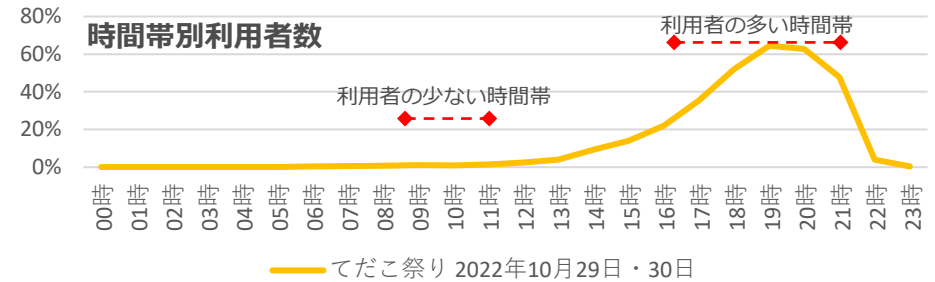




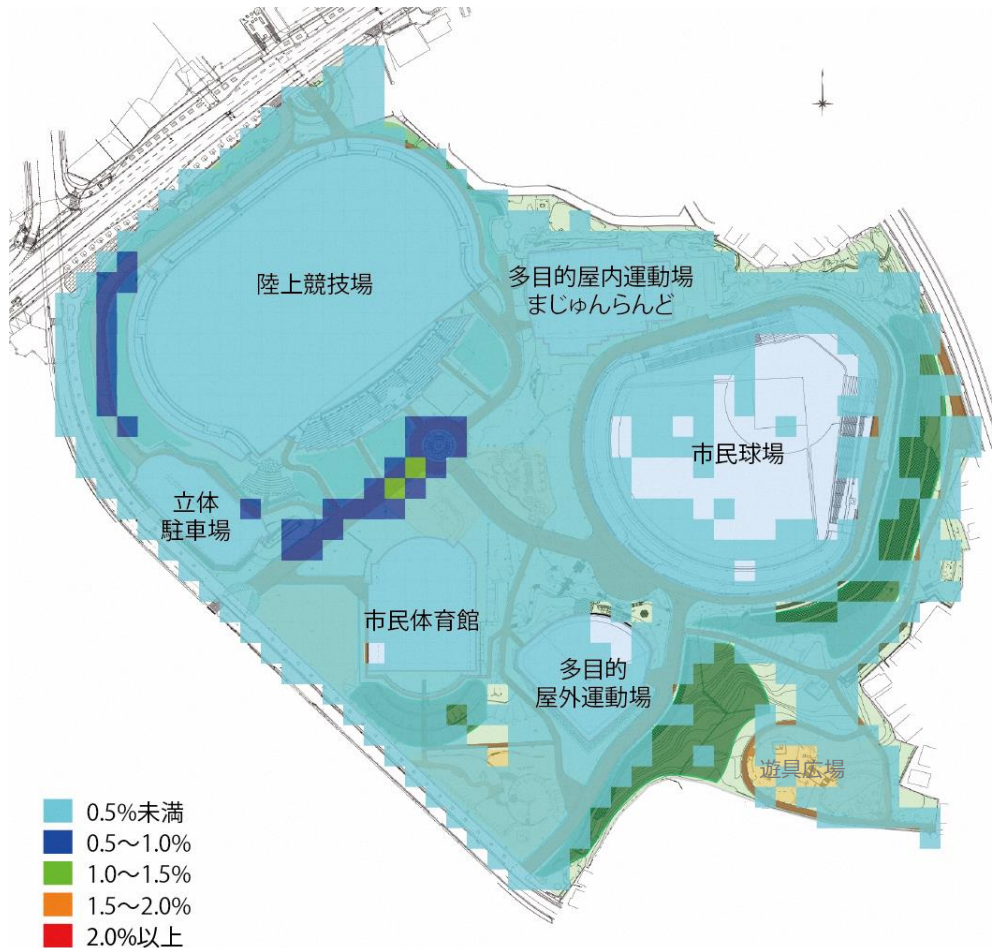
4 再整備に向けての課題及び解決策【4-2 利用者の動向（ビッグデータ分析）】

④ 利用者の滞留・移動（2022年10月（てだこ祭り 10/29, 30））

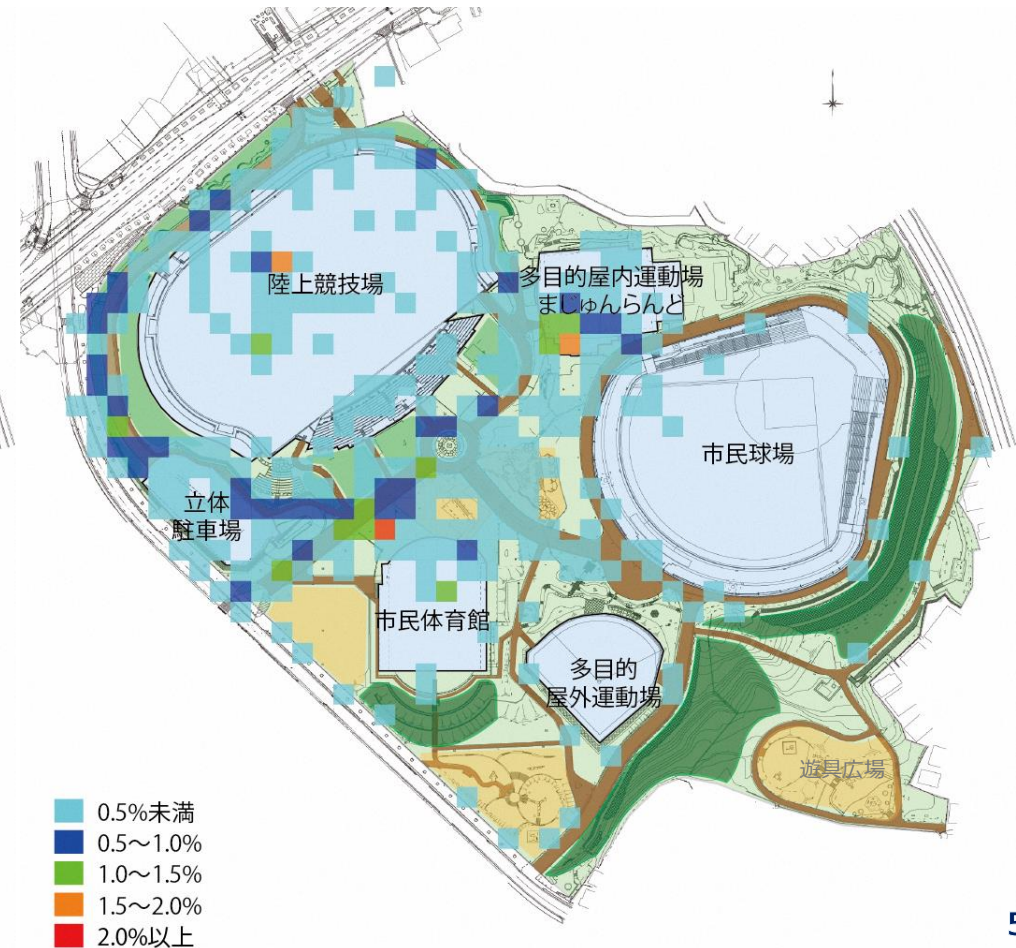
- ・ 午後から利用者が増加し、19時台で最大
- ・ 露店のある中央園路等で滞留
- ・ 平時に利用の少ないオープンスペースでの滞留が見られる



利用者の多い時間帯（16-21時）



利用者の少ない時間帯（9-11時）

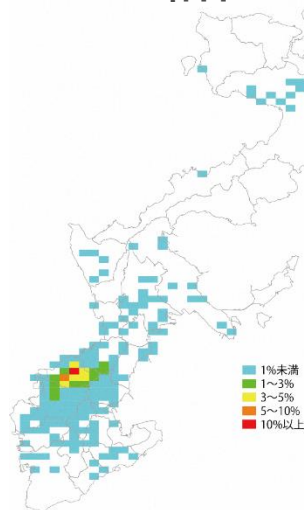
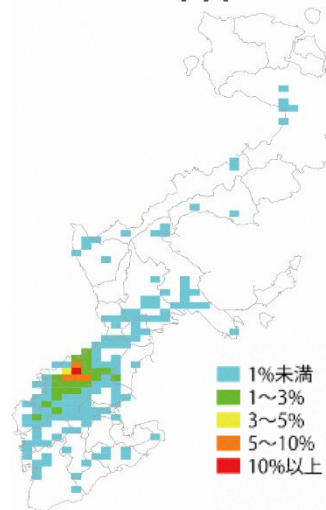


⑤ 利用者のアクセス（利用者がどこから移動してきたかを示す）

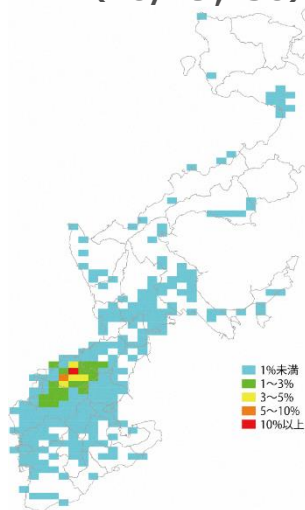
2022年10月（県内）

平日

休日



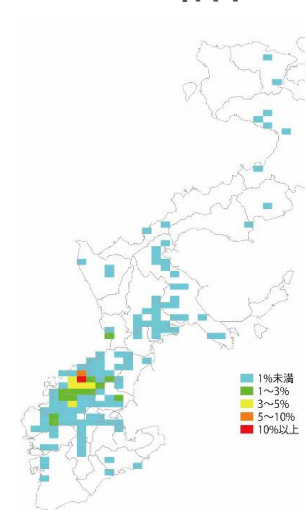
てだこ祭り
(10/29, 30)



2022年2月（県内）

平日

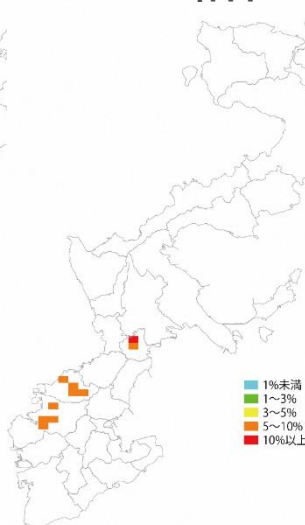
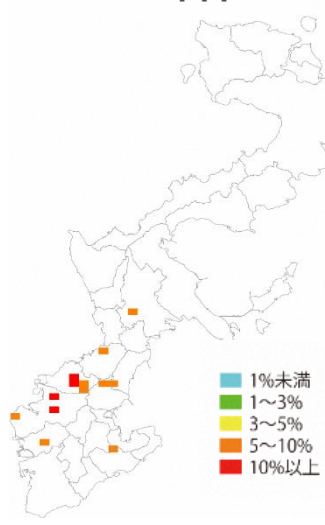
休日



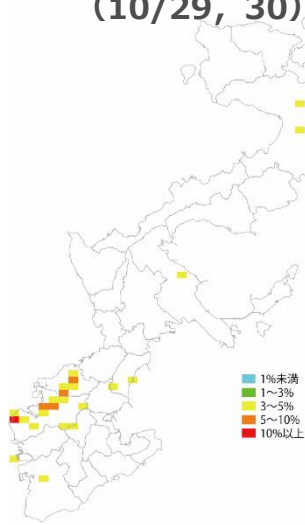
2022年10月（県外）

平日

休日



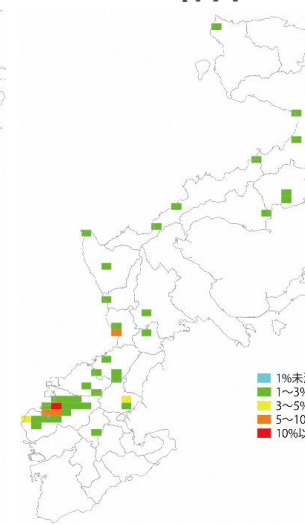
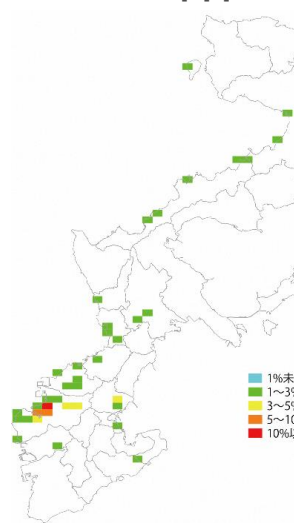
てだこ祭り
(10/29, 30)



2022年2月（県外）

平日

休日





① 関係機関等ヒアリング先リスト

	分野	ヒアリング先団体名
1	観光	一般社団法人 浦添市観光協会
2	観光	浦添商工会議所 / 東京ヤクルトスワローズ・浦添協力会
3	観光	沖縄観光コンベンションビューロー
4	スポーツ	浦添市スポーツ協会 / 浦添市陸上競技協会
5	スポーツ	浦添市サッカー協会
6	スポーツ	浦添市グラウンドゴルフ協会
7	スポーツ	ハンドボールチーム 琉球コラソン
8	スポーツ	女子サッカークラブチーム 琉球デイゴス
9	スポーツ・観光	サッカークラブチーム 沖縄SV
10	スポーツ・管理	ANA SPORTS PARK 浦添指定管理者 代表団体 株式会社トラスティック 浦添市温水まじゅんらんど指定管理者 代表団体 株式会社フォスタ
11	スポーツ・福祉	特定非営利活動法人 沖縄県障がい者スポーツ協会
12	福祉	浦添市社会福祉協議会
13	福祉	浦添市身体障がい者福祉協会（サンアビリティーズうらそえ）
14	PPP/PFI分野	沖縄振興開発金融公庫
15	公園・緑分野	造園協会

4 再整備に向けての課題及び解決策【4-3 関係機関等ヒアリング】

② 関係機関等ヒアリング調査結果のまとめ

(1) 観光分野に関する事項

観光客の利用促進

- ・ 観光客への情報発信方法の検討
- ・ 周辺市町村の観光拠点との連携
- ・ 飲食施設や物販施設の導入検討
- ・ イベントや興業、観るスポーツなど多目的な方面での公園利用

(2) スポーツ分野に関する事項

陸上競技場の機能更新

- ・ 観客席の整備、芝の維持管理手法、夜間照明の改善
- ・ 各競技の棲み分け、競技場の出入口の制限
- ・ メインストレートとメインスタンドの配置構造
- ・ 誘致するプロスポーツのレベルに合わせた施設整備
- 大型バスや障がい者用の駐車スペース確保**
- イベントが出来るオープンスペースの確保**

(3) 管理・運営分野に関する事項

管理・運営手法の検討

- ・ 再整備後の施設利用料金の設定の検討
- ・ ハーフコートで予約できるような柔軟な予約システムの検討
- 駐車場不足への対応及びアクセス方法**
- ・ 公園までのアクセス方法
- 新市民体育館整備後の運営**
- ・ 新市民体育館と既存市民体育館の運営方法
- ・ 新市民体育館の多面的な利用やほか周辺施設との差別化
- 工事期間中の対応**
- ・ 工事期間中の緊急車両の確保
- ・ 陸上競技場が利用できない期間の代替施設の検討

(4) 福祉分野に関する事項

- ・ 公園内施設におけるバリアフリーやユニバーサルデザインの導入
- ・ 障がい者用の駐車スペースやトイレの拡充
- ・ 授乳室やおむつ交換台等の乳幼児連れの利用者のための機能の拡充
- ・ 誰にもわかりやすい案内表示
- ・ イベント時等における福祉スペースの確保

(5) 軍人・軍属分野に関する事項

- ・ 外国人利用者を想定した施設や案内等（災害時における外国人の避難等も含め）

(6) PPP/PFI分野に関する事項

- ・ 運動公園での飲食施設の導入方法（平日等の対策等）

(7) 公園・緑分野に関する事項

- ・ 芝の維持管理方法
- ・ 樹木や施設の維持管理費用の低減
- ・ 植栽等の適正化
- ・ オープンスペースの確保

① 関係部局意見聴取リスト

	部局	関係課（室）	
1	総務部	防災危機管理課	防災
2	財務部	財政課、行財政改革推進課	財政・予算 民間活力（PPP/PFI）
3	企画部	企画課、デジタルシティ推進室	総合計画 ICT
4	市民部 経済文化局	市民生活課、観光振興課、文化スポーツ振興課	観光・スポーツ 市イベント関係
5	福祉健康部	福祉総務課、障がい福祉課、健康づくり課	福祉、健康づくり
6	こども未来部	こども政策課、こども未来課	こども、保育
7	都市建設部	都市計画課、美らまち推進課、新施設建設室、建築指導課、建築営繕課、道路課	都市計画、公園 緑環境、建築、道路
8	教育委員会 指導部	学校教育課	学校、部活動
9	教育委員会 教育部	社会教育推進課	こども、社会教育

事項	関係部局からの主な意見
運動公園全体について	・ 狭隘な園内での工事のため、工事所管課で連携を図りながら、安全かつ円滑に工事を進める必要がある。 ・ 景観の変容が見込まれるため、景観まちづくり審議会へ意見聴取などの調整が必要である。
陸上競技場について	・ 陸上競技場の段差は、子どもが昇降し易い高さにするなど、子どもが安全に利用できる施設整備が必要である。 ・ メインスタンドに日除けを設置するなど、利用者に配慮した整備が必要である。 ・ イベント（てだこまつり等）の開催場所でもあるため、スポーツ機能に留まらず、イベント視点での整備も必要である。
園路・駐車場について	・ イベント時の駐車場不足が問題であり、駐車スペースの確保の検討が必要である。 ・ 大型バス専用の駐車場の整備が必要である。 ・ 園路は安全のために歩車分離し、子どもでもわかりやすい表示で整備する必要がある。
観光分野に関する事項	・ 市民や事業者、来訪者の賑わいを促すため、スポーツコンベンションの推進に取り組む必要がある。 ・ 既存のイベントに加え、新たなスポーツイベントにつながる拠点整備の検討が必要である。
スポーツ分野に関する事項	・ 学校以外でも子どもが体を動かす場の整備の検討が必要である。例えばレンタル自転車で公園内を自転車走行できる環境の検討が必要である。 ・ 新たなスポーツ・レクリエーションの普及を図るため、多様なスポーツ・レクリエーション活動が可能な施設整備の検討が必要である。 ・ 高いレベルのスポーツを観戦する機会や、トップアスリートとの交流機会を創出するため、市民に対してスポーツへの関心を高める環境を整備する必要がある。 ・ 市民ニーズを踏まえて、ライフステージに応じた、誰もが利用できるユニバーサルデザインの視点に立ったスポーツ・レクリエーション施設の整備を検討する必要がある。
管理運営分野に関する事項	・ 施設完成後における維持修繕費等を抑えられるよう検討が必要である。 ・ 市民運動公園であるため、工事中のみならず、工事後の運営においても、市民サービスの低下が最小限となるよう検討が必要である。 ・ 受益者負担の原則を取り入れ、駐車場の有料化など、財源確保の検討が必要である。
福祉分野に関する事項	・ こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台等の設置の検討が必要である。 ・ バリアフリー及びユニバーサルデザインの考え方に基づいた環境整備が必要である。 ・ 防災及び感染症対応の観点から、人工呼吸器装置のための非常用電源の設置や、部屋を仕切る等の対応が可能な施設整備が必要である。
その他事項	・ 浦添運動公園を広域避難場所として指定しているため、広域避難場所としての防災機能の拡充が必要である。

① 民間活力を活用した運営管理の検討について

- 浦添運動公園内において、**持続可能で柔軟な公園運営**に向けた手法の一つとして、**PPP/PFIを活用**した取り組みを検討していきます。
- PPP/PFIの活用について、**関係者ヒアリング**や**公園利用者へのアンケート調査**を実施し、当該**公園利用者のニーズ等を把握**すると共に、**マーケットサウンディングによる事業者の意向を確認しながら、どのような手法が適切**であるか検討していきます。
- 市民、周辺市町民（那覇市、宜野湾市、西原町等）、観光客を対象としたアンケート調査を実施**済。また、**関係団体（分野：観光、スポーツ、福祉、管理、PPP/PFI、公園・緑等）へのヒアリングも実施**済。
- 市民等や関係団体、本市庁内関係部の意向を把握し、**今後、マーケットサウンディングを実施**する予定です。
- 以下、現時点での浦添運動公園の管理運営手法に関する検討案です。

PFI（コンセッション方式等）	指定管理者制度	Park-PFI
新市民体育館の管理・運営 ※新市民体育館整備は、プロスポーツ（ハンドボール等）の大会が可能など、興行の実施を見据え、民営の可能性を検討する。	新市民体育館を除く運動施設等（陸上競技場、屋内運動場等） Park-PFI部分を除く公園敷地 ※民営の可能性が低い運動施設や公園敷地は、指定管理委託料の低減に寄与する取組みを検討する。	公募対象公園施設（飲食店・売店等）、特定公園施設（園路、広場等）の部分 （関係者ヒアリング、市民等のアンケート調査の結果等により、公募対象施設を決定していく。） ※民設民営の可能性のある施設や参入企業について検討する。

※現時点の案であり、今後の検討により、変更する可能性があります。

② 公共施設等の運営に関する官民連携手法

- 公共施設等の運営に関する官民連携手法として、指定管理者制度やPFI（コンセッション手法）を念頭に検討しています。両手法は、根拠となる法令や権原等に相違があるため、それぞれの特色を踏まえた上で、適切な手法について選択、又は併用することが必要と考えています。

公共施設等の運営に関する官民連携手法の比較

	スポーツ施設等	
比較項目	指定管理者制度	コンセッション手法
根拠法（特性）	地方自治法（行政事務の代替）	PFI法（公共施設等の整備・運営）
官民の関係性	基本協定・実施協定による協定関係	実施契約による契約関係
期間	5年程度の場合が多い※1	20年以上が一般的
対象	公の施設（利用料金の徴収有無は問わない）	利用料金の徴収を行う公共施設等（公の施設以外も可）
建物の改築・更新	業務範囲に含まれないことが一般的	業務の一環として実施可能
利用料金 （変更に係る取扱い）	収受可能 （変更には首長の承認が必要）	収受可能 （届出により柔軟に変更が可能）
公の施設の使用許可	条例に基づき使用許可を与えることが可能	使用許可を与えることは不可
行政財産の利活用	設置目的の範囲外で収益性・サービス向上等に取り組む場合、目的外使用許可を受けること等で利活用が可能	左記の場合、目的外使用許可以外にPFI法に基づく私権の設定により利活用が可能
抵当権	抵当権の設定対象となる物権なし	運営権に対して設定可能
公共側の事由による取消 に対する補償	地方自治法上の規定なし	取消に発生する損失の補償が必要※2

※1：総務省が公表している『公の施設の指定管理者制度の導入状況等に関する調査結果（令和4年3月29日公表）』では、指定期間「5年」が72.7%、「5年超」が7.6%。ただし、指定期間について法令上の定めはなく、事業の目的や特性等を踏まえ適切に定めるべきものであり、PFI事業者を指定管理者にする場合は、PFI事業期間を指定期間とすることも想定され得る。

※2：PFI法第30条第1項に規定されている。

出典：内閣府「スタジアム・アリーナに係るコンセッション事業活用ガイドライン」



③ 先進事例・県内事例のヒアリング及び施設視察

- 浦添運動公園再整備基本構想及び基本計画策定にあたり、民間活力の活用による管理運営方式の検討に関して、国土交通省が紹介するPPP/PFI推進施策の先進事例や、県内事例について、ヒアリング及び施設視察を実施しました。

ヒアリング先	大阪府 堺市 観光局観光部観光推進課 建設局公園緑地部公園監理課	岡山県 津山市 総務部財産活用課 株式会社Globe	沖縄県 那覇市 都市みらい部公園管理課
公園・施設等	大仙公園（総合公園） 原池公園（運動公園）	グリーンヒルズ津山 Globe sports dome 城下小宿菰や	那覇市松山公園文化交流施設 （福州園/連携施設/駐車場）
選定理由等	【Park-PFIの先進事例】 大仙公園は世界文化遺産の「百舌鳥・古市古墳群」が隣接・点在する総合公園。園内には博物館や図書館、日本庭園等が立地し、Park-PFI制度より、飲食・物販施設を整備。 原池公園は体育館や野球場、多目的広場等が立地し、浦添運動公園に類似する運動公園。 Park-PFI制度より、スケートボードパークやBBQ施設、グラウンドゴルフ場を整備。	【PFI（コンセッション方式）の先進事例】 GlobeSportsDomeは市営のレジャープール施設をRO+コンセッション方式で再整備し、民営化された施設。 城下小宿菰やは津山市が市内の町家4棟を整備し、宿泊施設としてコンセッション（公共施設等運営権）方式を採用した観光拠点施設。国の補助金より施設整備、市が所有権を持ち、運営権を民間に設定。	【指定管理者制度による飲食店運営の先進事例】 那覇市松山公園は福州園、公園連携施設（クニンダテラス）、駐車場から構成。福州園は中国式庭園、クニンダテラスは琉球の歴史展示室、飲食店、交流室、広場を有する。指定管理者制度で公園全体の管理・運営を行い、ライトアップ設備やイベント広場を整備。令和4年度にリニューアルオープンした施設。
ヒアリング内容	・ Park-PFIのこれまでの取り組み ・ 企業サウンディング調査 ・ サウンディング調査結果 ・ 公募リスク管理 ・ 事業期間内の見直し有無 ・ 事業者の取り組みや工夫点 ・ 今後の取り組みや課題	・ PFIのこれまでの取り組み ・ 企業サウンディング調査 ・ サウンディング調査結果 ・ 公募リスク管理 ・ 事業期間内の見直し有無 ・ 事業者の取り組みや工夫点 ・ 今後の取り組みや課題	・ 飲食店の収支 ・ 飲食店運営の課題等 ・ 事業者の取り組みや工夫点 ・ 公募リスク管理 ・ 事業継続に係る見直し有無 ・ 今後の運営手法の変更有無 ・ PFIのこれまでの取り組み

④ 先進事例・県内事例のヒアリング結果

市町村	大阪府堺市		岡山県津山市	沖縄県那覇市		岡山県津山市
公園	大仙公園		原池公園	グリーンヒルズ津山	松山公園	地区
公園の特徴	世界文化遺産である「百舌鳥・古市古墳群」が隣接・園内に点在する総合公園		運動公園でのPark-PFI活用	公園内の施設をRO+コンセッション方式で再整備	指定管理による飲食事業施設等の運営	特徴
公園の維持管理	直営+指定管理		指定管理	直営	直営+指定管理	整備
面積	約39ha		約17ha	約27ha	約3ha	面積
駐車場	有料 (カフェ利用者に割引等)		有料 (ジム利用者の割引等)	無料	有料	施設
公園内施設	こぶん前 Café IROHA	ICOROBA Café Terrace	BBQ施設 (matoi) スケートボードパーク (初心者コース)	グローブスポーツドーム (旧ガラスハウス)	クニンダテラス	事業区域
官民連携手法	Park-PFI		Park-PFI	PFI (RO+コンセッション)	指定管理	官民連携手法
事業区域 (敷地面積)	約929㎡	約2,897㎡	約3,200㎡	約12,000㎡	福州園 8,500㎡ 連携施設 1,400㎡	事業期間
事業期間	10年間		20年間	20年間	5年間	課題
課題	世界文化遺産への登録に伴う、観光客等の受入環境整備		- 複数の管理事業者では、公園管理の調整が困難 - 既存施設 (BBQ施設、スケートボードパーク) の改善や拡張	公園内施設 (ガラスハウス) の再整備	- 指定管理期間の終了後、テナントの変更に伴う現状復旧費 - 初期投資回収に要する期間と指定管理期間との整合	ヒアリングの結果
ヒアリングの結果	- 隣接・点在する世界文化遺産や園内の日本庭園など、観光資源を有することから観光客の利用者が多い。 - Park-PFIのカフェは、周辺住民の利用者も多く、平日でも多くの利用者を確認。		- 平日昼間のバーベキュー施設は利用者がいない状況。現在、平日やオフシーズンの対策を検討中。 - 指定管理者とPark-PFI事業者は同一事業者として、一元管理を実施。 - 利用者が見込める場合等、事業者の判断により、カフェを設置 (任意)。	- 再整備手法は公共工事に比べ、スケジュールの短縮や費用の軽減が見込まれるため、RO (民間が資金調達、建物改修、維持管理・運営) を選択。 - 当該手法により、運営事業者の意向に沿った運営が可能。 - 運営状況は、昨年度からの実施のため、今後分析等を実施。	- 指定管理業務と自主事業の収支を区分することで事業者の負担軽減。 - 自主事業の売上の市への納入割合はプレゼン時の提案による。 - 飲食店で収支のバランスを図ることは困難、利益が想定できる自主事業との組合せが必須。	- 国の補助金により、整備した施設を民営化。 - 市が所有権を持ち続けながら、運営権を民間事業者に設定。 - 運営事業者が希望する整備は、公共工事とは別に事業者負担により整備。



⑤ Park-PFIに関するヒアリング

- ・ マーケットサウンディングによる事業者の意向確認の検討にあたり、事前に、全国の公園で、Park-PFI事業に多くの参入がみられるスターバックスコーヒー・ジャパン（株）に意見交換を実施。
- ・ 意見交換の主な内容は、「沖縄県内でPark-PFI事業の公募があった場合の参入予定・意向」、「Park-PFI事業の参入条件」など。

【ヒアリング結果】

- ・ 沖縄県内のPark-PFI事業への参入は、今後、条件が整えば可能性はある。
- ・ 今後も浦添市内に店舗を出店していく意向。
- ・ Park-PFI事業の参入は、公園管理を行う別途事業者と構成する組織で参入する。
- ・ 当社の出店形態は駅構内等の「レギュラー」型と道路沿いの「ドライブスルー」型の2パターンとなる。
- ・ 浦添運動公園は公園利用者が少ないため、「レギュラー」型では困難と考える。「ドライブスルー」型での検討が望ましい。
- ・ 「ドライブスルー」型の店舗は「敷地面積が最低500坪以上」、「道路付けできる場所」等の諸条件がある。
- ・ 山口県の「山口市中央公園店」と福岡県の「到津の森公園店」は、浦添運動公園に条件が類似しており、参考になるのでは。



山口市中央公園店

引用元（山口市HP中央公園にスターバックスコーヒーがオープンします）



スターバックスコーヒー
店舗イメージ

到津の森公園店

引用元（北九州市HP公募設置等予定者の選定結果について）

4 再整備に向けての課題及び解決策【4-6 県内類似施設の視察】

① 県内類似施設の現地視察（陸上競技場）

視察先	沖縄県 糸満市	沖縄県 豊見城市
公園・施設等	西崎運動公園（運動公園）西崎陸上競技場	豊見城総合公園（総合公園）陸上競技場
面積	約28,900㎡（競技面積：グラウンド 約20,571㎡、メインスタンド 約4,589㎡、芝スタンド 約3,740㎡）	約25,835㎡（競技面積：グラウンド 約20,385㎡）
主な施設	400m×8レーン、全天候型、天然芝フィールド103m×70m、投てき（砲丸・ハンマー・円盤・やり）、跳躍（幅跳び、三段跳び、棒高跳び）、3000m障害用設備、雨天走路50m×3レーン	400m×8レーン、全天候型、天然芝フィールド106m×70m、投てき（砲丸・円盤）、跳躍（幅跳び、三段跳び、棒高跳び）
付帯設備	ナイター設備、会議室、更衣室、シャワールーム、救護室	ナイター設備、シャワールーム
陸上競技公認	第3種公認	非公認
選定理由等	同種公認施設の中から、概ね同規模施設を選定	非公認施設の中から、概ね同規模施設を選定
ヒアリング内容	- スポーツコンベンションの取り組み - 運動公園、陸上競技場の管理運営と収支の状況 - 維持管理費の縮減の取り組み - 施設の運用や維持保全に関する課題とその解決策の取り組み	- スポーツコンベンションの取り組み - 運動公園、陸上競技場の管理運営と収支の状況 - 維持管理費の縮減の取り組み - 施設の運用や維持保全に関する課題とその解決策の取り組み
視察結果	- 競技場への入退場は、出入口がーか所に集約されており、事務室より管理されている。 - 個人及び団体の利用、専用使用は利用料金を支払わなければならない。 - メインスタンドには一部屋根を設置している。 - 協力会を設立して官民一体となってプロスポーツキャンプ等の誘致に取り組んでいる。新規キャンプ等の受け入れの問合せがあるが、市民の体育施設利用への影響が課題となっている。 - 施設管理は指定管理者が行っており、施設予約方法の効率化や維持管理におけるPFIの活用等を検討している。  写真：スポーツコ ミッション沖縄 「プランナースガ イドブック」	- 競技場への入退場は、出入口がーか所に集約されており、事務室より管理されている。 - 一般利用は、専用使用がない場合、通常開放されており、ウォーキングやジョギング等の目的では自由に使用できる。 - 市内企業等で構成する団体により、公園内の樹木の剪定等を行うことで、維持管理費の軽減を図っている。 - 過年度のオリンピック代表の合宿受入やプロスポーツキャンプの誘致など、スポーツコンベンションの推進に取り組んでいる。 - 市直轄の管理・運営のために経費削減が難しい状況。今後、使用料の見直しなど、収入を増やす取り組みを検討していく。  写真：スポーツコ ミッション沖縄 「プランナースガ イドブック」

※公認陸上競技場は、陸上競技の練習ならびに国内の競技会の運営が支障なく行われ、樹立された記録が十分信頼し得るように公認制度を設け、公認競技会を開催し得る十分な精度のある適切な施設として検定を行い認定（日本陸上競技連盟）

	国	県	市	上位関連計画等の考察
総合計画	沖縄振興基本方針（R4.4） 観光・リゾート産業の振興に関する基本的な事項 ・スポーツ交流拠点の形成	新・沖縄 21世紀ビジョン基本計画（R4.5） ・スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成 ・スポーツ資源を活用したまちづくり 等	第五次浦添市総合計画（R3.3） 多様なスポーツの総合的な推進 ・新たなスポーツ・レクリエーションの普及 ・高いレベルのスポーツを観戦する機会やトップアスリートとの交流機会を創出 スポーツ環境の整備・充実 ・ユニバーサルデザインの視点に立ったスポーツ・レクリエーション施設の充実 ・スポーツ・レクリエーションに関する情報の提供	・スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加が求められる
SDGs	SDGsアクションプラン2023 ・障がい者スポーツ推進プロジェクト ・女性アスリートの育成・支援プロジェクト ・Sport in Life推進プロジェクト（生活の中にスポーツを取り込まれている） 等	おきなわSDGsアクションプラン2023 ・スポーツイベント開催、キャンプ誘致、地域プロスポーツなどにより地域の活性化と多様な交流を促進		
脱炭素	地球温暖化対策計画（R3.10） ・都市公園への再生可能エネルギーの導入推進 等 地域脱炭素ロードマップ（R3.6） ・CO2吸収量確保のための都市公園等の整備・保全 ・都市公園への再生可能エネルギー導入等	第2次沖縄県地球温暖化対策実行結果（R3.3） ・市街地に残る大規模緑地の保全の推進 クリーンエネルギー・イニシアティブ（R4.3） ・クリーンエネルギーの導入拡大	浦添市地球温暖化対策実行計画（H29.3） ・緑地の保全及び都市緑化の推進 ・高効率な省エネルギー機器の普及	・公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進が求められる
ニューノーマル	都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言（R4.10） ・新たな価値創出や社会課題解決に向けたまちづくりの場とする（グリーンインフラとしての保全・利活用、居心地が良く、誰もが安全・安心で、快適に過ごせる空間づくり） ・しなやかに使いこなす仕組みをととのえる（利用ルールの弾力化、社会実験の場としての利活用） ・管理運営の担い手を広げ・つなぎ・育てる（担い手の拡大と共創、自主性・自律性の向上） 等			・グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間等が求められる
スポーツ	第3期スポーツ基本計画（R4.3） ・スポーツの成長産業化（多機能型、民間活力導入、収益性改善等）	第2期スポーツ推進計画（R4.3） ・県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進（高齢者や障がい者のスポーツ参加） ・スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成（スポーツイベント、キャンプ、合宿等のスポーツコンベンションを関係団体と連携して誘致・開催）	浦添市スポーツ推進計画（H27.3） ・基本施策「スポーツの交流を通して活力あるてだこのまちづくり」では、スポーツイベント等を通して入域増を図りスポーツコンベンションの充実につなげることを目標	・スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進が求められる ・国・県の計画改定や新市民体育館整備後を見据えた市計画の更新が求められる
観光	観光立国推進基本計画（R5.3） ・スポーツツーリズムの推進（スポーツの参加や観戦を目的とした地域の訪問や、地域資源とスポーツを掛け合わせた観光を楽しむスポーツツーリズムの推進）	第6次沖縄県観光振興基本計画（R4.7） スポーツツーリズムの推進 ・スポーツを核とした新産業の創出とグローバル展開 ・スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成 スポーツコンベンション誘致戦略（H27.3） （市の役割） スポーツコンベンション受入や企画運営、民間事業者との連携窓口、専門人材の育成、地域のスポーツ振興等	浦添市観光振興計画（H30.3） スポーツツーリズム・MICE等の推進 ・スポーツツーリズムの充実 ・魅力ある新たなスポーツイベントの創出 ・スポーツ環境の整備・充実	・スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成が求められる ・国・県の計画改定や新市民体育館整備後を見据えた市計画の更新が求められる
防災	国土強靱化基本計画（H30.12） ・公園・街路等の活用による避難地・避難路の整備 防災基本計画（R4.6） ・都市公園等に防災拠点を整備	沖縄県国土強靱化地域計画（R5.3一部改定） ・防災機能を付加した都市公園等の整備を推進し、避難経路、避難地等の確保 沖縄県地域防災計画（R3.6修正） ・防災拠点機能の確保 ・避難地・避難路の確保及び誘導標識等の設置	浦添市国土強靱化地域計画（R4.3） ・広域避難地等を計画的に配置・整備 ・公園等について避難場所の指定、防災用施設の整備や案内板の設置等 浦添市地域防災計画（H31.3） ・浦添運動公園及び浦添カルチャーパークは広域避難場所に指定	・広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入が求められる
みどり・景観	緑の政策大綱 ・緑の保全、創出、活用に関する総合的な計画の策定 ・緑の創出と活用 ・緑の保全 景観法 良好な景観は、「国民共有の資産」、「地域の自然、歴史、文化等の人々の生活、経済活動等の調和により形成」、「地域の固有の特性と密接に関連」、「地域の活性化に資する」、「保全のみならず新たに創出することを含む」	沖縄県広域緑地計画（H30.3） ・沖縄の風土に根差したみどりを守り活かす ・地域の特性に応じたみどりの水準を確保 ・多様なみどりによる沖縄らしい地域づくり ・圏域ごとのみどりのつながりと仕組みづくり 沖縄県景観形成基本計画（H23.1） ・沖縄らしさを持つ景観形成 ・生活の質を高める景観形成 ・県民一人一人がつくっていく景観形成	浦添市ティードヌファみどり計画（R2.5） ・浦添カルチャーパーク、浦添運動公園一帯を浦添の自然を豊かにするみどりの拠点として整備 浦添市景観まちづくり計画（R4.3） ・ティードヌファの景観を代表するみどりの拠点の整備、および浦添の風土を特徴づけるみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全	・みどりの拠点として緑の保全が求められる ・浦添の風土を特徴づけるみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全が求められる

- 利用者の回答の多くは、**30-50代の中年層**で、その家族構成は**子どもと同居の二世帯世帯**が最も多く、**子育て世代**となっている。
- この世代は、**車利用の交通手段**が多く、**駐車場不足、施設老朽化、売店不足**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**子どもを安心して遊ばせられる公園**」と「**スポーツや健康づくり、行事を楽しむ公園**」が多く、**子どもの利用を中心**とした回答となっている。
- 次に回答が多い**60代以上の高齢層**では、その家族構成は**子どもと同居の二世帯世帯と夫婦のみ**が多い。
- 高齢層の交通手段も**車利用**が多く、**駐車場不足、施設老朽化、トイレや水飲み場不足**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**緑や花がきれいな公園**」が多く、次に「**スポーツや健康づくり、行事を楽しむ公園**」となっており、**本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。
- 10、20代の若年層**では、その家族構成は**夫婦のみ**が最も多く、次に一人暮らし、親と同居の二世帯世帯となっている。
- 若年層の交通手段も**車利用**が多く、他同様、**駐車場不足、施設老朽化、売店不足**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**スポーツや健康づくり、行事を楽しむ公園**」が最も多く、次に「**子どもを安心して遊ばせられる公園**」「**カフェやレストランで食事等ができる公園**」「**eスポーツやコンサート等のイベントに参加できる公園**」が同率となるなど、他の年齢層と比較して、**多様な過ごし方**ができるような回答となっている。
- 交通手段**は、全ての年齢層で車利用が最も多かったが、次点の**徒歩**も全ての年齢層で**2番目に多い**回答となっている。
- 公園を**利用している理由**では、「**近い**」「**費用がかからない**」「**スポーツ施設**」という回答が最も多く、この回答により、**近いにも関わらず車利用が多いこと、費用がかからない（利用料金が低額）ため、利用度は高くなるものの、維持管理費用の確保が難しいこと、スポーツ施設を目的に利用するものの、老朽化対策のニーズがあること**など、利用者の意向と公園・施設の運用では相反するような現状が見受けられる。

(ビックデータ分析)	利用者の動向	・平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化する箇所はなし。 ・イベント時は中央園路や市民体育館前での滞留・移動を確認。 ・平時とイベント時に利用者の多い時間帯でも利用の少ない箇所がある ・夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 ・利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 ・立体駐車場の滞留・移動により、車での来園が想定。
	アクセス	・県内利用者は運動公園を中心に半径2km範囲からのアクセスが多い。 ・県外利用者は主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は北部地域からの、より広域的となっている。
ヒアリング	関係機関等	・観光客の利用促進 ・陸上競技場の機能更新 ・大型バスや障がい者用の駐車スペース確保 ・イベントが出来るオープンスペースの確保 ・駐車場不足及びアクセス方法 ・新市民体育館整備後の運営 ・障がい者等に配慮した施設等の整備 ・外国人利用者を想定した施設・案内等の整備 ・飲食施設の導入 ・芝や樹木の維持管理 ・管理・運営手法の検討
	庁内関係部署	・狭隘な園内のため、関係課連携のもと、安全かつ円滑な工事進捗 ・景観まちづくり審議会の意見聴取 ・運動施設の段差解消 ・メインスタンドの日除け設置 ・イベント時など、駐車場不足問題による駐車スペースの確保 ・大型バス専用の駐車場の整備 ・園路の歩車分離、子どもでもわかりやすく表示。 ・子どもが体を動かす場の整備 ・スポーツコンベンションの推進 ・維持管理費用の低減 ・既存イベントに加え新たなスポーツイベントにつながる拠点整備 ・レンタル自転車で園内を走行できる環境整備 ・こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台の設置 ・バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備 ・非常用電源の設置（人工呼吸器装置）や部屋として利用できるよう仮設間仕切り ・広域避難場所として防災機能拡充 ・駐車場有料化など、財源の確保
上位関連計画	総合計画	・スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加
	SDGs	
	脱炭素	・公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進
	ニューノーマル	・グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間
	スポーツ	・スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進
	観光	・スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成
	防災	・広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入
	みどり・景観	・みどりの拠点として緑の保全 ・浦添の風土やみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全

市民意向と各調査のクロス分析

中年層の子育て世代は、子どもの遊び場の整備や、スポーツや健康づくり、行事を楽しむ場など、**子どもの利用を中心としたような要望**がある。
園内には利用者が特化して集まっている場所も少なく、関係団体等からも飲食施設等の賑わい施設の導入を求められているなど、**便益施設（飲食店）の充実が必要である**。

高齢層は、散歩で利用する方が多く、緑や花等の自然を感じ**ゆっくりと時間を過ごすことができる場の要望**や、トイレ・水飲み場、ベンチ等の**休憩所の整備**が求められている。
散歩コースとなる園路へのベンチ整備や陸上競技場内の散歩コースの整備など、施設整備を検討すると共に、木陰の整備や障がい者に配慮した**バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備**に取り組む必要がある。

若年層は、スポーツ・健康づくりを中心としながらも、多様な過ごし方（食事やeスポーツやコンサート等のイベント参加）のニーズがあり、施設の機能更新等が求められている。
観るスポーツや新たなスポーツイベントにつながる新たな施設整備や既存施設の機能更新に取り組む必要がある。

障がい者や外国人等のあらゆる利用者が快適にスポーツや健康づくりに参加できることが求められており、わかりやすい案内表示やバリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備に取り組む必要がある。

整備方針（案）

いつでも、誰でも、気軽に、いつまでも、スポーツ・健康づくりに親しむことができる、快適で、安全・安心な市民運動公園

- ・未利用者の回答の多くは、利用者と同様に、**30-50代の中年層**で、その家族構成は**その他**が最も多く、次に**子どもと同居の二世帯世帯**となっている。
- ・公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が多く、**駐車場不足**、**子どもが楽しめない**、**売店不足**が主なニーズとなっている。
- ・公園の要望は、「**スポーツや健康づくり、行事を楽しむ公園**」が多く、次に「**街なかなどにある身近な公園**」「**ゆっくり休むことができる公園**」となっており、**子どもの利用と本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。
- ・次に回答が多い**60代以上の高齢層**では、その家族構成は**その他**が最も多く、次に**子どもと同居の二世帯世帯**と一人暮らしとなっている。
- ・公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が最も多い。主なニーズは、**施設老朽化**や**トイレや水飲み場の不足**、**運動施設が少ない**、**高齢者や障がい者等が利用しにくい**、**プロスポーツ等を観戦できる機会が少ない**、**売店不足**、**駐車場不足**、**イベントがない**と多岐にわたっている。
- ・公園の要望では、「**ゆっくり休むことができる公園**」と「**カフェやレストランで食事等ができる公園**」となっており、**休息や飲食店等の癒し空間を求める**ような回答となっている。
- ・回答が最も少ない**10, 20代の若年層**は、その家族構成は**その他と親と同居の二世帯世帯**となっている。
- ・公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**と**バス**となっている。主なニーズは、**施設老朽化**となっている。
- ・公園の要望は、「**緑や花がきれいな公園**」「**ゆっくり休むことができる公園**」「**カフェやレストランで食事等ができる公園**」「**eスポーツやコンサート等のイベントに参加できる公園**」と多岐にわたり、**多様な過ごし方**ができるような回答となっている。
- ・公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が最も多く、次点の**徒歩**も、利用者と同様な回答となっている。
- ・公園を利用していない理由では、「**公園に用事がない**」「**家から遠い**」「**スポーツをしない**」という回答が最も多く、この回答により、**公園に行きたくないようなハード整備・ソフト対策やスポーツを行う機会の創出**など、未利用者の利用を促す取り組みが必要である。

(ビッグデータ分析)	利用者の動向	・平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化する箇所はなし。 ・イベント時は中央園路や市民体育館前での滞留・移動を確認。 ・平時とイベント時に利用者の多い時間帯でも利用の少ない箇所がある。 ・夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 ・利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 ・立体駐車場の滞留・移動により、車での来園が想定。
	アクセス	・県内利用者は運動公園を中心に半径2km範囲からのアクセスが多い。 ・県外利用者は主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は北部地域からの、より広域的となっている。
ヒアリング等	関係機関等	・観光客の利用促進 ・陸上競技場の機能更新 ・大型バスや障がい者用の駐車スペース確保 ・イベントが出来るオープンスペースの確保 ・駐車場不足及びアクセス方法 ・新市民体育館整備後の運営 ・障がい者等に配慮した施設等の整備 ・外国人利用者を想定した施設・案内等の整備 ・飲食施設の導入 ・芝や樹木の維持管理 ・管理・運営手法の検討
	庁内関係部署	・狭隘な園内のため、関係課連携のもと、安全かつ円滑な工事進捗 ・景観まちづくり審議会の意見聴取 ・運動施設の段差解消 ・メインスタンドの日除け設置 ・イベント時など、駐車場不足問題による駐車スペースの確保 ・大型バス専用の駐車場の整備 ・園路の歩車分離、子どもでもわかりやすく表示。 ・子どもが体を動かす場の整備 ・スポーツコンベンションの推進 ・維持管理費用の低減 ・既存イベントに加え新たなスポーツイベントにつなげる拠点整備 ・レンタル自転車で園内を走行できる環境整備 ・こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台の設置 ・バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備 ・非常用電源の設置（人工呼吸器装置）や部屋として利用できるよう仮設間仕切り ・広域避難場所として防災機能拡充 ・駐車場有料化など、財源の確保
上位関連計画	総合計画	・スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加
	SDGs	
	脱炭素	・公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進
	ニューノーマル	・グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間
	スポーツ	・スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進
	観光	・スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成
	防災	・広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入
	みどり・景観	・みどりの拠点として緑の保全 ・浦添の風土やみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全

市民意向と各調査のクロス分析

未利用者は全体的に回答数が少ないため、今後も調査・研究を進める必要がある。現回答数では、以下のことが見込まれる。

中年層の子育て世代は、スポーツや健康づくり、行事を楽しむ場の整備や、ゆっくりと時間を過ごすことができる場など、**子どもの利用と本人の余暇を楽しむような要望**がある。
公園に行きたくするような**運動施設の整備**や、**運動する機会の創出**、**休息できる空間**、**便益施設の整備**が必要である。

高齢層は、ゆっくりと時間を過ごすことができる場の整備や、カフェやレストランで食事等ができる場など、**休息や飲食店等の癒し空間を求めるような要望**がある。また、ニーズも多岐にわたっており、**運動施設**、**便益施設**、**緑陰・木陰の整備**等と共に、**障がい者に配慮したバリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備**に取り組む必要がある。

若年層は回答数が最も少ないが、**概ね利用者と同様な意見**となっている。**多様な過ごし方**（食事やeスポーツやコンサート等のイベント参加）**に対応した施設の機能更新等**が求められている。

公園に行きたくするようなハード整備・ソフト対策やスポーツを行う機会の創出として、**新たなスポーツイベントにつなげる施設整備や機能更新**、**イベントができるオープンスペースの確保**、また、**気軽に立ち寄り、多様な過ごし方のできる場の整備等**が想定される。

整備方針（案）

いつでも、誰でも、気軽に、いつまでも、スポーツや健康づくり等に行きたくするような**市民運動公園**

4 再整備に向けての課題及び解決策【4-8 市民等の意向と各調査の関係性】

周辺市町村住民（利用者）

- 利用者の回答の多くは、**30-50代の中年層**で、その家族構成は**子どもと同居の二世帯世帯**が最も多く、**子育て世代**となっている。
- この世代は、**車利用の交通手段**が多く、**駐車場不足**、**売店不足**、**公共交通アクセス**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる公園**」が多く、次に「**緑や花がきれいな公園**」「**子どもを安心して遊ばせられる公園**」となっており、**子供の利用と本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。
- 次に回答の多い**10, 20代の若年層**は、その家族構成は**親と同居の二世帯世帯**が最も多く、次に一人暮らし、子どもと同居の二世帯世帯が多い。
- 若年層の交通手段も**車利用**が多く、**駐車場不足**、**公共交通アクセス**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる公園**」が最も多く、次に「**緑や花がきれいな公園**」となっており、**本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。
- 60代以上の高齢層**は、その家族構成は**夫婦のみ**が多く、次に一人暮らし、子どもと同居の二世帯世帯となっている。
- 高齢層の交通手段も**車利用**が多く、**駐車場不足**、**トイレや水飲み場不足**、**公共交通アクセス**が主なニーズとなっている。
- 公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる公園**」が最も多く、次に「**緑や花がきれいな公園**」「**緑豊かで自然と触れ合える公園**」となっており、**自然を感じながら本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。
- 交通手段**は、全ての年齢層で車利用が最も多かったが、若年層と中年層では**バスが2番目**に多い回答となっている。
- 公園を利用している理由では、「**費用がかからない**」「**広い**」「**緑が多い**」という回答が多い。この回答により、**費用がかからない（利用料金が低額）**、**広い**、**緑が多い**等の理由により、**利用度は高くなるものの、維持管理費用の確保が難しい**など、利用者の意向と公園・施設の運用では相反するような現状が見受けられる。

(ビックデータ分析)	利用者・移動	- 平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化する箇所はなし。 - イベント時は中央園路や市民体育館前での滞留・移動を確認。 - 平時とイベント時に利用者の多い時間帯でも利用の少ない箇所がある。 - 夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 - 利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 - 立体駐車場の滞留・移動により、車での来園が想定。
	アクセス	- 県内利用者は運動公園を中心に半径2km範囲からのアクセスが多い。 - 県外利用者は主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は北部地域からの、より広域的となっている。
ヒアリング等	関係機関等	- 観光客の利用促進 - 陸上競技場の機能更新 - 大型バスや障がい者用の駐車スペース確保 - イベントが出来るオープンスペースの確保 - 駐車場不足及びアクセス方法 - 新市民体育館整備後の運営 - 障がい者等に配慮した施設等の整備 - 外国人利用者を想定した施設・案内等の整備 - 飲食施設の導入 - 芝や樹木の維持管理 - 管理・運営手法の検討
	庁内関係部署	- 狭隘な園内のため、関係課連携のもと、安全かつ円滑な工事進捗 - 景観まちづくり審議会の意見聴取 - 運動施設の段差解消 - メインスタンドの日除け設置 - イベント時など、駐車場不足問題による駐車スペースの確保 - 大型バス専用の駐車場の整備 - 園路の歩車分離、子どもでもわかりやすく表示。 - 子どもが体を動かす場の整備 - スポーツコンベンションの推進 - 維持管理費用の低減 - 既存イベントに加え新たなスポーツイベントにつなげる拠点整備 - レンタル自転車で園内を走行できる環境整備 - こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台の設置 - バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備 - 非常用電源の設置（人工呼吸器装置）や部屋として利用できるよう仮設間仕切り - 広域避難場所として防災機能拡充 - 駐車場有料化など、財源の確保
上位関連計画	総合計画	・スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加
	SDGs	
	脱炭素	・公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進
	ニューノーマル	・グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間
	スポーツ	・スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進
	観光	・スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成
	防災	・広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入
	みどり・景観	- みどりの拠点として緑の保全 - 浦添の風土やみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全

周辺市町住民意向と各調査のクロス分析

中年層の子育て世代は、ゆっくりと時間を過ごすことができる場や、子どもの遊び場の整備など、**子どもの利用と本人の余暇を楽しむような要望**がある。
自然を感じながら**ゆっくり時間を過ごすことができるような空間や子ども連れの家族などが安心して過ごすことができる場の整備に取り組む必要がある。**

若年層及び中年層、高齢層に共通して、ゆっくり休むことができる公園と緑や花がきれいな公園へのニーズがあり、自然を感じることができる緑地の維持管理や景観の形成、**ゆっくり時間を過ごすことができる園路や休憩所等の空間の整備に取り組む必要がある。**

共通して周辺市町村住民利用者は、交通手段で車利用が多くなっており、**駐車スペースの確保やアクセス方法の検討に取り組む必要がある。**

また、**公共交通アクセスのニーズもあり、交通手段としてバスが2番目に多いことから、周辺市町村からの公共交通アクセス方法の検討に取り組む必要がある。**

整備方針（案）

いつでも、誰でも、気軽に、いつまでも、緑や花等の自然を感じながら、スポーツ・健康づくりができる運動公園

- ・未利用者の回答の多くは、利用者と同様に、**30-50代の中年層**で、その家族構成は**子どもと同居の二世帯世帯**が最も多く、**子育て世代**となっている。
- ・公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が多く、**公共交通アクセス**、**売店不足**が主なニーズとなっている。
- ・公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる公園**」が最も多く、「**緑や花がきれいな公園**」「**カフェやレストランで食事等ができる公園**」となっており、休息や飲食店等の癒し空間を求めるような回答となっている。
- ・次に回答の多い**10, 20代の若年層**では、その家族構成は**親と同居の二世帯世帯**が最も多くなっている。
- ・公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が最も多いが、**バス利用**の回答も多く、**公共交通アクセス**が主なニーズとなっている。
- ・公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる公園**」が最も多く、次に「**街なかなどにある身近な公園**」「**緑や花がきれいな公園**」となっており、**本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。
- ・回答が最も少ない**60代以上の高齢層**は、その家族構成は**一人暮らし**が最も多くなっている。
- ・公園を利用する場合に想定する交通手段は、**車利用**が最も多いが、**バス利用**の回答も多くなっている。
- ・**駐車場不足**、**公共交通アクセス**、**施設老朽化**、**トイレや水飲み場不足**、**日陰や木陰不足**が主なニーズとなっている。
- ・公園の要望は、「**ゆっくり休むことができる公園**」が多く、次に「**街なかなどにある身近な公園**」「**緑豊かで自然と触れ合える公園**」となっており、**本人の余暇を楽しむ**ような回答となっている。

(ビッグデータ分析)	利用者の動向	・平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化する箇所はなし。 ・イベント時は中央園路や市民体育館前での滞留・移動を確認。 ・平時とイベント時に利用者の多い時間帯でも利用の少ない箇所がある。 ・夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 ・利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 ・立体駐車場の滞留・移動により、車での来園が想定。
	アクセス	・県内利用者は運動公園を中心に半径2km範囲からのアクセスが多い。 ・県外利用者は主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は北部地域からの、より広域的となっている。
ヒアリング	関係機関等	・観光客の利用促進 ・陸上競技場の機能更新 ・大型バスや障がい者用の駐車スペース確保 ・イベントが出来るオープンスペースの確保 ・駐車場不足及びアクセス方法 ・新市民体育館整備後の運営 ・障がい者等に配慮した施設等の整備 ・外国人利用者を想定した施設・案内等の整備 ・飲食施設の導入 ・芝や樹木の維持管理 ・管理・運営手法の検討
	庁内関係部署	・狭隘な園内のため、関係課連携のもと、安全かつ円滑な工事進捗 ・景観まちづくり審議会の意見聴取 ・運動施設の段差解消 ・メインスタンドの日除け設置 ・イベント時など、駐車場不足問題による駐車スペースの確保 ・大型バス専用の駐車場の整備 ・園路の歩車分離、子どもでもわかりやすく表示。 ・子どもが体を動かす場の整備 ・スポーツコンベンションの推進 ・維持管理費用の低減 ・既存イベントに加え新たなスポーツイベントにつなげる拠点整備 ・レンタル自転車で園内を走行できる環境整備 ・こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台の設置 ・バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備 ・非常用電源の設置（人工呼吸器装置）や部屋として利用できるよう仮設間仕切り ・広域避難場所として防災機能拡充 ・駐車場有料化など、財源の確保
上位関連計画	総合計画	・スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加
	SDGs	
	脱炭素	・公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進
	ニューノーマル	・グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間
	スポーツ	・スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進
	観光	・スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成
	防災	・広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入
	みどり・景観	・みどりの拠点として緑の保全 ・浦添の風土やみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全

周辺市町住民意向と各調査のクロス分析

中年層の子育て世代は、ゆっくりと時間を過ごすことができる場の整備や、カフェやレストランで食事等ができる場など、休息や飲食店等の癒し空間を求めるような要望がある。また、売店不足のニーズもあることから、**休息できる空間、便益施設の整備に取り組む必要がある。**

若年層は、緑や花等の自然を感じゆっくりと時間を過ごすことができる場を求めるような要望があり、**自然を感じることができる緑地の維持管理や景観の形成に取り組む必要がある。**

高齢層は、若年層と共通して、緑や花等の自然を感じゆっくりと時間を過ごすことができる場を求めるような要望がある。また、ニーズは多岐にわたっており、**運動施設、トイレ・水飲み場の整備、緑陰・木陰の確保等に取り組む必要がある。**

共通して周辺市町村住民未利用者は、公園を利用する場合に想定される交通手段としてバスが2番目に多く、公共交通アクセスのニーズもあることから、**周辺市町村からの公共交通アクセス方法の検討に取り組む必要がある。**

遠方からでも利用したい、訪れたいような公園・運動施設のハード整備・ソフト対策やスポーツを行う機会の創出として、新たなスポーツイベントにつなげる施設整備や機能更新、イベントができるオープンスペースの確保、また、気軽に立ち寄り、花や緑を感じながら休息できる場の整備等が想定される。

整備方針（案）

いつでも、誰でも、気軽に、いつまでも、スポーツや健康づくり等に利用したい、訪れたいような運動公園

観光客利用者（県外）	- 回答が最も多い30-50代の中年層の交通手段は車利用が多く、次にバス、モノレールが利用されている。 - 公園の要望では、「プロスポーツの試合やキャンプをみることができる公園」が多く、次に「カフェやレストランで食事等ができる公園」となっている。 - 次に回答が多い10、20代の若年層も交通手段は車利用が多く、次にバス、モノレールが利用されている。 - 公園の要望では、「プロスポーツの試合やキャンプをみることができる公園」が多く、次に「カフェやレストランで食事等ができる公園」となっている。 60代以上の高齢層も車利用が最も多く、次にモノレール、その他となっている。 - 公園の要望では、「プロスポーツの試合やキャンプをみることができる公園」が最も多く、次に「緑や花がきれいな公園」となっている。 全ての年齢層において飲食店、売店、ホテルのニーズが最も多く。公園の要望はプロスポーツの試合等を楽しみ、飲食店等で滞在できるような回答となっている。
観光客利用者（県内）	- 回答が最も多い30-50代の中年層の交通手段は車利用が多く、次にバス、バイクが利用されている。 - 公園の要望は、「プロスポーツの試合やキャンプをみることができる公園」が多く、次に「子どもを安心して遊ばせられる公園」となっている。 - 次に回答が多い10、20代の若年層の交通手段は殆どが車利用である。 - 公園の要望は、「プロスポーツの試合やキャンプをみることができる公園」が多く、次に「楽しい遊具がある公園」「子どもを安心して遊ばせられる公園」となっている。 60代以上の高齢層の交通手段は車利用が多く、次に徒歩やバス、モノレールの回答が他世代より多い。 - 公園の要望では、「緑や花がきれいな公園」が多く、次に「子どもを安心して遊ばせられる公園」となっている。 全ての年齢層において飲食店、子どもの遊び場、ホテルのニーズが最も多く。公園の要望はプロスポーツの観戦や、緑や花を楽しみ、子どもが安心して遊べるような回答となっている。
観光客未利用者	10、20代の若年層の回答が最も多く、公園の要望は、「カフェやレストランで食事等ができる公園」「ゆっくり休むことができる公園」が多い。 - 次に回答が多かった30-50代の中年層の公園の要望は、「子どもを安心して遊ばせられる公園」「緑や花がきれいな公園」「カフェやレストランで食事等ができる公園」が多い。

(ビックデータ分析)	利用者の動向	滞留・移動	・平時は、立体駐車場を除き、滞留・移動が特化する箇所はなし。 ・イベント時は中央園路や市民体育館前での滞留・移動を確認。 ・平時とイベント時に利用者の多い時間帯でも利用の少ない箇所がある。 ・夜間から早朝の時間帯は、平時とイベント時共に、利用者が少ない。 ・利用者が少ない時間帯でも、陸上競技場や園路での滞留・移動が確認されることから、散歩やジョギング等の利用が想定される。 ・立体駐車場の滞留・移動により、車での来園が想定。
	アクセス		・県内利用者は運動公園を中心に半径2 km範囲からのアクセスが多い。 ・県外利用者は主に那覇市や宜野湾市からのアクセスが多い。一方、プロ野球キャンプ時は北部地域からの、より広域的となっている。
関係機関等ヒアリング			・新市民体育館整備後の運営 ・障がい者等に配慮した施設等の整備 ・外国人利用者を想定した施設・案内等の整備 ・飲食施設の導入 ・芝や樹木の維持管理 ・管理・運営手法の検討
庁内関係部局ヒアリング			・狭隘な園内のため、関係課連携のもと、安全かつ円滑な工事進捗 ・景観まちづくり審議会の意見聴取 ・運動施設の段差解消 ・メインスタンドの日除け設置 ・イベント時など、駐車場不足問題による駐車スペースの確保 ・大型バス専用の駐車場の整備 ・園路の歩車分離、子どもでもわかりやすく表示。 ・子どもが体を動かす場の整備 ・スポーツコンベンションの推進 ・維持管理費用の低減
			・既存イベントに加え新たなスポーツイベントにつなげる拠点整備 ・レンタル自転車で園内を走行できる環境整備 ・こどもトイレ、授乳室、おむつ交換台の設置 ・バリアフリー及びユニバーサルデザインに基づいた環境整備 ・非常用電源の設置（人工呼吸器装置）や部屋として利用できるよう仮設間仕切り ・広域避難場所として防災機能拡充 ・駐車場有料化など、財源の確保
上位関連計画	総合計画		・スポーツコンベンションの推進やスポーツ交流拠点の形成、障がい者等のスポーツ参加
	SDGs		
	脱炭素		・公園の緑地の保全や再生可能エネルギーの導入の推進
	ニューノーマル		・グリーンインフラとしての保全・利活用、誰もが安全・安心・快適に過ごせる空間
	スポーツ		・スポーツの成長産業化や、生涯スポーツの推進
	観光		・スポーツツーリズムの推進とスポーツ交流拠点の形成
	防災		・広域避難場所としての防災関連計画と連携した機能等の導入
	みどり・景観		・みどりの拠点として緑の保全 ・浦添の風土やみどりの骨格を形成する丘陵の自然景観の保全

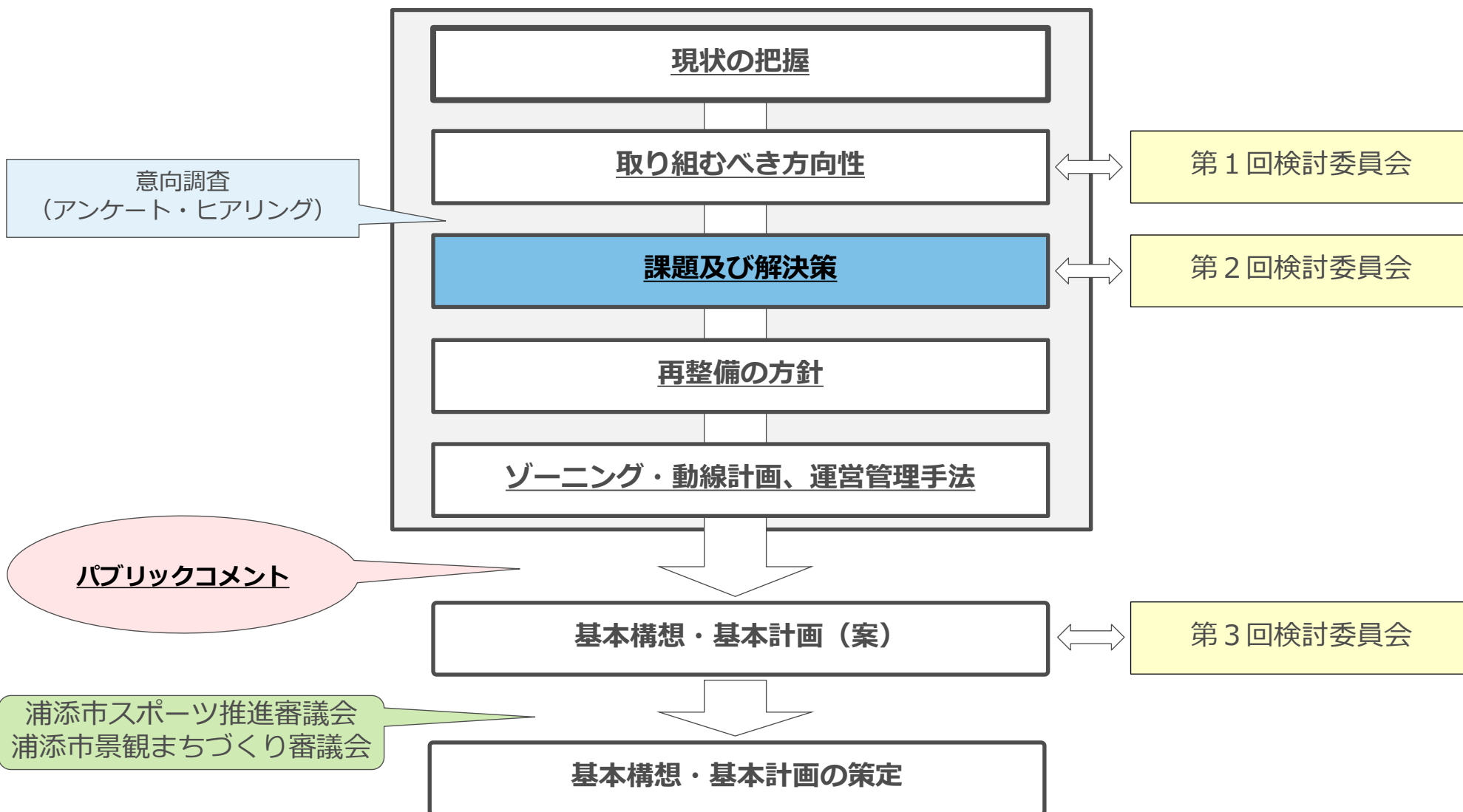
観光客意向と各調査のクロス分析

観光客	県外観光客利用者は、プロスポーツの試合等を観戦できることを求めている。また、ゆっくりと時間を過ごすことができる場（飲食店等）の要望がある。園内には利用者が特化して集まっている場所も少なく、関係団体等からも飲食施設等の賑わい施設の導入を求められているため、飲食施設の充実が必要である。 県内観光客利用者は、交通手段で車利用が多くなっており、駐車スペースの確保やアクセス方法の検討に取り組む必要がある。また、子どもの利用のニーズがあることから、子ども連れの家族などが安心して過ごすことができる場の整備に取り組む必要がある。 県外及び県内観光客利用者の高齢層に共通して、緑や花がきれいな公園へのニーズがあり、自然を感じることができる緑地の維持管理や景観の形成に取り組む必要がある。 観光客未利用者の回答は10、20代の若年層の回答が多く、飲食店の要望が多いことから、若者を引き付ける飲食店など、魅力向上を図る施設整備が必要である。 共通して観光客は、プロスポーツの試合やキャンプをみることができる公園のニーズがあり、再整備後のスポーツコンベンションの推進などに取り組む必要がある。
-----	--

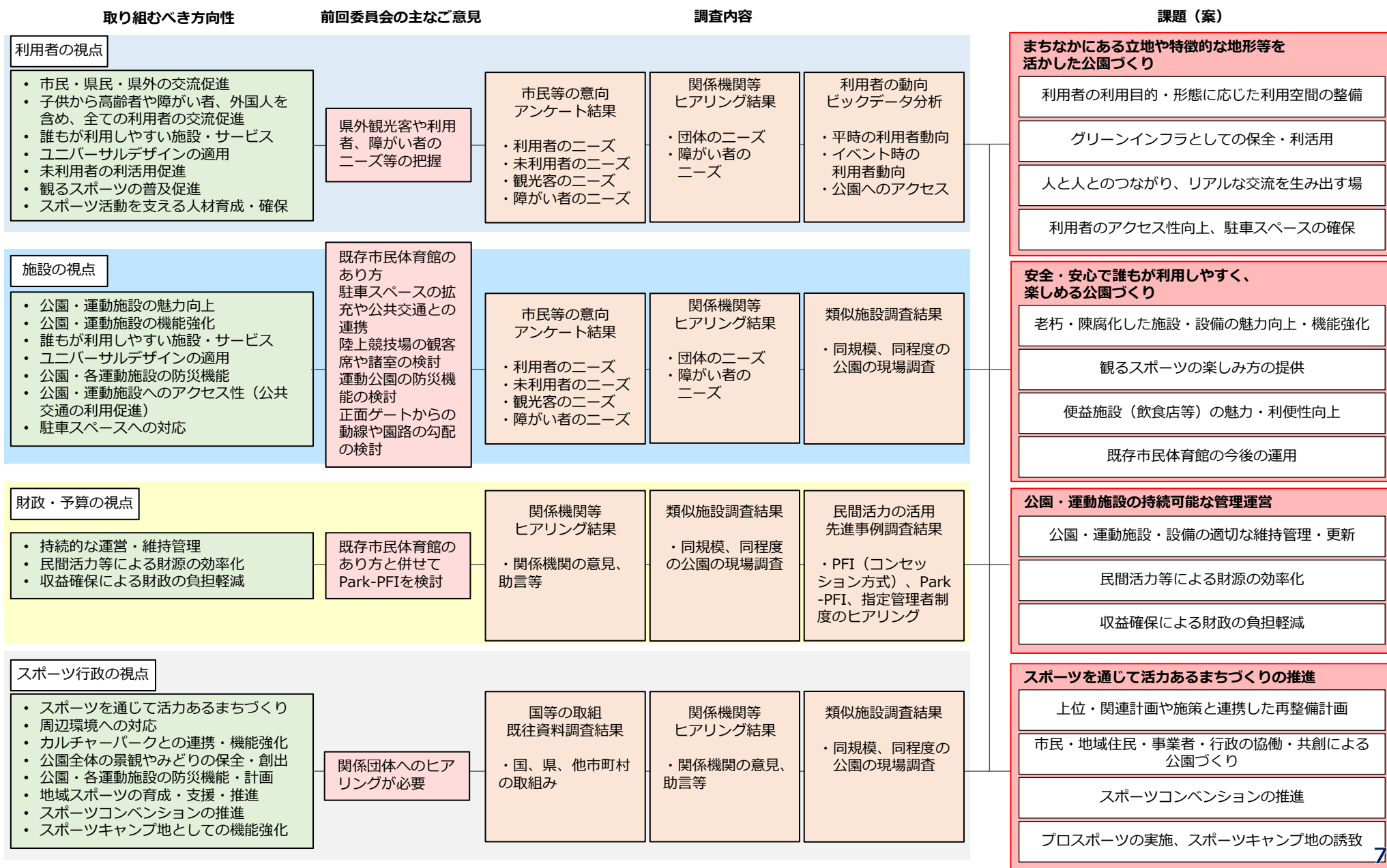
整備方針（案）

いつでも、誰でも、気軽に、いつまでも、観るスポーツ等を楽しみ、ゆっくりと滞在できる運動公園

- ・アンケート調査やヒアリング、先進事例調査等から再整備に向けて取り組むべき課題及びその解決策を示します。



4 再整備に向けての課題及び解決策【4-9 再整備に向けての課題及び解決策】



課題（案）

まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした公園づくり

利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備

市民のニーズであるスポーツ・健康づくりの空間整備を基本とし、他市町民や観光客、障がい者のニーズや公園利用の現状等を鑑み、より公園利用の促進を図るため、公園利用者の目的・形態に応じた空間整備が必要である。

グリーンインフラとしての保全・利活用

上位関連計画の取組みやみどりの拠点としての位置付け、環境、防災の観点から、まちなかの立地や特徴的な地形等を活かした、緑地並びに自然景観の維持・保全は必要である。

人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場

新型コロナウイルス感染症の拡大とデジタル化の急速な進展等により、人々の生活様式は大きく変化・多様化する中、ニューノーマル社会への対応として、スポーツを核に住民・観光客・軍人・軍属等のつながりや交流を生み出す拠点づくりが必要である。

利用者のアクセシビリティ向上、駐車スペースの確保

市民等や関係団体の公共交通のアクセシビリティや駐車スペースの不足に関するニーズ、イベント時の混雑状況等により、公園利用者の利便性の向上を図る整備や運用等が必要である。

安全・安心で誰もが利用しやすく、楽しめる公園づくり

老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化

公園の供用開始後、30年以上経過し、施設・設備の老朽化や陳腐化が見受けられ、市民等のニーズでも老朽化の対応が求められている。施設・設備の更新や機能の拡充・強化等による公園の魅力向上を図る取組みは必要である。

観るスポーツの楽しみ方の提供

上位関連計画のスポーツ成長産業化の展開への呼応や本市の新たな観光・交流拠点の形成を図るため、観るスポーツに対応した施設整備等が必要である。

便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上

園内施設の利用状況や市民、観光客による売店不足のニーズなど、売店や飲食店の設置が求められている。公園の魅力、利便性の向上を図る便益施設の設置が必要である。

既存市民体育館の今後の運用

新市民体育館の供用開始に伴う既存市民体育館の運用について、施設の老朽化や利用人数、園内の施設配置を鑑み、今後の方針・計画策定は必要である。

解決策（案）

公園・運動施設へのユニバーサルデザインの適用

園路の再整備

緑地の適正な配置

オープンスペースの配置

案内表示の再整備

オープンスペース等を活用した交流促進

ICTを活用した交流イベント等の情報発信

適切な運用と駐車スペースの増設

公共交通利用促進

陸上競技場の再整備

運動施設・設備の更新

公園・運動施設へのユニバーサルデザインの適用

プロスポーツのレベルに合わせた施設整備

観るスポーツの施設整備

地域防災計画と連携した防災機能の確保

Park-PFIを活用した便益施設の導入

既存市民体育館の運用方針の検討

課題（案）

公園・運動施設の持続可能な管理運営

公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新

限られた財源の中で、公園利用者の多様なニーズや利用目的、安全・安心な利用等に柔軟かつ適切に対応していくため、公園・施設・設備の適切かつ持続可能な維持管理・更新は必要である。

民間活力等による財源の効率化

公園の付加価値（魅力創出による利用者増加に伴う収益確保）や維持管理・更新費用の低減を図るため、民間活力の導入など、財源の効率化を図ることが必要である。

収益確保による財政の負担軽減

市民や観光客等の売店・飲食店のニーズ、公園利用者の低未利用地の活用、新施設の利用料金による収益の確保など、園内の収益性を考慮した取組みを実施し、財政の負担の軽減を図ることが必要である。

スポーツを通じて活力あるまちづくりの推進

上位・関連計画や施策と連携した再整備計画

昨今の社会情勢（少子高齢化、地球温暖化対策等）を鑑み、SDGsや脱炭素化に向けた施策や上位関連計画の方針等と整合・連携を図った再整備計画を策定する必要がある。

市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり

公園全体の魅力向上を図り、スポーツ・健康づくり等による活力あるまちづくりを推進するには、役割分担をしつつ、市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公益的な取組みを実施していくことが必要である。

スポーツコンベンションの推進

スポーツコンベンションは、観光やスポーツ振興、青少年の健全育成、地域活性化等に大きく寄与するため、運動公園再整備に伴う、スポーツコンベンションの推進の取組みが必要である。

プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致

スポーツを通じた活力あるまちづくりの推進には、高いレベルのスポーツを観戦する機会やアスリートとの交流機会が一助となるため、プロスポーツに対応した環境整備や関係団体等と連携した誘致等の取組みが必要である。

解決策（案）

公園・運動施設の運営・管理手法の見直し

新市民体育館のPFI(コンセッション方式)等による管理・運営

Park-PFIを活用した便益施設の導入

協働による公園の維持管理

上位関連計画の改定及び再整備計画を踏まえた市計画の改定

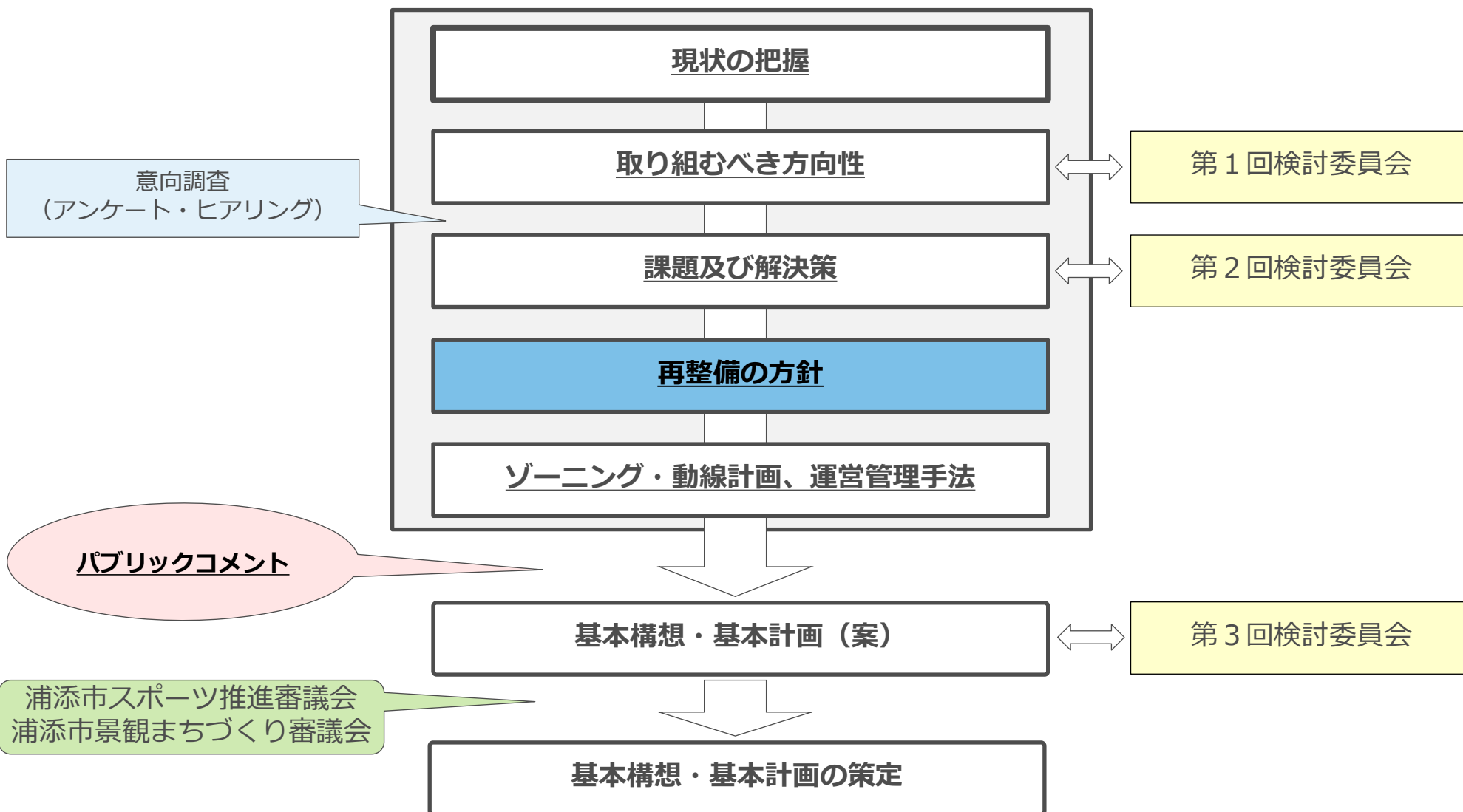
部局横断による庁内協力体制の構築

市民・地域住民・事業者等の持続的な活動や取組み

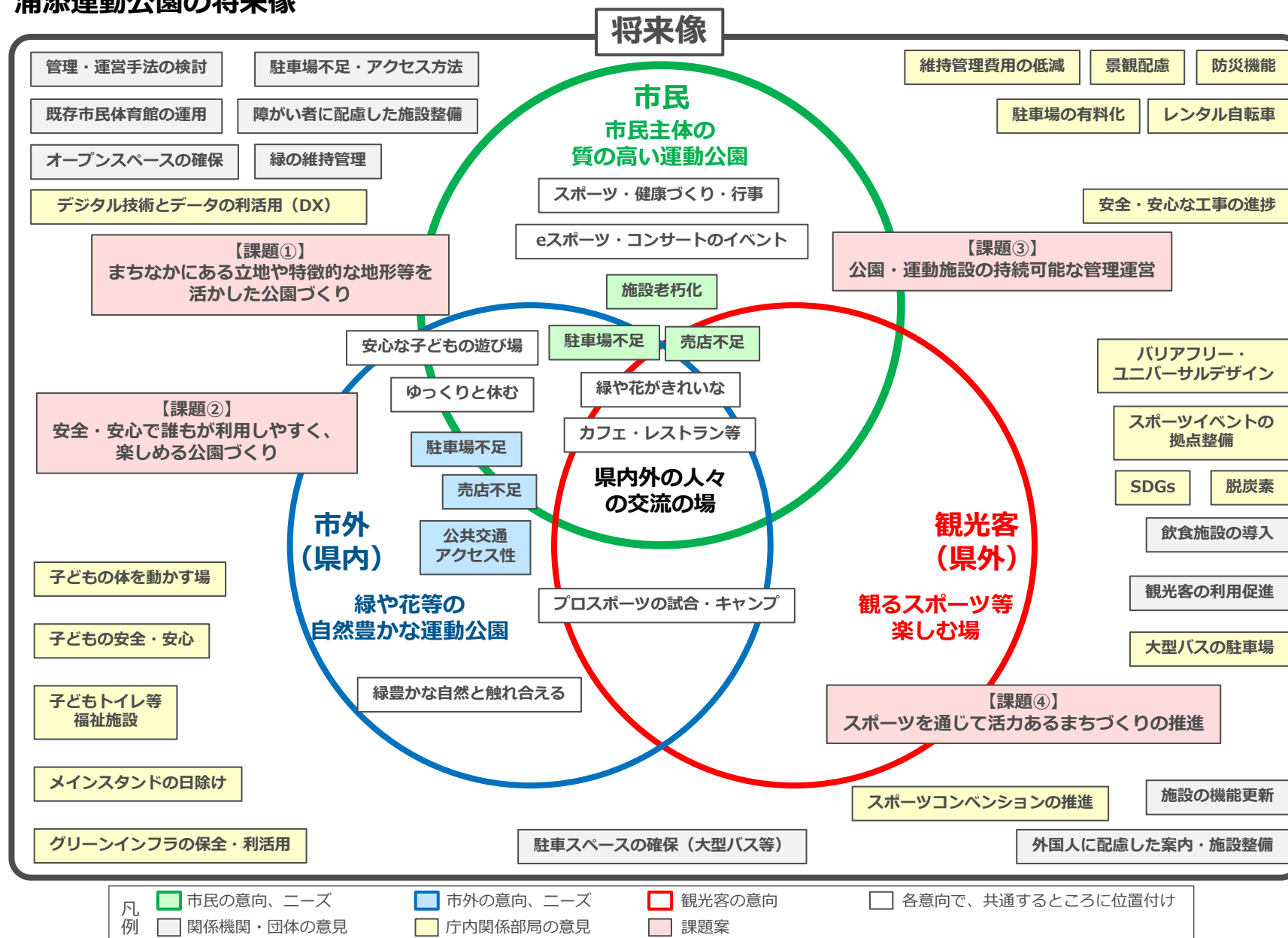
スポーツコンベンション誘致戦略の策定

プロスポーツのレベルに合わせた施設整備

- 再整備に向けての課題及び解決策を踏まえ、浦添運動公園の将来像と再整備の方針を示します。



① 浦添運動公園の将来像

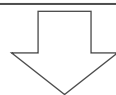


- ・ 将来像のイメージから再整備で目指す将来像とそれを実現するための再整備の方針を定めます。

② 将来像の基本的な考え方

基本的な考え方

- ・ 市民がスポーツや健康づくり、イベントで利用できる運動公園
- ・ 緑や花等の豊かな自然とふれあい、ゆっくり休息できる運動公園
- ・ 子どもや高齢者・障がい者等の誰もが安全・安心に利用しやすい運動公園
- ・ 質の高いサービスを持続的に提供できる運動公園
- ・ スポーツを通じて県内外の人々が交流し活力ある運動公園
- ・ 本市の新たなスポーツ・観光交流の拠点の形成



③ 将来像と再整備の方針

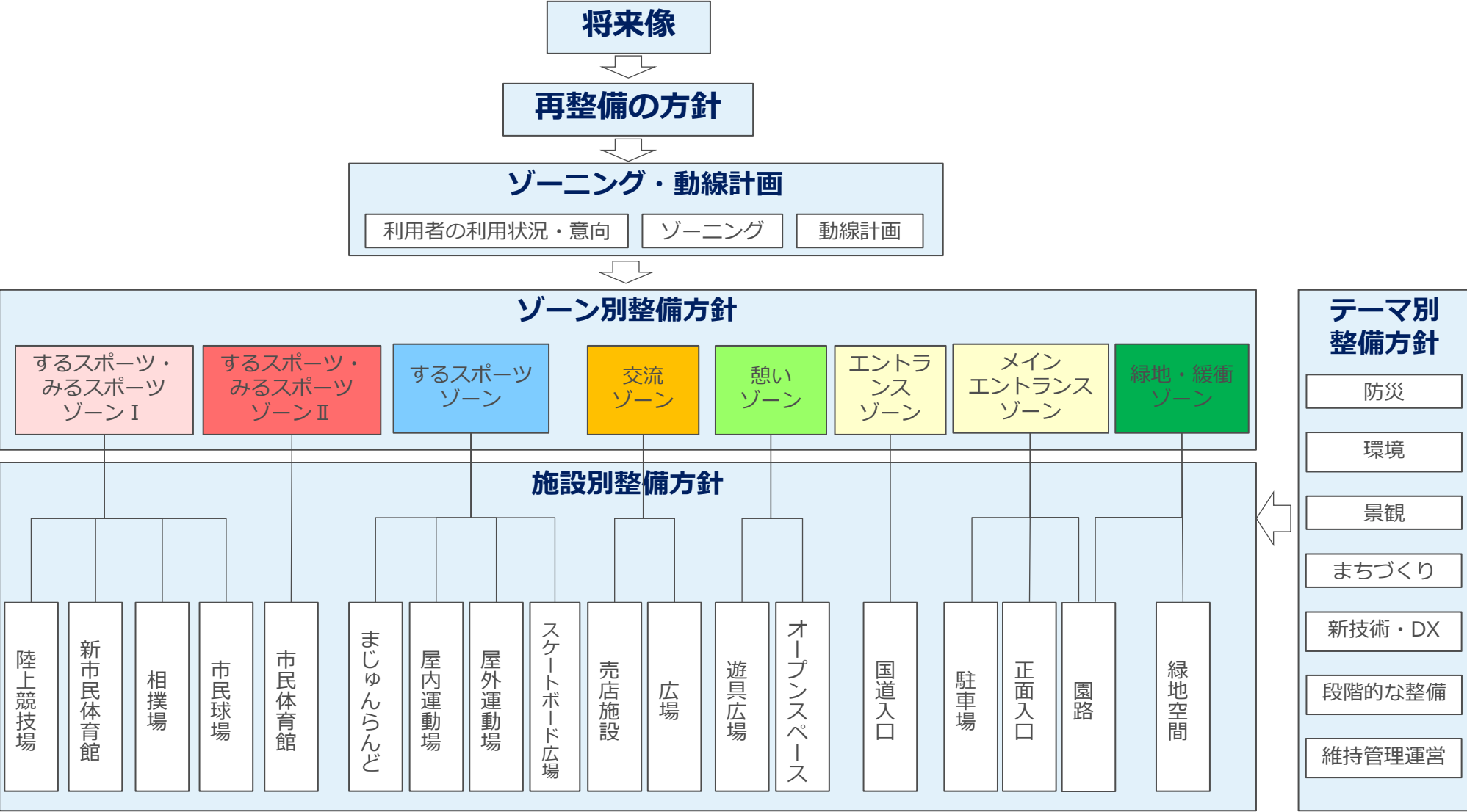
目指すべき将来像

スポーツ・健康づくりを通じた交流、学びと遊びを備えた賑わいを創出する新たな市民の運動公園
—市民をはじめ、全ての利用者が自然に親しみ憩いと、運動を通じた人々の交流、賑わいと地域の活性化を創出する運動公園を目指す！—

再整備の方針

- 再整備の方針 1 まちなかにある立地や自然・地形を活かし、スポーツを中心に多様な利用に対応できる運動公園・施設の整備
- ▲ 再整備の方針 2 誰もが安全・安心に利用しやすい運動公園・施設の整備
- ◆ 再整備の方針 3 質の高いサービスを持続的に提供できる管理運営の推進
- 再整備の方針 4 運動公園を拠点にスポーツを通じた活力あるまちづくりの推進
- ★ 再整備の方針 5 段階的な整備による着実な実施

・公園内をゾーン分けし、全体の将来像と再整備の方針に基づき、ゾーン別及び施設別の方針を示します。



- ・ 将来像を実現するための再整備の方針にもとづき、運動公園の課題解決を図ります。

●再整備の方針 1

まちなかにある立地や自然・地形を活かし、スポーツを中心に多様な利用に対応できる運動公園・施設の整備

利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備を推進

市民のニーズであるスポーツ・健康づくりの空間整備を基本とし、他市町民や観光客、障がい者のニーズや公園利用の現状等を鑑み、より公園利用の促進を図るため、公園利用者の目的・形態に応じた空間整備を推進する。

グリーンインフラとしての保全・利活用の推進

上位関連計画の取組みやみどりの拠点としての位置付け、環境、防災の観点から、まちなかの立地や特徴的な地形等を活かした、緑地並びに自然景観の維持・保全を推進する。

人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場の創出

新型コロナウイルス感染症の拡大とデジタル化の急速な進展等により、人々の生活様式は大きく変化・多様化する中、ニューノーマル社会への対応として、スポーツを核に住民・観光客・軍人・軍属等のつながりや交流を生み出す拠点づくりを行う。

利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保の検討

市民等や関係団体の公共交通のアクセス性や駐車スペースの不足に関するニーズ、イベント時の混雑状況等により、公園利用者の利便性の向上を図る整備や運用等を検討する。

▲再整備の方針 2

誰もが安全・安心に利用しやすい運動公園・施設の整備

老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化の推進

公園の供用開始後、30年以上経過し、施設・設備の老朽化や陳腐化が見受けられ、市民等のニーズでも老朽化の対応が求められている。施設・設備の更新や機能の拡充・強化等による公園の魅力向上を図る取組みを推進する。

観るスポーツの楽しみ方の提供

上位関連計画のスポーツ成長産業化の展開への呼応や本市の新たな観光・交流拠点の形成を図るため、観るスポーツに対応した施設整備等を推進する。

便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上の検討

園内施設の利用状況や市民、観光客による売店不足のニーズなど、売店や飲食店の設置が求められている。公園の魅力、利便性の向上を図る便益施設の設置を検討する。

既存市民体育館の今後の運用の検討

新市民体育館の供用開始に伴う既存市民体育館の運用について、施設の老朽化や利用人数、園内の施設配置を鑑み、今後の方針・計画策定を検討する。

- ・ 将来像を実現するための再整備の方針にもとづき、運動公園の課題解決を図ります。

◆再整備の方針3

質の高いサービスを持続的に提供できる管理運営の推進

公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新を検討

限られた財源の中で、公園利用者の多様なニーズや利用目的、安全・安心な利用等に柔軟かつ適切に対応していくため、公園・施設・設備の適切で持続可能な維持管理・更新を検討する。

民間活力等による財源の効率化の推進

公園の付加価値（魅力創出による利用者増加に伴う収益確保）や維持管理・更新費用の低減を図るため、民間活力の導入など、財源の効率化を推進する。

収益確保による財政の負担軽減の推進

市民や観光客等の売店・飲食店のニーズ、公園利用者の低未利用地の活用、新施設の利用料金による収益の確保など、園内の収益性を考慮した取組みを実施し、財政の負担の軽減を図る。

★再整備の方針5

段階的な整備による着実な実施

新市民体育館整備に伴う影響範囲の再整備を短期に取組み、その他については長期を見据えた方向性を検討する。

■再整備の方針4

運動公園を拠点にスポーツを通じた活力あるまちづくりの推進

上位・関連計画や施策と連携した再整備計画の検討

昨今の社会情勢（少子高齢化、地球温暖化対策等）を鑑み、SDGsや脱炭素化に向けた施策や上位関連計画の方針等と整合・連携を図った再整備計画を策定する。

市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくりの推進

公園全体の魅力向上を図り、スポーツ・健康づくり等による活力あるまちづくりを推進するには、役割分担をしつつ、市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公益的な取組みを実施していく。

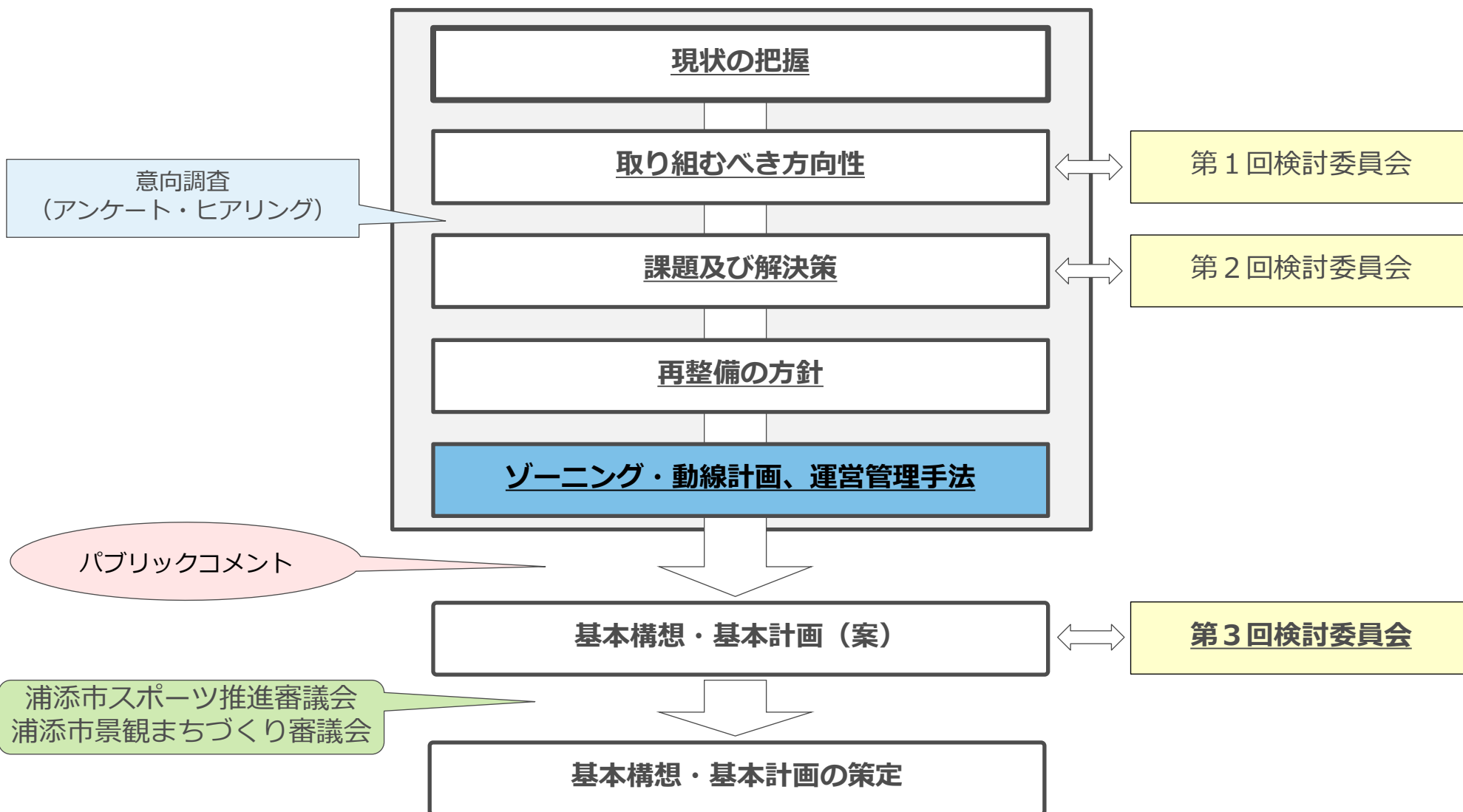
スポーツコンベンションの推進

スポーツコンベンションは、観光やスポーツ振興、青少年の健全育成、地域活性化等に大きく寄与するため、運動公園再整備に伴う、スポーツコンベンションを推進する。

プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致の推進

スポーツを通じた活力あるまちづくりの推進には、高いレベルのスポーツを観戦する機会やアスリートとの交流機会が一助となるため、プロスポーツに対応した環境整備や関係団体等と連携した誘致等の取組みを推進する。

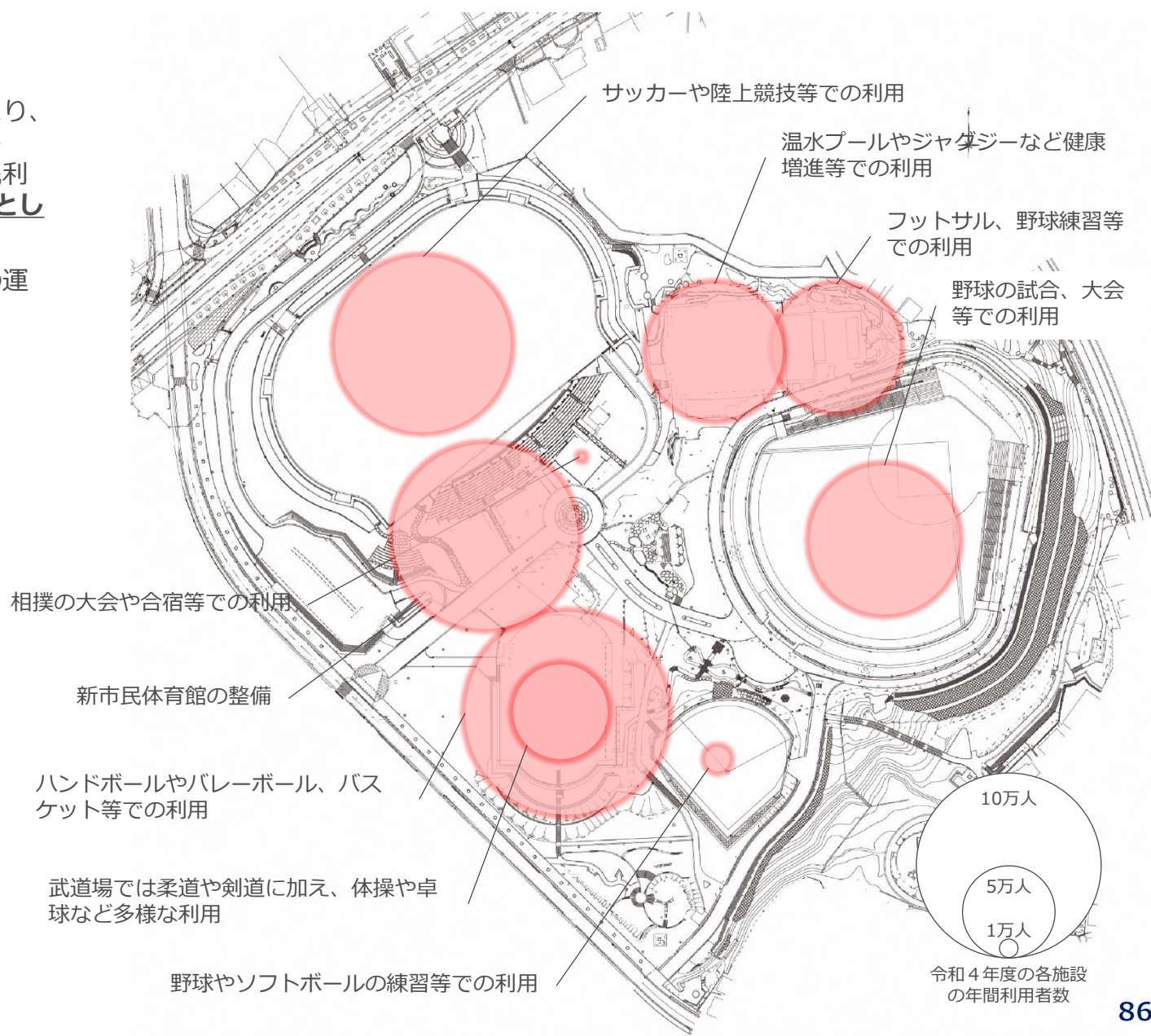
- 公園内をゾーン分けし、全体の将来像と再整備の方針に基づき、ゾーン別及び施設別の方針を示します。
- 運動公園の今後の運営管理手法についての方針を示します。



① するスポーツの利用状況

(運動施設)

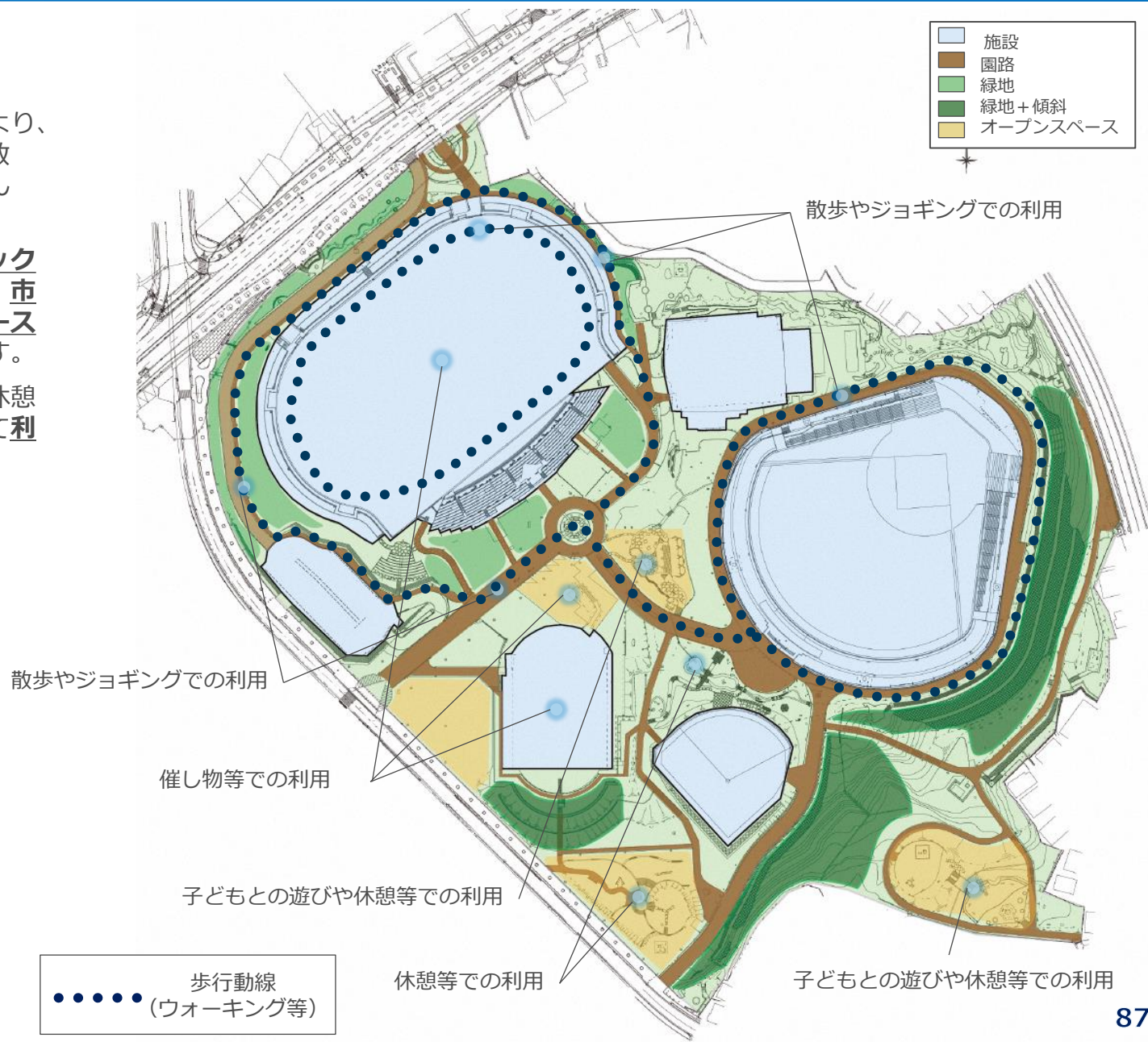
- 利用者・未利用者アンケート調査結果より、浦添市民利用者では「運動試合に参加した」の利用が最も多く、周辺市町村住民利用者でも3番目に多く、**運動施設を中心とした利用**がなされています。
- 野球で利用される市民球場を除き、他の運動施設は**多目的に利用**されています。



② するスポーツの利用状況

(園路、オープンスペース等)

- 利用者・未利用者アンケート調査結果より、「運動試合に参加した」以外では、「散歩」や「催し物に参加」「子どもと遊んだ」の利用が多いです。
- 散歩などの利用は陸上競技場内のトラック周辺や園路が利用されています。また、市民体育館や陸上競技場、オープンスペースを利用した催し物などが行われています。
- オープンスペースで子どもと遊んだり休憩での利用が見られますが、場所によって利用が低い箇所があります。



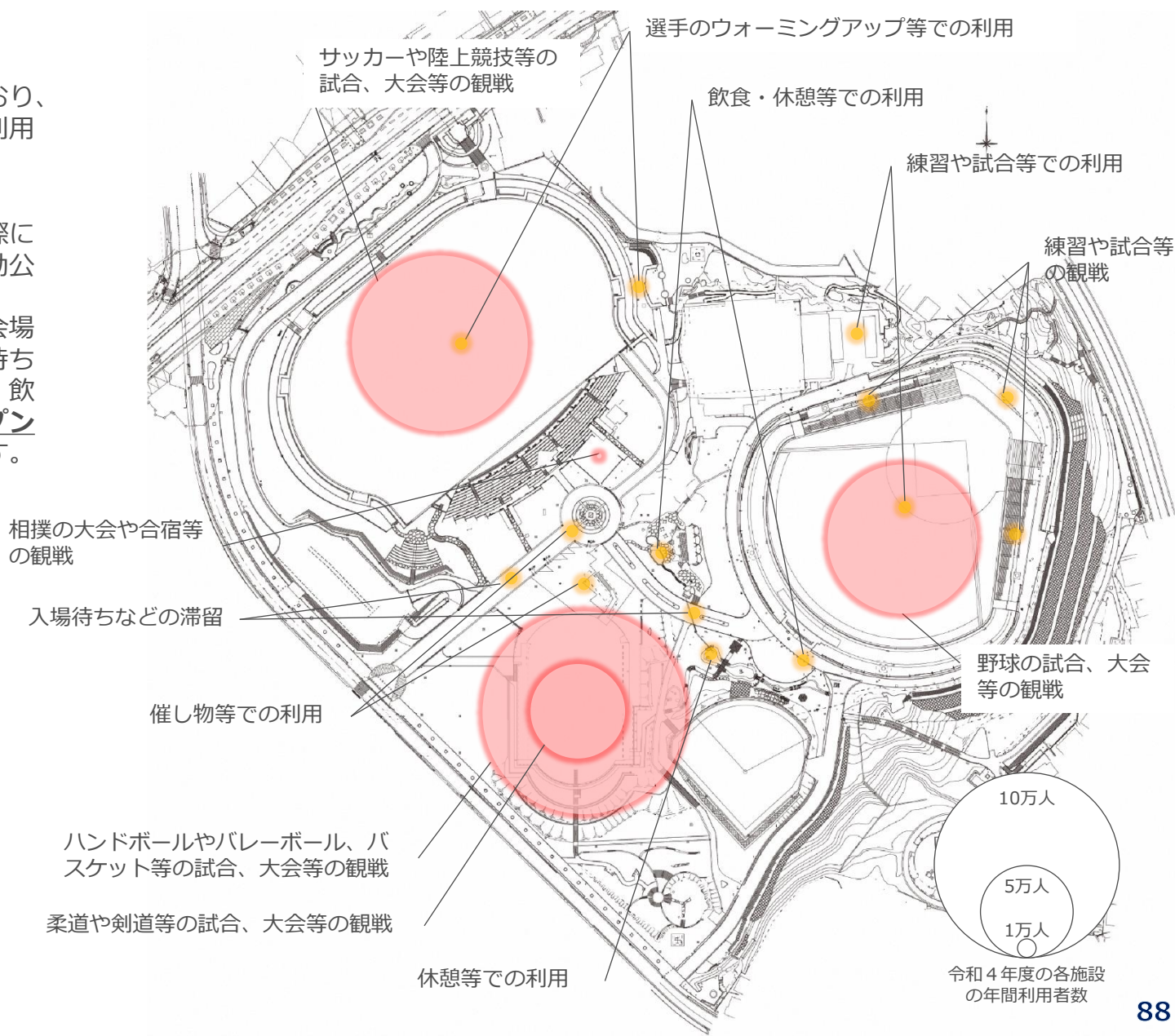
③ みるスポーツの利用状況

みるスポーツの利用状況（一般）

- 各運動施設で試合や大会が開催されており、家族の試合観戦などのみるスポーツの利用がされています。

みるスポーツの利用状況（観光）

- ヤクルトキャンプやてだこウォークの際には、県内外から多くの観光客が訪れ運動公園を利用しています。
- ヤクルトキャンプ時には、練習や試合会場となる市民球場以外に、園路での入場待ちの行列やオープンスペースでイベント、飲食などの利用があり、**運動施設とオープンスペース等が一体的に利用**されています。



④ 公園・施設利用者の需要予測

施設全体の利用者数（実績）の状況

- 令和3年度までコロナ禍の影響により施設全体の利用者数は約32万人まで減少。
- 令和4年度は、てだこまつりやヤクルトキャンプなどの開催により、令和3年度から約35万人増加の約67万人。
- 回復傾向にあるが、令和5年度からの新市民体育館の整備工事により、施設アプローチや立体駐車場の地下部分の利用に制限が出ることから利用者数の減少が想定される。

令和5年度以降の施設全体の利用者数の想定

- 令和5年8月から令和6年6月まで立体駐車場の地下部分の利用制限や施設アプローチの制限により、高齢者の利用や地域団体のイベント等の開催の減少が見込まれることから、期間中の利用者の減少を想定する。
- 新市民体育館の供用開始予定である令和8年度は、陸上競技場と立体駐車場（一部）、園路（一部）で利用制限があるものの、新市民体育館の利用者数分が増加することを想定する。なお、新市民体育館の想定利用者数は既存市民体育館の利用者数を設定する。
- 令和9年度は、陸上競技場の再整備等が完了予定であり、利用制限が解除される。

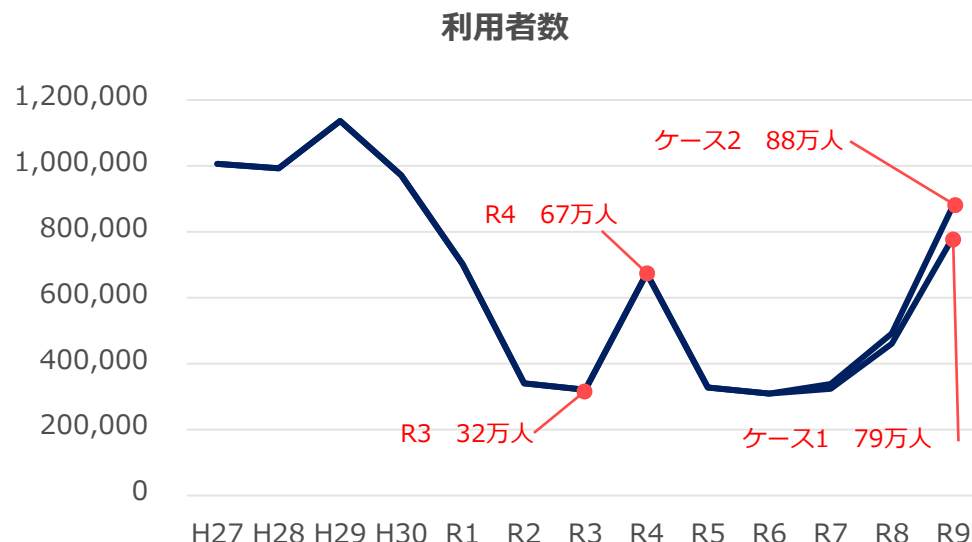
令和9年度の公園利用者需要

ケース1：令和4年度の利用者実績まで回復する需要予測

令和9年度の公園利用者：新市民体育館以外の施設利用者数（68万人）＋新市民体育館（11万人）＝79万人

ケース2：令和3年度から令和4年度（大規模イベントを除く）の利用者実績の伸び率を使った需要予測

令和9年度の公園利用者：新市民体育館以外の施設利用者数（75万人）＋新市民体育館（13万人）＝88万人



出典：浦添市資料より作成

④ 公園・施設利用者の需要予測

表 利用者数（ケース1）

施設名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R4(大規模イベント除)	R5	R6	R7	R8	R9	備考
市民体育館	172,199	168,547	165,868	192,068	151,142	73,294	72,938	109,612	109,612	95,000	104,000	106,000	108,000	110,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。
武道場	60,795	81,592	67,597	81,541	57,524	38,214	30,826	50,879	50,879	44,000	48,000	49,000	50,000	51,000	
まじゅんらんど	92,014	95,776	90,367	84,196	86,508	51,753	41,425	80,430	80,430	70,000	76,000	77,000	79,000	80,000	
屋内運動場	74,052	75,431	76,166	83,058	74,463	43,894	37,014	68,580	68,580	59,000	65,000	66,000	68,000	69,000	
屋外運動場	18,125	14,704	17,918	16,300	16,254	10,142	8,421	13,336	13,336	4,000	11,000	12,000	12,000	13,000	令和5年8月から令和6年5月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
市民球場	79,996	54,697	58,764	83,169	61,239	19,276	35,972	80,541	21,927	18,000	5,000	13,000	22,000	81,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。 令和6年3月から令和6年12月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。 令和7年1月以降は、夜間照明整備工事が終わり利用者の増加が見込まれる。
相撲場	3,621	3,349	3,697	3,356	3,027	1,566	2,943	2,760	2,760	1,000	0	0	13,000	3,000	令和5年8月から令和8年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
陸上競技場	505,595	498,804	655,517	427,085	250,618	101,331	90,954	268,160	109,411	36,000	0	0	0	268,000	令和5年8月から令和9年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
新市民体育館													108,000	110,000	令和8年度供用開始予定により利用者数の増加が見込まれる。
利用者数	1,006,397	992,900	1,135,894	970,773	700,775	339,470	320,493	674,298	456,935	327,000	309,000	323,000	460,000	785,000	【運動公園全体】アプローチの利用制限により、高齢者の利用が多いまじゅんらんどに至るアプローチ及び散歩、ジョギングなどで使用されている園路への影響が大きい。このため、公園及び施設の高齢者の利用が減少することが見込まれる。アンケート調査より市民の公園利用で60歳代以上は27%であることから、アプローチの制限に2割程度の影響を受けると仮定する。
前年度比		0.99	1.14	0.85	0.72	0.48	0.94	2.10	1.43	0.48	0.94	1.05	1.42	1.71	

一部期間利用不可：想定利用者数×利用できる月/12ヶ月
利用不可

出典：浦添市資料より作成

④ 公園・施設利用者の需要予測

表 利用者数（ケース2）

施設名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R4算定(大規模イベント除)	R5	R6	R7	R8	R9	備考
市民体育館	172,199	168,547	165,868	192,068	151,142	73,294	72,938	109,612	109,612	95,000	104,000	111,000	119,000	126,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。
武道場	60,795	81,592	67,597	81,541	57,524	38,214	30,826	50,879	50,879	44,000	48,000	45,000	47,000	59,000	
まじゅんらんど	92,014	95,776	90,367	84,196	86,508	51,753	41,425	80,430	80,430	70,000	76,000	81,000	87,000	92,000	
屋内運動場	74,052	75,431	76,166	83,058	74,463	43,894	37,014	68,580	68,580	59,000	65,000	74,000	79,000	79,000	
屋外運動場	18,125	14,704	17,918	16,300	16,254	10,142	8,421	13,336	13,336	4,000	11,000	12,000	14,000	15,000	令和5年8月から令和6年5月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
市民球場	79,996	54,697	58,764	83,169	61,239	19,276	35,972	80,541	21,927	18,000	5,000	15,000	25,000	85,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。 令和6年3月から令和6年12月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。令和7年1月以降は、夜間照明整備工事が終わり利用者の増加が見込まれる。
相撲場	3,621	3,349	3,697	3,356	3,027	1,566	2,943	2,760	2,760	1,000	0	0	1,500	3,000	令和5年8月から令和8年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
陸上競技場	505,595	498,804	655,517	427,085	250,618	101,331	90,954	268,160	109,411	36,000	0	0	0	296,000	令和5年8月から令和9年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
新市民体育館													119,000	126,000	令和8年度供用開始予定により利用者数の増加が見込まれる。
利用者数	1,006,397	992,900	1,135,894	970,773	700,775	339,470	320,493	674,298	456,935	327,000	309,000	338,000	491,500	881,000	【運動公園全体】アプローチの利用制限により、高齢者の利用が多いまじゅんらんどに至るアプローチ及び散歩、ジョギングなどで使用されている園路への影響が大きい。このため、公園及び施設の高齢者の利用が減少することが見込まれる。アンケート調査より市民の公園利用者で60歳代以上は27%であることから、アプローチの制限に2割程度の影響を受けると仮定する。
前年度比		0.99	1.14	0.85	0.72	0.48	0.94	2.10	1.43	0.48	0.94	1.09	1.45	1.79	

一部期間利用不可：想定利用者数×利用できる月/12ヶ月

利用不可

令和4年度実績（大規模イベント除く）/令和3年度実績 = 伸び率 = 1.43
令和4年度実績（大規模イベント除く）× 1.43 + 大規模イベント来場者数 = 令和9年度利用者予測数
出典：浦添市資料より作成

令和3年度利用者実績については、コロナ禍の制限により大規模イベントが開催されていないため、令和4年度利用者実績から大規模イベントの来場者数を除外して、同条件のもと伸び率を算出した。

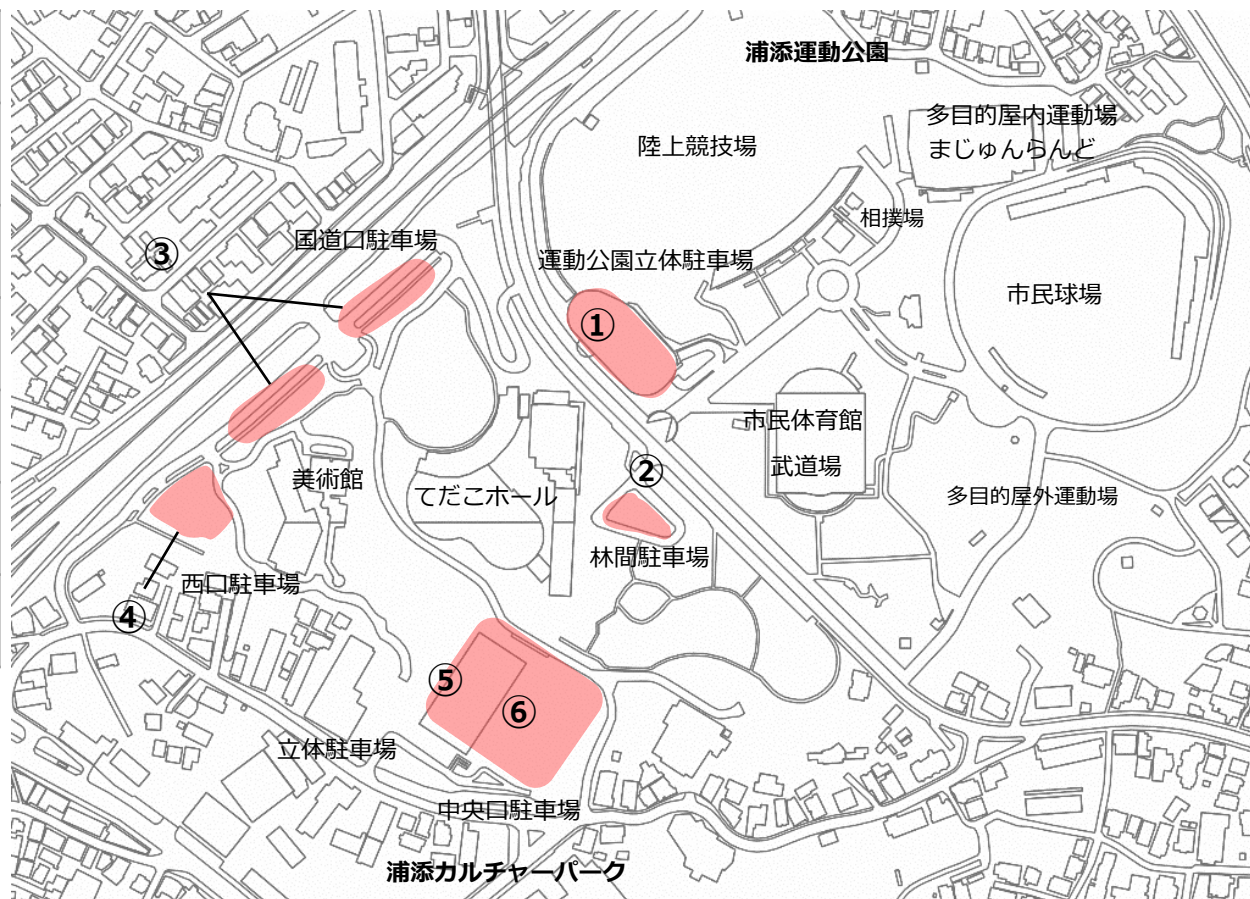
大規模イベント てだこまつり(陸上競技場)R3：中止 R4：通常開催(約17万人)ヤクルトキャンプ(市民球場)R3：無観客 R4：通常開催(約6万人)

⑤ 駐車スペースの需要

- 浦添運動公園には282台分の立体駐車場があり、隣接するカルチャーパークの駐車場と合わせると約900台分整備されています（浦添市役所駐車場約60台分は含まない）。
- 目的外利用による駐車等への対応が課題となっています。

駐車場名		駐車台数
①運動公園立体駐車場		約280台
カルチャーパーク	②林間駐車場	約60台
	③国道口駐車場	約120台
	④西口駐車場	約80台
	⑤立体駐車場	約190台
	⑥中央口駐車場	約160台

出典：新浦添市民体育館整備基本計画



⑤ 駐車スペースの需要
運動公園の利用者状況

- 運動公園全体の月別の利用者数は、10月のてだこまつりと2月のヤクルトキャンプ時に突出して多くなっています。
- 利用者数が突出して多い10月と2月を除く月の平均利用者数は約39,000人（10月と2月を除く10ヶ月分の平均）

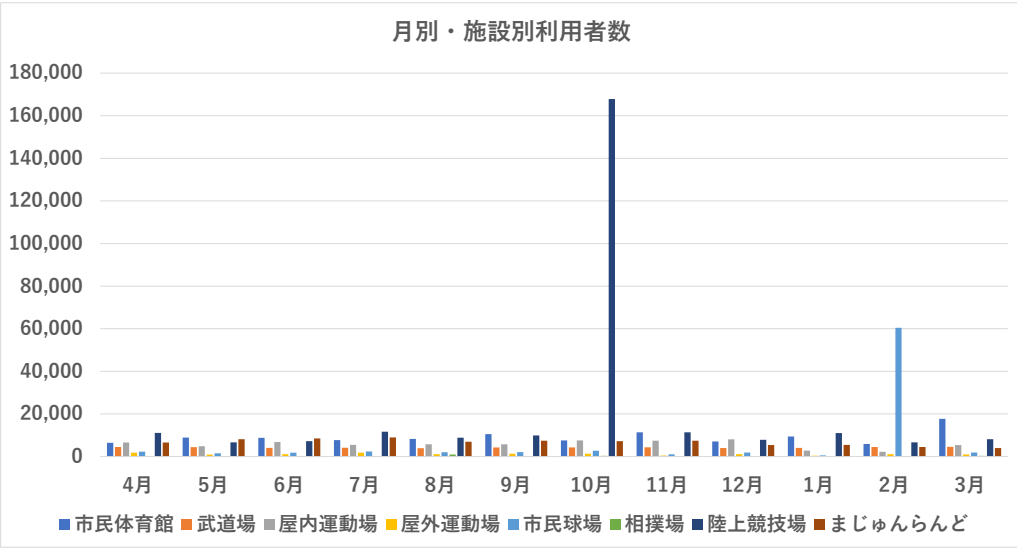
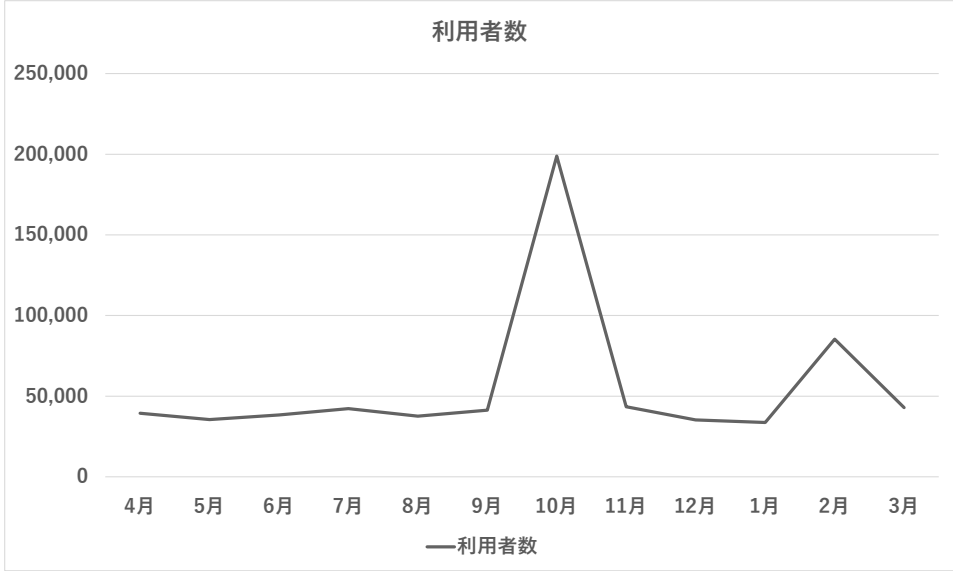


表 令和4年月別・施設別利用者数（人）

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市民体育館	6,452	8,934	8,739	7,737	8,239	10,492	7,590	11,372	7,051	9,409	5,903	17,694	109,612
武道場	4,469	4,369	4,070	4,148	3,890	4,283	4,290	4,327	3,981	4,024	4,454	4,574	50,879
屋内運動場	6,606	4,830	6,767	5,463	5,747	5,756	7,584	7,425	8,041	2,801	2,200	5,360	68,580
屋外運動場	1,808	891	1,079	1,824	1,064	1,318	1,301	483	1,075	393	1,110	990	13,336
市民球場	2,325	1,543	1,815	2,375	2,013	2,079	2,711	1,000	1,860	539	60,441	1,840	80,541
相撲場	75	149	229	147	951	150	305	104	86	90	161	313	2,760
陸上競技場	11,084	6,671	7,207	11,620	8,805	9,858	167,867	11,365	7,817	11,031	6,677	8,158	268,160
まじゅんらんど	6,613	8,143	8,509	8,941	6,942	7,418	7,183	7,410	5,404	5,465	4,451	3,951	80,430
利用者数	39,432	35,530	38,415	42,255	37,651	41,354	198,831	43,486	35,315	33,752	85,397	42,880	674,298

⑤ 駐車スペースの需要

運動公園と周辺施設のイベント状況

- 運動公園のイベント等（運動会、競技大会、催事など）とカルチャーパーク内でのイベント等（保健相談センターの集団検診、美術館及びてだこホールのイベント・催事など）の日程が重複する際に駐車スペースの不足等がみられます。
- 目的外利用の駐車や不法駐車などがあり、駐車場の運営に支障を及ぼしています。

表 浦添運動公園と浦添カルチャーパーク内での令和4年度のイベント等の重複状況（「○」はイベント等が実施されていることを示す）

実施日程			浦添運動公園		浦添カルチャーパーク				
					浦添市保健相談センター		美術館	てだこホール	
			陸上競技場	市民体育館	母子事業	集団検診	企画展 (主催・共催)	大ホール	小ホール
6月	19	日	浦添市長杯社会人大会	沖縄プラント杯争奪 小学生ハンドボール大会	○		○	○	○
6月	25	土	サッカー大会	沖縄プラント杯争奪 小学生ハンドボール大会		○	○	○	○
9月	16	金	令和4年度 那覇地区 中学校陸上競技大会		○	○	○	○	○
10月	30	日	第45回浦添てだこまつり	第45回浦添てだこまつり		○	○	○	○
11月	12	土	みのり幼稚園運動会	令和4年度 全国ヴィンテージ8'S大会		○	○	○	○
11月	13	日	資金造成大会	令和4年度 全国ヴィンテージ8'S大会		○	○	○	○
12月	18	日	アスリート工房 運動会	第51回九州高校生選抜 ハンドボール大会沖縄予選	○		○	○	○

表 カルチャーパーク内駐車場等における不法駐車の状況（単位：台）

	令和4年					令和5年				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
立体駐車場	53	45	37	10	9	11	16	10	9	15
国道口駐車場	0	0	22	25	21	27	25	0	25	19
あかひら前臨時駐車場前臨時駐車場	0	3	1	0	3	3	6	3	4	4
中央口駐車場（保健相談センター前）	0	0	0	0	6	1	2	1	2	3
中央口駐車場（つどいの広場）	0	0	0	0	1	2	2	0	2	2
西口駐車場	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
総計	53	48	61	35	40	44	51	14	42	43

※8月のみ5回調査実施。その他は1ヶ月に2日（朝、夜間に確認）調査。放置バイクは台数から除いている。

⑤ 駐車スペースの需要

令和4年の利用者数から試算

平日、休日の利用者数の試算

- ・ 利用者数が突出する10月と2月を除いた月平均利用者数の約39,000人に近い、令和4年4月の利用者数を基準に必要な駐車スペースを試算します。
- ・ 国土交通省「令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」」の結果を参考に平日と休日の利用者数を試算します。

月平均利用者数		39,400	令和4年の10月と2月を除いた月平均利用者数約39,000人、令和4年4月の利用者数は約39,400人
平日の利用者数（試算）		1,100	
休日の利用者数（試算）		1,700	
参考値	平日の利用者数	1,300	国土交通省「令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」」の結果
	休日の利用者数	1,900	
	平日の日数	20	
	休日の日数	10	

平日、休日の駐車スペース規模の試算

- ・ 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、運動公園内の立体駐車場で必要台数を確保できる試算となります。

項目		令和4年4月利用者数での試算		令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」結果での参考値		備考
		平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	462	714	546	798	
駐車場規模の試算	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	駐車場規模（台）	196	251	232	280	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		84	29	48	0	

⑤ 駐車スペースの需要

令和9年の利用者数（ケース1，ケース2）から試算

平日、休日の利用者数の試算

- R9年の利用者について、公園・施設利用者数の需要予測から大規模イベントを除いた年間利用者数はケース1が約56万人、ケース2が約65万人であり、それぞれの月平均の利用者数4.7万人と5.4万人で試算します。

	令和9年の利用者数 (ケース1)	令和9年の利用者数 (ケース2)	
月平均利用者数	47,000	54,000	令和9年の大規模イベントを除いた年間利用者数の月平均
平日の利用者数（試算）	1,358	1,560	
休日の利用者数（試算）	1,984	2,280	

※ケース1の大規模イベントを除いた年間利用者数56万人
＝ケース1の年間利用者数79万人－てだこまつり17万人－ヤクルトキャンプ6万人

※ケース2の大規模イベントを除いた年間利用者数65万人
＝ケース2の年間利用者数88万人－てだこまつり17万人－ヤクルトキャンプ6万人

てだこまつり、ヤクルトキャンプの利用者数は令和4年度の実績値

平日、休日の駐車スペース規模の試算

- 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、休日では運動公園内の立体駐車場が必要台数を確保できない試算となります。

項目		令和9年の利用者数 (ケース1) での試算		令和9年の利用者数 (ケース2) での試算		備考
		平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	570	833	655	958	
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	
	駐車場規模（台）	242	293	278	336	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		38	-13	2	-56	

⑤ 駐車スペースの需要

大規模イベントのある10月、2月と大規模イベントがない月で最も多い11月の利用者数から試算

平日、休日の利用者数の試算

- 大規模イベントのある令和4年10月と令和5年2月、大規模イベントがない月で利用者数が最も多い11月で必要な駐車スペースを試算します。

		大規模イベントがある月		大規模イベントがない月で最大
		令和4年10月	令和5年2月	令和4年11月
月平均利用者数		199,000	85,400	43,486
平日の利用者数（試算）		5,500	2,700	1,300
休日の利用者数（試算）		8,100	3,900	1,800
参考値	平日の日数	20	19	20
	休日の日数	11	9	10

平日、休日の駐車スペース規模の試算

- 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、令和4年10月と令和5年2月では、運動公園内の立体駐車場で必要台数を確保できない試算となります。

項目		令和4年10月 利用者数での試算		令和5年2月 利用者数での試算		令和4年11月 利用者数での試算		備考
		平日	休日	平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	2,310	3,402	1,134	1,638	546	756	
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	1.48	1.79	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	駐車場規模（台）	982	1,195	482	576	232	266	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		-702	-915	-202	-296	48	10	

※10月のてだこまつりでは、運動公園立体駐車場等は一般利用者の使用は不可となっている。

⑤ 駐車スペースの需要

コロナ禍前の平成29年利用者数から試算

平日、休日の利用者数の試算

- 大規模イベントの利用者数を除いた平成29年度の年間利用者数約92.6万人での月平均利用者数と、大規模イベントがない月で利用者数が最も多い9月と最小の1月で必要な駐車スペースを試算します。

		最大（9月）		最小（1月）	平均
月利用者数		90,000		50,700	77,000
平日の利用者数（試算）		2,600		1,400	2,200
休日の利用者数（試算）		3,800		2,100	3,300
参考値	平日の日数	20		21	20
	休日の日数	10		10	10

※大規模イベントを除いた平成29年度利用者数92.6万人
＝平成29年度の年間利用者数113.5万人－てだこまつり
17.7万人－ヤクルトキャンプ約3.2万人

てだこまつり、ヤクルトキャンプの利用者数は
平成29年度の実績値

平日、休日の駐車スペース規模の試算

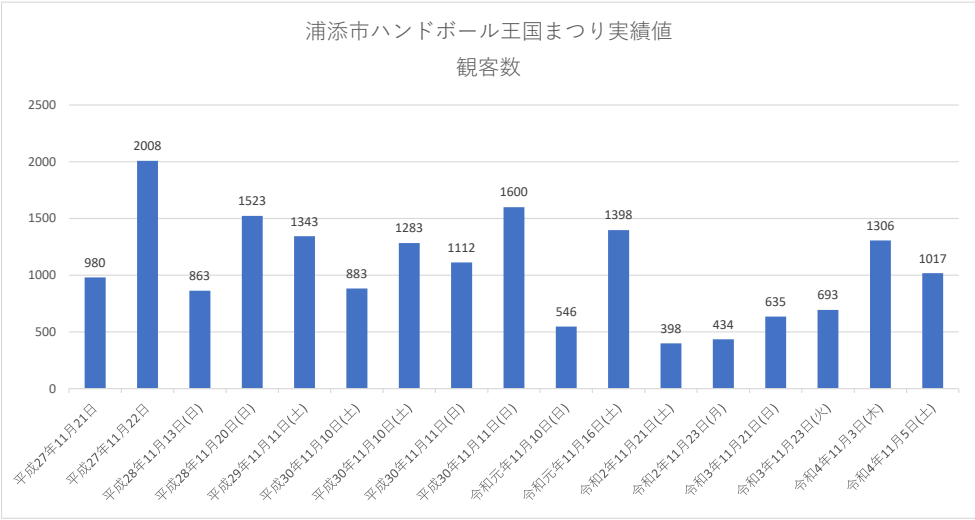
- 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、最小月の1月の平日以外では、運動公園内の立体駐車場では必要台数を確保できない試算となります。

項目		最大（9月）		最小（1月）		平均		備考
		平日	休日	平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	1,092	1,596	588	882	924	1,386	
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	1.48	1.79	
	駐車場規模（台）	464	561	250	310	393	487	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		-184	-281	30	-30	-113	-207	

⑤ 駐車スペースの需要

イベント時の利用者数から試算

- 平成27年から令和4年までに開催された浦添市ハンドボール王国まつり（浦添市を拠点に活動している琉球コラソンが参戦する日本ハンドボールリーグ沖縄大会の本浦添市開催試合）の観客数から最大、最小、平均の観客数を試算します。
- 観客数から自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、最大と平均では運動公園内の立体駐車場が必要台数を確保できない試算となります。参考値として、**新市民体育館の3,000人規模で試算した場合、運動公園内の立体駐車場が必要台数を確保できない試算となります。**



項目		実績から算定			参考	備考
		最大	最小	平均	新市民体育館	
観客数		2,008	398	1,060	3,000	浦添市ハンドボール王国まつり実績値（H27～R3）
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	国土交通省「令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」」の結果
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.79	1.79	1.79	1.79	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、休日1.79）
	駐車場規模（台）	706	140	372	1,054	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		-426	140	-92	-774	

※「浦添市ハンドボール王国まつり（日本ハンドボールリーグ沖縄大会）」
浦添市では平成16年に「ハンドボール王国都市宣言」を行い、市をあげてハンドボールを応援。浦添市を拠点に活動している琉球コラソンが参戦する日本ハンドボールリーグ沖縄大会の本浦添市開催試合を「浦添市ハンドボール王国まつり」と称し、共催事業として琉球コラソンの支援並びにハンドボールをとoshたまちづくりの振興を図っている。
主催 公益財団法人日本ハンドボール協会 日本ハンドボールリーグ機構 株式会社コラソン
会場 浦添市民体育館

① ゾーニングの考え方

利用状況等を踏まえて以下の8ゾーンを設定

市民等の利用を中心にしつつ、プロスポーツ等の興行にも対応できる「**するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠ**」（新市民体育館、陸上競技場、市民球場）

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たな**スポーツ・観光の交流拠点**に資するゾーン

市民等のスポーツ・運動の利用を中心とする「**するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡ**」（市民体育館）

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる**生涯スポーツの推進**や**スポーツ交流**に資するゾーン

するスポーツゾーン（屋外運動場、まじゅんらんど等）

主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のための**スポーツ・運動利用**を担うゾーン
※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン

交流ゾーン

オープンスペースを利用したイベントや魅力ある便益施設などにより賑わいを生み出し、**運動公園内の交流の核**となるゾーン

メインエントランスゾーン

市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

エントランスゾーン

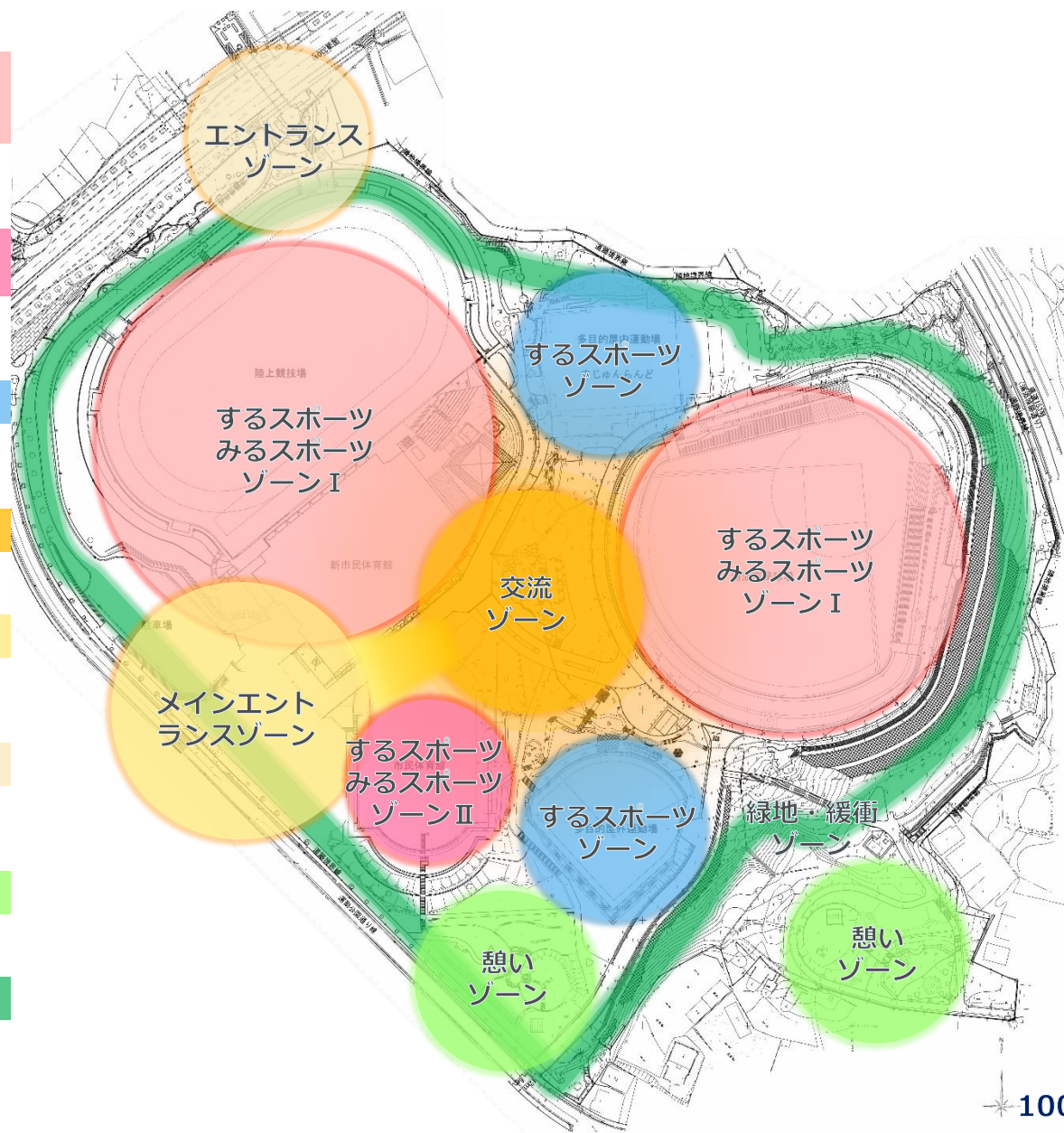
サブエントランスとして、徒歩やバス等の公共交通で訪れる利用者を緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すとともに、緊急車両の進入を確保するなど、**安全・安心や防災の機能**をもつゾーン

憩いゾーン

高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら**休息・交流**等ができるゾーン

緑地・緩衝ゾーン

地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながら**スポーツ、健康づくり交流**に資するとともに、周辺の住宅街や道路との**緩衝帯**の役割を担うゾーン



① 動線の考え方

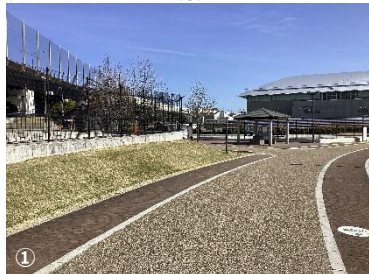
通常時の動線

- 歩行者動線は、各施設にスムーズに移動できるゆとりある空間を確保するとともに、車両動線と重なる部分は安全に歩行できるように配慮します。
- 陸上競技場や市民球場の周囲はウォーキングやランニングコースとして利用されており、自然を感じながら歩行・ランニングできる空間整備を行います。
- 高低差を活かし自然や景色の変化を感じることができる歩行空間を確保します。

災害時の動線

- 災害時に、エントランスゾーン及び市道側の憩いゾーンから緊急車両が進入できる空間を確保します。
- 災害時の一時避難場所となる陸上競技場、市民球場等までの経路について安全に移動できる空間を確保します。

デザインイメージ案



ゆとりある歩行空間の確保



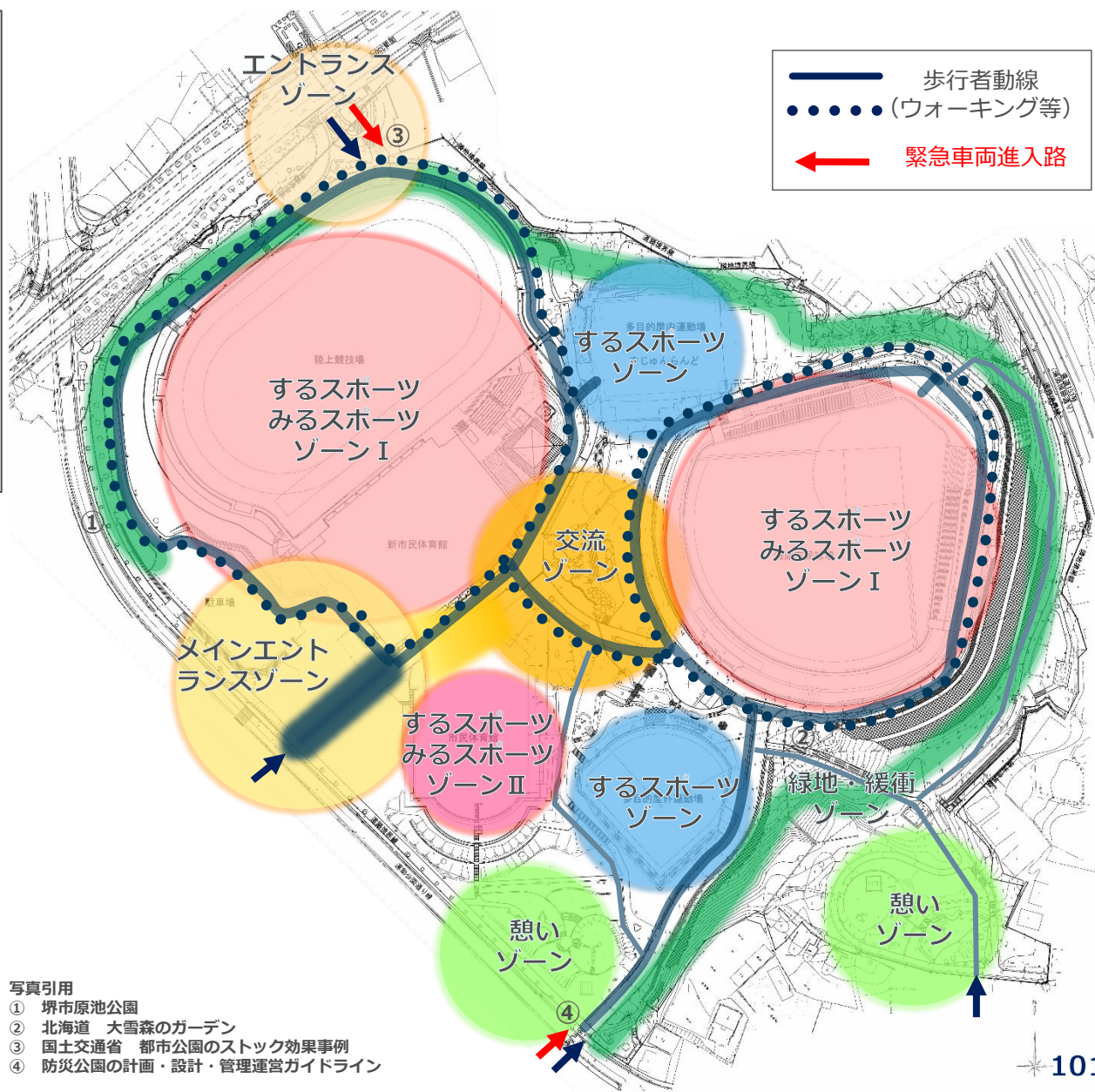
自然を感じながら歩行・ランニングできる空間



高低差を活かし自然や景色の変化を感じ
る歩行空間



緊急車両が進入できる空間を確保



写真引用

- ① 堺市原池公園
- ② 北海道 大雪森のガーデン
- ③ 国土交通省 都市公園のストック効果事例
- ④ 防災公園の計画・設計・管理運営ガイドライン

① するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの整備方針

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

ゾーン内の構成要素

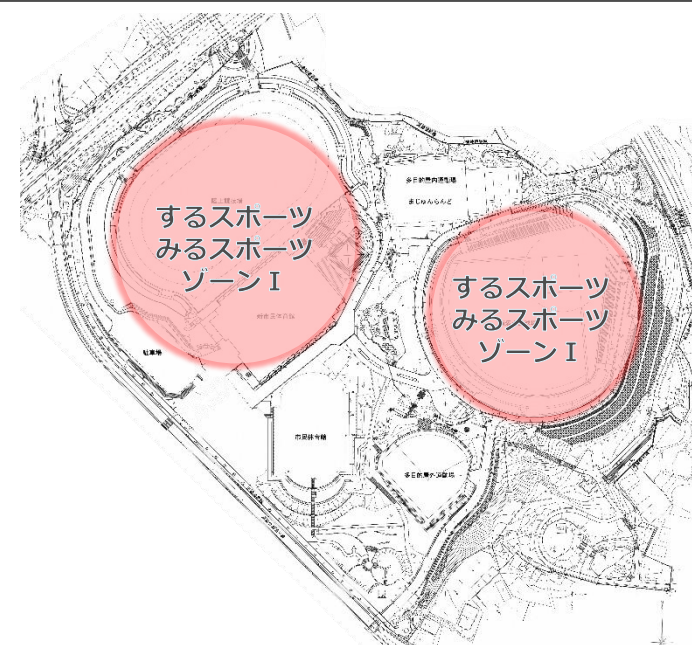
陸上競技場、新市民体育館、相撲場、市民球場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 陸上競技場：陸上競技、ジョギング、散歩、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、プロスポーツ等の春季キャンプ、てだこまつり等
- ・ 新市民体育館：ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、フットサル、バドミントン、卓球、プロスポーツ等の試合・大会、eスポーツ、コンサート、MICE等
- ・ 相撲場：相撲
- ・ 市民球場：野球、ソフトボール、プロスポーツ等のキャンプ等

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場の整備」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすい楽しく、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「観るスポーツの楽しみ方の提供」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」「プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致」



ゾーン整備の方針

- ▲ ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- ゾーン内の緑地の適切な配置及び維持管理
- 市民、県民、観光客、軍属等が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲ 利用頻度が高く、人と人とのつながりやリアルな交流を創出させる運動施設や空間の魅力向上と機能強化
- ▲ ■ プロスポーツが実施できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう現地対策本部や自衛隊活動拠点等の役割を担う等、災害対策・復旧活動の核となる防災機能を確保
- ◆ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、興行による地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- 景観まちづくり計画やティードヌファ緑の基本計画等を踏まえ、トップアスリートの競技等の観戦の魅力向上に資する良好な景観の形成
- スポーツコンベンションの推進に寄与する運動施設整備
- ★ 陸上競技場・相撲場は先行する新市民体育館整備と連携して整備に取り組み、他運動施設は長寿命化計画等と照らし合わせながら計画・整備に取り組む

ゾーン整備の方針は、●再整備の方針1、▲再整備の方針2、◆再整備の方針3、■再整備の方針4、★再整備の方針5に対応する（以下、他ゾーンも同様）

②するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡの整備方針

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる生涯スポーツの推進やスポーツ交流に資するゾーン

ゾーン内の構成要素

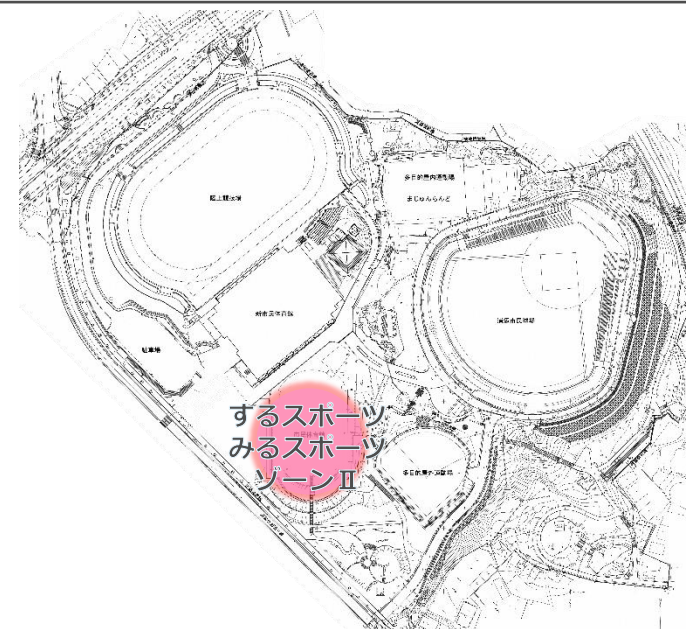
市民体育館、武道場、トレーニングルーム

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 市民体育館：ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、テニス、市民のスポーツ大会、沖展等
- ・ 武道場：柔道、剣道、体操、卓球、ダンス等
- ・ トレーニングルーム：マシンを使ったトレーニング、ストレッチ

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「観るスポーツの楽しみ方の提供」「既存市民体育館の今後の運用」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」



ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備と施設の更新
- 市民、県民、観光客、軍属等が利用しやすい案内表示やICTを活用した柔軟な予約システム、情報発信の整備
- 生涯スポーツの推進やスポーツ、レクリエーションの普及に寄与する運動施設の更新
- ▲ 市民、県民、軍属等がスポーツや健康づくり、交流できる施設・設備の更新と子どもの大会などのスポーツ観戦が楽しめる環境整備
- ▲ 既存市民体育館と新市民体育館は二つの拠点機能として相互補完により、多様な利用シーンに対応できるような施設・環境整備
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう保健衛生（身元確認所等）の役割を担う必要な機能を確保
- ◆ 利用者の利便性を高めると共に、スポーツ・健康づくり等による活力ある地域の賑わい創出につながる施設の運営・管理
- 新市民体育整備と調和を図る良好な景観の形成と緑地の配置
- ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等と照らし合わせながら施設の更新等の計画・整備に取り組む

③するスポーツゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のための**スポーツ・運動利用**を担うゾーン

※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン

ゾーン内の構成要素

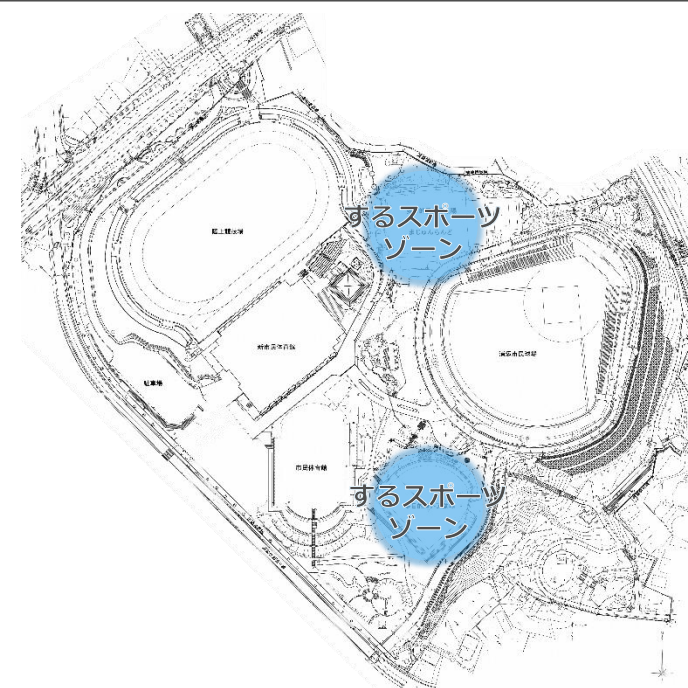
まじゅんらんど、多目的屋内運動場、多目的屋外運動場、スケートボード広場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- まじゅんらんど：水泳、マシンをつかったトレーニング、スタジオレッスン、カルチャースクール等
- 多目的屋内運動場：テニス、フットサル、ドッジボール、野球練習等、保育園や幼稚園の運動会、プロ野球キャンプ時の練習場
- 多目的屋外運動場：野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、プロ野球キャンプ時の練習場
- スケートボード広場：スケートボード、ローラースケート等

ゾーン内の課題

- まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」



ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備と施設の更新
- メインエントランスから本ゾーン内の施設まで利用者に分かりやすい案内表示や、ICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲ 市民や地域住民・団体等のするスポーツや健康づくり、イベントでの利用に応じた施設・設備の更新
- ◆ 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や心身機能の維持・回復、コミュニケーションの活性化につながるような施設の運営・管理
- ■ 子ども、高齢者、障がい者等のスポーツ参加や健康づくり、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションの推進に資する施設・設備の更新
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう生活支援（給水・入浴等）の役割を担う必要な機能を確保
- 周辺の運動施設や環境と調和を図る良好な景観形成や緑地の維持・保全
- ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等と照らし合わせながら施設の更新等の計画・整備に取り組む

④交流ゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

オープンスペースを利用したイベントや魅力ある便益施設などにより賑わいを生み出し、**運動公園内の交流の核となるゾーン**

ゾーン内の構成要素

売店施設、広場、ビオトープ

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 売店施設：休憩、飲食（休日、イベント時）
- ・ 広場：イベント、自然とのふれあい、災害時の避難等
- ・ ビオトープ：水辺空間

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 自然を感じる水辺やみどりの配置と地域の賑わいや交流を生み出すイベント等の実施を可能にする交流の核となるオープンスペースの整備
- 園内中央に位置するゾーンとして各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう生活支援（仮設トイレ等）の役割を担う必要な機能を確保
- ▲◆ Park-PFIの活用も含め利用者の休憩や飲食利用等に対応した魅力ある便益施設の運営や環境の整備
- 周辺の運動施設や自然、オープンスペースと調和を図る良好な景観の形成
- メインエントランスとの一体的な利用や他ゾーンで行われるスポーツイベント等と連携し、市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による魅力ある公園（オープンスペース）づくり
- ★ 先行する新市民体育館やメインエントランスの整備と連携すると共に、周辺運動施設との関係性を踏まえたオープンスペースの整備に取り組む

⑤メインエントランスゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

ゾーン内の構成要素

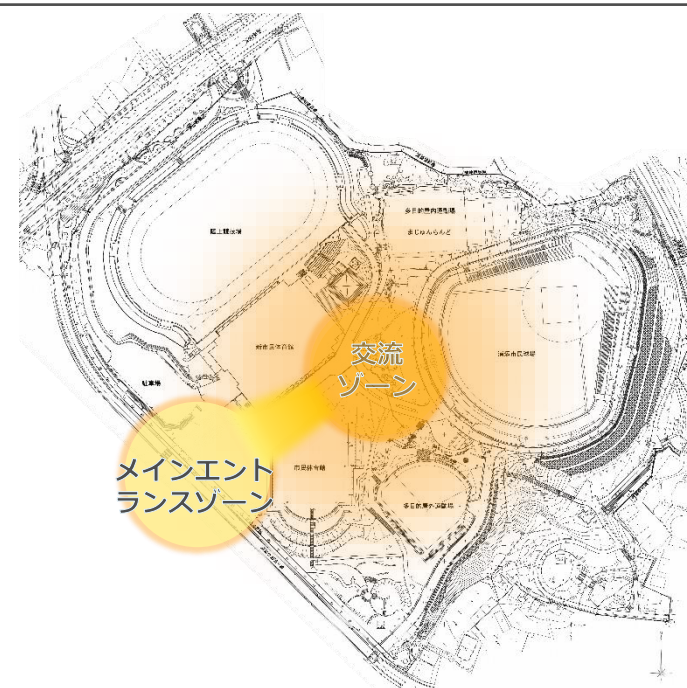
正面入口、園路、立体駐車場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 正面入口：利用者の入退園、待合せ
- ・ オープンスペース：交流
- ・ 園路：各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動
- ・ 立体駐車場：利用者の駐車、各施設へのアクセス

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」



ゾーン整備の方針

- 子どもや高齢者、障がい者をはじめ、様々な利用者を快適に迎え入れることが可能となる利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 市民、県民、観光客、軍属等のはじめて訪れる利用者にも、目的施設等に分かりやすく誘導する園路と案内表示の整備
- 自家用車やレンタカー、観光バスなどのアクセスに対応した駐車スペースの適切な運用と確保
- 市内外から多様な交通手段で訪れることができるアクセス性の確保
- 交流ゾーンと連携し、地域の賑わいや交流を生み出すイベント等の実施を可能にする空間の整備
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に公園内に避難できるようゲート・オープンスペース等の必要な機能を確保
- 市内外からの利用者を迎え入れる公園の顔としてまちなみや周辺環境と調和を図る良好な景観の形成
- ★ 新市民体育館や交流ゾーンの整備と連携した園路やオープンスペース等の整備に取り組む

⑥ エントランスゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

サブエントランスとして、徒歩やバス等の公共交通による利用者を緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すとともに、緊急車両の進入を確保するなど、**安全・安心や防災の機能**をもつゾーン

ゾーン内の構成要素

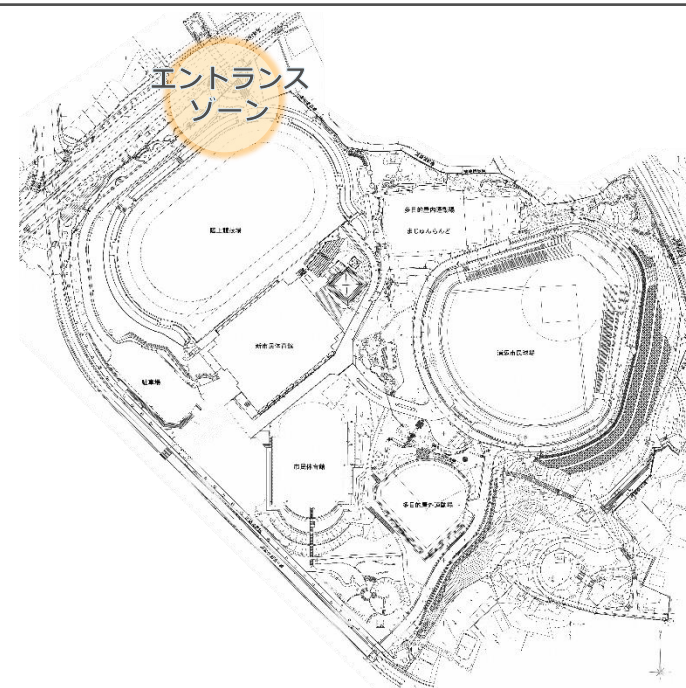
国道入口

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 国道入口：利用者の入退園、国道330号からの車両の進入、災害時等の緊急車両の進入

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」



ゾーン整備の方針

- 子どもや高齢者、障がい者をはじめ、様々な利用者を快適に迎え入れ、交流や憩いの場となるユニバーサルデザインによる空間整備
- 市民、県民、観光客、軍属等のはじめて訪れる利用者にも、目的施設等に分かりやすく誘導する園路と案内表示の整備
- 市内外から多様な交通手段で訪れることができるアクセス性の確保
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に公園内に避難できるようゲートとして必要な機能を確保すると共に、大型緊急車両の進入が可能となるような空間の整備に取り組む
- 徒歩やバス等の公共交通による利用者を迎え入れるエントランスとしてまちなみや周辺環境と調和を図る良好な景観の形成
- ★ 陸上競技場の整備と連携したエントランス空間の整備に取り組む

⑦ 憩いゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら**休息・交流等**ができるゾーン

ゾーン内の構成要素

遊具広場、オープンスペース、関係者入口

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 遊具広場：子どもの遊び場、休憩、交流、散歩等
- ・ オープンスペース：休憩、交流、散歩等
- ・ 関係者入口：関係車両の進入等

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- 子どもの遊びや地域住民の憩い・交流等で利用しやすいオープンスペースとしてユニバーサルデザインによる整備
- 自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持・保全
- 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進
- 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすい案内表示等の整備
- ▲◆眺望の良さや低未利用地の空間を活かし、Park-PFIの活用も含め利用者の利便性や交流機会を高める魅力ある便益施設の導入
- ▲ 災害時の大型緊急車両の進入や被災者の一時避難場所までの安全な避難等を確保する空間の整備
- 周辺のまちなみと調和を図る自然豊かで良好な景観形成
- 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）づくり
- ★ 利用者のニーズ等を踏まえながら便益施設の導入等に取り組む

⑧緑地・緩衝ゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながら**スポーツ、健康づくり交流**に資するとともに、周辺の住宅街や道路との**緩衝帯の役割**を担うゾーン

ゾーン内の構成要素

緑地空間

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 緑地空間：自然との触れ合い、住宅地との緩衝帯、景観形成
- ・ 園路：各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- 高低差があっても移動しやすく自然を感じながらの散歩・ジョギング等の健康づくりや、休憩、交流等ができる木陰やベンチが適切に配置された園路及び緑地空間の形成
- 運動施設や園内の利用者の快適性の向上に寄与し、維持管理上の支障とならない、良好な景観形成のための緑地の適正な配置及び維持・保全
- 周辺の緑地と合せて、災害時にグリーンインフラとして防災機能を有する緑地の維持・保全
- ◆ 周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担う緑地の適切な維持・保全
- 市の緑の拠点として緑地空間の保全や、地域の緑の骨格を形成する丘陵と調和を図る良好な自然景観の形成
- 自然豊かで魅力ある公園を持続するために市民・地域住民・地域の事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）の維持・保全
- ★ 新市民体育館や陸上競技場、相撲場等の整備と連携した緑地の適正な配置及び維持・保全に取り組む

⑨防災に関する整備方針

防災に関する課題

浦添市地域防災計画等と連携した公園・運動施設の防災機能の維持・向上

防災に関する整備方針

地域防災計画より運動公園は、災害時の広域避難場所に位置付けており、求められる当該機能の維持・向上と今後に予定される地域防災計画の見直しと連携した整備を図る。
災害時に防災機能を有するグリーンインフラ

⑩環境に関する整備方針

環境に関する課題

カーボンニュートラルの実現に資する、園内や周辺の住環境に配慮した環境整備の推進

環境に関する整備方針

園内の緑地や水辺空間の維持・保全と、運動施設等への再生可能エネルギーの導入など、園内外の環境に配慮した整備を図る。
生物多様性の保全等に貢献するグリーンインフラ

⑪景観に関する整備方針

景観に関する課題

- ・ 新市民体育館整備に伴う景観の変容への対応
- ・ 浦添の風土やみどりの骨格を形成する周辺の自然景観の維持・保全

景観に関する整備方針

丘陵地と周辺の緑地等の景観資源を活かしつつ、公園利用者が自然を感じながら、海への眺望を楽しむなど、ゆっくりと過ごすことができる良好な自然景観の維持・保全

⑫新技術・DXに関する整備方針

新技術・DXに関する課題

デジタル技術やデータの利活用など、新技術の導入による利用者サービスの向上

新技術・DXに関する整備方針

公園管理者の現場のニーズと新技術の開発者側のシーズがマッチングするものの検討や関係機関からの情報提供など、利用者サービスの向上に資する新技術の導入を図る。

⑬維持管理運営に関する整備方針

維持管理運営に関する課題

- ・ 公園・施設・設備の適切かつ持続可能な維持管理・更新
- ・ 公園の付加価値や維持管理・更新費用の低減を図るため、民間活力の導入

維持管理運営に関する整備方針

持続可能な公園・運動施設の適切な運営・管理手法の見直し
民間活力の導入による公園・運動施設の管理・運営の検討

⑭まちづくりに関する方針

まちづくりに関する課題

- ・ 公園全体の魅力向上を図り、スポーツ・健康づくり等による活力あるまちづくり
- ・ 市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）づくり

まちづくりに関する方針

まちなかという立地特性を活かし、周辺の施設や住民、事業者、行政等が連携を図りながら、スポーツを通じて多様な交流・賑わいを創出させ、周辺にも波及させていくまちづくり
バス停やモノレール駅、周辺施設等と連携した公園までのアクセス性を高めるサイン計画の検討

⑨防災に関する整備方針

各運動施設の防災機能については自然災害及び人為災害毎に以下のとおり計画しており、引き続き、浦添市地域防災計画（令和6年度見直し）と連携を図りながら整備に取り組む。

■施設の機能（自然災害時）

公園内オープンスペース
・マンホールトイレ

陸上競技場
・被災者一時避難場所
・自衛隊活動拠点
・支援物資荷捌き及び保管場所
・仮設住宅

相撲場
・避難所ごみ集積所

新市民体育館
・災害対策本部（下記注釈）
・避難所運営班
・現地対策本部
・避難所
・ボランティアセンター

既存市民体育館前広場
・仮設トイレ

既存市民体育館
・身元確認スペース等
（身元確認、検視、安置）

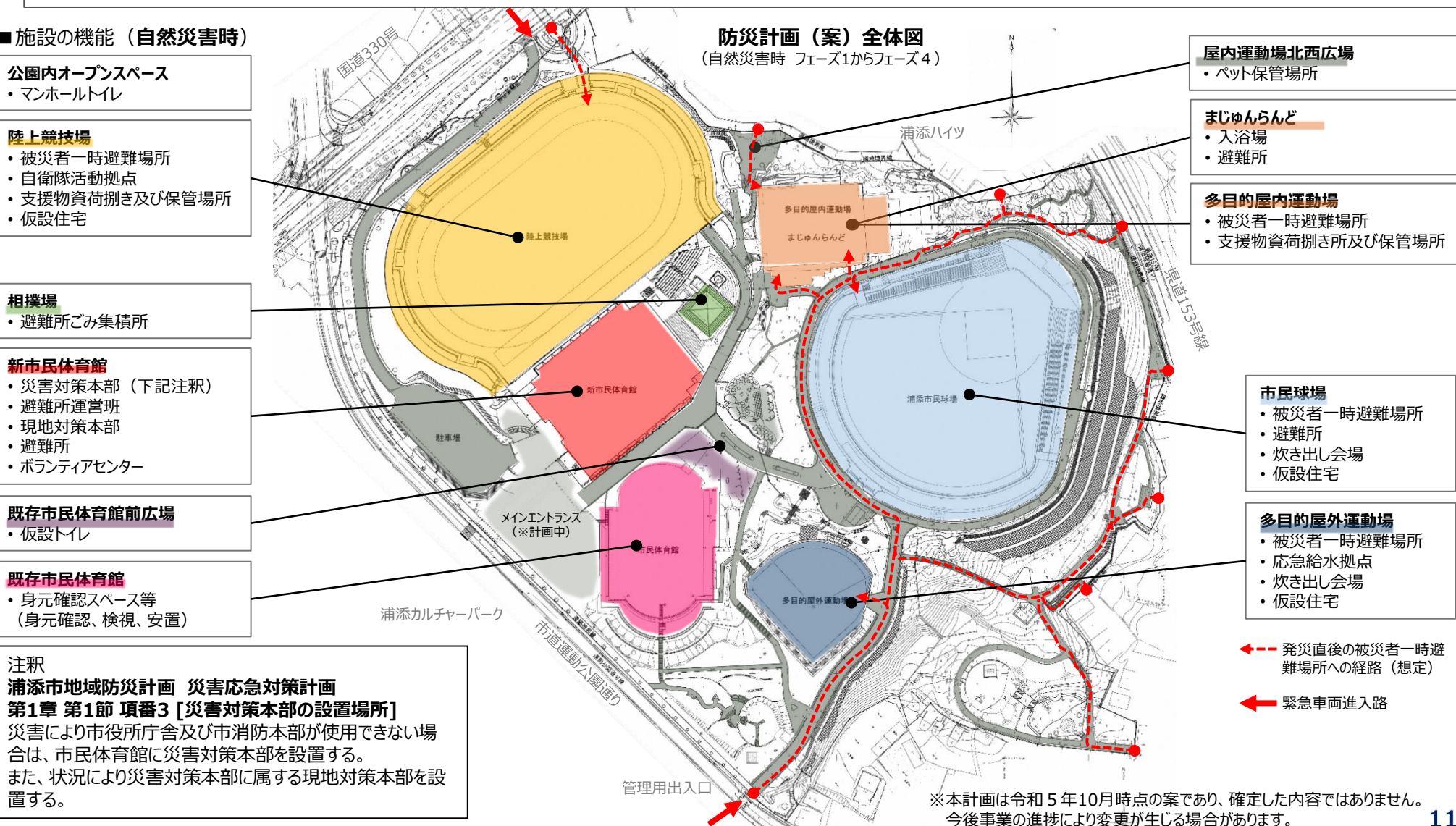
注釈

浦添市地域防災計画 災害応急対策計画

第1章 第1節 項番3 [災害対策本部の設置場所]

災害により市役所庁舎及び市消防本部が使用できない場合は、市民体育館に災害対策本部を設置する。
また、状況により災害対策本部に属する現地対策本部を設置する。

防災計画（案）全体図 （自然災害時 フェーズ1からフェーズ4）



施設の機能 (自然災害)	フェーズ1 発災直後	フェーズ2 発災後～72時間	フェーズ3 発災72時間後～数週間	フェーズ4 復旧・復興	全体 (フェーズ1～フェーズ4)
市民球場	・ 被災者一時避難場所	・ 避難所	・ 避難所 ・ 仮設住宅着工準備 ・ 炊き出し会場	・ 仮設住宅	・ 被災者一時避難場所 ・ 避難所 ・ 炊き出し会場 ・ 仮設住宅
多目的屋内運動場	・ 被災者一時避難場所	・ 支援物資荷捌き所及び保管場所	・ 支援物資荷捌き所及び保管場所	・ 支援物資荷捌き所及び保管場所	・ 被災者一時避難場所 ・ 支援物資荷捌き所及び保管場所
まじゅんらんど	・ 特になし	・ 入浴場(準備) ・ 避難所	・ 入浴場 ・ 避難所	・ 特になし	・ 入浴場 ・ 避難所
陸上競技場	・ 被災者一時避難場所	・ 自衛隊活動拠点	・ 自衛隊活動拠点 ・ 支援物資荷捌き及び保管場所 ・ 仮設住宅着工準備	・ 仮設住宅	・ 被災者一時避難場所 ・ 自衛隊活動拠点 ・ 支援物資荷捌き及び保管場所 ・ 仮設住宅
新市民体育館	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班(準備) ・ 現地対策本部	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班 ・ 現地対策本部 ・ 避難所 ・ ボランティア受入窓口	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班 ・ 現地対策本部 ・ 避難所 ・ ボランティアセンター	・ 災害対策本部 ・ 現地対策本部 ・ ボランティアセンター	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班 ・ 現地対策本部 ・ 避難所 ・ ボランティアセンター
既存市民体育館	・ 特になし	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置
多目的屋外運動場	・ 被災者一時避難場所	・ 応急給水拠点	・ 応急給水拠点 ・ 炊き出し会場 ・ 仮設住宅着工準備	・ 仮設住宅	・ 被災者一時避難場所 ・ 応急給水拠点 ・ 炊き出し会場 ・ 仮設住宅
公園内オプンスペース	・ 特になし	・ マンホールトイレ	・ マンホールトイレ	・ 特になし	・ マンホールトイレ
既存市民体育館前広場	・ 特になし	・ 仮設トイレ	・ 仮設トイレ	・ 特になし	・ 仮設トイレ
屋内運動場北西広場	・ 特になし	・ ペット保管場所	・ ペット保管場所	・ ペット保管場所	・ ペット保管場所
相撲場	・ 特になし	・ 避難所ごみ集積所	・ 避難所ごみ集積所	・ 避難所ごみ集積所	・ 避難所ごみ集積所

⑨防災に関する整備方針

■施設の機能（人為災害）

陸上競技場

- 被災者一時避難場所
- 自衛隊活動拠点
- 炊き出し会場

相撲場

- 避難所ごみ集積所

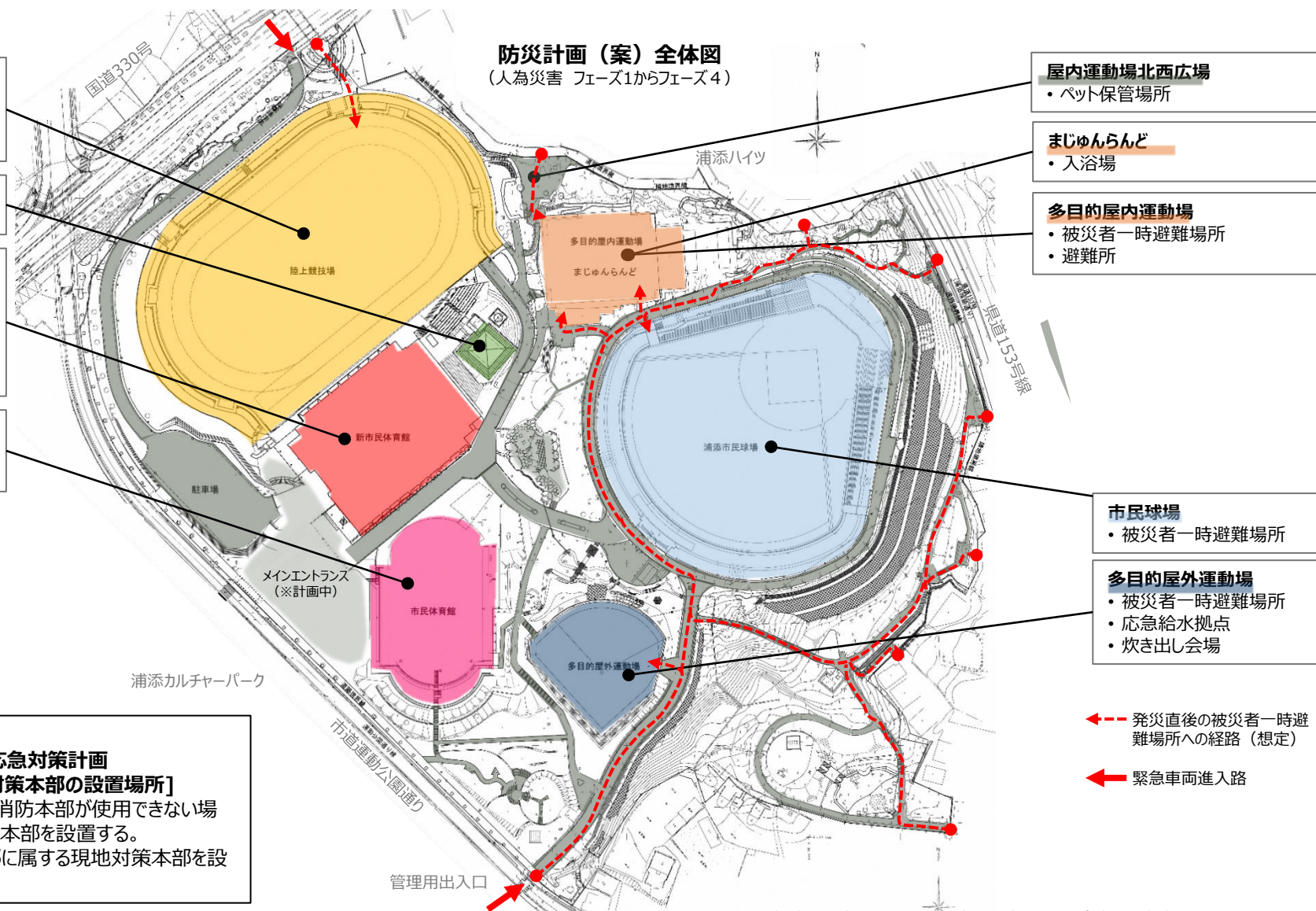
新市民体育館

- 災害対策本部（下記注釈）
- 避難所運営班
- 現地対策本部
- 避難所
- ボランティアセンター

既存市民体育館

- 身元確認スペース等（身元確認、検視、安置）

防災計画（案）全体図 （人為災害 フェーズ1からフェーズ4）



注釈

浦添市地域防災計画 災害応急対策計画

第1章 第1節 項番3 [災害対策本部の設置場所]

災害により市役所庁舎及び市消防本部が使用できない場合は、市民体育館に災害対策本部を設置する。
また、状況により災害対策本部に属する現地対策本部を設置する。

※本計画は令和5年10月時点の案であり、確定した内容ではありません。
今後事業の進捗により変更が生じる場合があります。

施設の機能 (人為災害)	フェーズ1 発災直後	フェーズ2 発災後～72時間	フェーズ3 発災72時間後～数週間	フェーズ4 復旧・復興	全体 (フェーズ1～フェーズ4)
市民球場	・ 被災者一時避難場所	・ 特になし	・ 特になし	・ 特になし	・ 被災者一時避難場所
多目的屋内運動場	・ 被災者一時避難場所	・ 避難所	・ 避難所	・ 特になし	・ 被災者一時避難場所 ・ 避難所
まじゅんらんど	・ 特になし	・ 入浴場(準備)	・ 入浴場	・ 特になし	・ 入浴場
陸上競技場	・ 被災者一時避難場所	・ 自衛隊活動拠点	・ 炊き出し会場	・ 特になし	・ 被災者一時避難場所 ・ 自衛隊活動拠点 ・ 炊き出し会場
新市民体育館	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班(準備) ・ 現地対策本部	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班 ・ 現地対策本部 ・ 避難所 ・ ボランティア受入窓口	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班 ・ 現地対策本部 ・ 避難所 ・ ボランティアセンター	・ 災害対策本部 ・ 現地対策本部 ・ ボランティアセンター	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班 ・ 現地対策本部 ・ 避難所 ・ ボランティアセンター
既存市民体育館	・ 特になし	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置
多目的屋外運動場	・ 被災者一時避難場所	・ 応急給水拠点	・ 炊き出し会場	・ 特になし	・ 被災者一時避難場所 ・ 応急給水拠点 ・ 炊き出し会場
屋内運動場北西広場	・ 特になし	・ ペット保管場所	・ ペット保管場所	・ ペット保管場所	・ ペット保管場所
相撲場	・ 特になし	・ 避難所ごみ集積所	・ 避難所ごみ集積所	・ 避難所ごみ集積所	・ 避難所ごみ集積所

⑩環境に関する整備方針

■環境に関する整備方針

園内の緑地や水辺空間の維持・保全と、運動施設等への再生可能エネルギーの導入など、園内外の環境に配慮した整備を図る。
生物多様性の保全等に貢献するグリーンインフラの整備に取り組む。

■主な指針・目標等

第2期浦添市環境基本計画（令和2年3月）

・望ましい環境像「豊かな自然と文化を育み、次世代へつなぐ環境共生都市・浦添」を実現するために5つの基本目標を定め、施策の方向性、取組施策を示している。

施策の方向【目標】（抜粋）

項目	単位	めざす方向	現状 2018年度	目標 2026年度	項目	単位	めざす方向	現状 2018年度	目標 2026年度
みどりの確保量	ha	増加	276ha	282ha (2030)	公園・緑地の個所数	箇所	増加	88箇所	138箇所 (2030)
自然環境調査の実施箇所 (浦添市環境マップの掲載箇所)	箇所	増加	14カ所	20カ所	公共交通機関の利用率	%	増加	3.6% (2006)	10% (2030)
市内の太陽光発電設備の総発電量	kWh	増加	1179万 kWh	-					

■整備目標

- ・身近なみどりの確保量の増加に取組むため、公園内の既存の緑地空間を保全しつつ、自然とのふれあい、憩いの場の提供など、園内の自然環境の整備・維持管理を推進する。
- ・自然環境調査の実施箇所数の増加の対象となるよう、公園内の水辺空間等の自然環境を生息地とする動植物の多様な生態系の保全に取り組み、生物多様性の促進を図る。
- ・公共交通機関の利用率の増加に寄与し、人と環境にやさしい交通社会を推進するため、公園利用者の徒歩や自転車・公共交通機関の利用を促進し、自動車交通量の軽減や渋滞緩和に取り組む。
- ・エネルギーの有効利用・省エネを図るため、公園・運動施設における、再生可能エネルギーの導入や省エネ設備の設置に取り組む。

■イメージ案

水辺空間等の自然環境の保全



出典：国土交通省「都市の水辺整備ガイドブック」

自然環境の保全や自然環境調査



※大雪森のガーデン（北海道）

出典：国交省「都市公園の柔軟な管理運営のありかた事例」

再生可能エネルギーの導入



※堺市原池公園（太陽光発電照明）

⑩環境に関する整備方針

各運動施設等の環境的配慮については、緑の確保や生物多様性の促進、人と環境にやさしい交通社会への対応など、以下のとおり計画しており、引き続き、浦添市環境計画と連携を図りながら整備に取り組む。

公園利用者の公共交通機関の利用促進



隣接するバス停（浅野浦）

公園利用者のシェアサイクルの利用促進
徒歩による来園者数の増加



メインエントランス前シェアサイクル

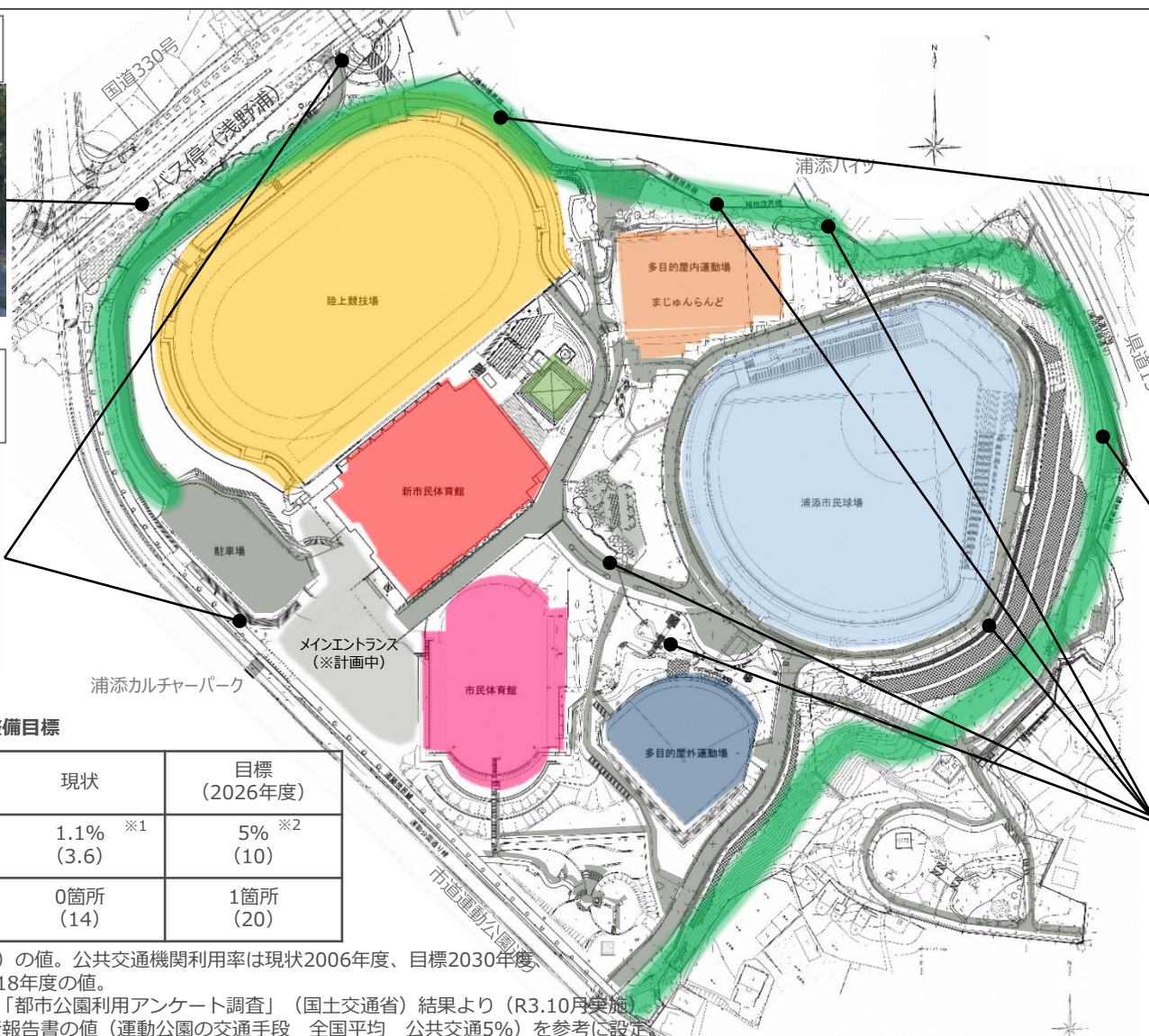
浦添運動公園における環境に関する整備目標

項目	現状	目標 (2026年度)
公共交通機関の利用率 (バス、モノレール)	1.1% ※1 (3.6)	5% ※2 (10)
自然環境調査の実施箇所 (浦添市環境マップの掲載箇所)	0箇所 (14)	1箇所 (20)

※（ ）内は浦添市環境計画（R2.3月）の値。公共交通機関利用率は現状2006年度、目標2030年度。
自然環境調査の実施箇所は現状2018年度の値。

※1 令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」（国土交通省）結果より（R3.10月実施）

※2 令和3年度都市公園利用実態調査報告書の値（運動公園の交通手段 全国平均 公共交通5%）を参考に設定。



陸上競技場等の再整備と合わせた緑地の適正な配置



浦添市陸上競技場

広域的なみどりの連続性を確保するための緑地空間の適切な維持保全



市民球場側緑地空間

多様な動植物の生育・生息地となる環境の整備



屋内運動場側水辺空間

⑪ 景観に関する整備方針

■ 景観に関する整備方針

丘陵地と周辺の緑地等の景観資源を活かしつつ、公園利用者が自然を感じながら、海への眺望を楽しむなど、ゆっくりと過ごすことができる良好な自然景観の維持・保全に取り組む。

■ 主な指針・目標等

浦添市景観まちづくり計画（令和4年3月）

浦添運動公園は、市街地ゾーンに位置付けられており、良好な景観形成を図るため、建築物等の整備にあたっては計画に示される景観基準に則して検討する。

景観形成基準（抜粋）

形態・意	・周辺の景観と調和し圧迫感を与えないような形態や色彩、意匠とする。 ・本市の特徴ある微地形を活かすよう工夫する。 ・主要な視点場から緑の両翼の稜線（スカイライン）が分断されないよう高さ、規模、形態を工夫する。
------	--

ティーダヌファみどり計画（令和2年5月）

浦添運動公園は、市域における求心的なみどりの核として、公園緑地の整備充実を図り、本市のみどりのまちづくりとしてのティーダヌファの顔づくりとその効果の波及に積極的に取り組むことが示されている。

緑地の確保目標量（抜粋）

項目	2018年現況	割合	2030年目標	割合
都市公園	118ha	42.8%	130ha	46.1%
全体	276ha	100%	282ha	100%
割合は、緑地面積全体に対する割合				

■ 整備目標

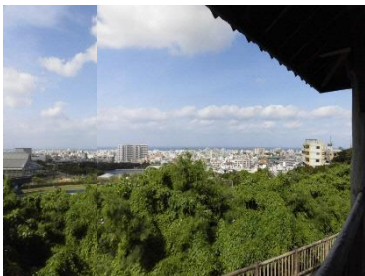
- ・浦添大公園及び浦添運動公園の展望台等からの西海岸を見渡す眺望とその夜景に配慮した施設整備に取り組む。
- ・主要な視点場（国道330号等）からの景観（仰視等）に配慮して、緑の稜線（スカイライン）を分断せず、かつ、調和するような施設整備に取り組む。
- ・周辺の住環境と調和した落ち着いたあるまちなみ景観を形成する自然空間の維持保全に取り組む。
- ・公園内の既存緑地を維持保全しつつ、丘陵地の自然緑地と合わせ、本市のみどりの核として、将来にわたりみどりの確保量の増加に取り組む。

■ イメージ案

高台からの眺望・夜景

住環境と調和した落ち着いたあるまちなみ景観

丘陵の自然景観



東側展望台からの眺望
出典：浦添市景観まちづくり計画

東側展望台からの夜景
（出典：浦添市観光計画）

出典：浦添市景観まちづくり計画

出典：ティーダヌファみどり計画

出典：浦添市景観まちづくり計画

⑪ 景観に関する整備方針

各運動施設等の景観的配慮については、眺望や夜景等の景観への配慮、自然景観との調和、緑地の維持保全など、以下のとおり計画しており、引き続き、浦添市景観まちづくり計画と連携を図りながら整備に取り組む。

国道まちなみ景観と調和したエントランスの整備



出典：国総研「景観デザイン規範事例集（道路・橋梁・街路・公園編）」

仰視、俯瞰等の景観や自然景観に配慮した施設整備

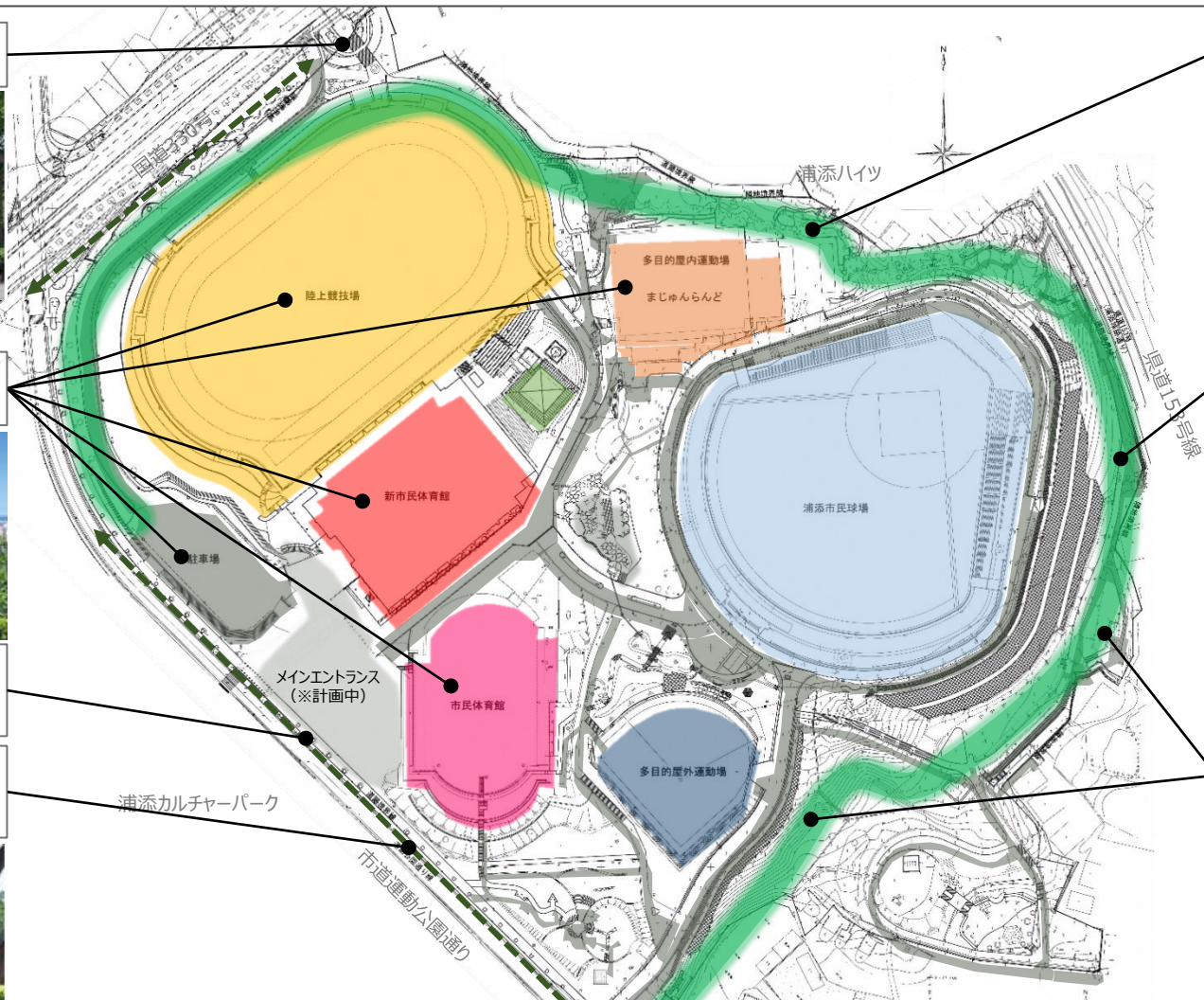


公園の顔（玄関口）に相応しい景観の形成に向けたメインエントランスの整備

公園外からの見え方に配慮し、まちなみ景観と調和した緑地の配置



出典：国交省「第1回 都市の多様性とインベーションの創出に関する懇談会 参考資料」



住宅地との緩衝や火災の延焼防止の役割としての緑地の維持管理



出典：国交省「居心地が良く歩きたくなるグランドレベルデザイン」

広域的なみどりの骨格と自然景観を形成する緑地空間の保全



丘陵地と合わせ、緑の核となる公園内の既存緑地の維持保全



- ・公園内で移動しながら変化する景観を楽しむ。
- ・公園内の各運動施設との調和や隣接するカルチャーパーク、周辺住環境に配慮した景観の形成を目指す。

⑫新技術・DXに関する整備方針

■新技術・DXに関する整備方針

公園管理者の現場のニーズと新技術の開発者側のシーズがマッチングするものの検討や関係機関からの情報提供など、利用者サービスの向上に資する新技術の導入を図る。

■ 主な指針・目標等

都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言（令和4年10月）

- デジタル技術やデータを利活用し公園管理者が業務効率化を図り、利用者サービスの向上等を図ることで、公園のポテンシャルを一層発揮させる公園DXの推進が今後注力すべき政策とされている。
- 以下の3つの方向性で、デジタル技術の活用やデータの利活用を進めることが必要。

浦添市官民データ活用推進計画

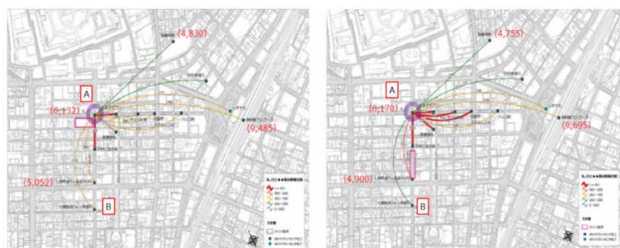
- ・ 広域的なデータ流通の円滑な促進に寄与し、将来的な地域課題の自発的な解消や行政及び民間のサービス水準の向上に繋げ、住民の利便性の向上に寄与するとともに、データの利活用を通じた地域経済の活性化に繋げる。

■整備目標

- ・ビッグデータを活用した利用状況（時間帯別来園者数、滞在時間、移動経路等）等の情報を、市の担当部署や施設管理者でリアルタイムに共有すると共に、市ホームページやアプリにより施設の混雑状況や駐車場の満空情報等を施設利用者に向け発信し、利用者サービスの向上に取り組む。
- ・施設の利用申請及び利用料の徴収業務、受付・問い合わせ対応等について、ICTを活用した業務の効率化に取り組む。

■イメージ案

ビッグデータ等を活用した利用者ニーズや混雑状況を把握



出典：静岡市提供資料

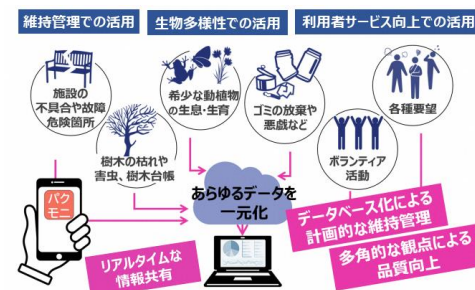
二つのイベント前後での A 地点への人の流れの比較

出典：国土交通省「地域課題解決のための人流データ利活用の
 手引きVer1.1」

受付・問い合わせ対応等におけるICTの活用



運動公園内の施設の利用状況や維持管理情報などのデータベース化による、より効率的で高品質な管理運営



©西武・狭山丘陵パートナーズ／西武・武蔵野パートナーズ／西武・多摩部の公園パートナーズ

出典：国土交通省「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言 参考資料【事例編】」（R4.10.31公表（R5.3.31更新））

⑭まちづくりに関する方針

■まちづくりに関する整備方針

- ・ まちなかという立地特性を活かし、周辺の施設や住民、事業者、行政等が連携を図りながら、スポーツを通じて多様な交流・賑わいを創出させ、周辺にも波及させていくまちづくりを推進する。
- ・ バス停やモノレール駅、周辺施設等と連携した公園までのアクセス性を高めるサイン計画等の導入に取り組む。

■主な指針・目標等

第3期スポーツ基本計画（令和4年3月）

全国各地で「スポーツによる地方創生、まちづくり」の取組を創出し、スポーツを活用した地域の社会課題の解決を促進することで、スポーツが地域・社会に貢献し、競技振興への住民・国民の理解と支持をさらに広げ、競技振興と地域振興の好循環を実現することが示されている。

施策目標

スポーツ・健康まちづくりに取り組む地方公共団体の割合を2026年度末に15.6%（令和3年度）から40%

主な具体的施策

スポーツを活用した経済・社会の活性化
スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

第五次浦添市総合計画（令和3年3月）

主な関連する施策（抜粋）

観光振興	行政、関連団体、市民、民間事業者等との協働による観光地域づくり 本市での滞在時間の拡大に資する地域資源を活用した市内周遊ツアー等の造成
交通	沖縄都市モノレールと連携させた支線公共交通（コミュニティバスやシェアサイクル等）の導入によるラストワンマイルの拡充。 公共交通や徒歩等を含めた多様な交通手段を適度に利用するモビリティ・マネジメントの普及啓発活動。市民等への沖縄都市モノレール・バス等の利用促進。
スポーツ	高いレベルのスポーツを観戦する機会やトップアスリートとの交流機会を創出。そのために、市民のスポーツに対する関心を高める環境づくり。 市民ニーズを踏まえて、だれもが利用できるユニバーサルデザインの視点に立ったスポーツ・レクリエーション施設の充実。
防災	地域防災体制や広域的な応援・支援体制の拡充。

■整備目標

- ・ 本市での滞在時間の増加に資するプロスポーツ観戦の機会やトップアスリートとの交流機会の創出によるスポーツツーリズムの更なる推進に取り組む。
- ・ モノレール駅から運動公園をつなぐサイン計画の導入や支線公共交通の拡充に取り組む。
- ・ スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防を推進するため身近に誰もが利用できるユニバーサルデザインの運動施設の整備に取り組む。

■イメージ案

プロスポーツを観戦する機会やトップアスリートとの交流機会



出典：都市公園のストック効果向上に向けた手引き

訪日外国人等にもわかりやすい多言語表記の案内



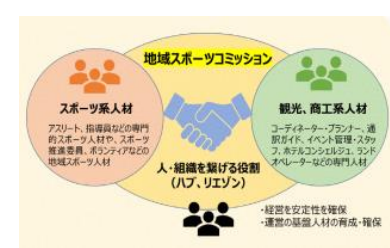
出典：都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン【改訂第2版】

運動公園をつなぐ地域の賑わいを生み出すサイン



出典：スタジアム・アリーナ改革ガイドブック＜第2版＞

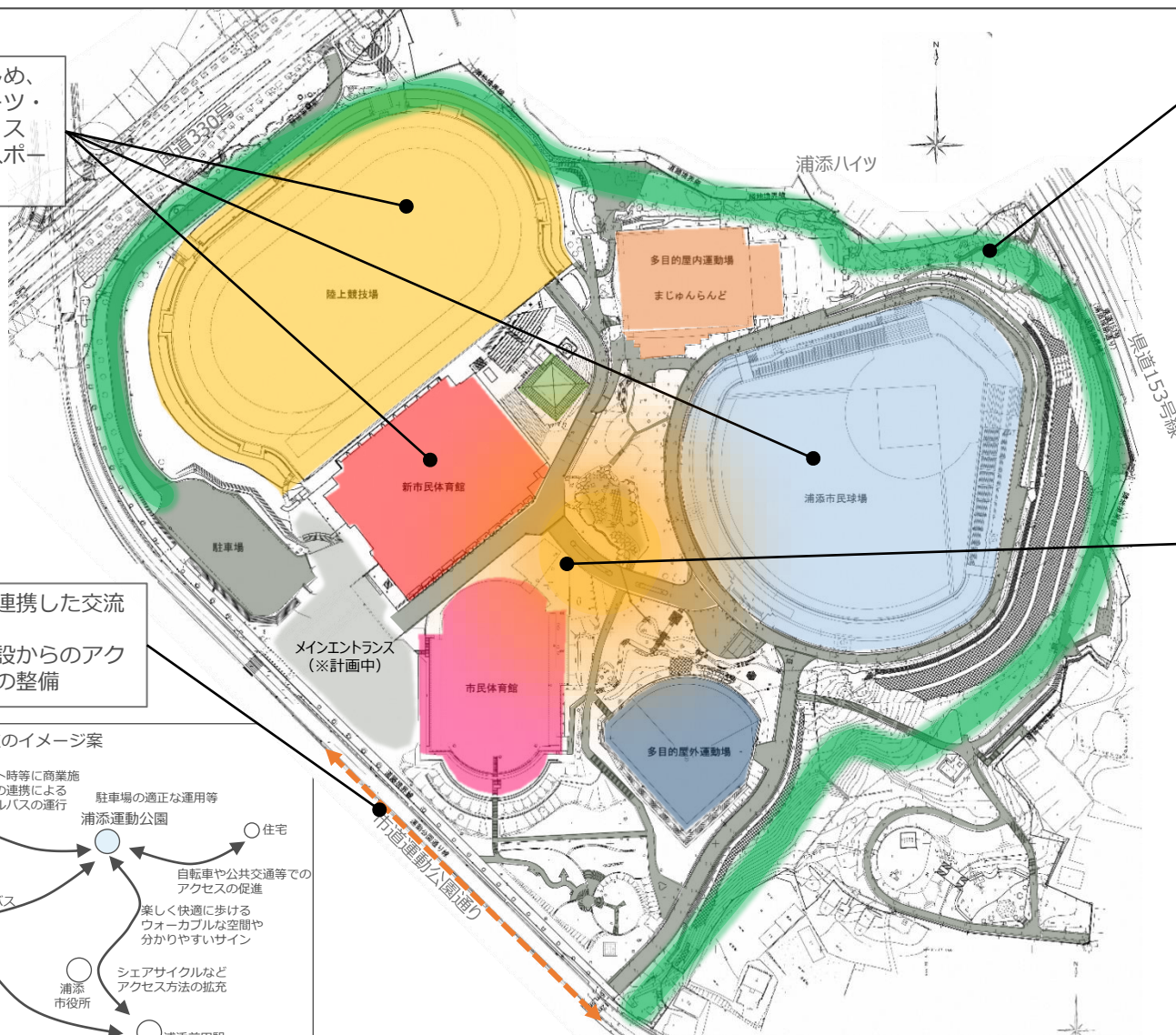
スポーツコミッションを推進する体制



⑭まちづくりに関する方針

- ・ 周辺施設や住民、事業者、行政等が連携を図りながら、スポーツを通じて多様な交流・賑わいを創出させ、周辺にも波及させていくまちづくりを推進する。

市民の健康づくりをはじめ、スポーツを通じたスポーツ・観光の交流拠点として、スポーツイベントやプロスポーツキャンプ等の実施



火災の延焼防止など災害に対する防災機能や地域の景観形成等を担うグリーンインフラとして活用



自然災害時の防災拠点

出典：都市公園のストック効果向上に向けた手引き

- ・ 都市における身近な交流空間として、市民や観光客等が交流できる地域の賑わいを創出するイベント等の実施
- ・ オープンスペースなど交流空間を社会課題解決の実践の場として活用

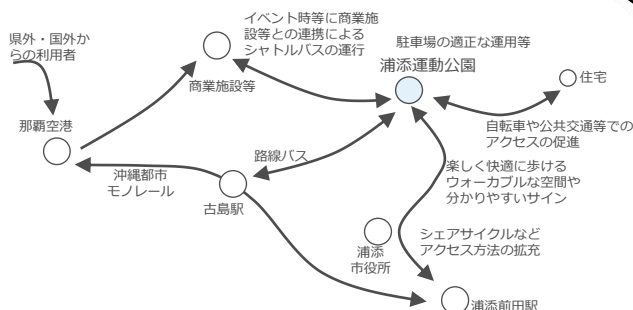


賑わいを創出する交流イベントの実施

出典：都市公園のストック効果向上に向けた手引き

- ・ 周辺施設、事業者等と連携した交流イベントの実施
- ・ モノレール駅や周辺施設からのアクセスに対するサイン等の整備

市内外からアクセスしやすい拠点のイメージ案



⑭まちづくりに関する方針

運動公園立体駐車場の適切な運用の推進

那覇空港
那覇空港ビル
090-980-0000

駐車場混雑予想

以下は那覇空港駐車場の今後3日間の混雑予想です。混雑の目安としてご利用ください。なお、状況に応じて利用率は予定と異なる場合がございます。

混雑率	混雑状況
20%	空いている
30%	やや空いている
40%	やや混雑
50%	混雑
60%	かなり混雑
70%	大変混雑
80%	大変混雑
90%	大変混雑
100%	大変混雑

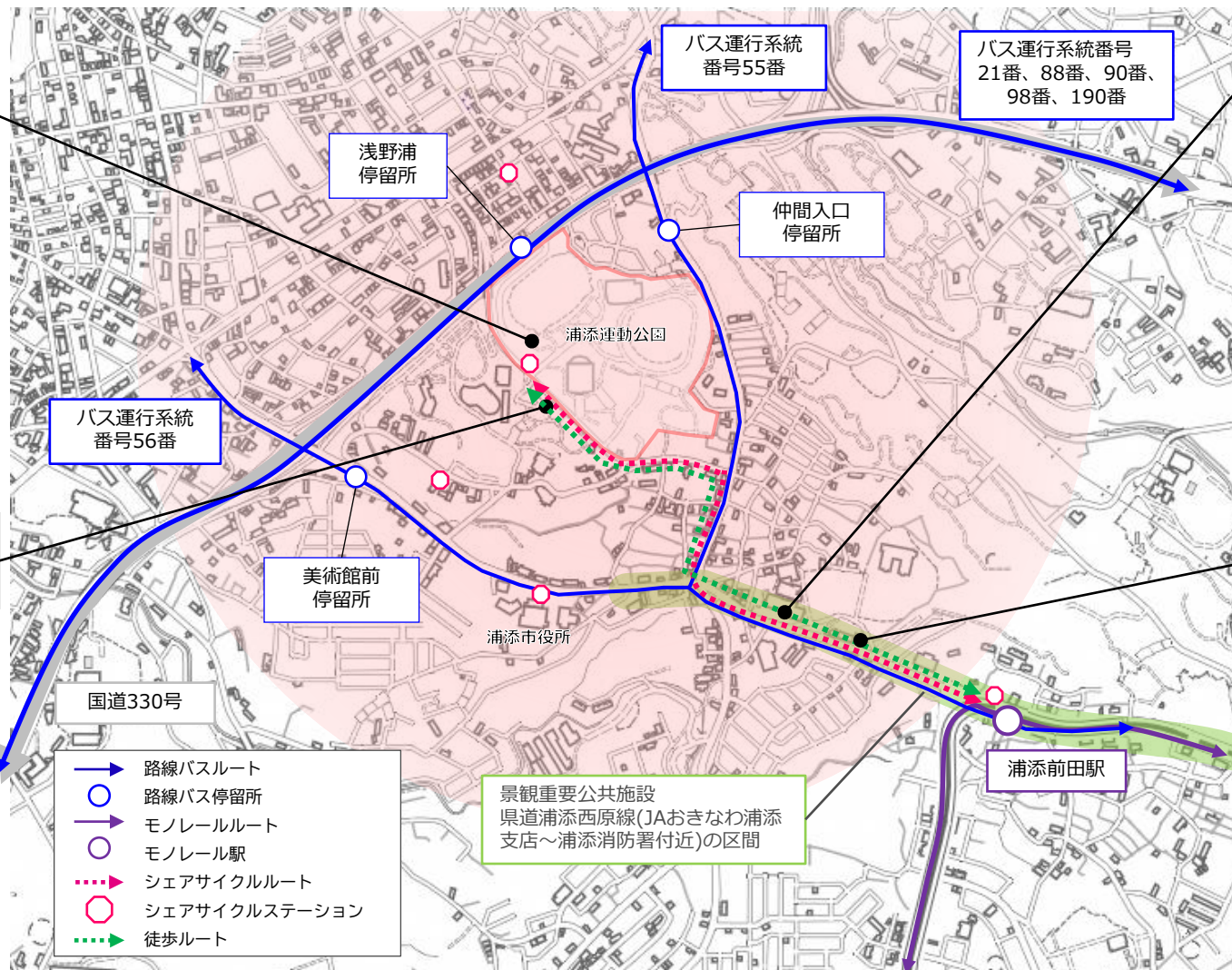
混雑になる可能性があります。なるべく公共交通機関をご利用ください。

駐車場混雑予想
出典：那覇空港HP

徒歩や公共交通機関、自転車、シェアサイクル等によるアクセスの促進



自転車通行空間の整備
出典：浦添市自転車ネットワーク計画



景観重要公共施設である県道浦添西原線の良好な景観形成と一体となった楽しく快適に歩けるウォーカブルな空間づくりの推進



良好な沿道景観と賑わいを創出する歩行空間

出典：街路空間等の再構築・利活用のプロセス事例集～中小都市版～

モノレール駅から運動公園までのわかりやすいサイン計画の導入



公共交通への案内サイン

出典：言語バリアフリー施策取り組み好事例集

⑮段階的な整備の考え方

- ・ 先行する新市民体育館の整備に伴う影響範囲の再整備に短期的に取り組めます。
- ・ その他ゾーンについては、施設の老朽化等を踏まえながら中長期的に取り組めます。

主に短期的に取り組むゾーン

- ・ するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠ（陸上競技場、新市民体育館、相撲場）
- ・ メインエントランスゾーン（立体駐車場、園路、正面入口）
- ・ エントランスゾーン（国道入口）
- ・ 交流ゾーン（売店施設、広場）
- ・ 緑地・緩衝ゾーン（緑地空間）

主に中長期的に取り組むゾーン

- ・ するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠ（市民球場）
- ・ するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡ（市民体育館）
- ・ するスポーツゾーン（まじゅんらんど、屋内運動場、屋外運動場、スケートボード広場）
- ・ 憩いゾーン（遊具広場、オープンスペース）



短期的に取り組む
中長期的に取り組む



① するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-1 陸上競技場 【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

陸上競技場で想定される利用・使用形態

陸上競技、ジョギング、散歩、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、プロ野球球団・プロサッカーチーム等の春季キャンプ、てだこまつり等



陸上競技場の課題

- ・ 老朽化・陳腐化した施設で、新市民体育館整備に伴い、メイン・サブスタンドの一部解体やフィールドトラックが工事車両により乱されるため、機能更新が必要。
- ・ サッカーの試合や大会を開催するにはフィールドが手狭で、かつ、プロサッカーチーム等の春季キャンプの誘致ができない状況。
- ・ 夜間照明の照度が不足しており、夜間の利用が困難となっている状況。
- ・ 1日中自由に利用できる形態のために施設管理が困難となっている。一方で、利用度は高く、利用者も使い勝手がいい形態であるため、施設管理と利用で相反する状況。
- ・ 倉庫や諸室は老朽化や手狭のため、一部使用されておらず、また備品も保管できない状況。
- ・ 各競技やてだこまつり等の興行後のフィールド内芝生の維持管理が困難な状況。
- ・ サブスタンドは植栽の根が張り、座りにくく、テント設営も困難で観戦がしづらい状況。
- ・ バリアフリーの整備が不十分な箇所があるなど、ユニバーサルデザインの導入が必要。
- ・ 再整備後の適切な維持管理・運営を行うため、施設利用料金の改定が必要。

他市町村の陸上競技場の状況

- ・ プロ野球球団に加え、プロサッカーチーム等も誘致するなど、スポーツコンベンションを推進。
- ・ プロスポーツの利用に合せた芝生等の維持管理。
- ・ メインスタンド一部に屋根の設置、車いす利用者の観戦スペースやエレベーター、トイレを設けるなど、ユニバーサルデザインを適用。
- ・ 競技場への入退場を一か所の出入口に集約し、事務室より管理。
- ・ 多目的な競技用の備品を適切に保管する倉庫。
- ・ サブスタンドの芝生化
- ・ 適切な維持管理等を見据えた施設利用料金

陸上競技場の整備方針

- 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲ 人と人とのつながりやリアルな交流を創出させるフィールドトラックやスタンドの機能強化と魅力向上
- ■ 多目的なスポーツの実施が可能で、プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備
- ▲ ◆ サブスタンドの空間が有効活用できる再整備及び植栽の適切な再配置と維持管理計画
- ▲ 災害時は一時避難場所や自衛隊活動拠点として災害対策活動の拠点となる防災機能を確保
- ◆ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- トップアスリートのキャンプ等の魅力向上に資すると共に、周辺景観と調和を図る良好な景観の形成
- ★ 新市民体育館の整備と連携し市民等が利用しやすく、プロスポーツのキャンプ等も誘致できる施設整備に取り組む

施設別整備の方針は、●再整備の方針1、▲再整備の方針2、◆再整備の方針3、■再整備の方針4、★再整備の方針5に対応する（以下、他施設も同様）

①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-1陸上競技場【短期的な取組】

デザインイメージ案

プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備

- ・ 快適にスポーツ観戦等を楽しめるメインスタンドの整備や、プロスポーツキャンプ等が誘致可能なフィールド整備等を行います。



メインスタンド
(金武町陸上競技場)



サッカーキャンプなど多目的な利用
出典：スポーツコミッション沖縄HP

地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理

- ・ 陸上競技場と新市民体育館の一体的な利用等により多様なスポーツの実施やスポーツ観戦が楽しめる施設の運営・管理を行います。
- ・ 災害時の市民等の安全・安心確保の一助となる防災倉庫等の整備を行います。



陸上競技場と体育館の一体的な利用
(田辺スポーツパーク 陸上競技場)
出典：田辺スポーツパークパンフレット



防災倉庫
(大阪府堺市 原池公園)

誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを導入した施設整備

- ・ 障がい者や外国人等あらゆる利用者が快適にスポーツや健康づくりに参加できるように、車いす用のスロープや観覧スペースを設けるなど、ユニバーサルデザインを導入した施設整備を行います。



車いす用スロープ
(浦添カルチャーパーク)



車いす利用者観覧スペース
出典：高齢者、障がい者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準

緑地の適切な再配置及び維持管理や周辺と調和した良好な景観形成

- ・ 自然を身近に感じながらスポーツや健康づくりができる緑地の再配置や維持管理を行い、併設する新市民体育館や周辺の緑地と調和した景観を形成します。



緑地の適切な配置
(豊見城市陸上競技場)



自然を感じスポーツや健康づくりができる緑地空間
(南風原町陸上競技場)



①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-2新市民体育館【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

新市民体育館で想定される利用・使用形態

ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、フットサル、バドミントン、卓球、プロスポーツ等の試合・大会、eスポーツ、コンサート、MICE等



新市民体育館の課題

- ・ プロスポーツ興行やeスポーツなど「みるスポーツ」への対応
- ・ 「するスポーツ」への参画を促すためにも魅力ある施設整備
- ・ 障がい者スポーツの振興など障がい者利用の推進
- ・ 陸上競技場スタンドと新市民体育館との一体的整備による拠点機能の充実
- ・ 浦添市らしさを創出する施設整備
- ・ 地域防災計画等の位置づけを踏まえた災害対応等の充実
- ・ 軍人・軍属を含めた国際交流の推進
- ・ 地球環境への配慮の充実
- ・ コストセンターからプロフィットセンターへの転換の検討
- ・ 時間軸も意識した既存市民体育館との機能・役割分担の検討

他市町村の体育館の状況

- ・ みることを重視した観客席の整備
- ・ 大型スクリーン・LEDディスプレイ等の整備検討
- ・ 照明機材の充実検討
- ・ 飲食ニーズへの対応の検討
- ・ 空調設備の設置検討
- ・ 多様な利用を可能とするアリーナ床面の検討
- ・ スポーツをはじめ興行・イベント等の多様なニーズに対応する施設・設備の検討
- ・ 器具庫・倉庫の充実検討
- ・ 利用料についての多様な対応の検討

新市民体育館の整備方針

- 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲ 二つの拠点機能の相互補完による多様な利用シーンへの対応
- ▲ 競技スタンドと新市民体育館との一体化等による効果的・効率的な施設整備
- ▲ 多様な屋内スポーツ・大会ニーズやMICE、コンサート等に対応できるアリーナ・観客席の整備
- ▲ 市民をはじめ、観光客が快適かつ機能的にトップアスリートの競技等を観戦できる施設設備の整備
- ▲ 災害時は避難所となるほか、現地対策本部等の災害対策活動の本拠機能をもつ施設・設備の整備
- ◆ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- 多目的なスポーツの実施が可能で、プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備
- ★ 新たなスポーツ・観光の交流拠点の核となる施設・設備の整備に取り組む



①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-3相撲場【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

相撲場で想定される利用・使用形態

相撲、大会等

相撲場の課題

- ・ 自由に出入りできる形態のために施設管理が困難。
- ・ 屋外施設のため、犬・猫の糞尿等の被害への対処。
- ・ 新市民体育館等と一体的な利活用。



相撲場の整備方針

- 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- ▲ 災害時の避難者への生活支援（ごみ集積所）として必要な機能を確保
- 新市民体育館等の周辺運動施設と調和した良好な景観形成
- ★ 他運動施設との一体的な利活用を可能にするため新市民体育館と近接して整備し、犬・猫の糞尿等の環境問題に対応した施設管理に取り組む

①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-4市民球場【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標

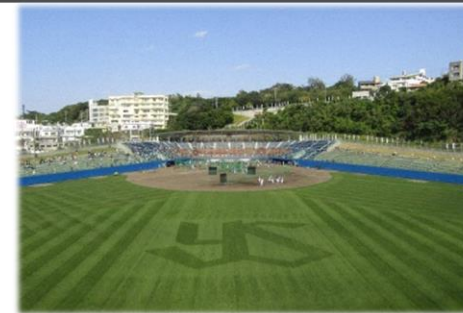
市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

市民球場で想定される利用・使用形態

野球、ソフトボール、プロスポーツ等のキャンプ等

市民球場の課題

- ・ 経年劣化等により、スタンドや諸室、トイレ、水回り設備等の老朽化・陳腐化
- ・ バリアフリーの整備が不十分な箇所があるなど、ユニバーサルデザインの導入が必要。



市民球場の整備方針

- 更新時には、子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲ プロ野球キャンプ時の主要な場所で、かつ、スポーツコンベンションの核となる施設のため、それに相応しい施設の維持管理・更新
- ▲ 長寿命化計画を踏まえつつ、スポーツ・観光交流拠点の形成に資するよう施設の維持管理・更新の早期化
- ▲ 市民をはじめ、観光客が快適かつ機能的にプロ野球キャンプを観戦できる施設設備の維持管理・更新
- ▲ 災害時の避難者への生活支援（避難所・仮設住宅等）として必要な機能を確保
- 周辺運動施設と自然景観と調和を図った良好な景観の形成
- ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等と照らし合わせながら施設の更新等の計画・整備に取り組む。



②するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡの整備方針 ②-1市民体育館【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる**生涯スポーツの推進やスポーツ交流**に資するゾーン

市民体育館で想定される利用・使用形態

ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、テニス、市民のスポーツ大会、沖展等

市民体育館の課題

- 施設の老朽化等に伴う雨漏り等への対処。
- 空調（冷房）設備の未設置により、館内の気温や湿度が下がりにくいため、熱中症になる危険性が極めて高いなど、屋内スポーツの競技環境が整っていない。
- 市民・団体の利用率が高いことや観客席数の不足等により、プロスポーツやイベント等の興行でこれ以上の利活用を図ることが困難。
- 車いすでの館内へのアクセス性や専用の観客席・トイレの確保など、バリアフリー対策が不十分。
- 既存市民体育館は主に市民等の利用、一方、新市民体育館は興行の利用など、役割・機能の分担を図るものの、新市民体育館の供用時に既存市民体育館は築39年が経過するため、老朽化・陳腐化の進行や空調（冷房）設備やバリアフリーへの対応など、市民等のニーズへの対応が難しくなる可能性がある。



市民体育館の整備方針

- 更新時には、子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- ▲ 主に市民等の競技スポーツや健康増進の利用に加えて、子ども等の試合や大会を観戦できる施設整備の維持管理・更新
- ▲ 災害時の保健衛生対策（身元確認所等）として必要な機能を確保
- ◆ 市民や団体等の利用者が利用しやすい柔軟な施設予約システム等の導入
- 周辺運動施設や自然景観と調和を図った良好な景観の形成
- ★ 既存市民体育館と新市民体育館の役割・機能の分担を継続していくため、既存市民体育館の長寿命化計画を踏まえつつ、市民等のニーズや施設の構造・設備の老朽化等の現状の把握に努め、新市民体育館の利活用と照らし合わせながら、今後の運用や維持管理・更新を検討する。



②するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡの整備方針 ②-1市民体育館【中長期的な取組】

デザインイメージ案

現状（既存市民体育館前オープンスペース）

- ・ 現状の既存市民体育館前のオープンスペースは、イベント等の実施に活用されており、運動公園内の賑わいや交流を生み出す空間になっている。
- ・ 新市民体育館の整備により、既存市民体育館から中央園路までのオープンスペースが減少する。



地域の賑わいや交流を生み出すオープンスペースの整備

- ・ 新市民体育館整備後において、地域の賑わい・交流を生み出すイベント等の実施や防災上の観点から、既存市民体育館の今後の施設更新の計画では、交流ゾーン等と連携したオープンスペースの確保を念頭に検討する必要がある。
- ・ また、利用者を迎え入れるメインエントランスゾーンと交流の核となる交流ゾーンの整備では、既存市民体育館の今後の施設更新等も見据えた空間整備を踏まえて計画・検討していく必要がある。





③するスポーツゾーンの整備方針 ③-1まじゅんらんど【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン	
まじゅんらんどで想定される利用・使用形態 水泳、マシンをつかったトレーニング、スタジオレッスン、カルチャースクール等	
まじゅんらんどの課題 ・ 経年劣化による設備の維持管理・更新 ・ 施設までのアクセスの分かりやすい案内	
まじゅんらんどの整備方針 ● 更新時には、子どもや高齢者をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入 ▲ 市民や地域住民・団体等の健康づくりや心身機能の維持・回復、コミュニケーションの促進といった健康増進を支える施設・設備の更新 ▲ 災害時の避難者への生活支援（入浴場等）として必要な機能を確保 ◆ 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や地域内の交流創出につながる施設の運営・管理 ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等を踏まえ施設・設備の維持管理・更新に取り組む	

③するスポーツゾーンの施設整備 ③-2多目的屋内運動場【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン	
多目的屋内運動場で想定される利用・使用形態 テニス、フットサル、ドッジボール、野球練習等、保育園や幼稚園の運動会、プロ野球キャンプ時の練習場	
多目的屋内運動場の課題 ・ 人工芝やネット等の内装材や窓等の外装材の経年劣化に対応した維持管理・更新 ・ 豪雨時には施設内の冠水が生じ、利用が困難になる。 ・ プロ野球キャンプ時に隣接する広場に仮設ブルペンを設置するために毎年度費用がかかる	
多目的屋内運動場の整備方針 ▲ 市民等のスポーツ参加や健康づくりと、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションにも寄与する施設・設備の更新 ▲ 施設周辺にプロ野球キャンプ時に機能的に球団が利用できると共に、キャンプ観戦の魅力を向上させるブルペンの整備 ▲ 災害時の生活支援物資の荷捌き及び保管場所として必要な機能を確保 ◆ 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や地域内の交流創出につながる施設の運営・管理 ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等を踏まえスポーツコンベンションにも寄与する施設・設備の更新に取り組む	



③するスポーツゾーンの整備方針 ③-3多目的屋外運動場【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン

多目的屋外運動場で想定される利用・使用形態

野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、プロ野球キャンプ時の練習場等

多目的屋外運動場の課題

- ・ 自由に入出りできる形態のために施設管理が困難。
- ・ 雨天時に水が溜まりやすく、その後の排水に時間がかかり、施設の使用に支障が生じてる場合がある。
- ・ 屋外施設のため、犬・猫の糞尿等の被害への対処。
- ・ 市民球場等と一体的な利活用。



多目的屋外運動場の整備方針

- ▲ 市民等のスポーツ参加や健康づくりなど、生涯スポーツを支える施設の維持管理と、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションの推進にも寄与する施設・設備の更新
- ▲ 災害時の避難者への生活支援（給水や炊き出し等）として必要な機能を確保
- ★ 利用者のニーズや長寿化計画等を踏まえスポーツコンベンションにも寄与する施設・設備の更新に取り組む

③するスポーツゾーンの施設整備 ③-4スケートボード広場【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン

スケートボード広場で想定される利用・使用形態

スケートボード、ローラースケート等

スケートボード広場の課題

- ・ 新市民体育館整備に伴い受電所が設置されるため、敷地が手狭となる。
- ・ 自由に入出りできる形態のために施設管理が困難なことや、夜間の無断使用など、周囲に人がいない時間帯での事故・ケガへの対応が困難である。



スケートボード広場の整備方針

- ★利用者のニーズや利用状況を踏まえ、スケートボード広場として機能を維持できる敷地の確保・整備
- 市民等の快適な利用と、スポーツコンベンションの推進にも寄与する施設・設備の更新

④交流ゾーンの整備方針 ④-1売店施設【短期的な取組】

ゾーンの整備目標 オープンスペースを利用したイベントや魅力ある便益施設などにより賑わいを生み出し、運動公園内の交流の核となるゾーン	
売店施設で想定される利用・使用形態 休憩、飲食（休日、イベント時）	
売店施設の課題 ・ 利用者の休憩や飲食利用などのニーズに対応した施設の運営 ・ トイレなどの経年劣化による設備等の維持管理・更新	
売店施設の整備方針 ▲◆Park-PFIの活用も含め利用者の休憩や飲食利用のニーズに対応した、魅力ある便益施設の運営や環境の整備 ▲★利用者のニーズに対応した施設運営や、老朽化・陳腐化を踏まえた施設・設備の維持管理・更新に取り組む ■ 周辺の運動施設、自然、オープンスペースが調和した景観の形成 ■ 広場と一体でスポーツイベントなどと連携し賑わいを生み出す魅力ある公園づくりの取組	

④交流ゾーンの整備方針 ④-2広場【短期的な取組】

ゾーンの整備目標 オープンスペースを利用したイベントや魅力ある便益施設などにより賑わいを生み出し、運動公園内の交流の核となるゾーン	
広場で想定される利用・使用形態 イベント、自然とのふれあい、災害時の避難等	
広場の課題 ・ 新市民体育館の整備に伴うスペースの維持確保 ・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと一体で賑わいを生み出す広場の効果的な活用	
広場の整備方針 ● 自然を感じる水辺やみどりを活かし、賑わい・交流の創出につながるイベントの実施を可能にするオープンスペースの整備 ● 各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備 ▲ 災害時の仮設トイレの設置や柔軟に対応できるオープンスペースとして機能を確保 ■ 周辺の運動施設、自然、オープンスペースが調和した景観の形成 ■ メインエントランスや他ゾーンと一体的にイベント等を実施するなど、運動公園の交流・憩いの場の核となる賑わい・魅力ある空間づくり ■ 売店施設と広場を一体利用した交流イベントなど魅力ある公園の運営 ★ 新市民体育館の整備と連携して交流の核となるオープンスペースを確保し、地域に波及する賑わいを生み出す空間整備に取り組む	

④交流ゾーンの整備方針 ④-1売店施設、④-2広場【短期的な取組】

デザインイメージ案

周辺の各ゾーンと一体となったスポーツイベントや地域イベントの実施

- ・みるスポーツゾーンでのプロスポーツの試合やキャンプと一体となったスポーツイベントの実施など賑わいを創出する魅力ある公園の運営を行います。



プロスポーツキャンプと一体となったイベントの実施



賑わいを創出する公園運営

利用者ニーズに対応した魅力ある便益施設の運営や環境の整備

- ・公園内でゆっくり過ごすことができる休憩スペースや飲食利用のニーズに対応した便益施設の運営を行います。



公園内のカフェ
(大阪府堺市 大仙公園)



公園内の屋外レストランエリア
(大阪府堺市 大仙公園)

イベントや災害時の利用にも対応できるオープンスペースの整備

- ・地域イベントの実施や多様な公園利用を可能にするオープンスペースの整備を行います。
- ・災害時の利用にも対応できる防災機能を確保します。



オープンスペースでの
地域イベントの実施



災害時に利用できるオープン
スペースの整備（仮設トイレ）

各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備

- ・利用者を各施設に分かりやすく誘導する案内表示や各施設のイベント情報などを発信できる情報発信設備を整備します。



バリアフリー情報を記載した案内表示



多言語表記による各施設への案内表示



⑤メインエントランスゾーンの整備方針 ⑤-1立体駐車場【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

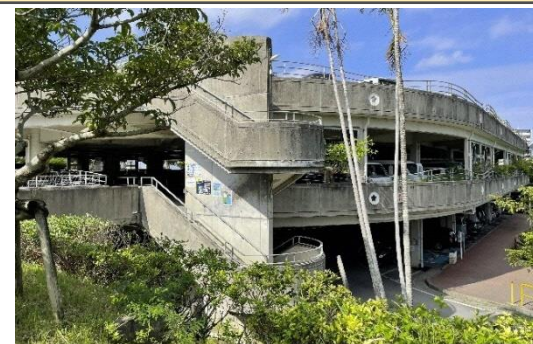
市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

立体駐車場で想定される利用・使用形態

利用者の駐車、各施設へのアクセス

立体駐車場の課題

- ・ イベント時の駐車スペースの不足や大型バスなどの駐車スペースの確保
- ・ 障がい者用の駐車スペースの確保
- ・ 目的外利用による駐車への対応
- ・ 新体育館整備に伴う連結部分の取り壊しによる園路までのアクセス



立体駐車場の整備方針

- はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる案内表示等の整備
- 自家用車やレンタカー、観光バスなどのアクセスに対応した駐車スペースの適切な運用と確保
- 車いす利用者等の障がい者用車両のスペース確保や、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 有料化を含めた今後の適切な運用に対応した施設・設備の更新
- 周辺の自然環境や沿道のまちなみと調和した景観の形成
- ★ 立体駐車場は正面入口や新市民体育館、園路の整備と連携して、利用者が円滑に移動できるよう空間整備に取り組む

⑤メインエントランスゾーンの整備方針 ⑤-2園路【短期的な取組】 ※ 園路は⑧緑地・緩衝ゾーンにも含まれる

ゾーンの整備目標

市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

園路で想定される利用・使用形態

各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動

園路の課題

- ・ 新体育館整備に伴う正面入口から中央噴水広場までの軸線の喪失
- ・ 地形による高低差や段差の解消、木陰の確保やベンチの配置、バリアフリーへの配慮
- ・ 各施設までのアクセスが分かりやすい園路構成や案内表示



園路の整備方針

- 観光客等のはじめて訪れる利用者であっても、目的施設まで分かりやすく誘導する園路構成と案内表示や園内放送等の整備
- 高低差の中でも高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 散歩やジョギングをはじめ利用者が、車両が通行する区間においても安全・安心に歩行できる空間の確保
- ▲ 災害時に避難者が一時避難場所まで安全・安心に避難できる園路空間の整備
- 散歩やジョギングをはじめ利用者が、心地よく感じる周囲の各運動施設や緑地などの自然環境と調和した景観の形成
- ★ 園路は正面入口や新市民体育館、立体駐車場、交流ゾーンの整備と連携するとともに、既存市民体育館の今後の施設更新（規模縮小等を含む）も見据えて、賑わいや交流を生み出すよう空間整備に取り組む



⑤メインエントランスゾーンの整備方針 ⑤-3正面入口【短期的な取組】

ゾーンの整備目標 市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す公園の顔となるゾーン	
正面入口で想定される利用・使用形態 利用者の入退園、待合せ	
正面入口の課題 ● 園路の付け替えによる正面入口の位置 ● 新体育館整備に伴う正面入口から中央噴水広場までの軸線の喪失	
正面入口の整備方針 ● はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる入口の配置検討及び案内表示等の整備 ● 市内外から公共交通等の多様な交通手段で訪れる利用者のアクセス性の確保 ● 高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備 ● ▲新市民体育館や交流ゾーン等と一体で地域の賑わいや交流を生み出すイベントの実施や災害時の利用にも柔軟に対応できる空間の整備 ■ 市内外からの利用者を迎え入れる顔になる空間であり、まちなみと調和した景観の形成 ★ 正面入口は新市民体育館や園路、交流ゾーン等の整備と連携するとともに、既存市民体育館の今後の施設更新（規模縮小等を含む）も見据えて、公園の顔となるエントランス空間の整備	

⑥エントランスゾーンの整備方針 ⑥-1国道入口【短期的な取組】

ゾーンの整備目標 サブエントランスとして、徒歩やバス等の公共交通による利用者を緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すとともに、緊急車両の進入を確保するなど、安全・安心や防災の機能をもつゾーン	
国道入口で想定される利用・使用形態 利用者の入退園、国道330号からの車両の進入	
国道入口の課題 ● 車両と歩行者の安全性の確保	
国道入口の整備方針 ● はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる案内表示等の整備 ● 市内外から公共交通等の多様な交通手段で訪れる利用者のアクセス性の確保 ● 高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備 ● 車両の出入口や車路の整備では車両と利用者が交差しないよう安心・安全に散歩やジョギング、待ち合わせ等ができる空間の整備 ▲ 災害時の大型緊急車両の進入や被災者が一時避難場所まで安全に避難できる空間の整備 ■ 国道沿道のまちなみや陸上競技場の再整備と調和した景観の形成 ★ 陸上競技場整備と連携して、緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すエントランス空間の整備	

⑤メインエントランスゾーンの整備方針 ⑤立体駐車場、園路、正面入口【短期的な取組】

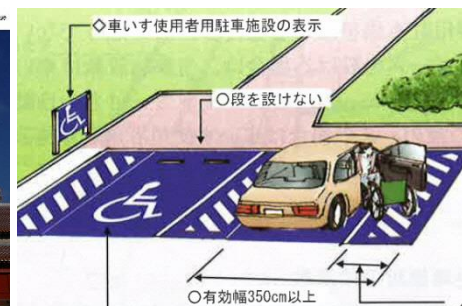
デザインイメージ案

利用者を迎え入れる顔になる空間、まちなみと調和した景観

- ・ はじめて訪れる利用者にも分かりやすい顔になる空間の整備を行います。
- ・ 利用者を各施設に分かりやすく誘導する案内表示等の整備を行います。

駐車スペースの適切な運用と増設

- ・ 有料化を含めた今後の適切な運用に対応した施設・設備の更新を行います。
- ・ 観光バスなどのアクセスへの対応や障がい者用車両スペース等を確保します。



利用者を迎え入れる顔になる
エントランス空間の整備
出典：東京都「有明アーバンスポーツ
パーク整備運営事業提案概要」

各施設にアクセスできる
案内表示等の整備
(大阪府堺市 原池公園)

バス駐車場の予約制導入
出典：沖縄県営首里城公園駐車場

車いす利用者等の障がい者用
車両のスペース確保

出典：日本公園緑地協会「ユニバーサルデザインに
よるみんなのための公園づくり」

誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる園路等の整備

- ・ 車両が通行する区間においても、利用者が安全・安心に歩行やジョギング等できる園路空間の整備を行います。
- ・ 利用者を各施設まで分かりやすく誘導する園路構成にします。

多様な交通手段によるアクセス性の確保

- ・ 運動公園まで多様な交通手段で訪れることができるアクセス性の確保を図ります。



目的施設まで分かりやすく誘導する園
路構成と案内表示
出典：国土交通省「都市公園の移動円滑化整備
ガイドライン」

安全・安心に歩行できる
園路空間の整備
(大阪府堺市 原池公園)

電動アシスト付きの
スポーツバイク等の設置
出典：国土交通省「シェアサイクル事業の導入・運営
のためのガイドライン（仮称）（案）」

電動キックボード



⑦憩いゾーンの整備方針 ⑦-1遊具広場【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら休息・交流等ができるゾーン	
遊具広場で想定される利用・使用形態 子どもの遊び場、休憩、交流、散歩等	
遊具広場の課題 ・ 平時とイベント時ともに、低未利用の空間 ・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと連携して賑わいを生み出す広場の効果的な活用	
遊具広場の整備方針 ● 子どもの遊びや自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持管理 ● 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進 ● 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすいユニバーサルデザインや案内表示等の整備 ▲◆ 海が見える眺望の良さや低未利用地の空間を活かしPark-PFIを活用した利用者の利便性を高める魅力ある便益施設の導入 ■ 周辺の住宅街等のまちなみと調和した自然豊かな景観形成 ■ 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり ★ 利用者のニーズ等を踏まえながら低未利用地の有効利用を検討し、遊具・便益施設等の導入等に取り組む	

⑦憩いゾーンの整備方針 ⑦-2オープンスペース、関係者入口【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら休息・交流等ができるゾーン	
オープンスペースで想定される利用・使用形態 休憩、交流、散歩、関係者車両の進入等	
オープンスペースの課題 ・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと連携して賑わいを生み出す広場の効果的な活用	
オープンスペースの整備方針 ● 子どもの遊びや自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持管理 ● 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進 ● 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすいユニバーサルデザインや案内表示等の整備 ▲◆ 沿道からのアクセス性を活かしPark-PFIを活用した利用者の利便性を高める魅力ある便益施設の導入 ▲ 災害時の大型緊急車両の進入や避難者が一時避難場所まで安全・安心に避難できる園路空間の整備 ■ 沿道のまちなみと緑地空間の調和した自然豊かな景観形成 ■ 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり ■ 沿道にある特性を活かし周辺に波及する市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創によるオープンスペースを活用したまちづくり ★ 各運動施設のイベント等と連携して賑わいや交流を生み出すオープンスペースの有効利用を検討し、便益施設等の導入等に取り組む	

⑧緑地・緩衝ゾーンの整備方針 ⑧-1緑地空間【短期・中長期的な取組】

ゾーンの整備目標

地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながらスポーツ、健康づくり交流に資するとともに、周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担うゾーン

緑地空間で想定される利用・使用形態

自然との触れ合い、住宅地との緩衝帯、景観形成

緑地空間の課題

- ・ グリーンインフラとしての緑地の保全・利活用
- ・ 運動施設や園内の利用及び管理への支障



緑地空間の整備方針

- 自然を感じながら散歩やジョギングなどの健康づくりや、休憩、交流等ができる緑地空間の保全
- 運動施設や園内の利用及び管理への支障のない樹木の適正な配置及び維持管理
- 防災機能を担うグリーンインフラとしての緑地の保全・利活用
- ◆ 周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担う緑地の適切な維持管理
- 市の緑の拠点として緑地空間の保全と地域の緑の骨格を形成する丘陵の自然景観の形成
- 自然豊かで魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による緑地の維持管理
- ★ 新市民体育館や陸上競技場等の整備と連携して緑地の適正な配置や保全に取り組み、市の緑の拠点として中長期的な維持管理に取り組む

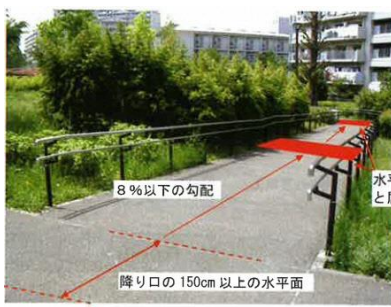
デザインイメージ案

自然を感じながら散歩やジョギングできる緑地空間の保全や運動施設、園内の利用及び管理に支障のない樹木の適正な配置及び維持管理

- ・ 自然を感じながら散歩やジョギングできる園路等の緑地空間を保全します。
- ・ 園内の利用及び管理に支障のない樹木の適正な配置及び維持管理を行います。



自然を感じながら散歩やジョギングできる園路の緑地空間



移動等の妨げにならない樹木の適正な配置

出典：日本公園緑地協会「ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり」

多様な役割を担うグリーンインフラであるとともに市の緑の拠点、丘陵の自然景観を形成する緑地空間として保全・利活用する

- ・ 緩衝帯の役割や防災機能など多様な役割機能を担う緑地の保全・利活用をします。
- ・ 市の緑の拠点並びに丘陵の自然景観として緑地空間を保全します。



緩衝帯としての役割



丘陵の自然景観の形成

公園施設や新たに整備する（仮称）浦添市多目的運動施設（新市民体育館）及びその他の運動施設について、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な運営・管理を行うため、民間活力（官民連携）の導入の可能性を検討します。

① 公園及び運動施設の民間活力の活用の方針

公園及び運動施設の将来像や整備方針に基づき、民間活力を導入した運営・管理手法の検討を行う。

また、民間活力の導入の可能性を高めるため、各種調査や市民等のアンケートの結果を踏まえ、利用者のニーズや公園及び運動施設のポテンシャルに基づき、民間事業者の参入意欲を高める事業内容を検討する。

【公園施設】

公園施設については、**園路、広場等の公園施設**の運営・管理について、民間活力の導入の可能性を検討する。

また、公園敷地の一部については、**Park-PFI**制度を活用し、法的規制や民間事業者の意向を踏まえ、民間収益施設の設置位置や範囲について検討を行う。

Park-PFI活用の検討案

公募対象公園施設	飲食店、売店等の収益施設
特定公園施設	園路、広場等

【運動施設】

運動施設については、**新市民体育館及び新市民体育館を除く運動施設等（陸上競技場、屋内運動場等）**の運営・管理について、民間活力の導入の可能性を検討する。

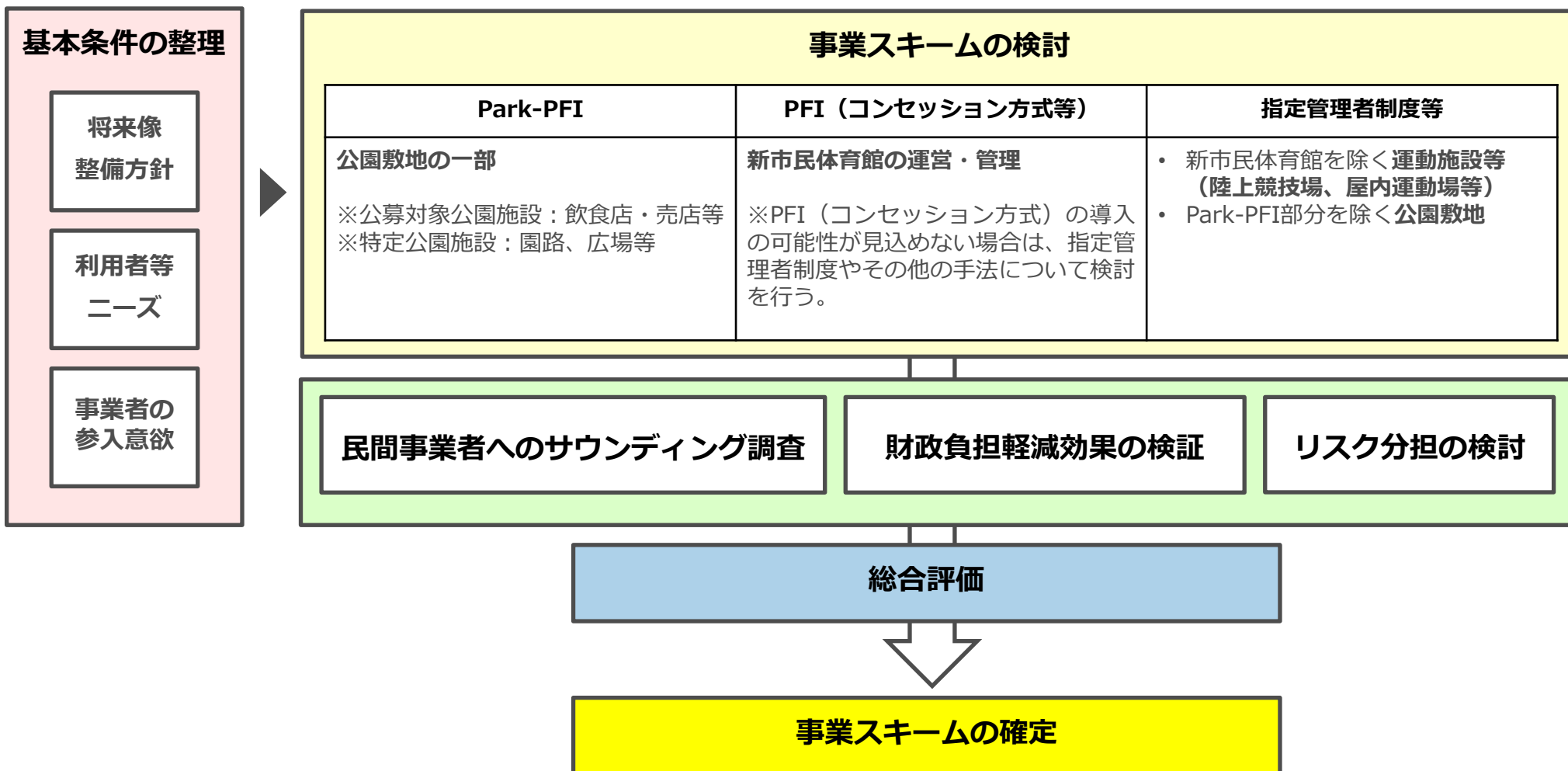
なお、新市民体育館については、公共による施設整備後の管理・運営について、法的規制や民間事業者の意向を踏まえ、**PFI（コンセッション方式）**の活用を検討する。

新市民体育館の事業方式検討案

企画・計画	公共
資金調達（建設関連）	
設計	
建設	
維持管理・運営	民間 （PFI（コンセッション） or 指定管理 or その他）

- 基本構想・基本計画の策定後、令和5年度に新市民体育館を含めた浦添運動公園全体の運営・管理手法を検討します。

② 今後の運営・管理手法の検討フロー図



- 本調査は、新市民体育館の管理・運営において民間活力の活用可能性を高めるため、民間事業者の意見等や事業参画の可能性を把握し、事業化に向けた事業スキームを検討することを目的に実施しました。

日時	実施内容	備考
令和5年6月12日（月）	1.実施要領の公表	
令和5年6月12日（月）～6月28日（火）	2.説明会申込受付	
令和5年6月30日（金）午後2時～	3.説明会の開催（現地、WEB併用）	参加企業：8社、参加人数：11人（現地参加8人、WEB参加3人）
令和5年6月30日（金）～7月18日（火）	4.質問の受付及び対応	質問企業：1社
令和5年6月12日（月）～7月25日（火）	5.サウンディング調査申込期間	申込企業：4社
令和5年7月25日（火）	6.アンケート調査票提出期限	
令和5年7月26日（水）～8月10日（木）	7.サウンディング調査の実施	実施企業：4社
令和5年9月中旬予定	8.実施結果の公表	

アンケートの主な内容

- 観るスポーツ施設への整備内容に関する要望等
- 観るスポーツ施設の整備以外で、本事業内容に関する要望等
- PFI（コンセッション方式）の実施の実現性
- 実現するための諸条件・課題等
- 事業期間について
- 本事業への参入意向
- 本事業への参入形態
- 想定される事業のイメージや内容等
- 必要な情報
- より参入意欲が高まるための条件や要望等



説明会（現地会場）



説明会（現地説明）

調査結果のまとめ

- ・ サウンディング調査に申込のあった民間事業者には、事前にアンケート調査を実施し、サウンディング時にアンケート回答をもとに、個別に意見交換を行った。民間事業者の回答については、アイデアやノウハウの保護に配慮し、一部抜粋して以下に示します。

No	主な質問事項	民間事業者の主な回答
1	事業の実現性（民間の収益性）をより高めるため、観るスポーツ施設への整備内容についての要望等	「大型ビジョン、照明、音響、その他興行用の設備の整備が必要である」などの回答があった。
2	観るスポーツ施設への整備以外で、本事業内容についての要望等（ハード面やソフト面）	「駐車スペースの確保が必要である」などの回答があった。
3	PFI（コンセッション方式）の実施の実現性について	「条件によっては可能である」又は「わからない」との回答があった。
4	本事業への参入意向	「参入希望」又は「事業に興味があり、参入を検討したい」との回答があった。
5	参入する場合の事業方式について	「PFI（コンセッション方式等）で運営」と回答する民間事業者ほか、条件によっては「指定管理又は委託で管理」との回答もあった。 また、「浦添運動公園や運動施設全体の管理も含めて検討したい」との回答があった。全体的に「詳細な情報を得た上で方法を検討したい」との意見であった。
6	本事業への参入形態について	「もう少し情報を得た上で検討したい」との回答があった。
7	今回提示した情報の他に、必要な情報	「官民のリスク分担」、「官民の費用負担」、「事業実施期間」、「緊急・災害時対策」などの回答があった。

■ サウンディングの結果

立地等から公園及び運動施設のポテンシャルは高く、民間活力の導入の可能性はあるという意見をいただいた。しかしながら、事業スキームについて、PFI（コンセッション方式）の可能性も考えられるが、条件によっては指定管理者制度で管理したいという旨の意見があった。

■ 今後の検討について

PFI(コンセッション方式等)の実現性や事業者の参入意向について概ね確認できたことから、今後の運営管理手法の検討において、事業者の求める情報の提供等を行いながら、事業の実現に向けて意見交換を継続していく。

また、今回の意見・要望については観るスポーツの施設整備の実施設計へ反映できるか検討していく。

- 基本構想・基本計画（案）のその目的、内容等について、広く市民の意見又は提案等を求めるため、以下の内容でパブリックコメントを実施しました。
- 実施の結果、市民等からの意見提出はありませんでした。

■実施期間

令和5年7月18日（火）～令和5年8月17日（木）

■閲覧方法

- ①市ホームページ
- ②浦添市役所 5階 文化スポーツ振興課
- ③浦添市役所 8階 市政情報センター

■意見の提出方法

意見は、様式に記載の上、以下の方法で提出可能。

- ①電子メール
- ②浦添市役所 5階 文化スポーツ振興課に提出
- ③郵送
- ④ファクシミリ

■パブリックコメント資料「浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）」

（目次構成）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 はじめに | 2 浦添運動公園再整備について |
| 3 現状及び取り組むべき方向性 | 4 再整備に向けての課題及び解決策 |
| 5 再整備の方針 | 6 ゾーニング・動線計画 |
| 7 運営管理計画 | 8 今後のスケジュール |

■実施結果

意見提出数 0 件

		令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度
		4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月	
新市民体育館 (本体工事)		実施設計			関連工事			本体工事			本体工事			供用開始予定			
(ウラオソイ スポーツ・観光交流拠点形成推進事業)	基本構想・基本計画			基本構想・計画		R5.10											
	新市民体育館 (観るスポーツの施設整備)					R5.10	実施設計					整備工事					
	陸上競技場 整備工事					R5.10	基本設計	実施設計				整備工事	整備工事				
	園路・駐車場 整備工事					R5.10	基本設計	実施設計				整備工事	整備工事				
	運営管理手法 検討業務					R5.10	運営管理手法検討	運営管理の公募									
再整備検討委員会				★12	★4	★8	★	★	★	★	★			★			

※上記スケジュールは令和5年10月時点のものです。事業の進捗状況により内容が変更になることがあります。

課 題	短 期（5年未満）		中 期（5～10年未満）		長 期（10年以降）	
	2023	2028	2032			
まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした公園づくり ○利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備 ○グリーンインフラとしての保全・利活用 ○人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場 ○利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保	公園・運動施設へのユニバーサルデザインの適用 園路の再整備 案内表示の再整備 適切な運用と駐車スペースの増設 緑地の適正な配置 オープンスペースの配置			ICTを活用した交流イベント等の情報発信 オープンスペース等を活用した交流促進		公共交通利用促進
安全・安心で誰もが利用しやすく、楽しめる公園づくり ○老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化 ○観るスポーツの楽しみ方の提供 ○便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上 ○既存市民体育館の今後の運用	陸上競技場の再整備 観るスポーツの施設整備 公園・運動施設へのユニバーサルデザインの適用 プロスポーツのレベルに合わせた施設整備 地域防災計画と連携した防災機能の確保 既存市民体育館の運用方針の検討		運動施設・設備の更新			Park-PFIを活用した便益施設の導入
公園・運動施設の持続可能な管理運営 ○公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新 ○民間活力等による財源の効率化 ○収益確保による財政の負担軽減	公園・運動施設の運営・管理手法の見直し		新市民体育館のPFI(コンセッション方式)等による管理・運営 Park-PFIを活用した便益施設の導入 協働による公園の維持管理			
スポーツを通じて活力あるまちづくりの推進 ○上位・関連計画や施策と連携した再整備計画 ○市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり ○スポーツコンベンションの推進 ○プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致	上位関連計画の改定及び再整備計画を踏まえた市計画の改定 部局横断による庁内協力体制の構築 スポーツコンベンション誘致戦略の策定 プロスポーツのレベルに合わせた施設整備		市民・地域住民・事業者等の持続的な活動や取り組み			